鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 60

JYOGAO

城ヶ尾遺跡 II

東九州自動車道建設(えびの IC～都城 IC 間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 II

縄文・古墳時代編

2003年3月

鹿児島県立埋蔵文化財センター

（見返し）

（合紙）

（合紙）

本　文　目　次

Ⅰ　旧石器時代編

第Ⅰ章　発掘調査の経過
第1節　調査にいたるまでの経過 …… 1
第2節　調査の経過 …… 1
第3節　発掘調査の概要と経過 …… 2

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境
第1節　地理的環境 …… 5
第2節　歴史的環境 …… 5
第3節　遺跡の現況 …… 11

第Ⅲ章　下ヶ橋B区の調査
第1節　第Ⅰ文化層の調査
1　調査の方法と概要 …… 18
2　遺構 …… 19
3　遺物 …… 20
第2節　第Ⅱ文化層の調査
1　調査の方法と概要 …… 31
2　遺構 …… 31
3　遺物 …… 41
第3節　第Ⅲ文化層の調査
1　調査の方法と概要 …… 123
2　遺構 …… 126
3　遺物 …… 131
第4節　第Ⅳ文化層の調査
1　調査の方法と概要 …… 199
2　遺構 …… 200
3　遺物 …… 206
第5節　第Ⅴ文化層の調査
1　調査の方法と概要 …… 230
2　遺物 …… 230

Ⅱ　縄文・古墳時代編

第Ⅳ章　縄文時代の調査
第1節　調査の方法と概要 …… 1
第2節　縄文時代の遺構 …… 1
1　Ⅷ層の遺構 …… 1
2　Ⅶ層の遺構 …… 43
3　Ⅵ層の遺構 …… 79
4　Ⅴ層の遺構 …… 86
5　Ⅳ層の遺構 …… 91
第3節　縄文時代の土器 …… 95
1　Ⅰ類土器　神ノ木式土器 …… 97
2　Ⅱ類　石刀式土器 …… 98
3　Ⅲ類　石為式土器 …… 108
4　Ⅳ類　早稲田式土器 …… 119
5　Ⅴ類　押型文土器 …… 121
6　Ⅵ類　下吉井式土器 …… 123
7　Ⅶ類　ズク式土器 …… 126
8　Ⅷ類　曽畑式土器 …… 126
9　Ⅸ類　轟ノ浦A式土器 …… 129
10　Ⅹ類　轟ノ浦B式土器 …… 145
11　素縄文単節斜縄文および無文土器について …… 180
12　ⅩⅠ類　黒川式土器 …… 194
13　ⅩⅡ類　阿高式土器 …… 194
14　ⅩⅢ類　深浦式土器 …… 194
15　ⅩⅣ類　春日式土器 …… 196
16　ⅩⅤ類　東原式土器 …… 196
第4節　縄文時代の石器 …… 201
1　Ⅷ層目に石器 …… 201
2　Ⅵ～Ⅶ層目に石器 …… 209
3　Ⅴ層目に石器 …… 290
4　Ⅳ層目に石器 …… 297
5　包含層出土石器 …… 298

第Ⅴ章　古墳時代の調査
第1節　調査の方法と概要 …… 302
第2節　古墳時代の遺構と遺物 …… 302
第3節　古墳時代の遺物 …… 307

付編　自然科学分析報告 …… 321

下ヶ橋遺跡B区の石器に付着した赤色顔料について …… 323

下ヶ橋遺跡B区出土炭化種子の樹種同定 …… 325

下ヶ橋遺跡B区出土炭化物の放射性炭素年代測定 …… 326

下ヶ橋遺跡の石材と遺構出土石材について …… 328

第Ⅵ章　まとめ …… 334

挿　　図　　目　　次

第234号　Ⅷ層　遺構と層および歌う粘土状況 …… 2
第235号　Ⅷ層覆う (1) …… 3
第236号　Ⅷ層覆う (2) …… 5
第237号　Ⅷ層覆う (3) …… 6
第238号　Ⅷ層覆う (4) …… 7
第239号　Ⅷ層覆う (5) …… 8
第240号　Ⅷ層覆う (6) …… 9
第241号　Ⅷ層覆う (7) …… 10
第242号　Ⅷ層覆う (8) …… 11
第243号　Ⅷ層覆う (9) …… 12
第244号　Ⅷ層覆う (10) …… 13
第245号　Ⅷ層ニ穴 (1) …… 14
第246号　Ⅷ層ニ穴 (2) …… 15
第247号　Ⅷ層ニ穴 (3) …… 16
第248号　Ⅷ層ニ穴 (4) …… 18
第249号　Ⅷ層ニ穴 (5) …… 19
第250号　Ⅷ層ニ穴 (6) …… 20
第251号　Ⅷ層ニ穴 (7) …… 21
第252号　Ⅷ層ニ穴 (8) …… 22
第253号　Ⅷ層ニ穴 (9) …… 23
第254号　Ⅷ層ニ穴 (10) …… 25
第255号　Ⅷ層ニ穴 (11) …… 26
第256号　Ⅷ層ニ穴 (12) …… 27
第257号　Ⅷ層ニ穴 (13) …… 28
第258号　Ⅷ層ニ穴 (14) …… 29
第259号　Ⅷ層ニ穴 (15) …… 30
第260号　Ⅷ層ニ穴 (16) …… 32
第261号　Ⅷ層ニ穴 (17) …… 33
第262号　Ⅷ層ニ穴 (18) …… 34
第263号　Ⅷ層ニ穴 (19) …… 35
第264号　Ⅷ層ニ穴 (20) …… 36
第265号　Ⅷ層ニ穴 (21) …… 37
第266号　Ⅷ層ニ穴 (22) …… 38
第267号　Ⅷ層ニ穴 (23) …… 39
第268号　Ⅷ層ニ穴 (24) …… 40
第269号　Ⅷ層ニ穴 (25) …… 41
第270号　Ⅷ層　遺構サ目ニ遺物 …… 42
第271号　Ⅷ層　遺構と層および歌う粘土状況 …… 43
第272号　Ⅵ,Ⅶ層遺構配層および歌う粘土状況 …… 44
第273号　ニ器当事遺構粘土状況 …… 46
第274号　ニ器当事遺構粘土状況 …… 47
第275号　Ⅶ層覆う (1) …… 49
第276号　Ⅶ層覆う (2) …… 50
第277号　Ⅶ層覆う (3) …… 51
第278号　Ⅶ層覆う (4) …… 52
第279号　Ⅶ層覆う (5) …… 53
第280号　Ⅶ層覆う (6) …… 54
第281号　Ⅶ層覆う (7) …… 55
第282号　Ⅶ層覆う (8) …… 57
第283号　Ⅶ層覆う (9) …… 58
第284号　Ⅶ層覆う (10) …… 59
第285号　Ⅶ層覆う (11) …… 60
第286号　Ⅶ層ニ穴 (1) …… 61
第287号　Ⅶ層ニ穴 (2) …… 62
第288号　Ⅶ層ニ穴 (3) …… 63
第289号　Ⅶ層ニ穴 (4) …… 64
第290号　Ⅶ層ニ穴 (5) …… 65
第291号　Ⅶ層ニ穴 (6) …… 66
第292号　Ⅶ層ニ穴 (7) …… 67
第293号　Ⅶ層ニ穴 (8) …… 68
第294号　Ⅶ層ニ穴 (9) …… 69
第295号　Ⅶ層ニ穴 (10) …… 70
第296号　Ⅶ層　遺構サ目ニ遺物 (1) …… 71
第297号　Ⅶ層　遺構サ目ニ遺物 (2) …… 72
第298号　Ⅶ層　遺構サ目ニ遺物 (3) …… 74
第299号　Ⅶ層　遺構サ目ニ遺物 (4) …… 75
第300号　Ⅶ層　遺構サ目ニ遺物 (5) …… 76
第301号　Ⅶ層　遺構サ目ニ遺物 (6) …… 77
第302号　Ⅶ層　遺構サ目ニ遺物 (7) …… 78
第303号　Ⅵ層　遺構と層および歌う粘土状況 …… 79
第304号　Ⅵ層覆う (1) …… 80
第305号　Ⅵ層覆う (2) …… 81
第306号　Ⅵ層覆う (3) …… 82
第307号　Ⅵ層覆う (4) …… 83
第308号　Ⅵ層覆う (5) …… 84
第309号　Ⅴ層　遺構と層サ …… 86
第310号　Ⅴ層覆う …… 87
第311号　Ⅴ層ニ穴 (1) …… 88
第312号　Ⅴ層ニ穴 (2) …… 89
第313号　Ⅴ層　遺構サ目ニ遺物 …… 90
第314号　Ⅳ層　遺構と層サ …… 91
第315号　Ⅳ層ニ穴 (1) …… 92
第316号　Ⅳ層ニ穴 (2) …… 93
第317号　Ⅳ層　遺構サ目ニ遺物 …… 94
第318号　Ⅰ類～Ⅲ類ニ器目ニ状況サ …… 95
第319号　Ⅰ類ニ器実測サ (1) …… 96
第320号　Ⅰ類ニ器実測サ (2) …… 97
第321号　Ⅱ類ニ器実測サ (1) …… 99
第322号　Ⅱ類ニ器実測サ (2) …… 100
第323号　Ⅱ類ニ器実測サ (3) …… 101
第324号　Ⅱ類ニ器実測サ (4) …… 102
第325号　Ⅱ類ニ器実測サ (5) …… 103
第326号　Ⅱ類ニ器実測サ (6) …… 104
第327号　Ⅱ類ニ器実測サ (7) …… 105
第328号　Ⅲ類ニ器実測サ (1) …… 109
第329号　Ⅲ類ニ器実測サ (2) …… 110
第330号　Ⅲ類ニ器実測サ (3) …… 111
第331号　Ⅲ類ニ器実測サ (4) …… 112
第332号　Ⅲ類ニ器実測サ (5) …… 113
第333号　Ⅲ類ニ器実測サ (6) …… 114
第334号　Ⅲ類ニ器実測サ (7) …… 115
第335号　Ⅳ類～Ⅷ類ニ器目ニ状況サ …… 119
第336号　Ⅳ類ニ器実測サ …… 120
第337号　Ⅴ類ニ器実測サ …… 122
第338号　Ⅵ類ニ器実測サ …… 124
第339号　Ⅶ類ニ器実測サ …… 126
第340号　Ⅷ類ニ器実測サ …… 127
第341号　Ⅸ類、Ⅹ類ニ器目ニ状況サ …… 129
第342号　Ⅸ類ニ器実測サ (1) …… 130
第343号　Ⅸ類ニ器実測サ (2) …… 131
第344号　Ⅸ類ニ器実測サ (3) …… 132
第345号　Ⅸ類ニ器実測サ (4) …… 133
第346号　Ⅸ類ニ器実測サ (5) …… 134
第347号　Ⅸ類ニ器実測サ (6) …… 135
第348号　Ⅸ類ニ器実測サ (7) …… 136
第349号　Ⅸ類ニ器実測サ (8) …… 137
第350号　Ⅸ類ニ器実測サ (9) …… 138
第351号　Ⅹ類ニ器実測サ (1) …… 146
第352号　Ⅹ類ニ器実測サ (2) …… 147
第353号　Ⅹ類ニ器実測サ (3) …… 148
第354号　Ⅹ類ニ器実測サ (4) …… 149
第355号　Ⅹ類ニ器実測サ (5) …… 150
第356号　Ⅹ類ニ器実測サ (6) …… 151
第357号　Ⅹ類ニ器実測サ (7) …… 152
第358号　Ⅹ類ニ器実測サ (8) …… 153
第359号　Ⅹ類ニ器実測サ (9) …… 154
第360号　Ⅹ類ニ器実測サ (10) …… 155
第361号　Ⅹ類ニ器実測サ (11) …… 156

挿　図　目　次

第362図　X層出土土器実測図(12)……157
第363図　X層出土土器実測図(13)……158
第364図　X層出土土器実測図(14)……159
第365図　X層出土土器実測図(15)……160
第366図　X層出土土器実測図(16)……161
第367図　X層出土土器実測図(17)……162
第368図　X層出土土器実測図(18)……163
第369図　X層出土土器実測図(19)……164
第370図　X層出土土器実測図(20)……165
第371図　X層出土土器実測図(21)……166
第372図　X層出土土器実測図(22)……167
第373図　X層出土土器実測図(23)……168
第374図　X層出土土器実測図(24)……169
第375図　接合状況図及び破片出土分布図……181
第376図　X層574土器接合状況図及び破片出土図(1)……182
第377図　X層579土器接合状況図及び破片出土図(2)……184
第378図　X層612土器接合状況図及び破片出土図(3)……186
第379図　X層605土器接合状況図及び破片出土図(4)……188
第380図　X層653土器接合状況図及び破片出土図(5)……190
第381図　X層657土器接合状況図及び破片出土図(6)……192
第382図　XⅠ層～XⅤ層土器出土状況図……194
第383図　XⅠ層土器実測図……195
第384図　XⅢ層土器実測図……196
第385図　XⅡ層土器実測図(1)……197
第386図　XⅡ層土器実測図(2)……198
第387図　XⅣ～XⅤ層土器実測図……200
第388図　Ⅷ層出土石器分布図……201
第389図　Ⅷ層出土石器実測図（石鏃）……202
第390図　Ⅷ層出土石器実測図（石錐）……204
第391図　Ⅷ層出土石器実測図（剥片）……205
第392図　Ⅷ層出土石器実測図（磨製石斧、大型石器、ハンマー、磨石/敲石1）……206
第393図　Ⅷ層出土石器実測図（磨石/敲石2）……207
第394図　Ⅷ層出土石器実測図（石皿）……208
第395図　Ⅵ層～Ⅶ層出土石器分布図……209
第396図　Ⅵ層～Ⅶ層石器出土状況図……210
第397図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃1）……212
第398図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃2）……213
第399図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃3）……214
第400図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃4）……215
第401図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃5）……216
第402図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃6）……217
第403図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃7）……218
第404図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃8）……219
第405図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃9）……220
第406図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃10）……221
第407図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃11）……222
第408図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（大型石鏃、尖頭状石器、石槍）……223
第409図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃未製品1）……224
第410図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃未製品2）……225
第411図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石鏃未製品3）……226
第412図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石匙）……232
第413図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石錐）……233
第414図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（異形石器）……234
第415図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（スクレイパー1）……235
第416図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（スクレイパー2）……236
第417図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（スクレイパー3）……237
第418図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（スクレイパー4）……238
第419図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（スクレイパー5）……239
第420図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（スクレイパー6）……240
第421図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（楔形石器1）……241
第422図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（楔形石器2）……242
第423図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（楔形石器3）……243
第424図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（楔形石器4）……244
第425図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（二次加工痕のある剥片1）……245
第426図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（二次加工痕のある剥片2）……246
第427図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（二次加工痕のある剥片3）……247
第428図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（微細剥離痕のある剥片1）……248
第429図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（微細剥離痕のある剥片2）……249
第430図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核1）……252
第431図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核2）……253
第432図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核3）……254
第433図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核4）……255
第434図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核5）……256
第435図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核6）……257
第436図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核7）……258
第437図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核8）……259
第438図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核9）……260
第439図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石核11）……261
第440図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（原礫）……262
第441図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（剥片1）……263
第442図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（剥片2）……264
第443図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（剥片3）……265
第444図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（剥片4）……266
第445図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（剥片5）……267
第446図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（剥片6）……268
第447図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（剥片7）……269
第448図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石斧1）……272
第449図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石斧2）……273
第450図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（大型石器）……274
第451図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（ハンマーストーン）……275
第452図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（磨石/敲石1）……276
第453図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（磨石/敲石2）……277
第454図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（磨石/敲石3）……278
第455図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（磨石/敲石4）……279
第456図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（磨石/敲石5）……280
第457図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（磨石/敲石6）……281
第458図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石皿/台石1）……283
第459図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石皿/台石2）……284
第460図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石皿/台石3）……285
第461図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石皿/台石4）……286
第462図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石皿/台石5）……287
第463図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石皿/台石6）……288
第464図　Ⅵ～Ⅶ層出土石器実測図（石皿/台石7）……289
第465図　Ⅴ層出土石器分布図……290
第466図　Ⅴ層出土石器実測図（石鏃）……291
第467図　Ⅴ層出土石器実測図（石鏃・石匙・スクレイパー1）……292
第468図　Ⅴ層出土石器実測図（スクレイパー2）……293
第469図　Ⅴ層出土石器実測図（微細剥離痕のある剥片・石核・剥片1）……294
第470図　Ⅴ層出土石器実測図（剥片2・磨製石斧・磨石/敲石）……295
第471図　Ⅳ層出土石器実測図（石鏃・スクレイパー・石錐）……297
第472図　Ⅳ層出土石器実測図（剥片・磨製石斧）……298
第473図　時期不明石器実測図（石鏃・スクレイパー・剥片）……299
第474図　時期不明石器実測図（磨製石斧）……300
第475図　時期不明石器実測図（凹石器）……300
第476図　古墳時代遺構分布図及び遺構配置図……303
第477図　1号住居跡検出状況……304
第478図　1号住居跡完掘状況……305
第480図　1号住居跡出土遺物……306
第479図　1号住居跡遺物集中部……306
第481図　1号住居跡出土遺物……307
第482図　2号住居跡検出状況及び住居跡出土遺物……308
第483図　3号住居跡検出状況及び住居跡出土遺物……309
第484図　4号住居跡検出状況……310
第485図　4号住居跡出土遺物……311
第486図　古墳時代出土遺物(1)……312

挿　　図　　目　　次

第487図　弓道等代打ニ道物(2)……313
第488図　弓道等代打ニ道物(3)……314
第489図　弓道等代打ニ道物(4)……315
第490図　弓道等代打ニ道物(5)……316

表　　目　　次

第70表　Ⅶ角道場ヨリニ出ル器喫数表……42
第71表　Ⅶ角道場ヨリニ二器喫数表……42
第72表　Ⅶ角道場ヨリニ二器喫数表……78
第73表　Ⅶ角道場ヨリニ二製品喫数表……78
第74表　Ⅶ角道場ヨリニ出ル器喫数表……78
第75表　Ⅴ角道場ヨリニ二器喫数表……90
第76表　Ⅳ角道場ヨリニ二器喫数表……94
第77表　Ⅰ類ニ器喫数表(1)……97
第78表　Ⅰ類ニ器喫数表(2)……98
第79表　Ⅱ類ニ器喫数表(1)……101
第80表　Ⅱ類ニ器喫数表(2)……102
第81表　Ⅱ類ニ器喫数表(3)……105
第82表　Ⅱ類ニ器喫数表(4)……106
第83表　Ⅱ類ニ器喫数表(5)……107
第84表　Ⅱ類ニ器喫数表(6)……108
第85表　Ⅲ類ニ器喫数表(1)……110
第86表　Ⅲ類ニ器喫数表(2)……115
第87表　Ⅲ類ニ器喫数表(3)……116
第88表　Ⅲ類ニ器喫数表(4)……117
第89表　Ⅲ類ニ器喫数表(5)……118
第90表　Ⅳ類ニ器喫数表……121
第91表　Ⅴ類ニ器喫数表……123
第92表　Ⅵ類ニ器喫数表……125
第93表　Ⅶ類ニ器喫数表……126
第94表　Ⅷ類ニ器喫数表……128
第95表　Ⅸ類ニ器喫数表(1)……139
第96表　Ⅸ類ニ器喫数表(2)……140
第97表　Ⅸ類ニ器喫数表(3)……141
第98表　Ⅸ類ニ器喫数表(4)……142
第99表　Ⅸ類ニ器喫数表(5)……143
第100表　Ⅸ類ニ器喫数表(6)……144
第101表　Ⅸ類ニ器喫数表(7)……145
第102表　Ⅹ類ニ器喫数表(1)……147
第103表　Ⅹ類ニ器喫数表(2)……149
第104表　Ⅹ類ニ器喫数表(3)……150
第105表　Ⅹ類ニ器喫数表(4)……151
第106表　Ⅹ類ニ器喫数表(5)……170
第107表　Ⅹ類ニ器喫数表(6)……171
第108表　Ⅹ類ニ器喫数表(7)……172
第109表　Ⅹ類ニ器喫数表(8)……173
第110表　Ⅹ類ニ器喫数表(9)……174
第111表　Ⅹ類ニ器喫数表(10)……175
第112表　Ⅹ類ニ器喫数表(11)……176
第113表　Ⅹ類ニ器喫数表(12)……177
第114表　Ⅹ類ニ器喫数表(13)……178
第115表　Ⅹ類ニ器喫数表(14)……179
第116表　ⅩⅠ類ニ器喫数表……195
第117表　ⅩⅢ類ニ器喫数表……196
第118表　ⅩⅡ類ニ器喫数表……199
第119表　ⅩⅣ類ニ器喫数表……200
第120表　ⅩⅤ類ニ器喫数表……200
第121表　Ⅷ角ヨリニ出ル器喫数表(1)……203
第122表　Ⅷ角ヨリニ出ル器喫数表(2)……205
第123表　Ⅷ角ヨリニ出ル器喫数表(3)……207
第124表　Ⅷ角ヨリニ出ル器喫数表(4)……208
第125表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(1)……226
第126表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(2)……227
第127表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(3)……228
第128表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(4)……229
第129表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(5)……230
第130表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(6)……231
第131表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(7)……232
第132表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(8)……237
第133表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(9)……239
第134表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(10)……240
第135表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(11)……250
第136表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(12)……251
第137表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(13)……256
第138表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(14)……257
第139表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(15)……258
第140表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(16)……259
第141表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(17)……260
第142表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(18)……262
第143表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(19)……270
第144表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(20)……271
第145表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(21)……273
第146表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(22)……275
第147表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(23)……281
第148表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(24)……282
第149表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(25)……286
第150表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(26)……287
第151表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(27)……288
第152表　Ⅵ～Ⅶ角ヨリニ出ル器喫数表(28)……289
第153表　Ⅴ角ヨリニ出ル器喫数表……296
第154表　Ⅳ角ヨリニ出ル器喫数表……301
第155表　弓道用ト申ス器喫数表……301
第156表　弓道等代打ニ二器喫数表(1)……317
第157表　弓道等代打ニ二器喫数表(2)……318
第158表　弓道等代打ニ二器喫数表(3)……319
第159表　弓道等代打ニ二器喫数表(4)……320
第160表　弓道等代打ニ出ル器喫数表……320
第161表　弓道等代打ニ無器喫数表……320

第Ⅳ章　縄文時代の調査

第1節　調査の方法と概要

縄文時代の調査は10m四方のグリッドを設定し，調査区全体にわたり全面発掘調査を行った。

遺跡の所在する周辺一帯は，貴石源や貴石時期の異なる火山貴石物が良好に堆積していることが知られていた。本遺跡でもそれに違わず条件の良い部分では，各種の火山貴石物が堆積し，それらの層を間層に，その上下に遺構，遺物が包含されていたが，台地面の先端部や，傾斜面等では削平や流失等により減少，消失している部分も見られた。

本遺跡の代表的火山貴石堆積層は，Ⅳ層に縄文時代中期から後期の目安とされる御岳軽石層，Ⅴb層にアカホヤ火山灰層，Ⅵb層にP-11武楊包軽石層，Ⅸ層に鷲峰火山灰層である。したがって，遺構，遺物はその間の腐植土層に発見されることとなる。

縄文時代の遺構，遺物は，Ⅹ層～Ⅳ層にかけて検出している。遺構では，集石，土坑，土器埋設土坑が発見されている。

集石遺構はⅧ層（24基），Ⅶ層（28基），Ⅵ層（14基），Ⅴ層（3基）の69基が検出され，土坑はⅧ層（54基），Ⅶ層（19基），Ⅴ層（5基），Ⅳ層（4基）の82基を検出している。さらにⅦ層では，3倍の平均状土製品と石器等を出土した土坑も検出している。

集石遺構のうち，Ⅶ層，Ⅵ層の集石は，ジョ形状（環状）に検出され，特徴的な配置，分布状況を示していた。また，Ⅶ層での集石と土坑の分布は，分布域を異にする状況が見られ，遺構の違い（機能）による場の立地が異なる可能性を示していた。

特殊遺構として，Ⅶ層で完形の土器を埋設した土器埋設土坑も4基が発見されている。4基の土坑には，極めて完形品に近い状態の土器を1点ずつ設置したであろう状況が観察されている。

遺物は，Ⅹ層～Ⅳ層にかけて多量に出土した。特にⅥ層，Ⅶ層の出土が顕著で，全体量の約6割を越している。特に，Ⅵ層が主要包含層のⅩ類土器は，集石遺構を環状に取り巻くように分布し，遺構との関連性を示すとともに，特異な出土状況を提示していた。

第2節　縄文時代の遺構

集石遺構

検出した69基の集石については，各集石の検出面を基本に設定する文化層を判断し，文化層毎にまとめて記載した。また，礫の集中度合いから大きく3種に区分できるが，それぞれが複合するパターンを見られることから最終的に5つに分類した。

集石遺構の分類

集石Ⅰ類　土坑状の掘り込みに礫が集中するものおよびその可能性が高いもので，いわゆる典型的な集石遺構

集石Ⅱ類　礫は集中するが掘り込み遺構が確認されないもので，礫の底面配置が水平に観察されたもの

集石Ⅲ類　まばらに散在する礫が一定のエリアを確保するもの，集石の垣散化？

集石Ⅳ類　掘り込みを持つ集石と，掘り込み外に散在しながら集石を構成するものとの組み合わせ（Ⅰ類＋Ⅲ類）

集石Ⅴ類　掘り込みを伴わない集中と，その周辺に散在しながら集石を構成するものとの組み合わせ（Ⅱ類＋Ⅲ類）

土坑状遺構

検出した82基の土坑についても，土坑内の埋土堆積状況から設定する文化層を推定し，文化層毎にまとめて記述を行った。また，形状や底面に追加された掘り込み・柱痕も確認できるため，6分類した。

土坑状遺構の分類

土坑Ⅰ類　掘り込み底面がほぼ平坦をなすもの

土坑Ⅱ類　掘り込み壁際に小穴がひとつあるもの

土坑Ⅲ類　掘り込み壁際に小穴が複数あるもの

土坑Ⅳ類　掘り込み壁際以外に小穴をもつもの

土坑Ⅴ類　掘り込みが鉄角なすり鉢状を呈するもの

土坑Ⅵ類　掘り込みが2段掘りを呈し，底面がほぼ平坦なもの

Ⅷ層～Ⅳ層にかけて，15基の遺構内から遺物が確認された。土器の類別については後述の第Ⅳ章第3節において行われた設定に基づき記述した。

1　Ⅷ層の遺構

集石遺構

Ⅷ層では24基の集石を検出した。集石は，A地区風倒傾斜面よりと，B地区及びC地区に散在する。E,F-15,16区には土坑を含め，やや遺構が集中する傾向がある。

1号集石（第235図）

D-17区で検出した。安山岩と砂岩を使用し，10～15cmの大型の礫が多い。礫は約60cmの馬形状に密集し，一部の礫には黒いスス状の付着物がみられ，また，被熱により赤化し，熱破砕した小礫もみられる。

掘り込みラインは確認していないが，礫の底面配置観察からは二次状の掘り込み遺構を有した可能性が高い。また，可食部がやや窪み礫が整然と配置されることから，集石炉の可能性も問える。
（集石Ⅰ類）

2号集石（第235図）

F-15区で検出した。安山岩さ色の礫を使用し，一部花崗岩らしき礫も混じる。10cm以下の小型の礫が多く，礫は約60cmの円形状に集中し，中心部に被熱により赤化し，熱破砕した小礫がみられる。

掘り込みラインは確認できないが，礫集中度合いや礫の底面配置や断面観察から掘り込みを有した可能性は高い。
（集石Ⅰ類）

3号集石（第235図）

F-10区で検出した。砂岩さ色の礫を使用し，若干安山岩が混じる。10cm前後の中型の礫と大型の礫が多い。中心部の礫は被熱により赤化がみられる。

長径65cm，短径62cmのほぼ円形で，礫上面からの深さ20cmの掘り込みが確認された。礫は数段に重なり合い，非常に良好な残存状況を示す。
（集石Ⅰ類）

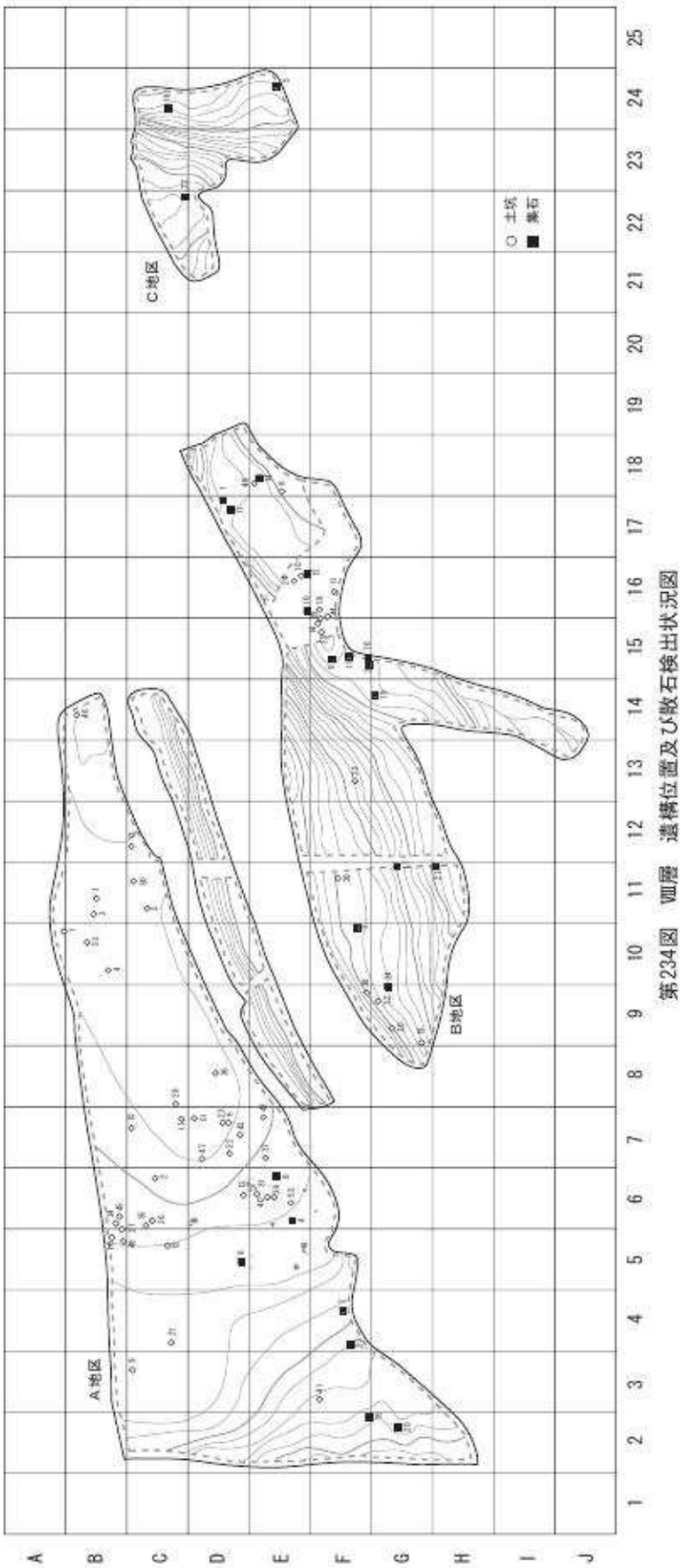
4号集石（第235図）

E-6区で検出した。安山岩さ色の礫を使用し，一部砂岩も混じる。小型の角礫が多く，わずかに被熱による赤化した礫がみられ，中心部には小礫が集中する。

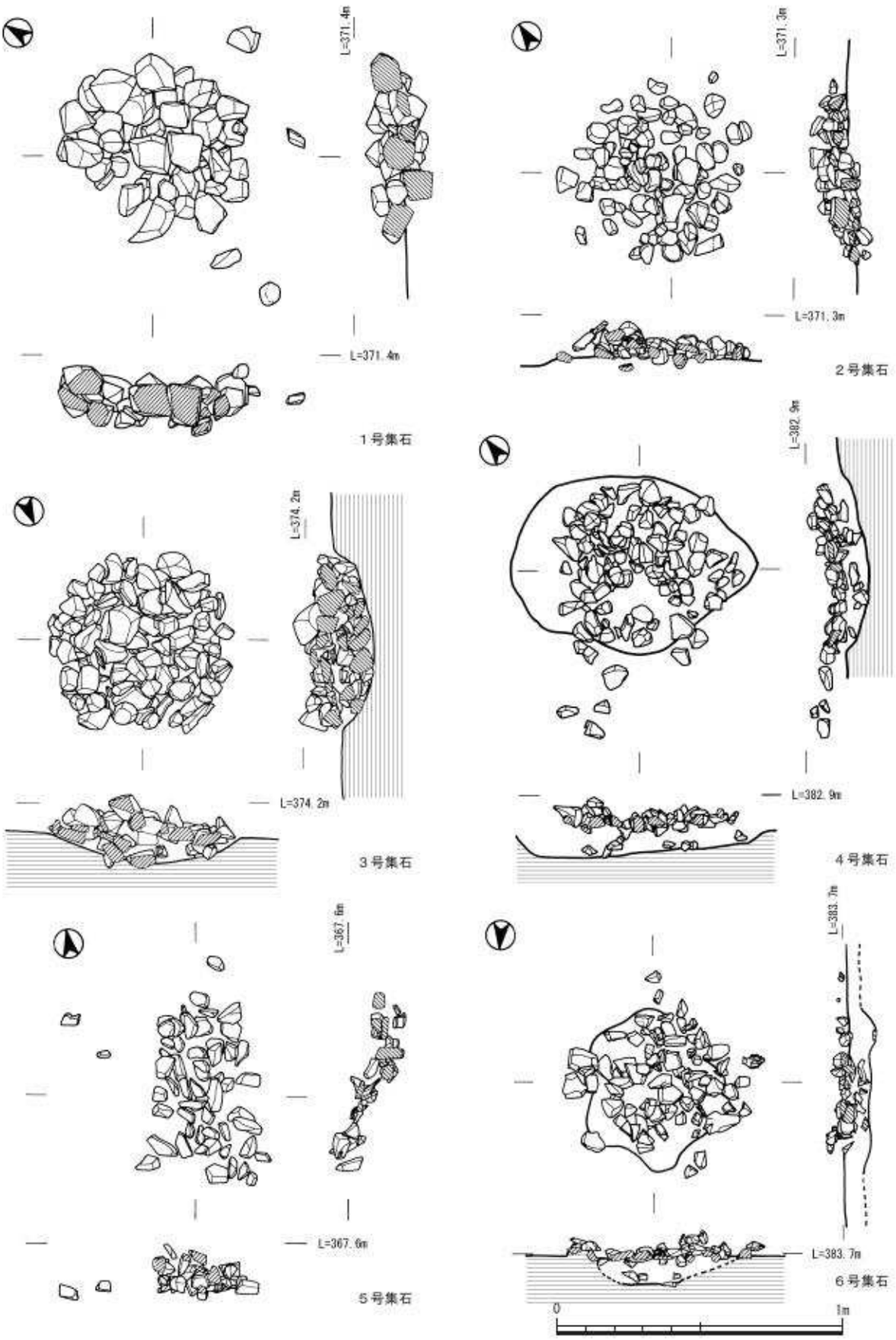
二次は，長径87cm，短径63cmの楕円形で，Ⅸ層中に黒褐色土を埋土とする。礫上面からの深さ15cmで二次の床面を確認し，礫のほとんどは二次を被覆するような状態で床面より上位で検出し，底面付近には数点の礫が確認された。
（集石Ⅰ類）

5号集石（第235図）

E-24区で検出した。安山岩さ色の礫を使用し，中型から大型の礫が多い。被熱により黒変した礫がみられる。　礫集中部の南側にみられる礫は，やや盛り上がりをみせ，雑多に積み上げたような状況であった。北側の礫集中部は断面観察で中心部が窪むことから，明確なラインは確認できていないが掘り込みを



第234図　Ⅷ層　遺構位置及び散石検出状況図


L=371.4m
L=371.4m
1号集石
L=371.3m
L=371.3m
2号集石
L=374.2m
L=374.2m
3号集石
L=382.9m
L=382.9m
4号集石
L=367.6m
L=367.6m
5号集石
L=383.7m
L=383.7m
6号集石
0
1m

第235図　Ⅷ層集石（1）

伴った可能性が高い。
(集石Ⅰ類)

6号集石（第235図）

D-5区で検出した。安山岩主体の礫を使用し，一部砂岩，頁岩が混じる。小型の礫が多く，一部には被熱によるホイルがみられる。

Ⅸ層中に黒褐色土を混土とする，長径57cm，短径47cm，礫上面からの深さ13cmの掘り込みを確認した。礫は掘り込みを被覆する状態で検出され，掘り込み内には数点の小礫がみられるのみである。
(集石Ⅰ類)

7号集石（第236図）

F-4区で検出した。安山岩が使用され，小型の礫が多い。一部の礫は被熱によりホイルがみられる。

20数点の礫が集中するが，掘り込み等を伴った痕跡はみられない。
(集石Ⅱ類)

8号集石（第236図）

E-6区で検出した。安山岩が使用され，中型から小型の礫が多い。礫は被熱によりホイルしている。礫がコンパクトにまとまる。

40cm×30cmの範囲に礫が集中し，ほぼ水平に接触することから掘り込み等は無いと判断される。
(集石Ⅱ類)

9号集石（第236図）

F-15区で検出した。堆積岩系の礫と安山岩を使用し，わずかに砂岩が混じる。礫は被熱によりホイルし，一部は熱破砕している。

70cm×60cmの範囲に散在する。
(集石Ⅲ類)

10号集石（第236図）

E-16区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，中型から大型の礫が多い。被熱の状況はほとんどうかがえない。

15cmを越す礫が集まるが，接触は水平とみられる。
(集石Ⅱ類)

11号集石（第236図）

D-17区で検出した。安山岩を使用し，砂岩がわずかに混じる。中型から小型の礫が多い。礫は被熱によりホイル，黒変するものがみられる。砂岩製の磨石（第270図）が共伴する。

検出では，礫の接触は水平と判断した。
(集石Ⅲ類)

12号集石（第236図）

E-16区で検出した。砂岩，安山岩を使用し，大型の礫と小型の礫が多い。中心部の礫は被熱によりホイルがみられ，一部熱破砕した礫もみられる。

50cm×70cmの範囲に集中する。
(集石Ⅱ類)

13号集石（第237図）

F-15区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，大型から中型の礫が多い。礫の平数程度は被熱によりホイルし，一部は熱破砕している。

中央部がわずかに窪む東側の礫集中部は，断面から掘り込みを有した可能性がうかがえる。東側にみられる礫はわずかに集中部より高く，傾斜に沿って流れたような状況を呈している。
(集石Ⅰ類)

14号集石（第237図）

E-18区で検出した。安山岩を使用し，わずかに砂岩が混じる。中型の摩滅した角礫が多い。被熱の様子はあまりうかがえない。調査時の標高計算に誤りがあり実際のデータは下明である。

150cm×150cmの範囲に散在する。
(集石Ⅲ類)

15号集石（第238図）

F-2区で検出した。安山岩を使用し，中型から小型の礫が多い。礫集中部の礫に被熱によりホイルしているものがみられる。

集石と，それを取り巻く散在礫で構成する。15号集石(50cm×50cm)は中央付近が窪み，断面観察等から掘り込みを有した可能性が高い。集石周辺の礫は，水平状に散在する。
(集石Ⅳ類)

16号集石（第239図）

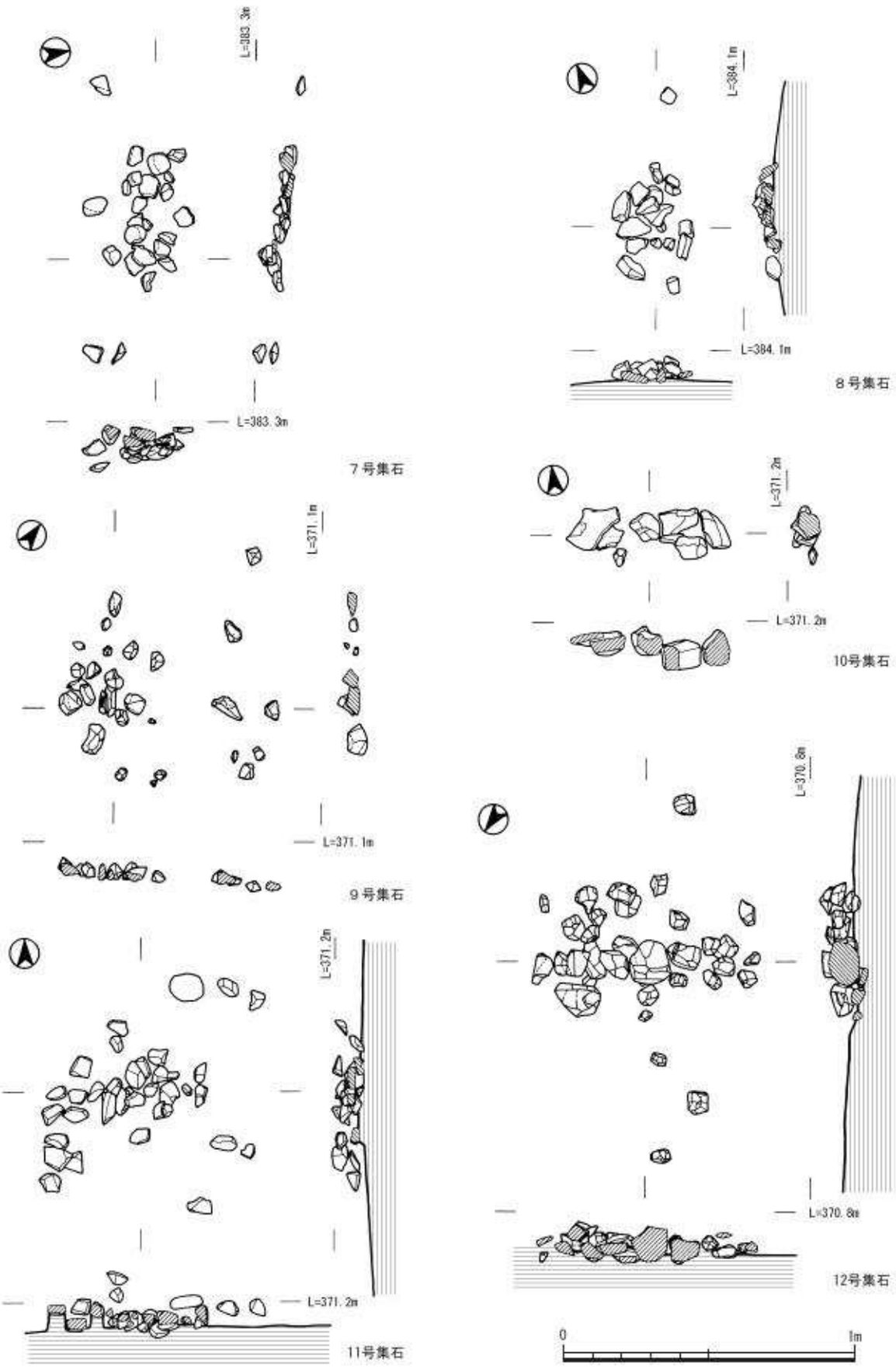
F-15区で検出した。安山岩を使用し，中型から大型の礫が多い。中心付近の礫は被熱によりホイルしている。

平面図と断面注記に掘り込みの記載があるが，断面図に反映されず礫との関係が下明である。礫分布も上下2枚に分かれるように見える部分があり，2基の礫群が重なり合っている可能性も考えられる。今回は1基と判断した。
(集石Ⅱ類？)

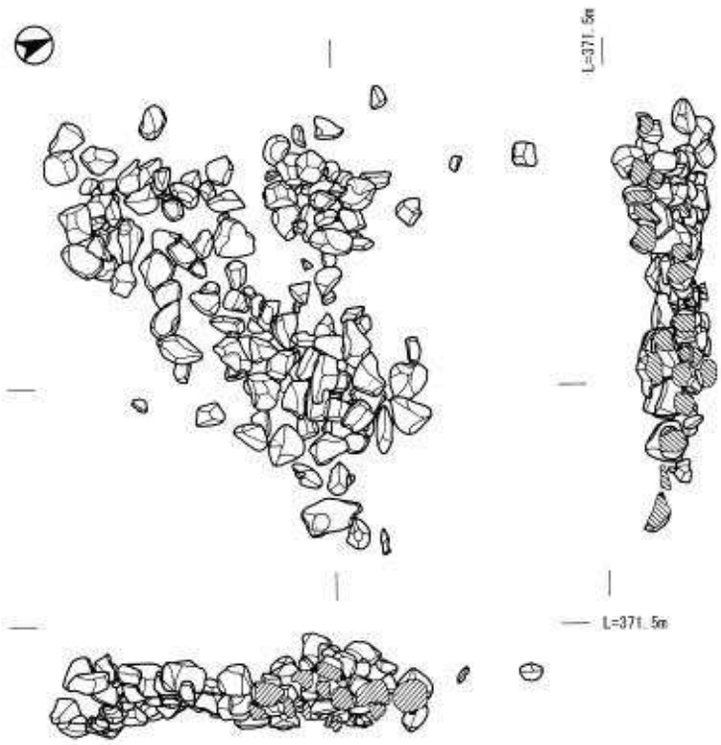
17号集石（第239図）

G-11区で検出した。安山岩を使用し，中型から大型の角礫が多い。礫は被熱によりホイルしていて，中心部には炭化物粒も認められる。

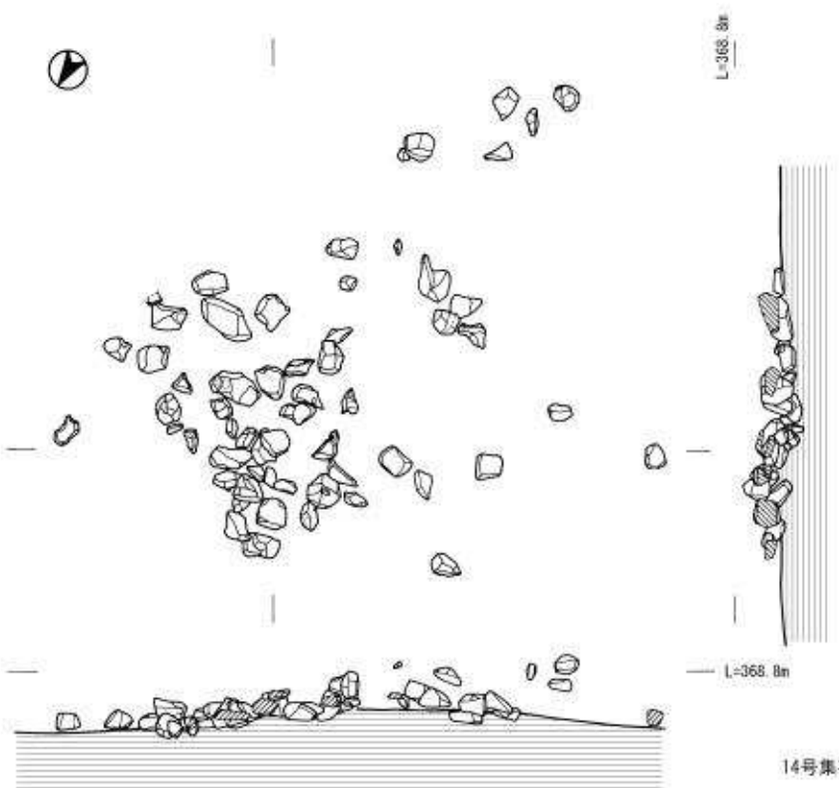
集石部(60cm×70cm)と周辺部から成り，集石部はロ形


L=383.3m
L=383.3m
7号集石
L=384.1m
L=384.1m
8号集石
L=371.1m
L=371.1m
9号集石
L=371.2m
L=371.2m
10号集石
L=371.2m
L=371.2m
11号集石
L=370.8m
L=370.8m
12号集石
0
1m

第236図　Ⅷ層集石（2）

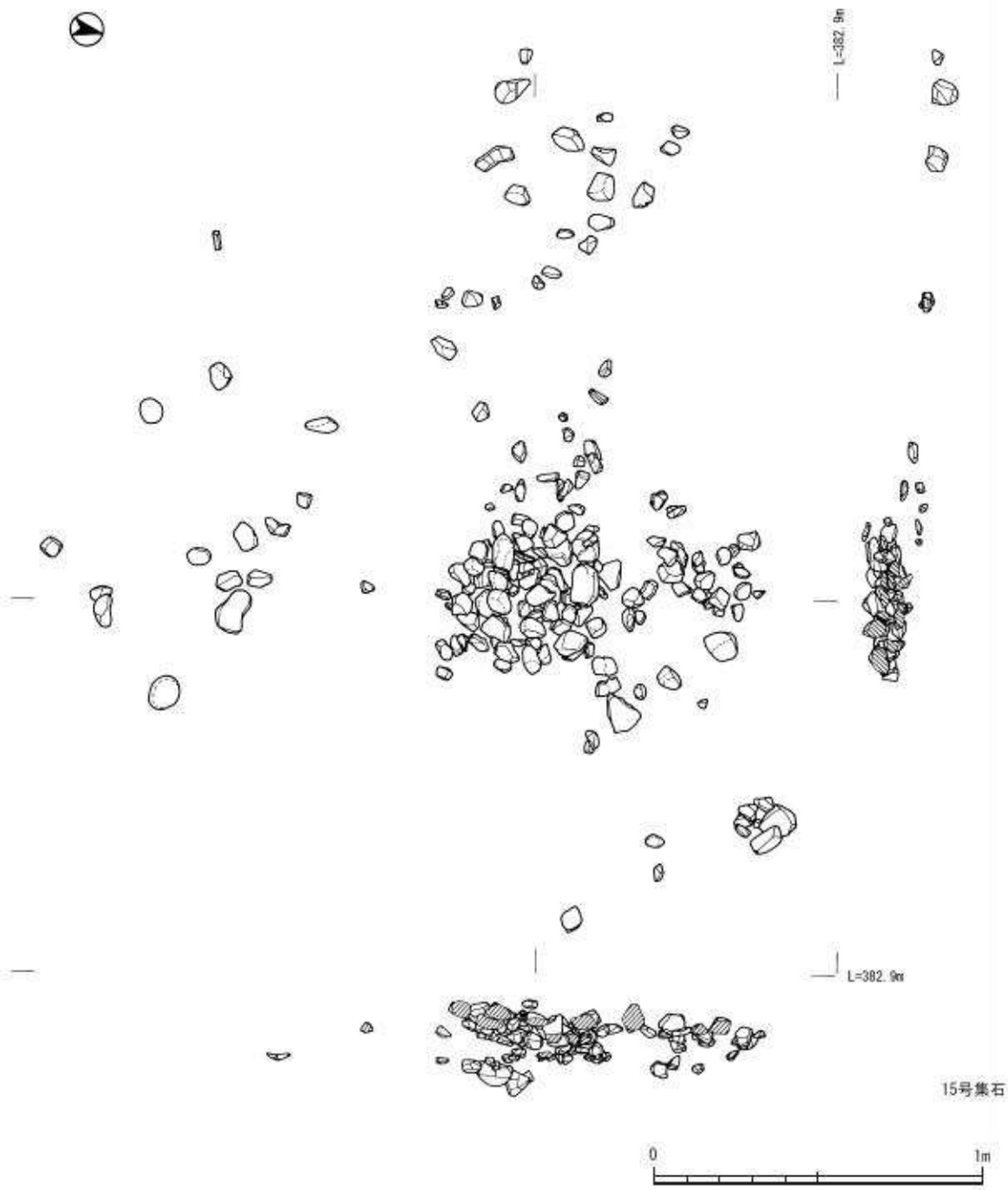


13号集石



14号集石

第237図　Ⅷ層集石（3）



第238図　Ⅷ層集石（4）

状の配置が見られ，南北方向の接地状況からは掘り込みの可能性を示している。集石部からはみ出した南側の礫は水平に接地する。

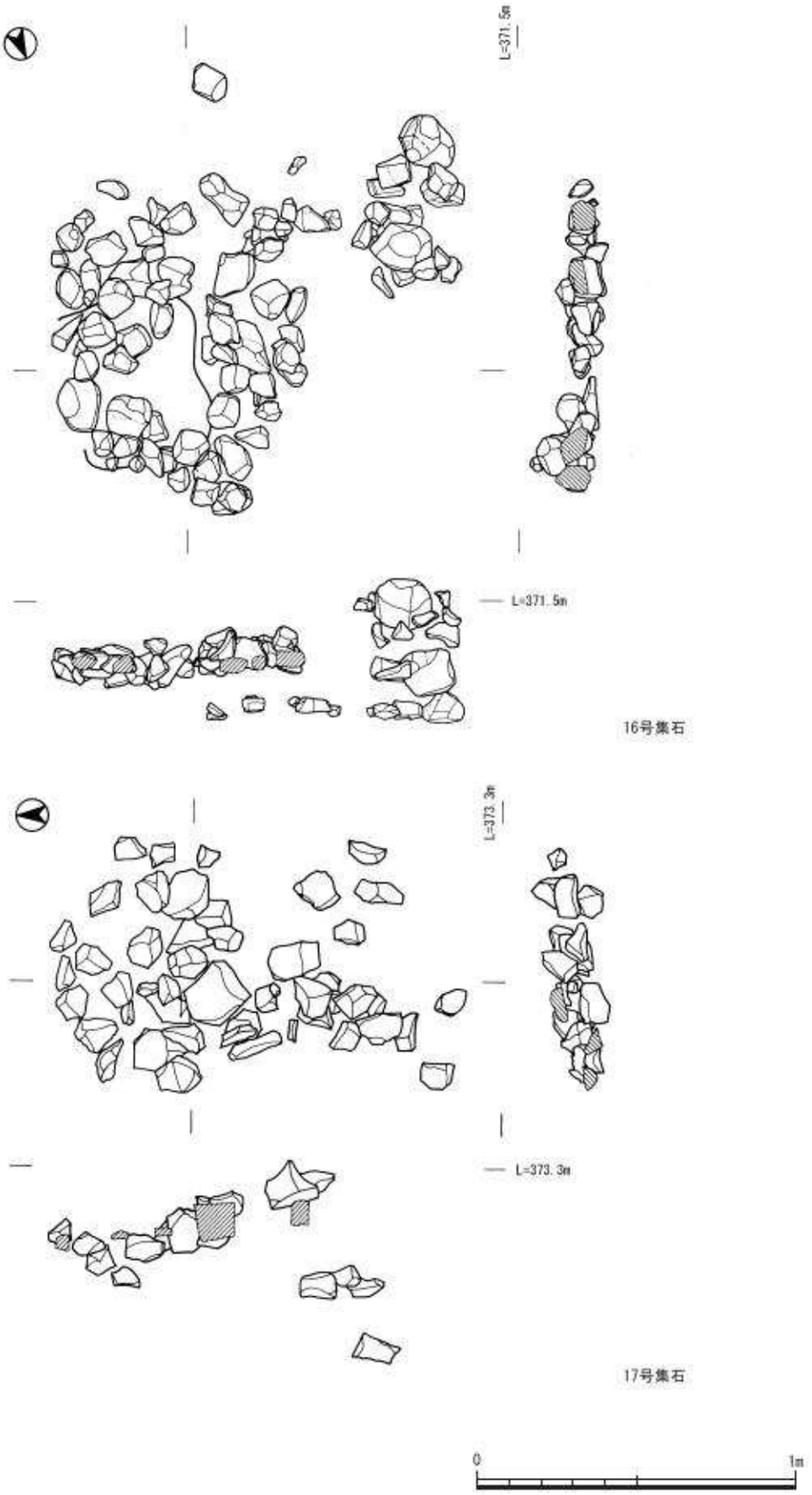
（集石Ⅳ類）

18号集石（第240図）

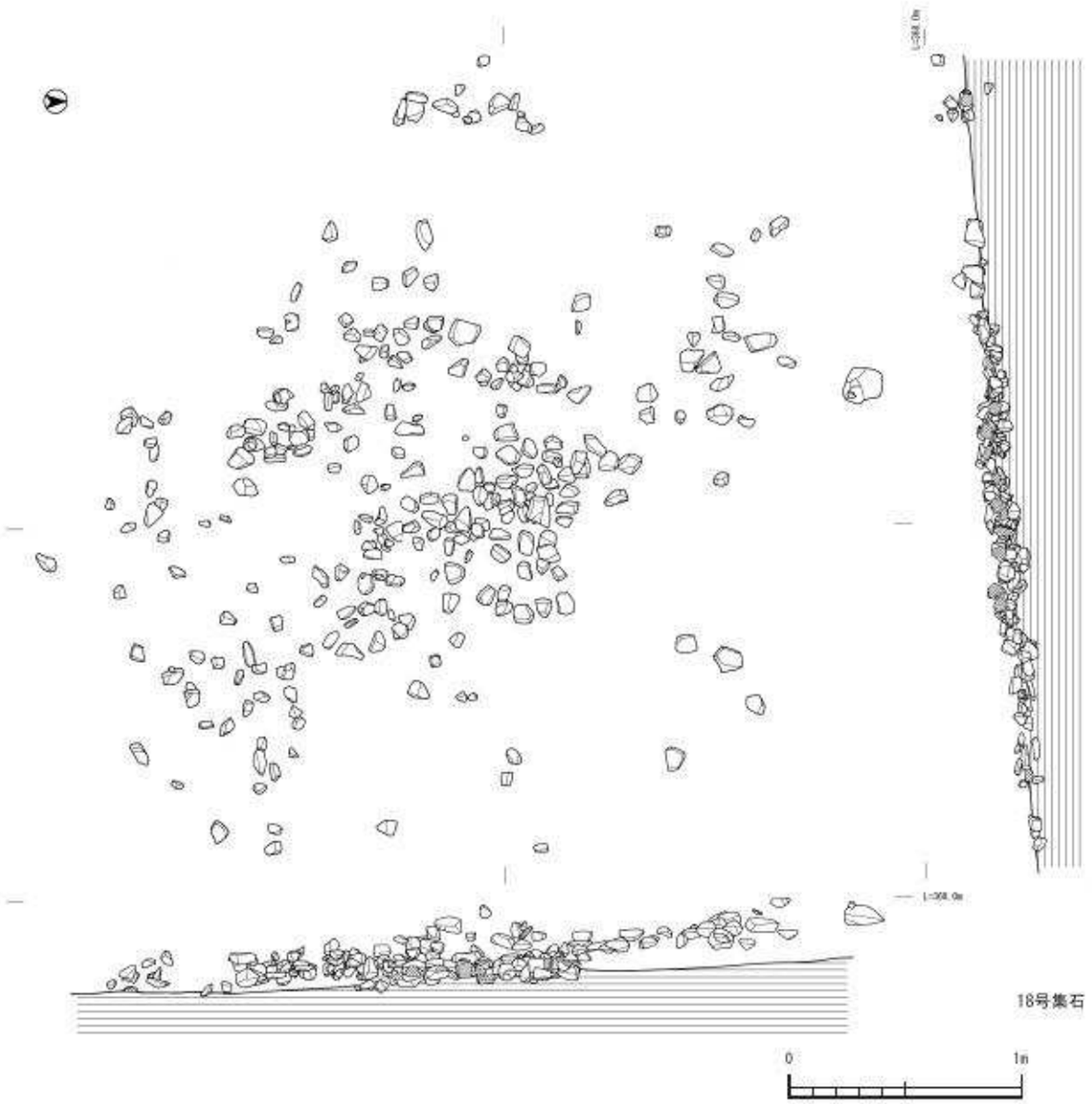
C-24区で検出した。安山岩を使用し，中型から大型の角礫が多い。一部の礫には板熱による赤化，黒変がみられる。

300cm×300cmの広範囲に，南東方向に緩やかに傾斜しながら礫が散在する。中央部付近では，集中する傾向も見られるが不薄である。

（集石Ⅲ類）



第239図　Ⅷ層集石（5）



第240図　Ⅷ層集石（6）

19号集石（第241図）

G-14区で検出した。安山岩を使用し，若干砂岩が混じる。小型から中型の礫が多い。集石部の礫は被熱により赤化しているものが多い。周辺に若干炭化物粒がみられる。

Ⅸ層上面で長径85cm，短径80cm，礫上面からの深さ25cmの掘り込みが確認された。掘り込みはX層まで達している。掘り込み内には礫が集中し，集石を構成する。この集石部と，集石外の南から東にかけて散在する礫で構成する。

（集石Ⅳ類）

20号集石（第242図）

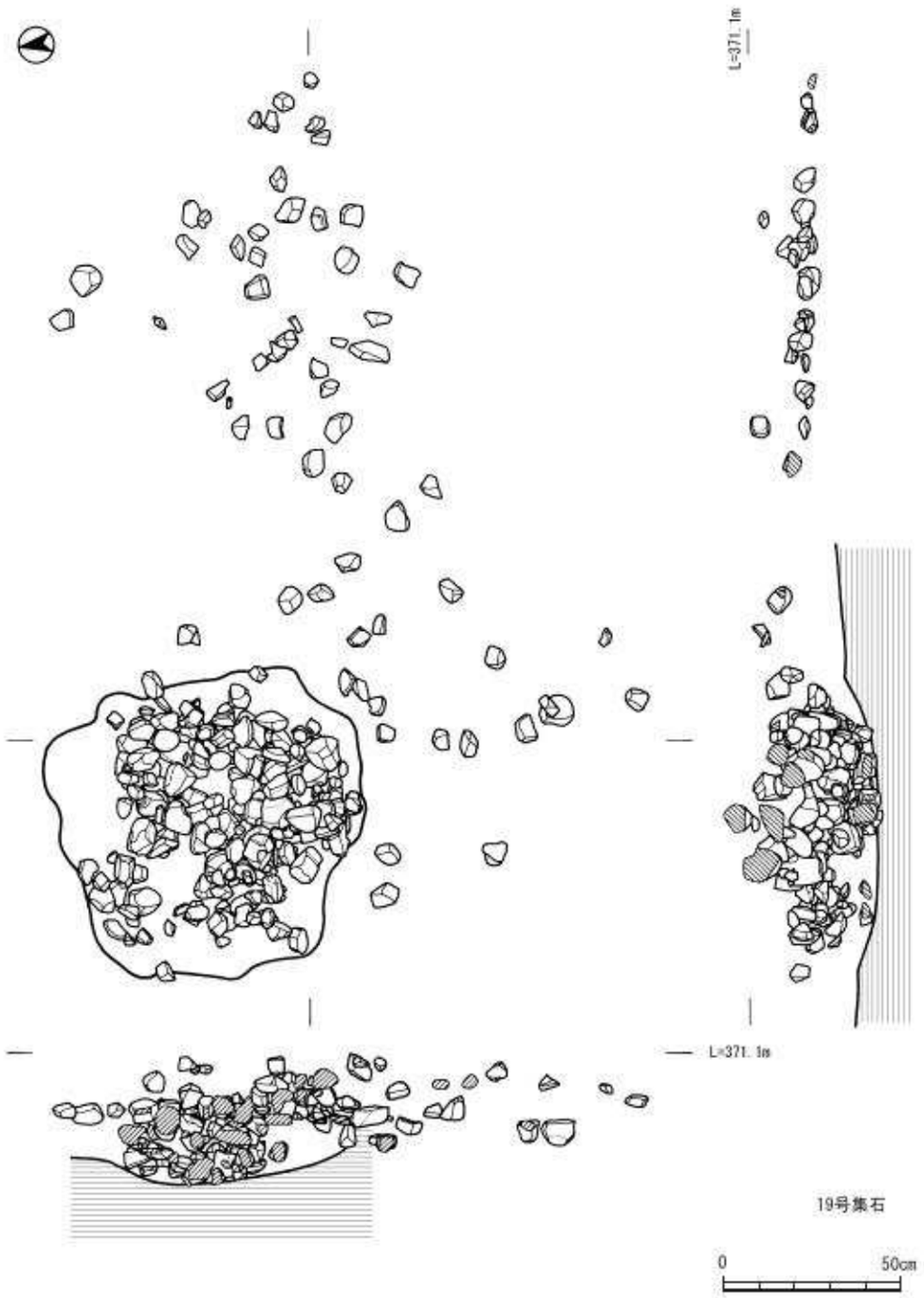
G-2区で検出した。安山岩の小型礫を使用する。礫は被熱により赤化し，熱破砕した礫も多い。礫周辺には焼土と若干の炭化物粒が確認された。

1基の集石として取り扱ったが，元来2基で，2基とも掘り込みを伴う集石の可能性が高い。特に，南側の集石は掘り込み内に整然と収まる。

（集石Ⅰ類）

21号集石（第242図）

H-11区で検出した。砂岩，安山岩を使用する。礫は被



第241図　Ⅷ層集石（7）

熱によるホイ、黒変がみられ、一部は熱破砕している。
（集石Ⅲ類）

22号集石（第243図）

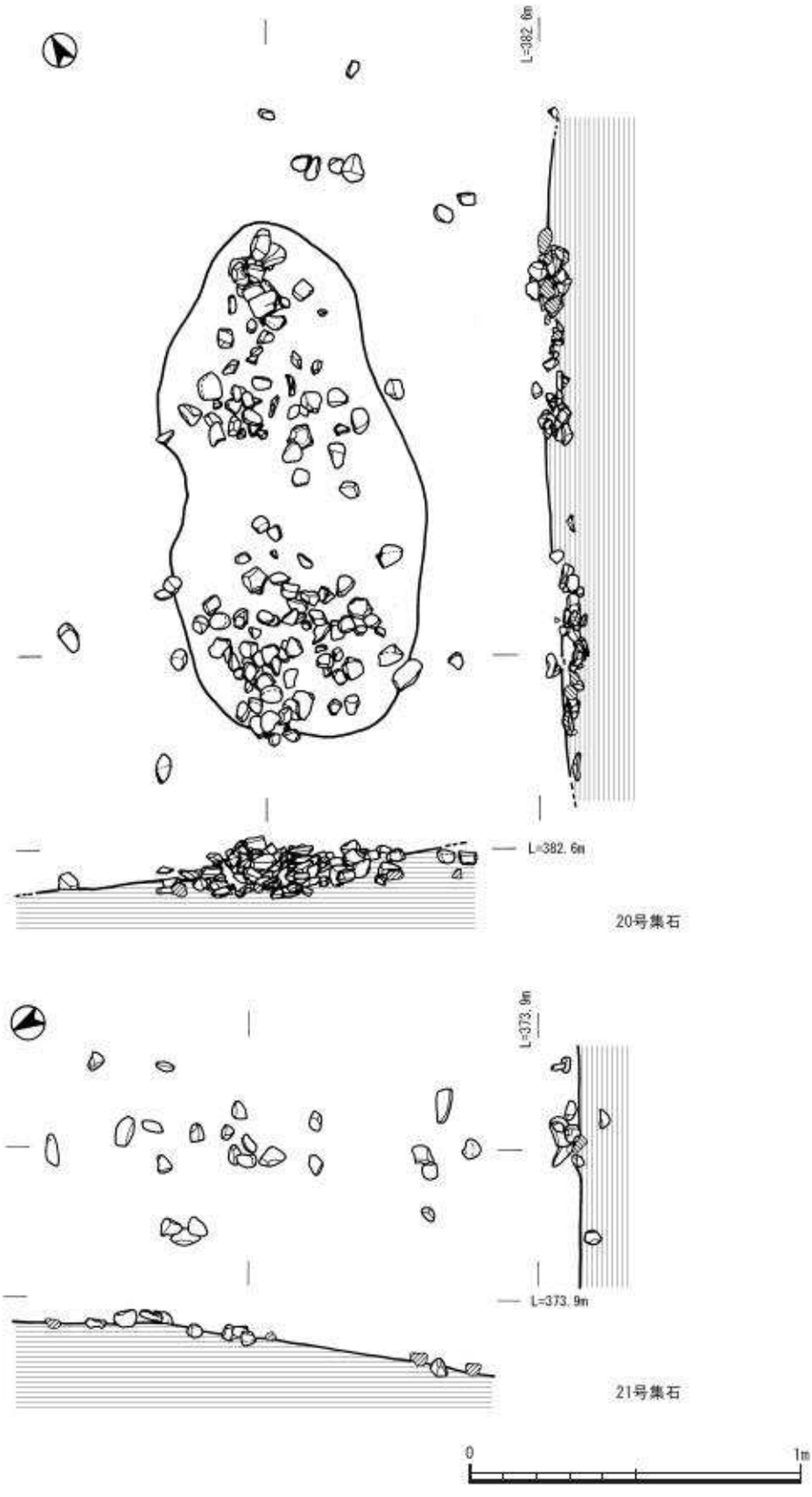
C-22区で検出した。安山岩を使用し、若干砂岩が混じる。中型の礫が多い。一部の礫は板熱によりホイしている。
（集石Ⅲ類）

23号集石（第243図）

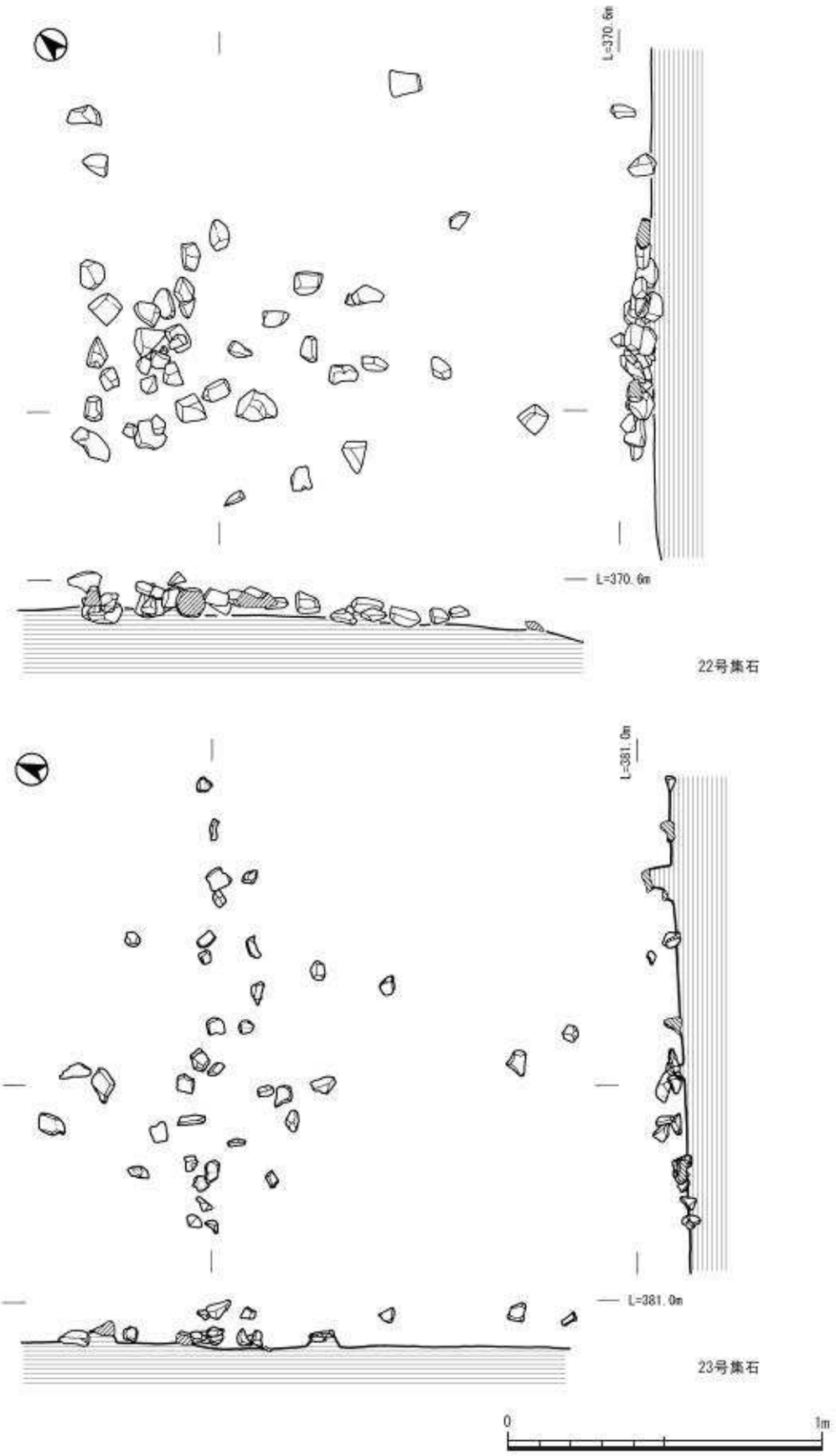
F-4区で検出する。小型の礫を使用し、一部は板熱によりホイしている。
（集石Ⅲ類）

24号集石（第244図）

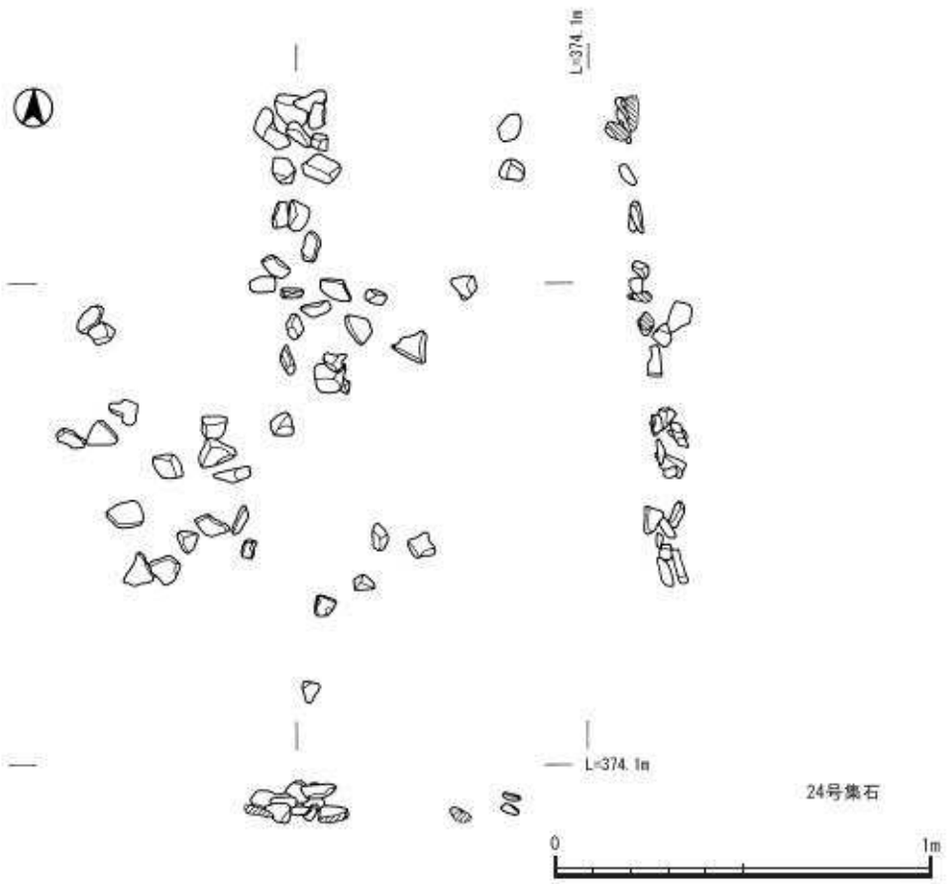
G-9区で検出した。砂岩、安山岩を使用する。礫は板熱によりホイし、一部は熱破砕している。
（集石Ⅲ類）



第242図　Ⅷ層集石（8）



第243図　Ⅷ層集石（9）



第244図　Ⅷ層集石（10）

土坑

Ⅷ層では54基の土坑を検出した。土坑の分布はA地区，B地区に見られ，A地区においては東よりに偏在する。B地区においては散在するが，F-15，16区に集中する傾向が見られる。

1号土坑（第245図）

B-11区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸88cm，短軸82cm，深さは検出面から33cmである。底面はほぼ平坦である。
（土坑Ⅰ類）

2号土坑（第245図）

C-6区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸113cm，短軸93cm，深さは検出面から26cmである。底面はほぼ平坦で，掘り込み東西壁のうち上がりが緩やかなのは崩落したためと考えられる。
（土坑Ⅰ類）

3号土坑（第246図）

B-11区，Ⅸ層上面で検出した。平面プラン楕円形で長軸73cm，短軸53cm，深さは検出面から44cmである。底面はほぼ平坦で，掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。
（土坑Ⅰ類）

4号土坑（第246図）

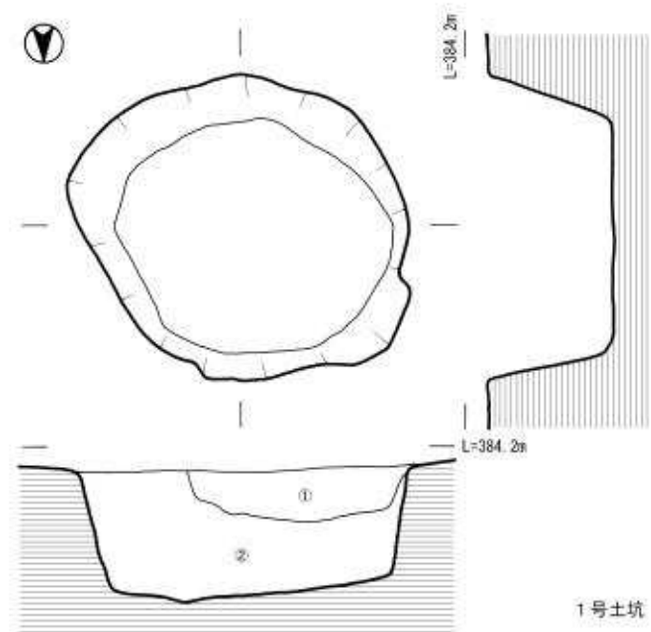
B-10区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸108cm，短軸66cm，深さは検出面から20cmである。底面は平坦で掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。
（土坑Ⅰ類）

5号土坑（第246図）

C-11区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸110cm，短軸69cm，深さは検出面から22cmである。底面は平坦で掘り込み壁東西のうち上がりは緩やかである。
（土坑Ⅰ類）

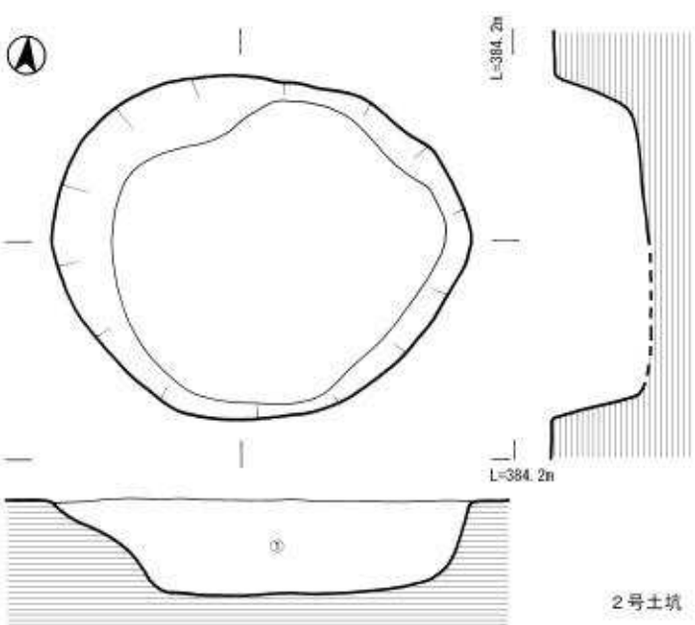
6号土坑（第247図）

D-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸109cm，短軸62cm，深さは検出面から16cmである。底面は平坦で掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。
（土坑Ⅰ類）



1号土坑

①	暗茶褐色土。10mm ほどの黄橙色パミスが混じる。
②	黒褐色土。5mm ほどの黄橙色パミスが混じる。

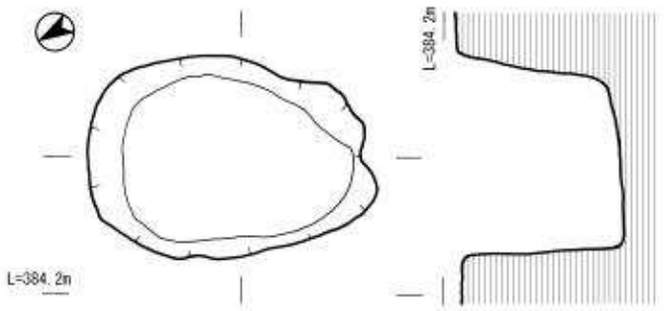


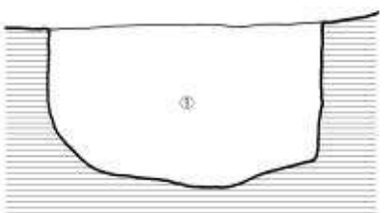
2号土坑

0 50cm

①	黒褐色土。2～5mm の橙色パミスが点在する。

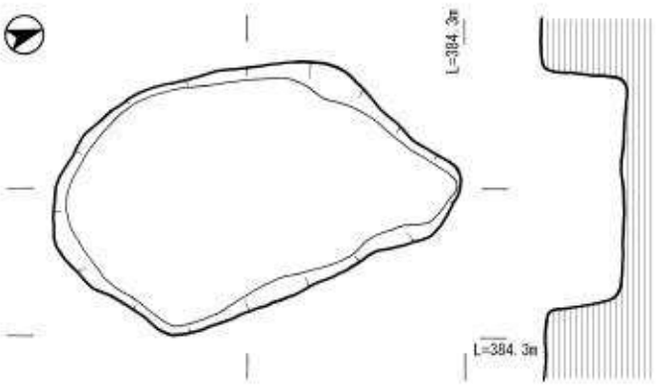
第245図　Ⅷ層土坑（1）

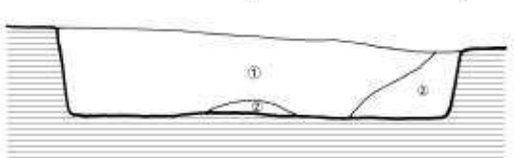




3号土坑

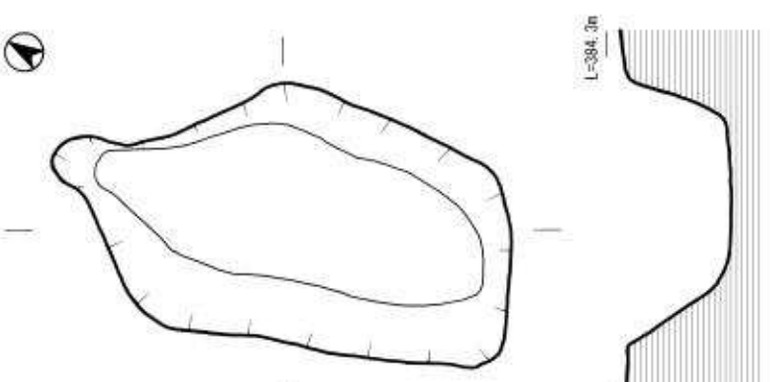
①	黒褐色土。2～3mmの黄橙色パミスが土部に多く、下部に少量混じる。





4号土坑

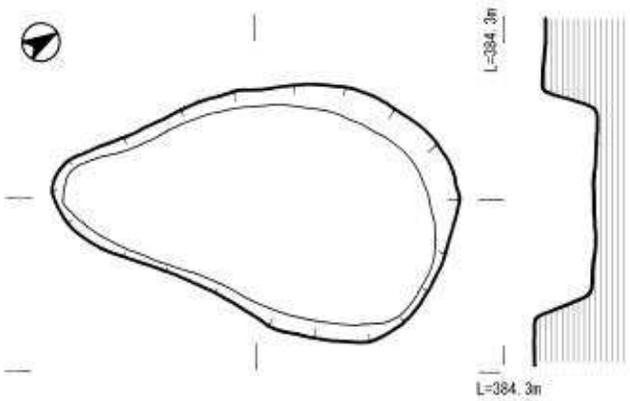
①	黒褐色土。黄色パミスが少量混じる。
②	暗茶褐色土。パミスが混じる。



5号土坑

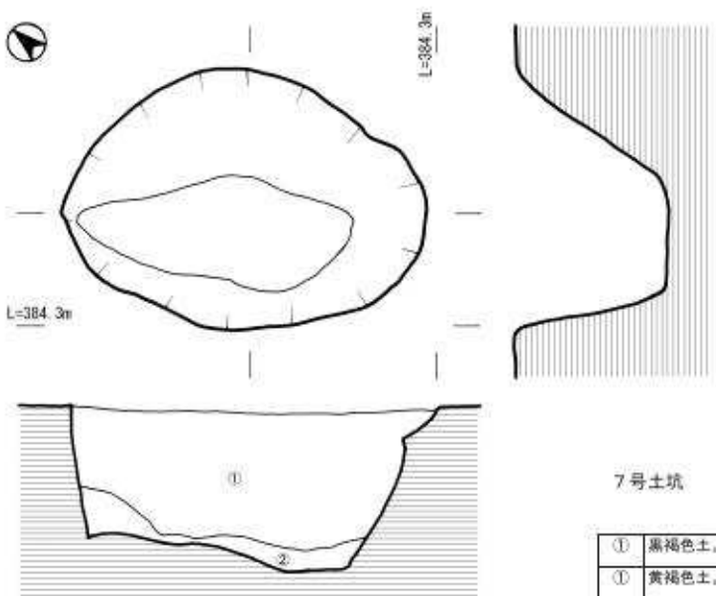
①	黒褐色土。2～5mmの黄白色パミスが少量混じる。

第246図　Ⅷ層土坑（2）



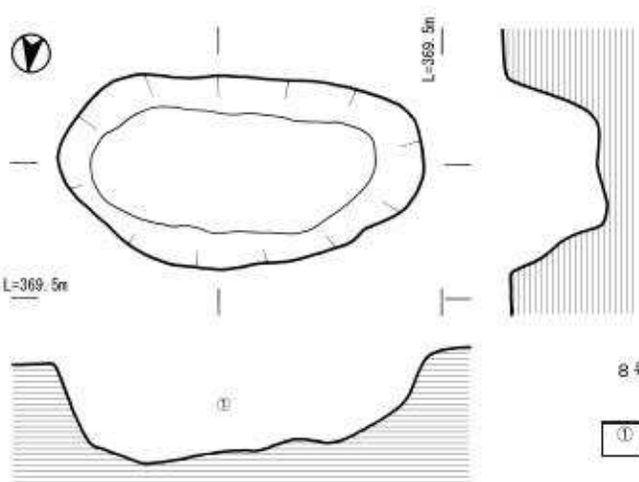
6号土坑

①	黒褐色土。3cmほどのサツマブロックが混じり、2mmほどの黄色パミスも点在する。



7号土坑

①	黒褐色土。黄色パミスが混じる。
①	黄褐色土。腐植による泥質化が進んだものと思われる。



8号土坑

①	黒色土。5～20mmのサツマパミスが点在する。

第247図　Ⅷ層土坑（3）

7号ピット（第247図）

A-10区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸97cm，短軸69cm，深さは検出面から39cmである。底面はやや傾斜をもっている。

（ピット1類）

8号ピット（第247図）

E-18区，ⅩⅢ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸97cm，短軸52cm，深さは検出面から25cmである。底面には凹凸がみられる。

（ピット1類）

9号ピット（第248図）

C-3区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸109cm，短軸42cm，深さは検出面から38cmである。底面北側にはわずかな窪みがみられ，掘り込み壁はほぼ垂直に立ち上がる。

（ピット1類）

10号ピット（第248図）

E-16区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸164cm，短軸123cm，深さは検出面から21cmで，やや大型のピットである。底面はほぼ平坦である。

（ピット1類）

11号ピット（第249図）

F-16区，ⅩⅠ層で検出した。平面プランはほぼ円形と思われるが一部に突出する部分が見られる。長軸156cm，短軸125cm，深さは検出面から23cmである。底面はほぼ平坦で，埋土中から礫1点と黒曜石チップが6点出土した。

（ピット1類）

12号ピット（第249図）

C-5区，Ⅸ層で検出した。平面プランは不定形で，長軸108cm，短軸60cm，深さは検出面から33cmである。底面はほぼ平坦で，北側に若干の窪みが見られる。ピット埋土中から黒曜石チップが3点出土した。

（ピット1類）

13号ピット（第250図）

C-12区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは長方形で長軸，180cm，短軸70cm，深さは検出面から27cmである。底面は平坦である。掘り込みが丁寧で，このタイプのピットは13号1基のみである。

（ピット1類）

14号ピット（第250図）

F-15区，ⅩⅠ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸81cm，短軸54cm，深さは検出面から35cmである。底面は東側にやや傾斜し，長軸東端に深さ43cmの小穴がみられる。

（ピット2類）

15号ピット（第251図）

C-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸104cm，短軸59cm，深さは検出面から29cmである。底面は南側にやや傾斜し，長軸南端に深さ75cmの小穴がみられる。

（ピット2類）

16号ピット（第251図）

B-5区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm，短軸69cm，深さは検出面から53cmである。底面は南東側にやや傾斜し，長軸南東端に深さ55cmの小穴がみられる。

（ピット2類）

17号ピット（第252図）

C-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸76cm，短軸53cmを，深さは検出面から20cmである。底面はほぼ平坦で，長軸東端に深さ28cmの小穴がみられる。

（ピット2類）

18号ピット（第252図）

F-16区，ⅩⅠ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸端部が一部突出する。長軸134cm，短軸85cm，深さは検出面から36cmである。底面は南東側にやや傾斜し，長軸南東端に深さ76cmの小穴がみられる。埋土中から石器片10点が出土した。

（ピット2類）

19号ピット（第253図）

G-9区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm，短軸52cm，深さは検出面から35cmである。底面は南側にやや傾斜し，長軸北端に深さ77cmの小穴がみられる。

（ピット2類）

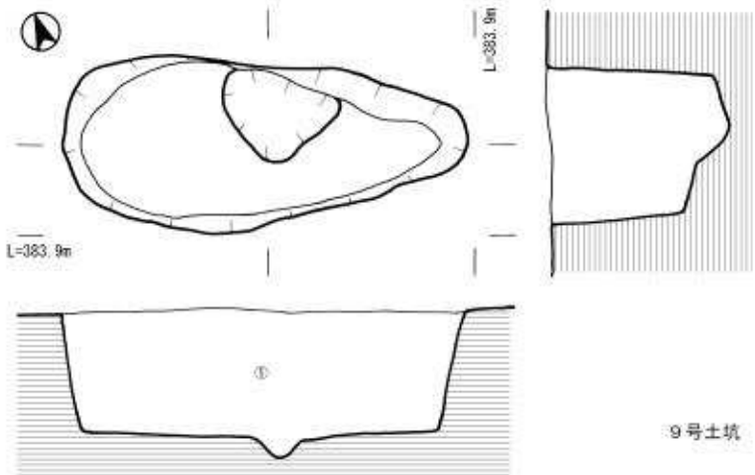
20号ピット（第253図）

F-11区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸87cm，短軸55cm，深さは検出面から34cmである。底面はほぼ平坦で，長軸北端に深さ61cmの小穴がみられる。

（ピット2類）

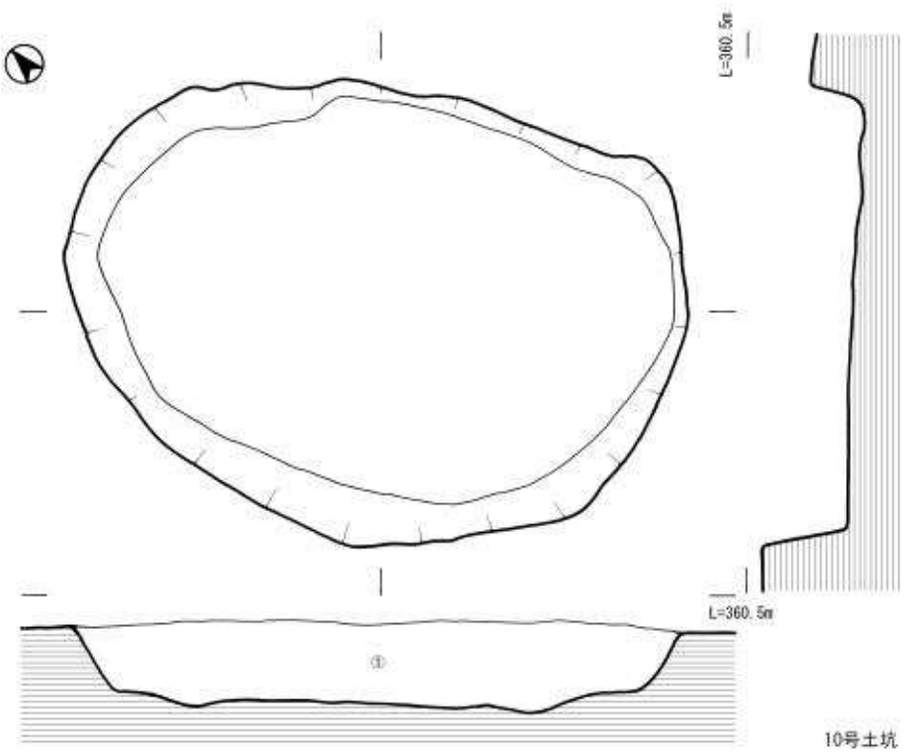
21号ピット（第254図）

C-4区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸88cm，短軸50cm，深さは検出面から30cmである。底面はほぼ平坦で，長軸北端に深さ30cmの小穴がみられ



9号土坑

①	黒褐色土。1～5mmの橙色パミスが混じる。

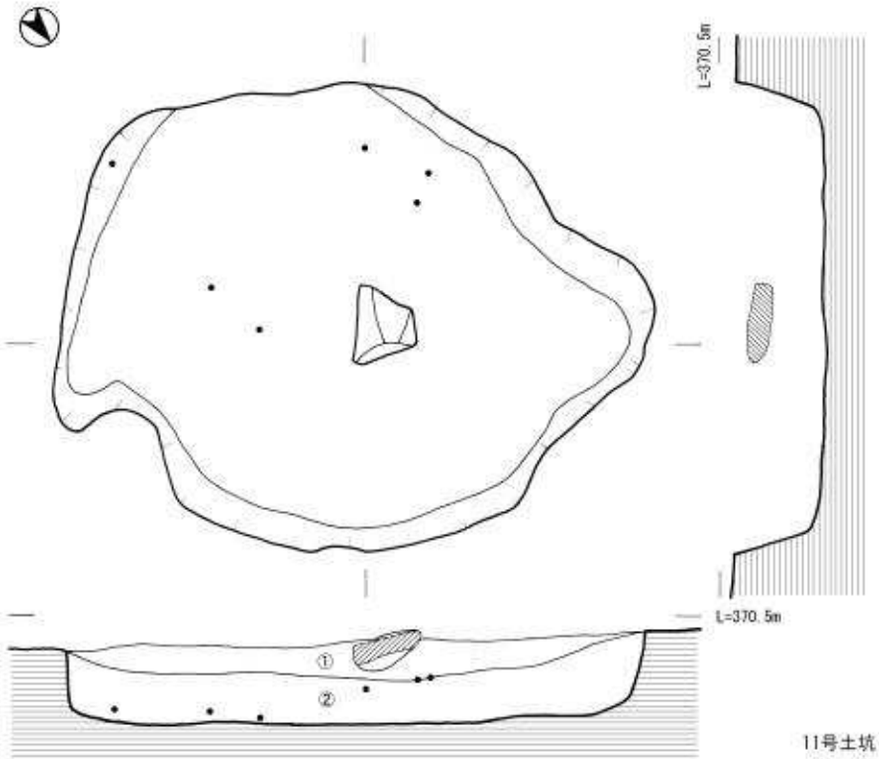


10号土坑

①	黒色土。サツマパミスが混じる。

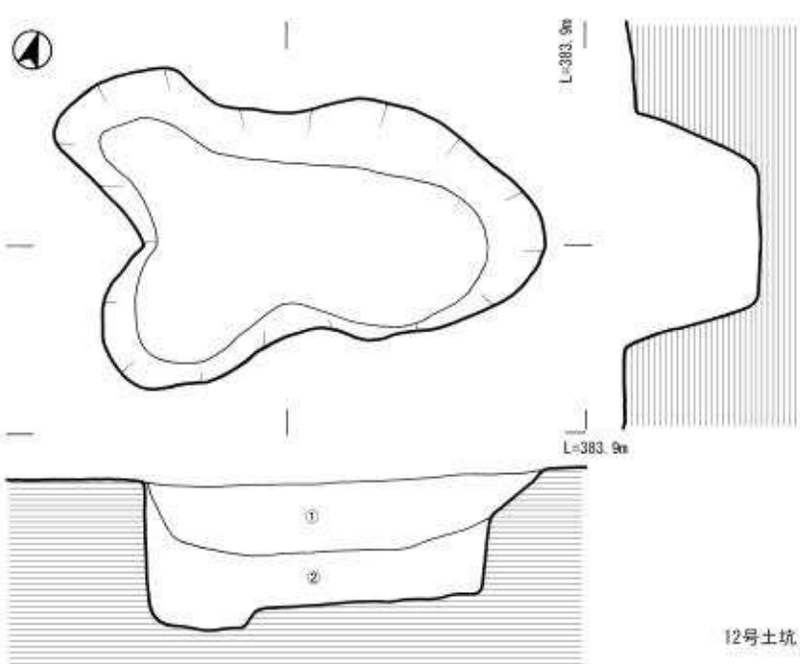
0 50cm

第248図　Ⅷ層土坑（4）



11号土坑

①	黒褐色土。サツマパミスが混じる。
②	黒色土。

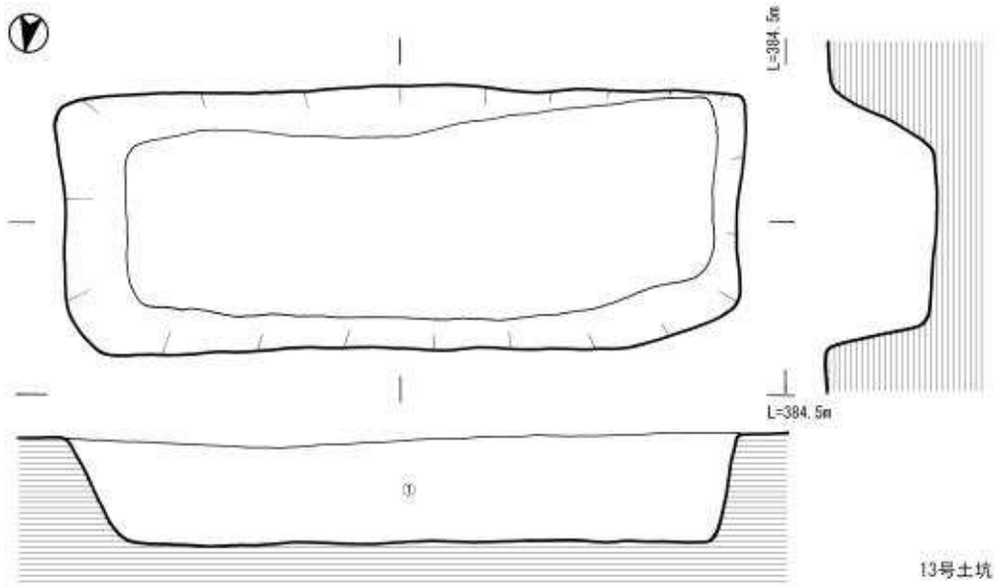


12号土坑

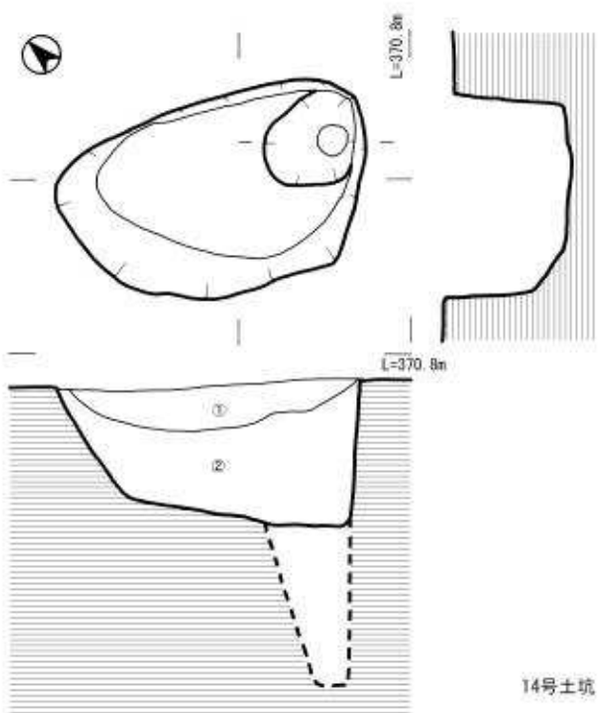
①	灰褐色土。2～30mmの橙色パミスが点在し、5mmほどの炭化物がわずかに混じる。
②	黒褐色土。10～50mmの橙色パミスが混じる。

0 50cm

第249図　Ⅷ層土坑（5）



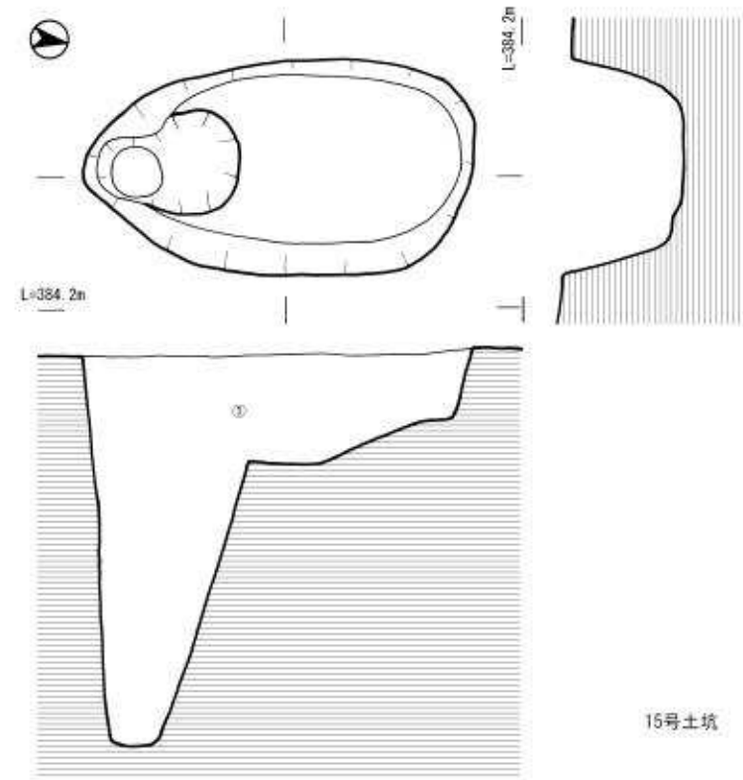
①	黒褐色土。2～3mmの黄白色パミスが混じる。



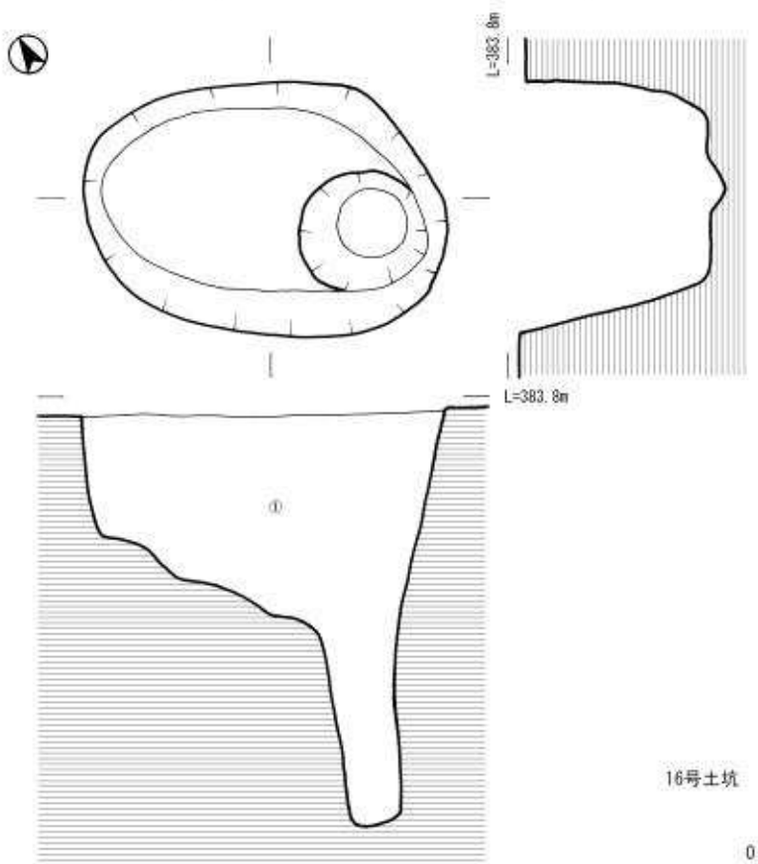
①	黒褐色土。
②	黒色土。

0　50cm

第250図　Ⅷ層土坑（6）

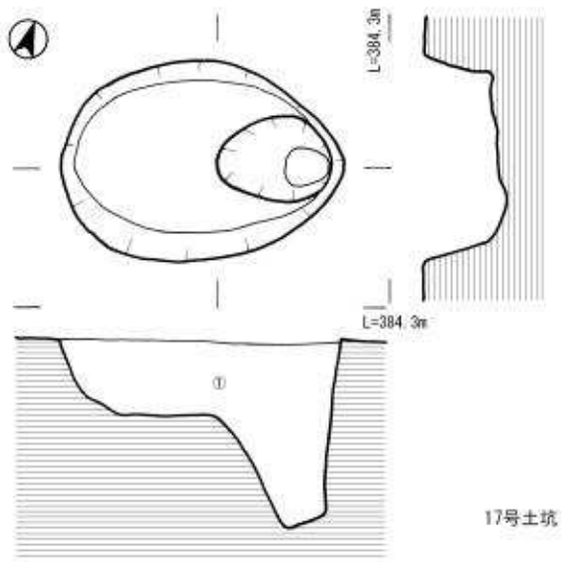


①	黒褐色土。2～3mmの黄色パミスが点在する。

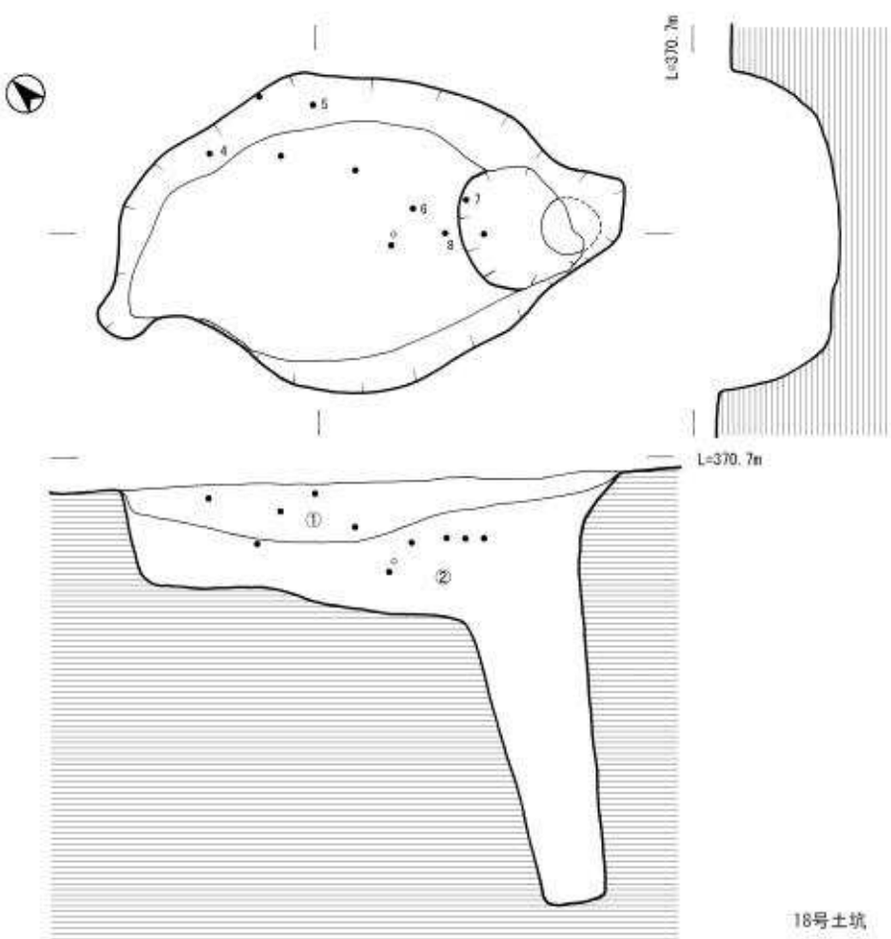


①	黒褐色土。1～3mmの黄色パミスが点在する。

第251図　Ⅷ層土坑（7）



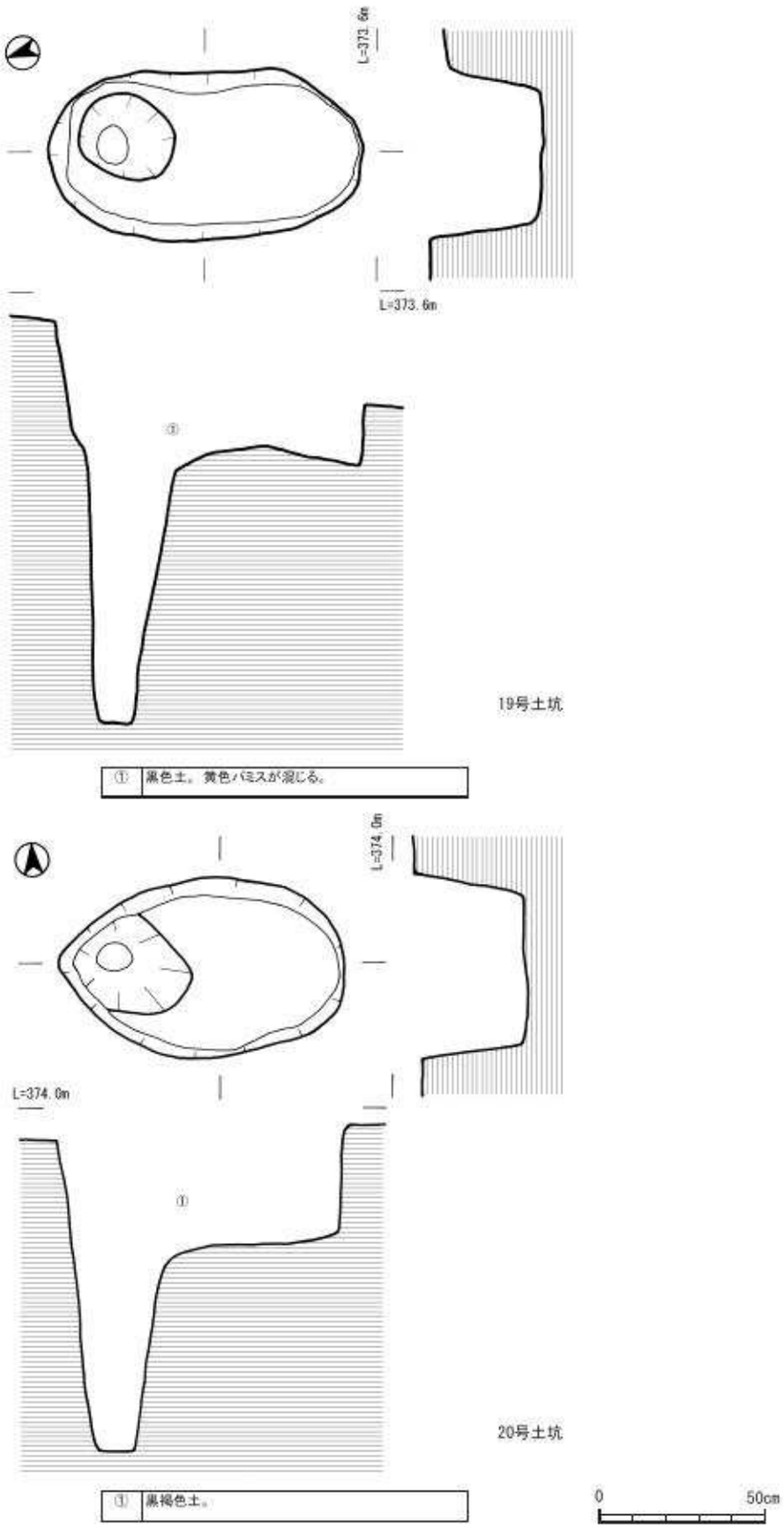
①	黒褐色土。1～3mmの黄色パミスが点在する。



①	黒褐色土。サツマパミスが若干混じる。
②	黒色土。

0　50cm

第252図　Ⅷ層土坑（8）


L=373.6m
L=373.6m
①
19号土坑
① 黒色土。黄色パミスが混じる。
L=374.0m
L=374.0m
①
20号土坑
① 黒褐色土。
0
50cm

第253図　Ⅷ層土坑（9）

る。
(三浦Ⅱ類)

22号三浦（第254号）
D-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸123cm，短軸79cm，深さは検出面から28cmである。底面はほぼ平坦で，長軸西端に平面下定形の小部で段を有する小穴がみられる。小穴の深さは55cmである。
(三浦Ⅱ類)

23号三浦（第255号）
D-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸97cm，短軸64cm，深さは検出面から53cmである。底面はほぼ平坦で，長軸北東端に深さ21cmの小穴がみられる。
(三浦Ⅱ類)

24号三浦（第256号）
E-16区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm，短軸69cm，深さは検出面から26cmである。底面は北西側にやや傾斜し，長軸北西端に深さ64cmの小穴がみられる。埋土中から土器片2点と硬1点が出土した。
(三浦Ⅱ類)

25号三浦（第256号）
F-15区，ⅩⅠ層上面で検出した。検出時点で一部卵平を受けていたため，平面プランは確定できないがおそらく楕円形であると思われる。長軸92cm，短軸下明，深さは検出面から41cmある。底面はほぼ平坦で，長軸北端で深さ69cmの小穴がみられる。埋土中から土器片2点が出土した。
(三浦Ⅱ類)

26号三浦（第256号）
C-6区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸103cm，短軸66cm，深さは検出面から35cmである。底面は南東側にやや傾斜し，長軸南東端に深さ21cmの先細りの小穴がみられる。また中央やや北西よりに小さな落ち込みがみられる。類型に記載するが塊り込み壁に接して小穴が存在することから，ここではⅡ類と判断した。
(三浦Ⅱ類)

27号三浦（第257号）
B-5区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸70cm，短軸37cm，深さは検出面から21cmである。底面は南西側にやや傾斜し，長軸南西端に深さ21cmの小穴がみられる。
(三浦Ⅱ類)

28号三浦（第257号）
C-8区，Ⅸ層上面で検出した。検出時点で一部卵平を受けていたため平面プランは確定できないが，おそらく下定型であると思われる。長軸下明，短軸59cm，深さは検出面から41cmである。底面は南西側にやや傾斜し，南西端に深さ24cmの小穴がみられる。
(三浦Ⅱ類)

29号三浦（第257号）
F-15区，ⅩⅠ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸113cm，短軸47cm，深さは検出面から34cmである。底面はほぼ平坦で，長軸北東端に深さ26cmの小穴がみられる。埋土中から土器小片1点が出土した。
(三浦Ⅱ類)

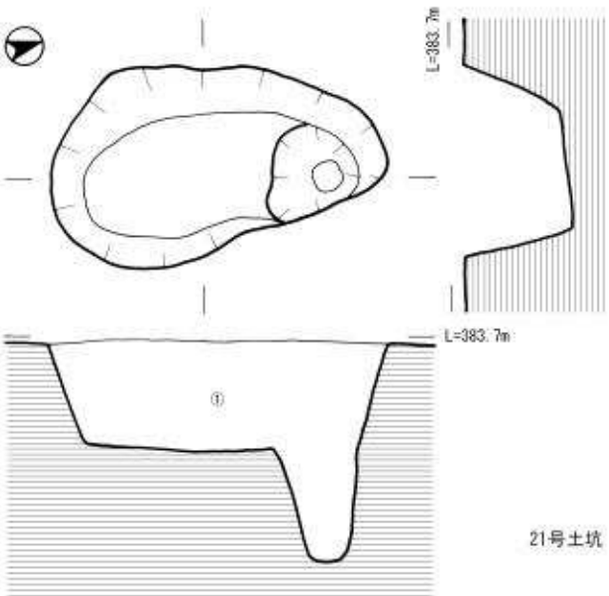
30号三浦（第258号）
G-9区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm，短軸59cm，深さは検出面から45cmである。底面はほぼ平坦で，長軸北西端に深さ55cmの小穴がみられる。小穴は上部径は広いが下部では先細りとなる。
(三浦Ⅱ類)

31号三浦（第258号）
E-6区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸118cm，短軸63cm，深さは検出面から73cmである。底面は南側にやや傾斜し，長軸南端に深さ37cmの小穴がみられる。
(三浦Ⅱ類)

32号三浦（第259号）
G-9区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは下定形で長軸86cm，短軸63cm，深さは検出面から35cmである。底面はほぼ平坦で，北端に深さ25cmの小穴がみられる。
(三浦Ⅱ類)

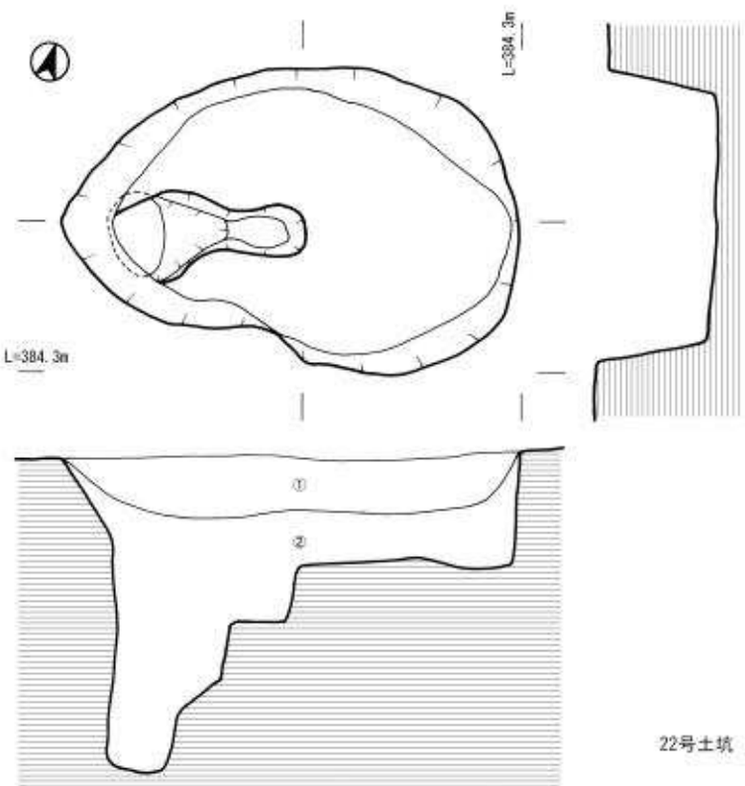
33号三浦（第259号）
F-13区，ⅩⅠ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸119cm，短軸66cm，深さは検出面から83cmである。底面はやや傾斜し，長軸端部に深さ35cmの小穴がみられる。方位記載漏れのため長軸方向等は下明である。
(三浦Ⅱ類)

34号三浦（第260号）
B-6区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm，短軸65cm，深さは検出面から10cmである。底面は南西側にやや傾斜し，長軸南西端に深さ41cmの小穴がみられる。小穴は他と比較して大型である。
(三浦Ⅱ類)



21号土坑

①	黒褐色土。1～3mmの黄色パミスが点在する。

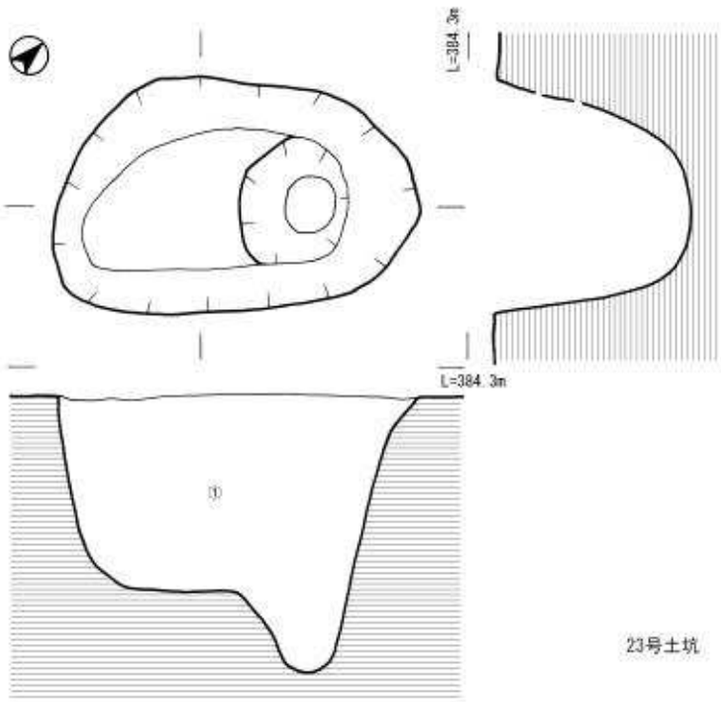


22号土坑

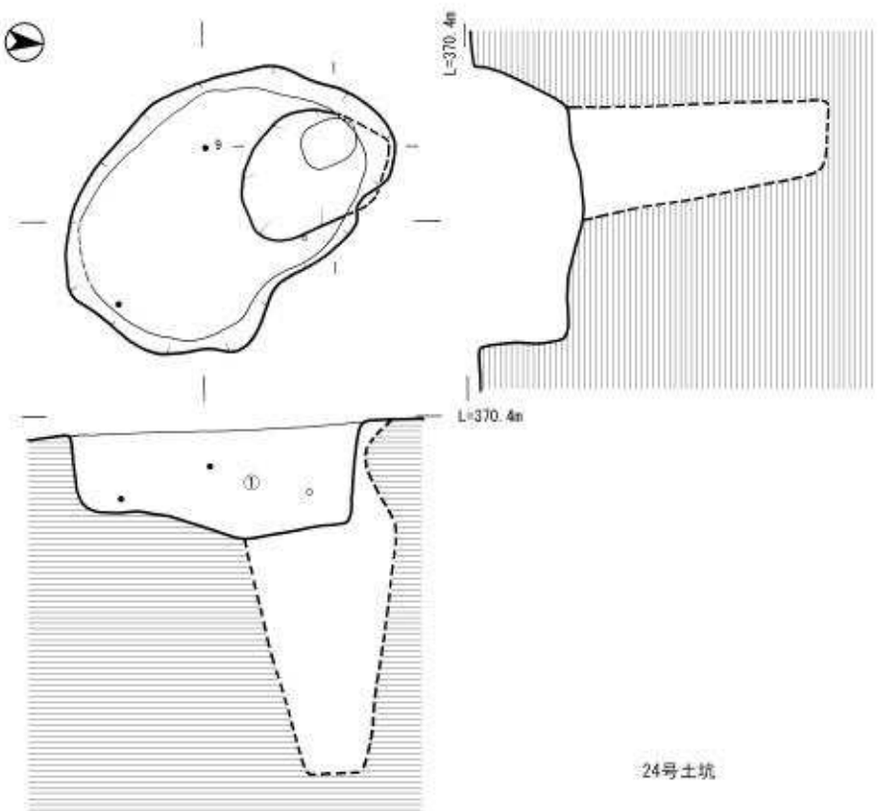
①	黄褐色軽石混青灰色土。Ⅷ～ＸⅠ層の混土と思われる。
②	黒褐色土。Ⅷ層土に類似する。

0　50cm

第254図　Ⅷ層土坑（10）



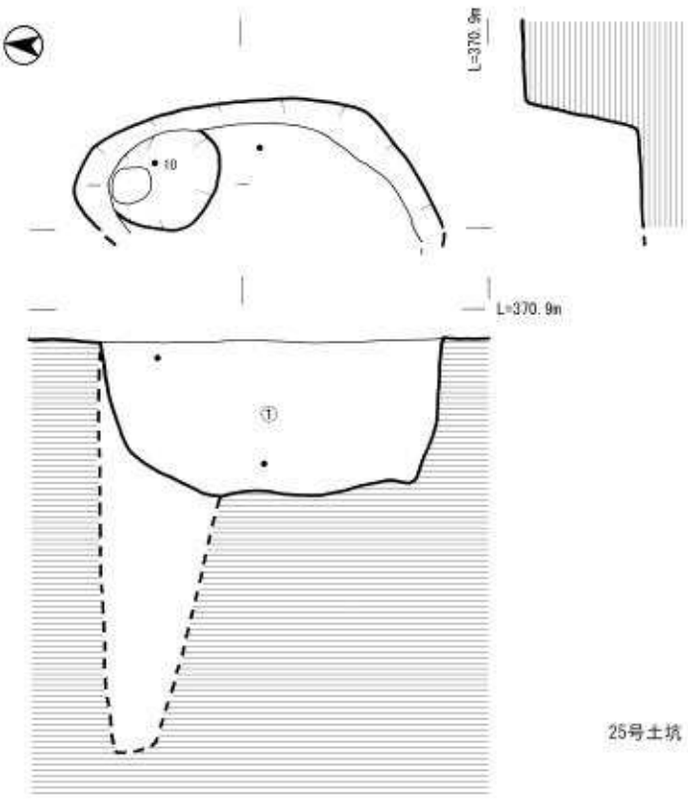
①	黒褐色土。2mm ほどの黄色パミスが点在する。



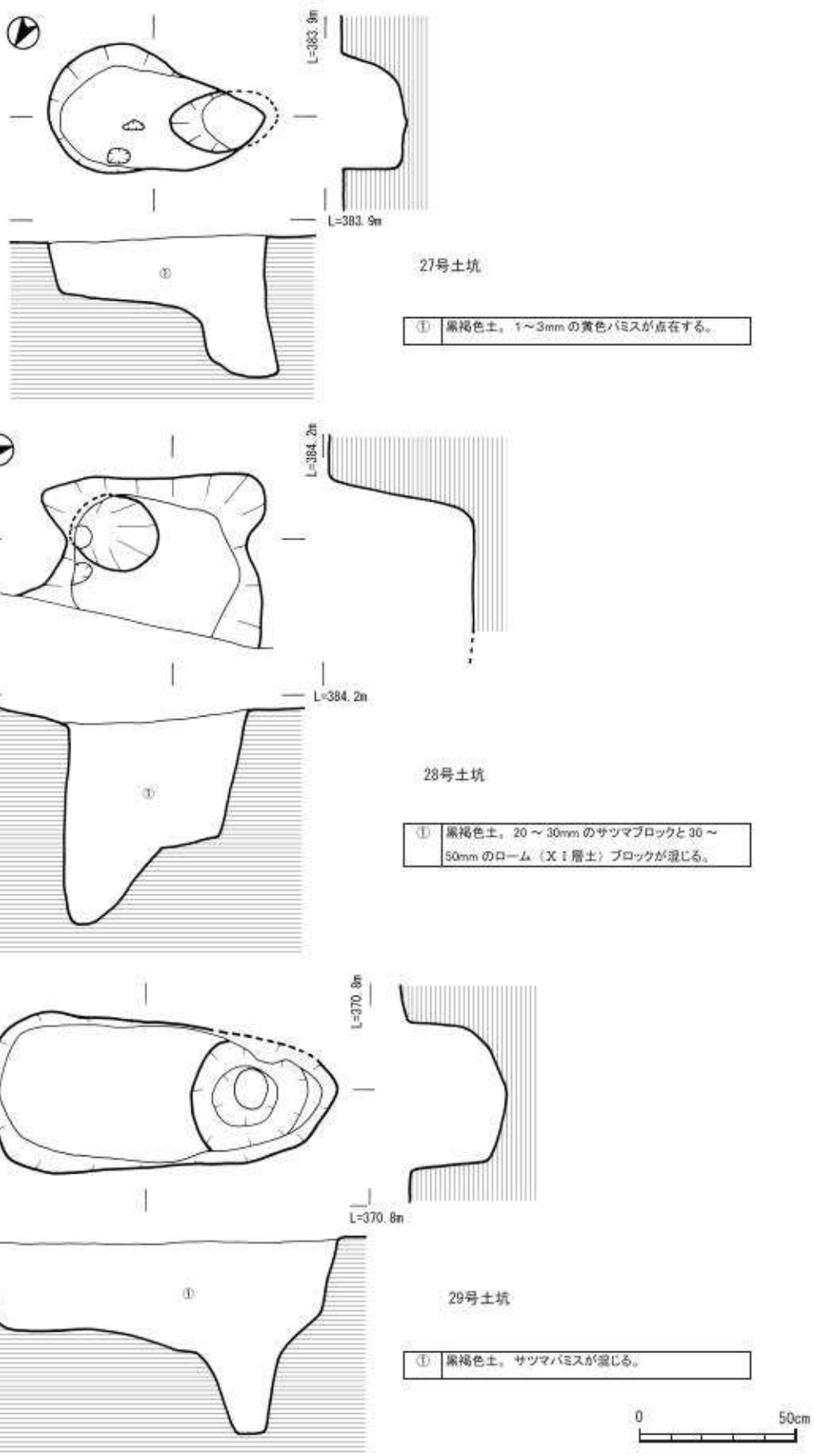
0 50cm

①	黒色土。サツマパミスが混じる。

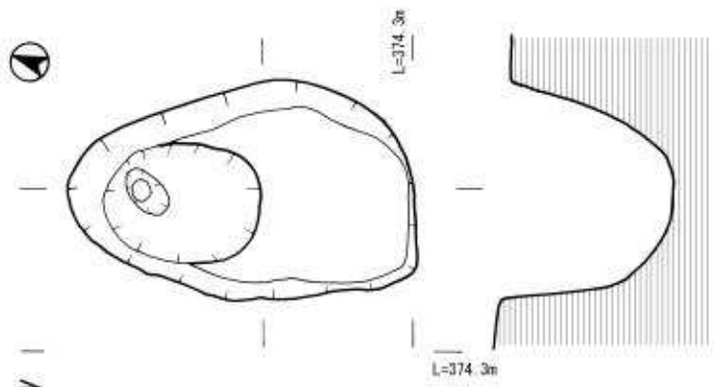
第255図　Ⅷ層土坑（11）



第256図　Ⅷ層土坑（12）

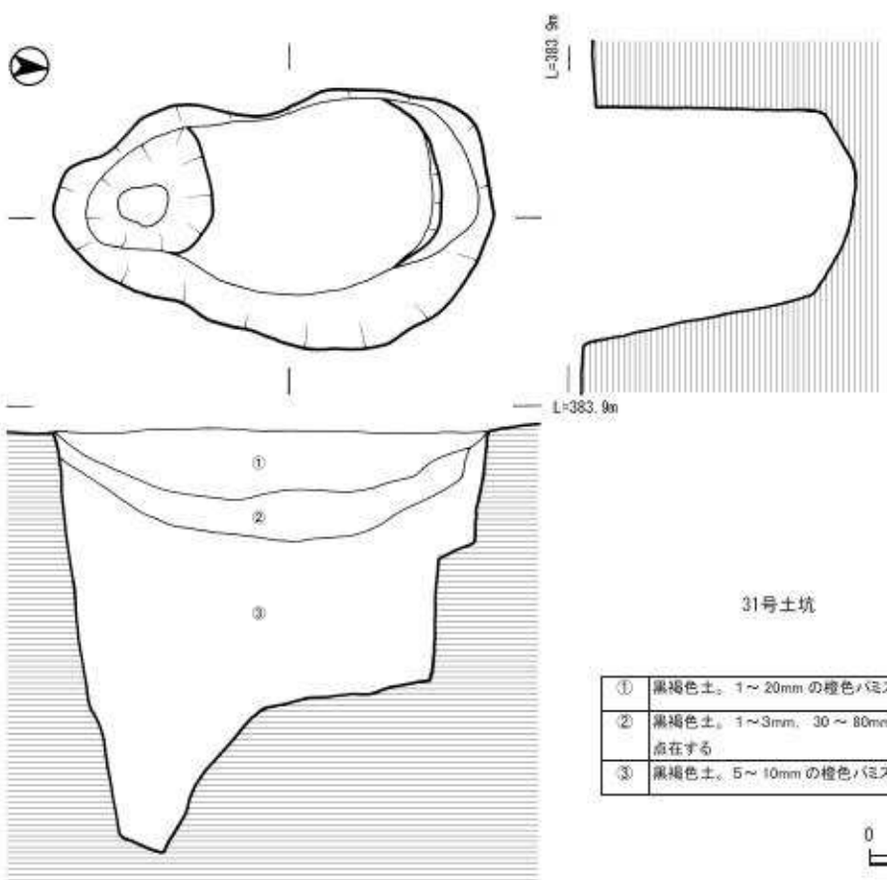


第257図　Ⅷ層土坑（13）



30号土坑

①	黒色土。

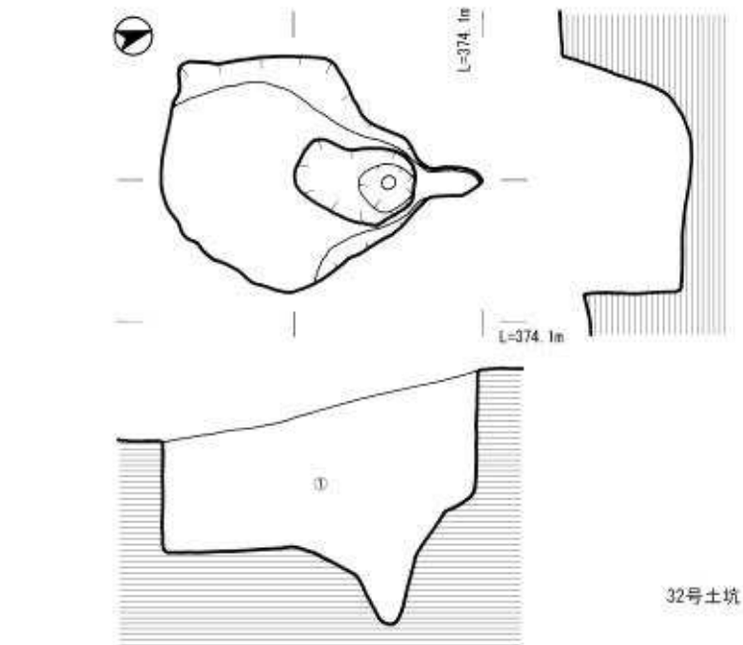


31号土坑

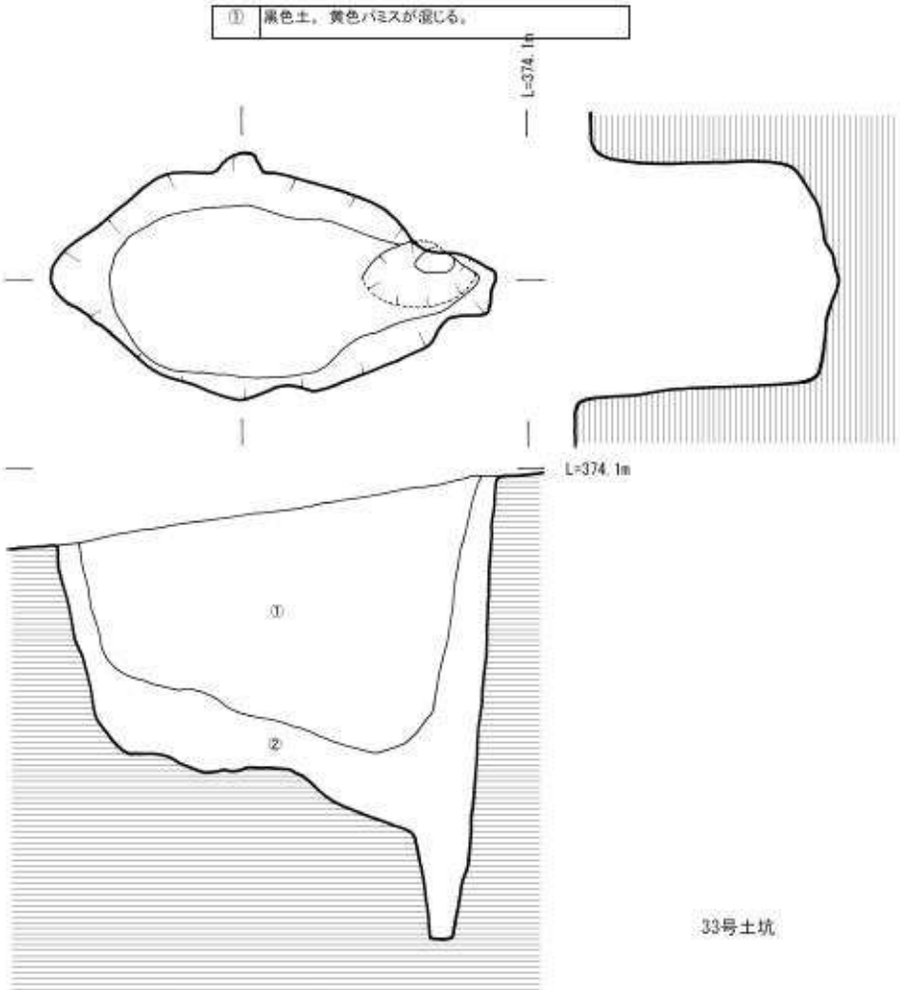
①	黒褐色土。 1～20mm の橙色パミスが点在する。
②	黒褐色土。 1～3mm、 30～80mm の橙色パミスが点在する
③	黒褐色土。 5～10mm の橙色パミスが10数個混じる。

0 50cm

第258図　Ⅷ層土坑（14）



①	黒色土。黄色パミスが混じる。



①	黒褐色土。2～3mmの黄白色パミス、20～30mmの黄色パミスが混じる。
②	黒色土。ローム（ＸＩ層土）が薄く混じる。

0 50cm

第259図　Ⅷ層土坑（15）

35号土坑（第260図）

C-5区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸88cm，短軸49cm，深さは検出面から28cmである。底面はほぼ平坦で，長軸南東端に深さ27cmの小穴がみられる。
（土坑Ⅱ類）

36号土坑（第260図）

D-8区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸105cm，短軸57cm，深さは検出面から53cmである。底面には縦長い段掘りが行われ，南東側にやや傾斜している。段掘り下部南東端に深さ7cmの小穴がみられる。類型に計慮するが掘り込み壁に接して小穴が存在することから，ここではⅡ類と判断した。
（土坑Ⅱ類）

37号土坑（第261図）

E-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸72cm，短軸49cm，深さは検出面から60cmである。底面は南東側にやや傾斜し，長軸南東端に深さ17cmの小穴がみられる。
（土坑Ⅱ類）

38号土坑（第261図）

F-9区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸96cm，短軸51cm，深さは検出面から38cmである。底面は南東側にやや傾斜し，長軸南東端に深さ15cmの小穴がみられる。
（土坑Ⅱ類）

39号土坑（第262図）

E-6区，Ⅸ層上面で検出した。40号土坑と切り合うため平面プランは確定できないが，おそらく楕円形と思われる。長軸97cm，短軸77cm，深さは検出面から63cmである。底面はほぼ平坦である。
（土坑Ⅰ類）

40号土坑（第262図）

E-6区，Ⅸ層上面で検出した。39号土坑と切り合うため平面プランは確定できないが，おそらく下定形であると思われる。長軸136cm，短軸下明，深さは検出面から41cmである。底面はほぼ平坦で，掘り込み南端に深さ84cmの小穴がみられる。
（土坑Ⅱ類）

41号土坑（第263図）

F-3区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸80cm，短軸60cm，深さは検出面から22cmである。底面はほぼ平坦で，掘り込み端に深さ56cmの小穴がみられる。小穴の掘り込み縦軸はやや小側を向く。当位記載漏れのため長軸方向若は下明である。
（土坑Ⅱ類）

42号土坑（第263図）

E-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは下定形で，長軸141cm，短軸58cm，深さは検出面から60cmである。底面はほぼ平坦で，掘り込み端に深さ26cm，47cmの小穴が2か所みられる。切り合いの可能性も考えられるが，遺土が[illegible]であることから1基と判断した。
（土坑Ⅱ類）

43号土坑（第264図）

D-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸116cm，短軸72cm，深さは検出面から23cmである。底面はほぼ平坦で，長軸南東端と短軸北東端に深さ15cmと5cmの小穴がみられる。
（土坑Ⅲ類）

44号土坑（第264図）

F-16区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸186cm，短軸58cm，深さは検出面から50cmである。底面は南東側にやや傾斜し，長軸南東端と北東端に深さ46cm，48cmの小穴がみられる。切り合いの可能性も考えられるが，遺土が[illegible]であることから1基と判断した。
（土坑Ⅲ類）

45号土坑（第265図）

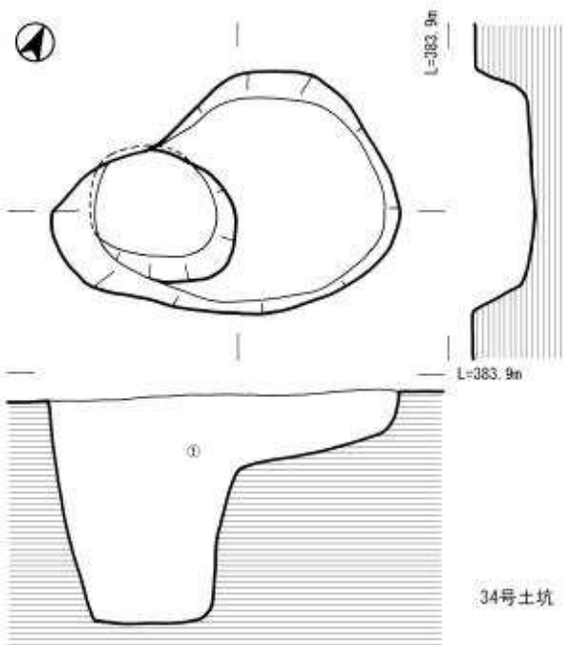
B-6区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸93cm，短軸73cm，深さは検出面から14cmである。底部はほぼ平坦で，掘り込み端に3か所の小穴がみられる。東側の小穴は深さ14cmで，その他については下明である。
（土坑Ⅲ類）

46号土坑（第265図）

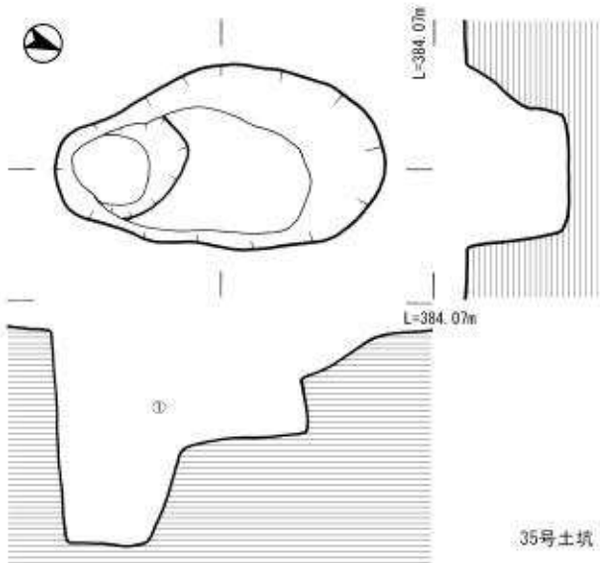
B-14区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸82cm，短軸62cm，深さは検出面から7cmである。底部はほぼ平坦で，掘り込み端に2か所の小穴がみられる。南東端の小穴は深さ17cmで，もう一方は下明である。
（土坑Ⅲ類）

47号土坑（第265図）

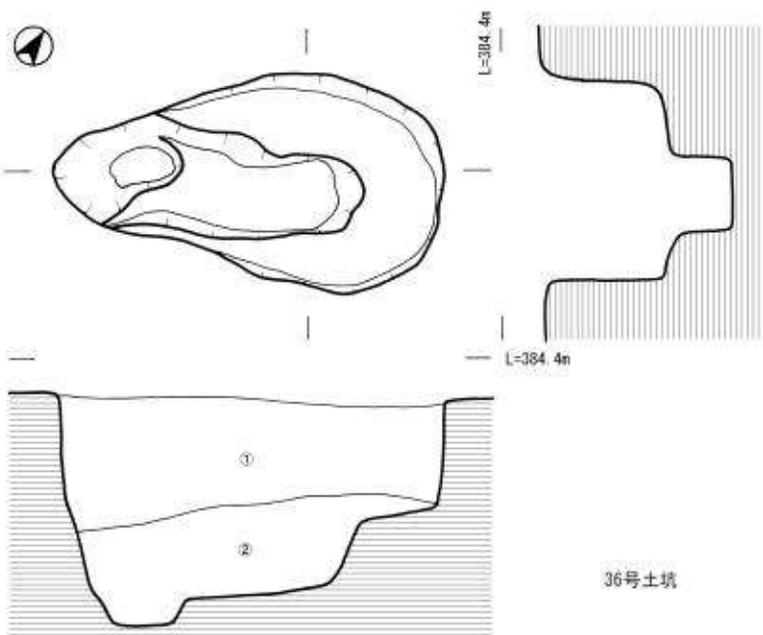
D-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸172cm，短軸59cm，深さは検出面から25cmである。底部はほぼ平坦で，掘り込み端部に3か所の小穴がみられる。断面にみられる小穴は深さ16cmで，ほか2か所については下明である。底面中央よりにも数カ所の浅い窪みがみられるが，人為的なものではないと考え，ここではⅢ類と判断した。
（土坑Ⅲ類）



①	黒褐色土。1～3mmの黄色パミスが点在する。



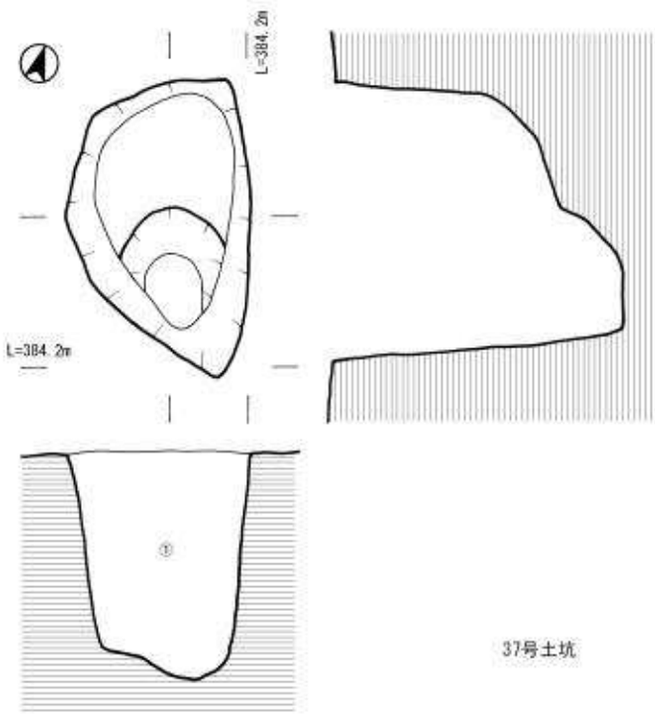
①	黒褐色土。2～40mmの橙色パミスが点在する。



①	黒褐色土。詳細の記載なし。
②	黒褐色土。詳細の記載なし。

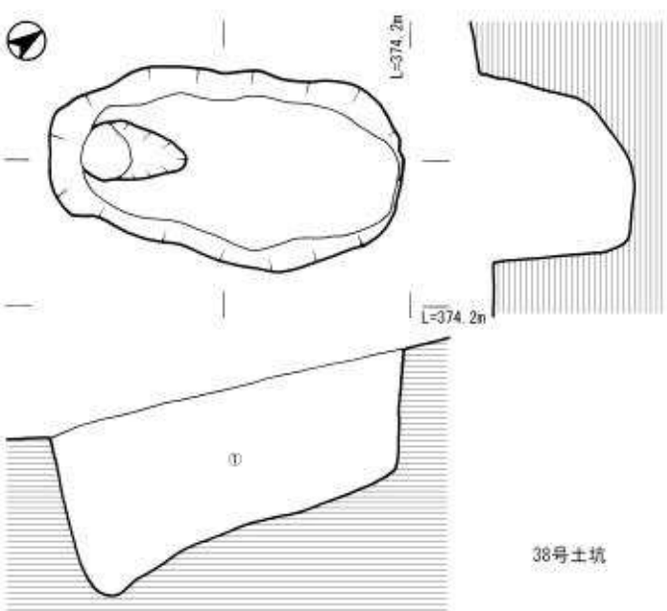
0　50cm

第260図　Ⅷ層土坑（16）



37号土坑

①	黒褐色土。1～4mmの橙色パミスが点在し、1mmほどの白色パミスも混じる。

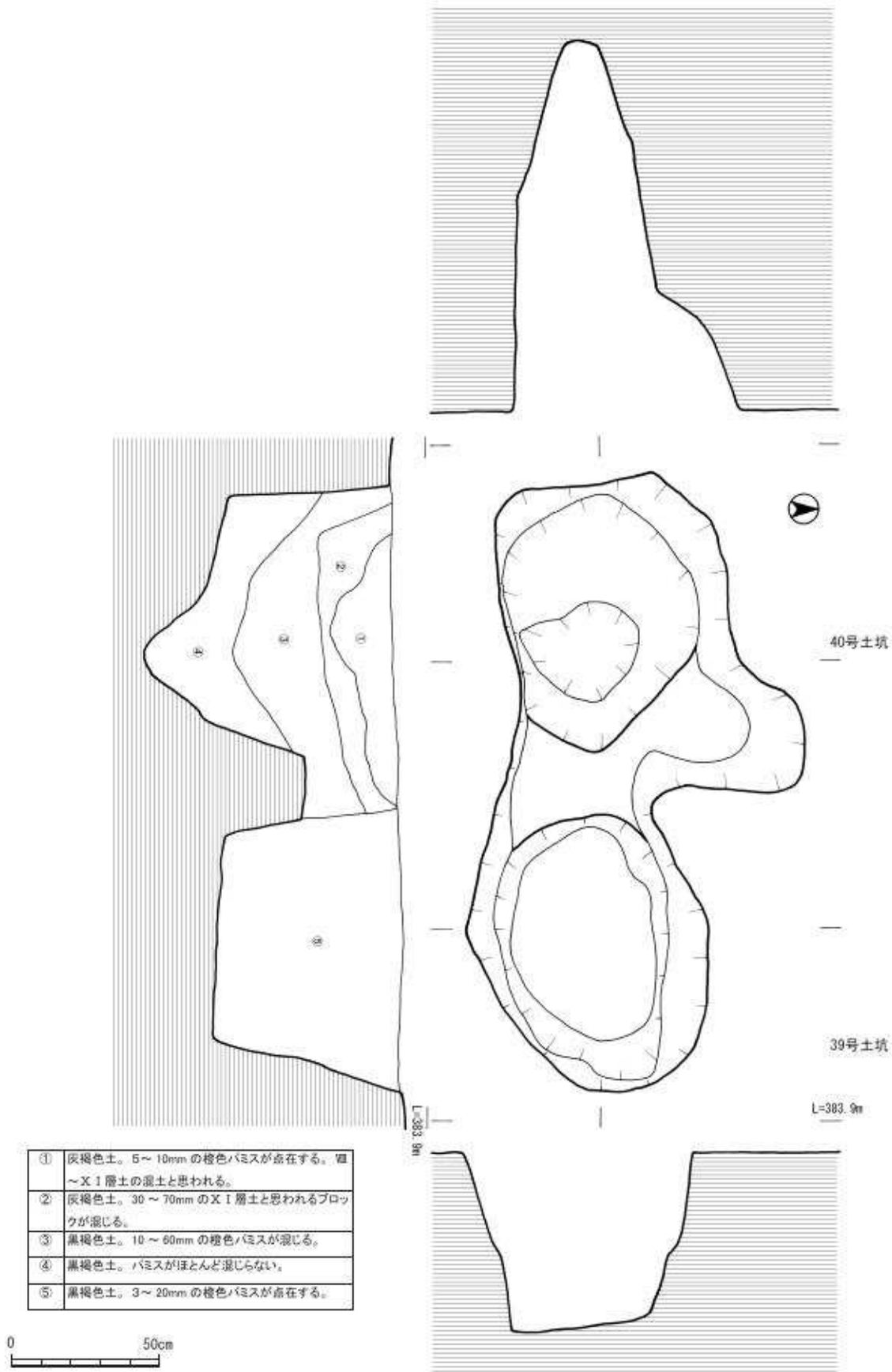


38号土坑

①	黒色土。黄色パミスが混じる。

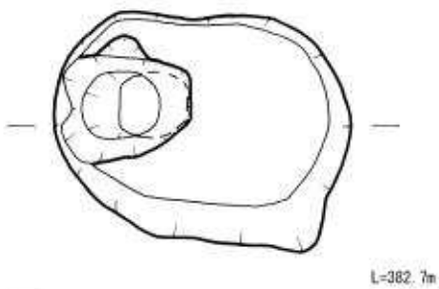
0　50cm

第261図　Ⅷ層土坑（17）



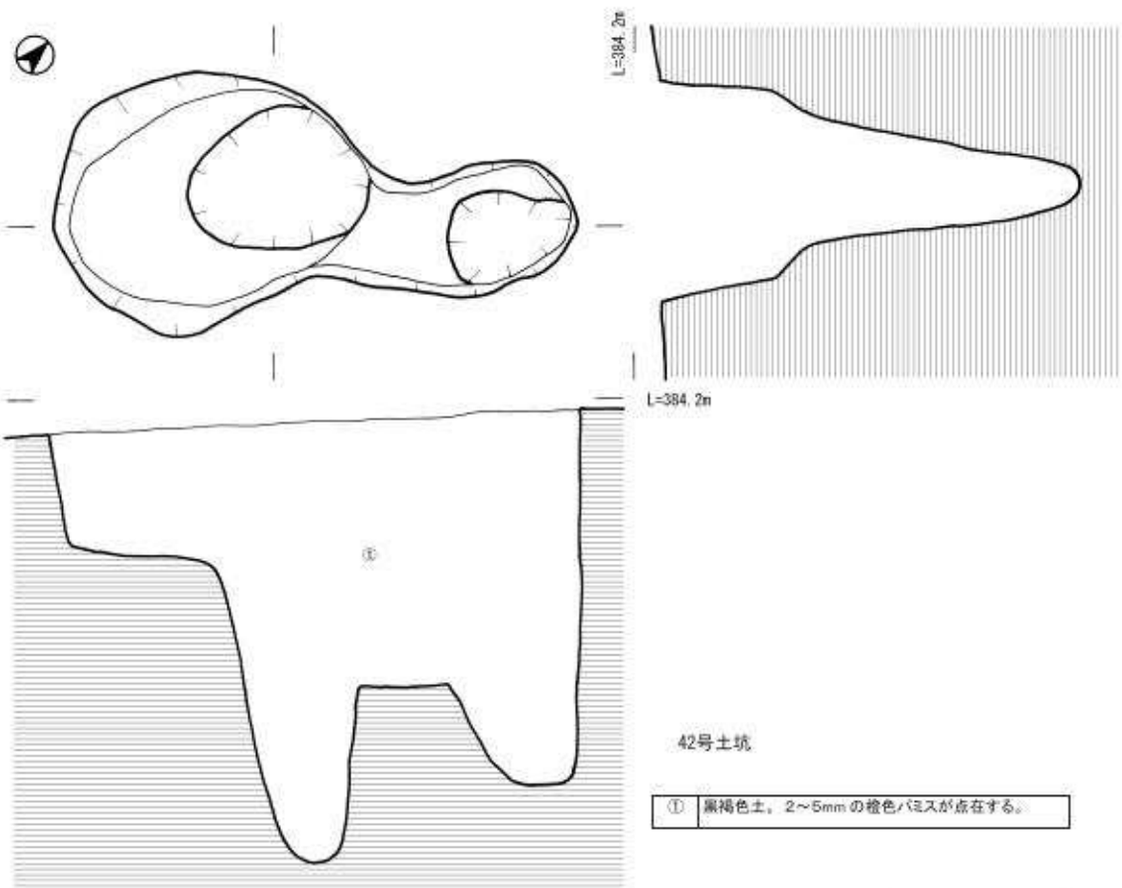
①	灰褐色土。5～10mmの橙色パミスが点在する。Ⅷ～ⅩⅠ層土の混土と思われる。
②	灰褐色土。30～70mmのⅩⅠ層土と思われるブロックが混じる。
③	黒褐色土。10～60mmの橙色パミスが混じる。
④	黒褐色土。パミスがほとんど混じらない。
⑤	黒褐色土。3～20mmの橙色パミスが点在する。

第262図　Ⅷ層土坑（18）



41号土坑

①	黒褐色土。粘質で1mmほどのパミスが点在する。
②	黒褐色土。1より軟質。
③	灰褐色土。パサパサしている。Ⅹ Ⅱ層土が撹乱を受けたものと思われる。

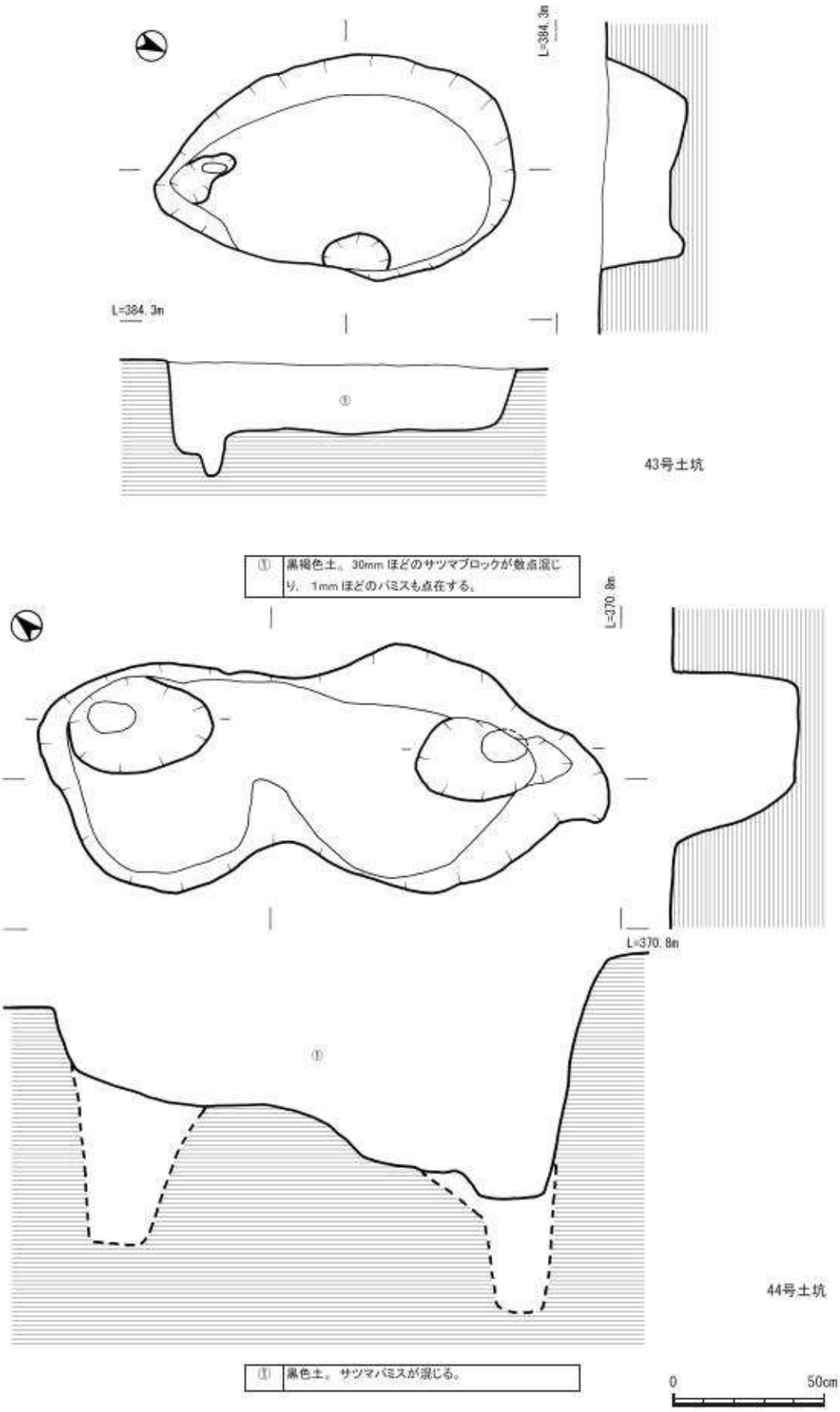


42号土坑

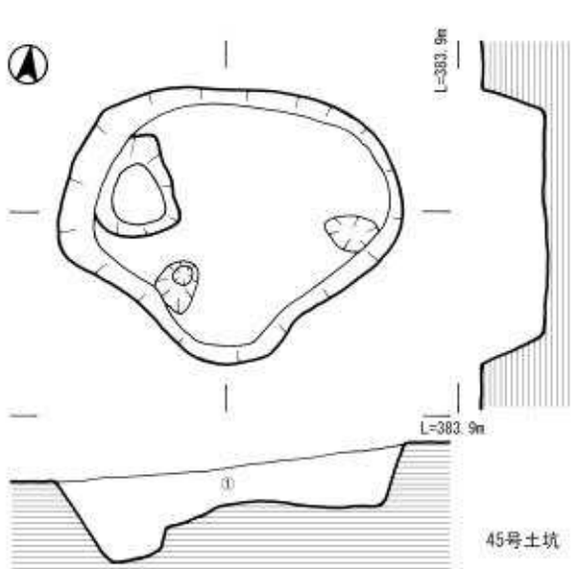
①	黒褐色土。2～5mmの橙色パミスが点在する。

0 50cm

第263図　Ⅷ層土坑（19）

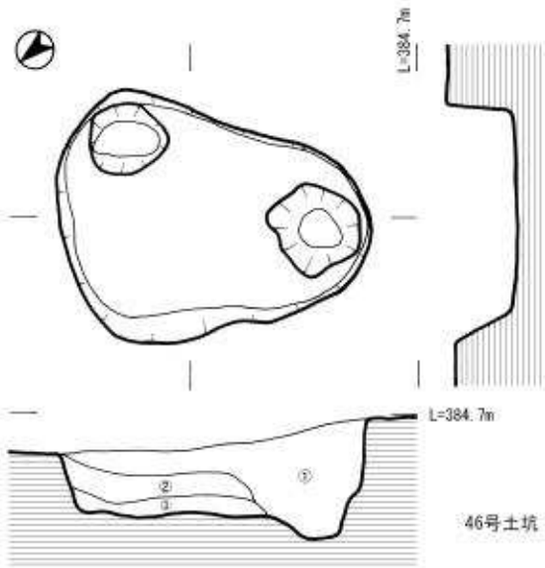


第264図　Ⅷ層土坑（20）



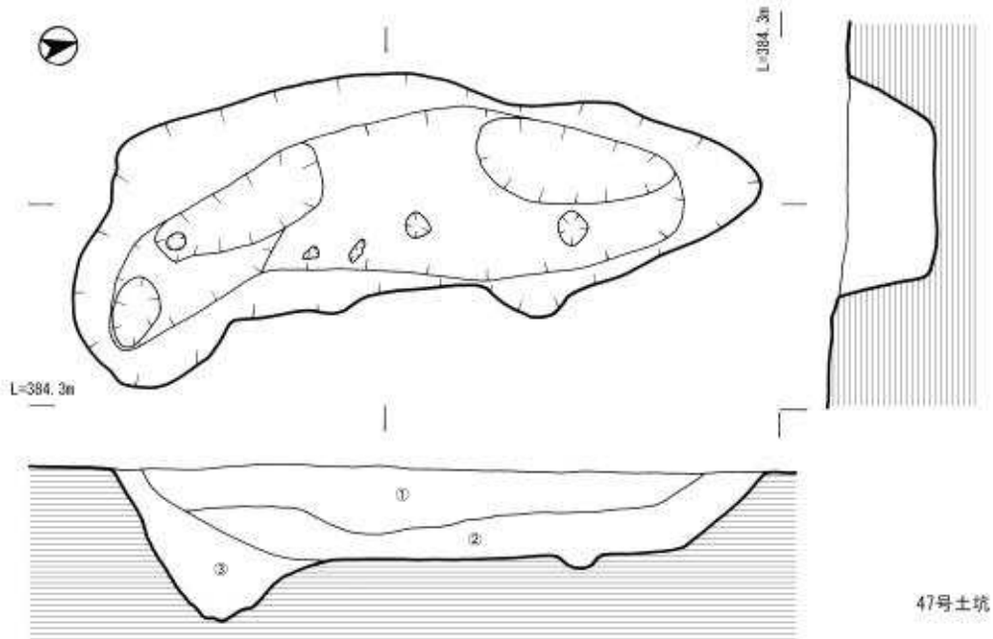
45号土坑

①	黒褐色土。1～3mmの黄色パミスが点在する。



46号土坑

①	黒褐色土。2～3mmのパミスが混じる。
②	黒褐色土。掘りすぎと思われる。
③	明茶褐色微粘質土。掘りすぎと思われる。

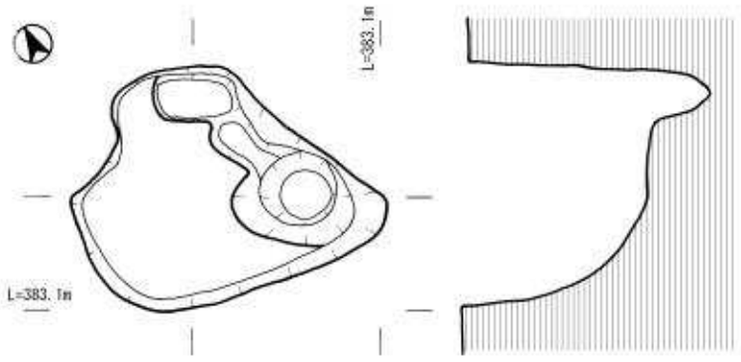


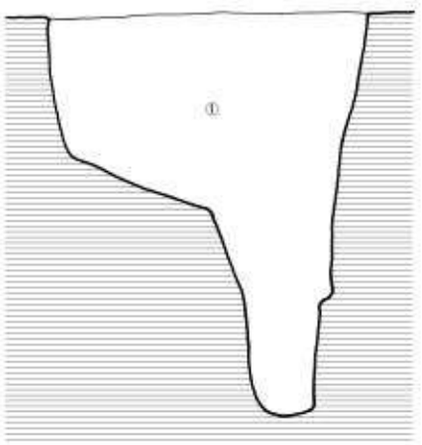
47号土坑

①	黒褐色土。2～3mmのパミスが点在する。
②	黒褐色土。ローム（XⅠ層土）のブロックが若干混じる。
③	黒褐色土。50mmほどのサツマブロックが混じる。

0　50cm

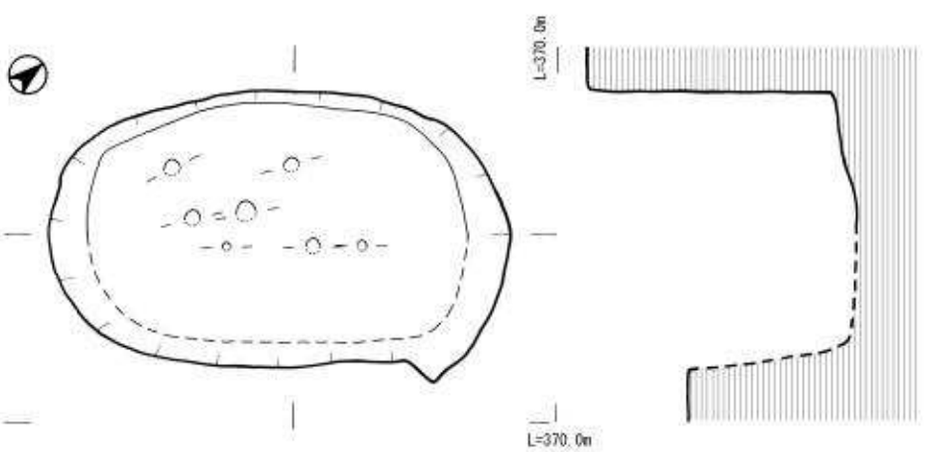
第265図　Ⅷ層土坑（21）

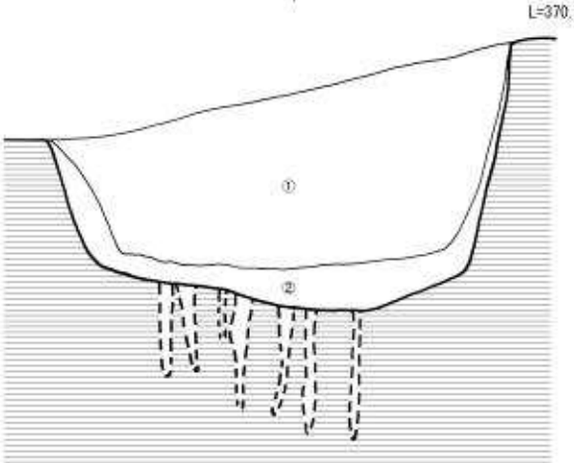




48号土坑

①	黒褐色土。1～3mmの黄色パミスが点在する。



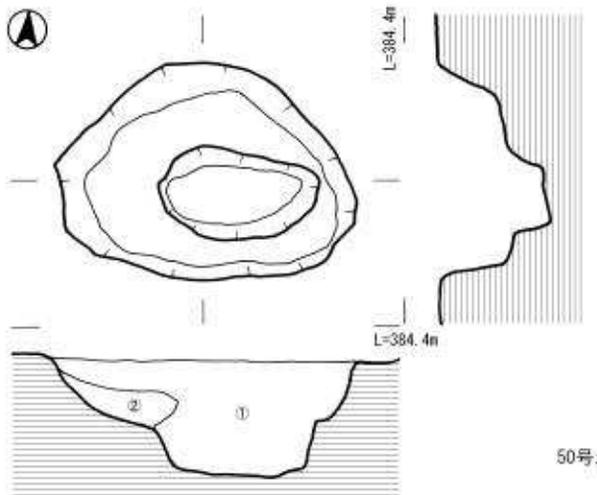


49号土坑

①	黒色土。10～20mmのサツマパミスが点在する。
②	灰褐色ローム。掘り上げ土の流入と思われる。

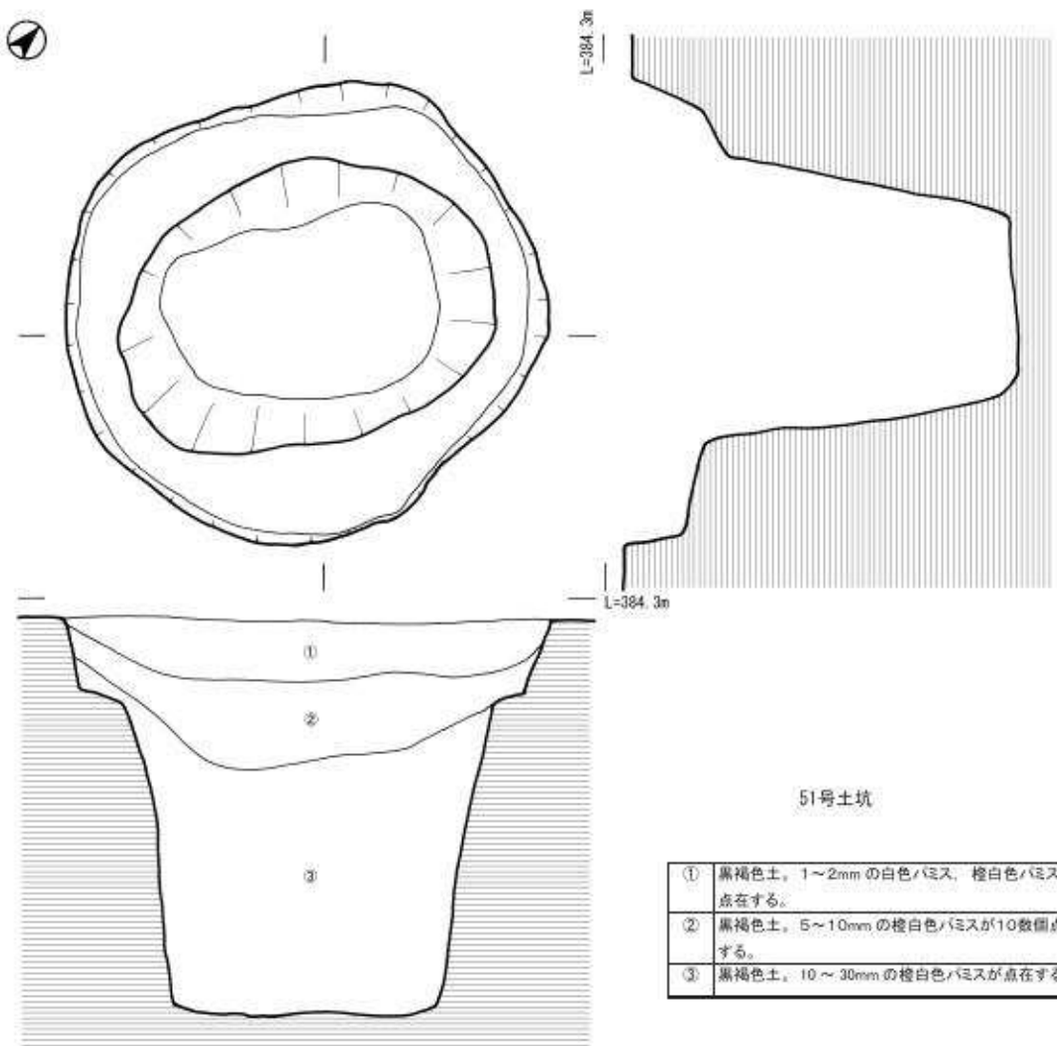
0 50cm

第266図　Ⅷ層土坑（22）



50号土坑

①	黒褐色土。パミスが少量混じる。
②	茶褐色土。サツマ火山灰が混じる。Ⅷ～ⅩⅠ層の混土で遺構壁面の崩落土と思われる。

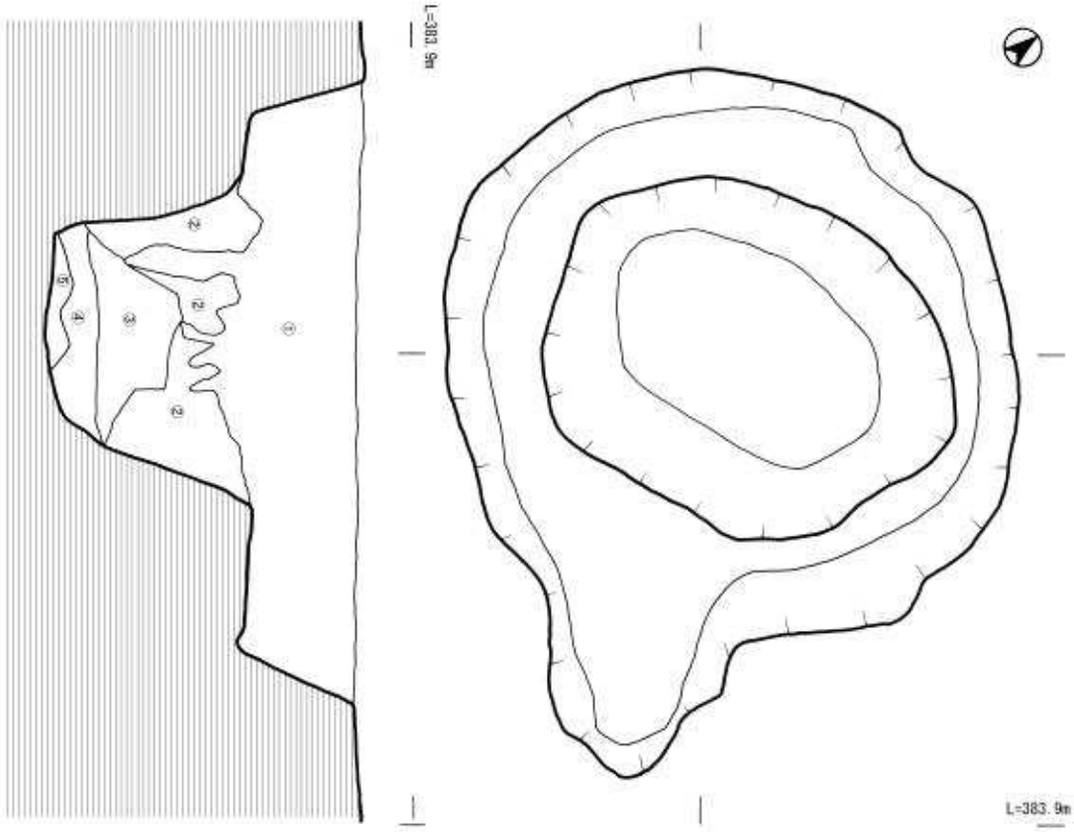


51号土坑

①	黒褐色土。1～2mmの白色パミス、橙白色パミスが点在する。
②	黒褐色土。5～10mmの橙白色パミスが10数個点在する。
③	黒褐色土。10～30mmの橙白色パミスが点在する。

0 50cm

第267図　Ⅷ層土坑（23）



52号土坑

①	黒色土。5mmほどのパミスが混じる。
②	黒褐色土。5～10mmのパミスが混じる。
③	サツマ火山灰。ブロック状に混じる
④	黒褐色土。
⑤	サツマ火山灰。ブロック状に混じる

0　50cm

第268図　Ⅷ層土坑（24）

48号土坑（第266図）

B-5区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸84cm，短軸65cm，深さは検出面から49cmである。底部は東側にやや傾斜し，南東端と北東端の2か所に小穴がみられる。深さは55cm，15cmである。
（土坑Ⅲ類）

49号土坑（第266図）

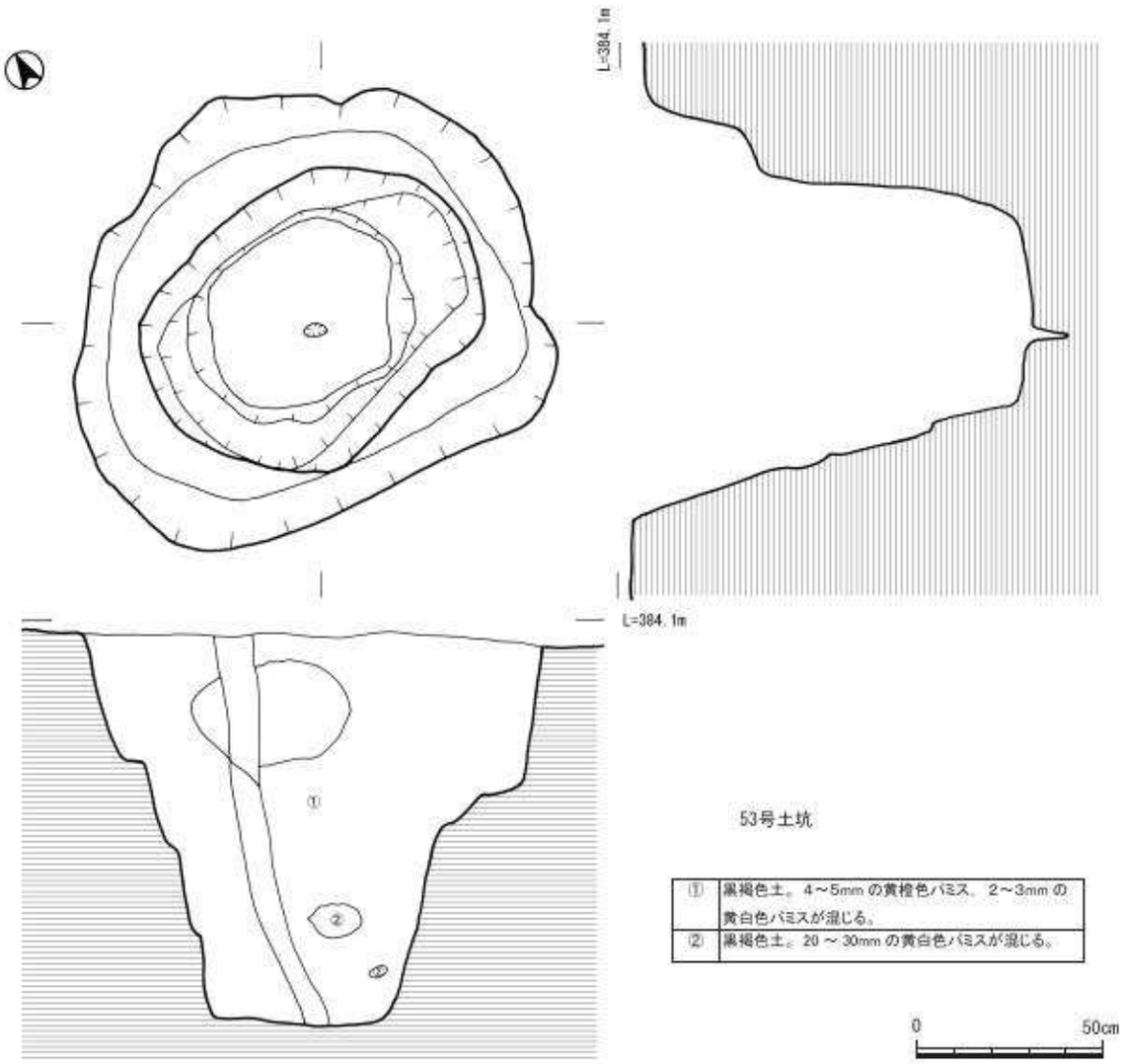
E-18区，ＸＩ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸123cm，短軸75cm，深さは検出面から60cmである。掘り込み壁はやや傾斜する部分もみられるがほぼ直立する。底部はほぼ平坦で，底面に7ヶ所の小穴がみられる，径は小さく，深さは15cmから35cmであり，落し穴状遺構に特有の逆茂木痕の可能性が考えられる。
（土坑Ⅳ類）

50号土坑（第267図）

C-11区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形状で長軸77cm，短軸58cm，深さは検出面から18cmである。中央に深さ12cmの小穴がみられ，２重堀の形状をなす。
（土坑Ⅵ類）

51号土坑（第267図）

D-7区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは円形で長



第269図　Ⅷ層土坑（25）

軸129cm，短軸123cmを測る。検出面から21cmのところで実測を行い，深さ83cmの楕円形の掘り込みがみられる。深さは検出面から104cmである。

（三浦Ⅵ類）

52号土坑（第268図）

E-6区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは一部突出がみられるため不定形であるが，本来は円形であったと考えられる。長軸171cm，短軸152cm，検出面から29cmのところで実測を行い，深さ55cmの楕円形の掘り込みがみられる。深さは検出面から84cmである。形態的に51号土坑と類似する。

（三浦Ⅵ類）

53号土坑（第269図）

B-10区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは円形状で長軸125cm，短軸115cmを測る。検出面から約41cmのところで実測を行い，深さ55cmの楕円形の掘り込みがみられる。深さは検出面から96cmを測る。形態的に51号土坑と類似する。

（三浦Ⅵ類）

73号土坑（第295図）

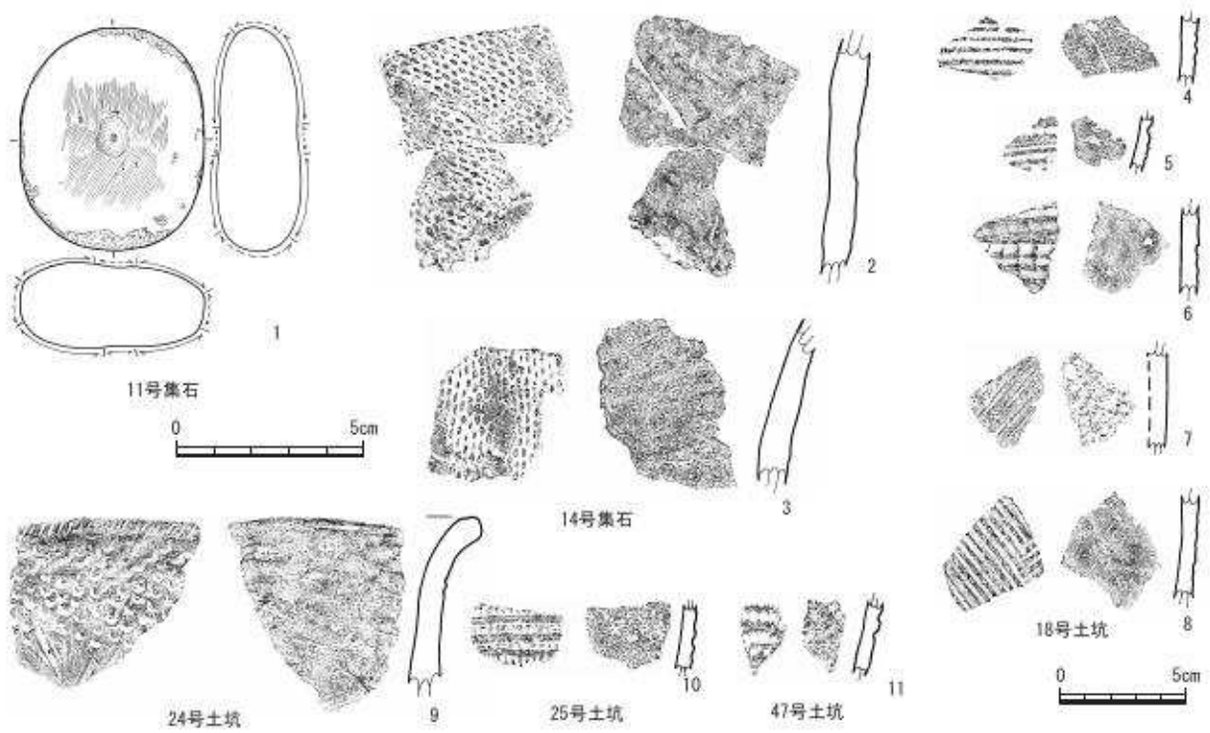
D-6区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸140cm，短軸103cmを測り，深さは検出面から75cmである。掘り込みは丸掘りのすり鉢状をする。この形態は73号1基のみである。72号土坑と切り合う。

遺構内出土遺物（第270図）

Ⅷ層では集石（11号と14号），土坑（18号，24号，25号，47号）の周辺および土坑内から遺物が出土している。

1は11号集石に共伴した砂岩製の磨石である。表裏面に凹痕痕，側縁部に敲打痕がみられ，表裏面中央に敲打による浅い窪みもみられる。

2，3は14号集石に共伴した。V類土器胴部である。器厚が厚く，外面には楕円形押型文が施される。4～8



第270図　Ⅷ層　遺構内出土遺物

は18号土坑から出土した。

4～6はⅡ類土器胴部である。4，6は押引文が施される。5は貝殻条痕と刺突がみられる。7，8はⅢ類の胴部である。羽状の貝殻条痕が施される。

9は24号土坑から出土した。Ⅲ類土器の口縁部である。口唇部に刻目の刻み，口縁部直下に貝殻腹縁による刺突が施される。

10は25号土坑から出土した。Ⅱ類土器胴部である。二重な押引文が施される。

11は47号土坑から出土した。Ⅵ類土器胴部である。横位の刺突文が施され，器壁は薄い。

第70表　Ⅷ層遺構内出土土器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外面色調	内面色調	胎土	備考
270	2	一括1	E-18	14号集石	深鉢	胴部	楕円押型	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英，角閃石，金雲母，細礫	
	3	一括2	E-18	14号集石	深鉢	胴部	楕円押型	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英，角閃石，金雲母，細礫	
	4	63号4	F-16	18号土坑	深鉢	胴部	押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，長石，角閃石	
	5	63号2	F-16	18号土坑	深鉢	口縁付近？	貝殻条痕，刺突	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，角閃石	
	6	63号7	F-16	18号土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕，押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，長石，角閃石	
	7	63号5	F-16	18号土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	不明	良好	明茶褐色	不明	石英，長石，角閃石	
	8	63号6	F-16	18号土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，角閃石	
	9	70号2	E-16	24号土坑	深鉢	口縁部	貝殻刺突，貝殻条痕	ナデ	良好	暗茶褐色	茶褐色	石英，角閃石，長石，小礫	口唇部刻み
	10	66号1	F-15	25号土坑	深鉢	胴部	押引	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，長石，角閃石	
	11	一括	D-7	47号土坑	深鉢	不明	刺突	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英，長石，角閃石	

第71表　Ⅷ層遺構内出土石器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石材	備考
270	1	一括	D-17	11号集石	磨石	117.5	96	42.5	787.0	SS	

2　Ⅶ層の遺構

土器埋設遺構(土坑)

埋設土坑は，4基発見されている。A地区のC-10,11区，C-6区に位置し，第Ⅶ層での検出である。

土坑には完形土器が配置され，1号土坑からは深鉢形土器が，2号～4号土坑からは鉢形土器が発見されている。

1号土坑はC-10区，2号土坑はC-11区，3号土坑と4号土坑はC-6区で検出した。なお，1号と2号の間隔は約5mで，3号と4号は約1mと隣接する位置にある。なお，土坑周辺からの出土遺物は極端に少なく，当時期の他の遺物とは検出位置を異にしている。

土坑の配された位置は最高位に近たり，遺跡で最も眺望の確保できる一角である。

1号土器埋設遺構（第273図）

C-10区，Ⅶ層で検出した。

ほぼ完形と思われる土器（Ⅸ類深鉢）を検出してから，土坑の有無を確認するため土坑平面プラン検出を目指したが，埋土と周辺土との色調が類似するため確認は困難を極めた。そのため，截ち切りを行い土坑有無の確認を実施した。

土坑の存在した根拠は，Ⅸ層に掘り込んだ形状の底面の確認と土坑掘り込みラインがほぼ垂直に立ち上がることが確認できたことによる。

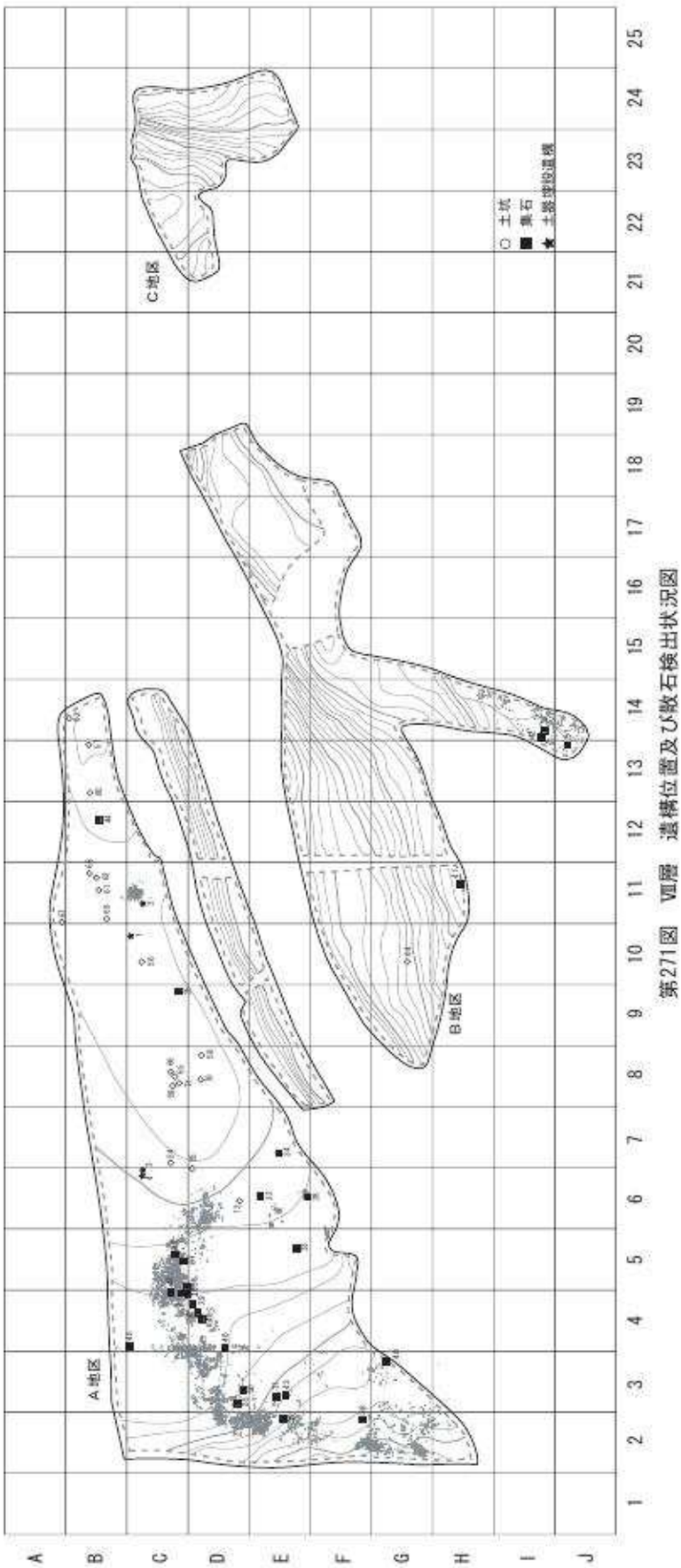
截ち切りによる断面観察で，Ⅸ層に底面を持つ，U字状で最大33cmの土坑の存在を確認した。確認した土坑は，本体する深鉢形土器よりわずかに大きい程度である。

土坑と土器の隙間を埋めた埋土は，土坑が掘り込まれたⅧ層土を主成分とするため，明確な色切は難しい。なお，土器を取り上げた最終段階では，掘り込み面で円形の平面プランを確認している。

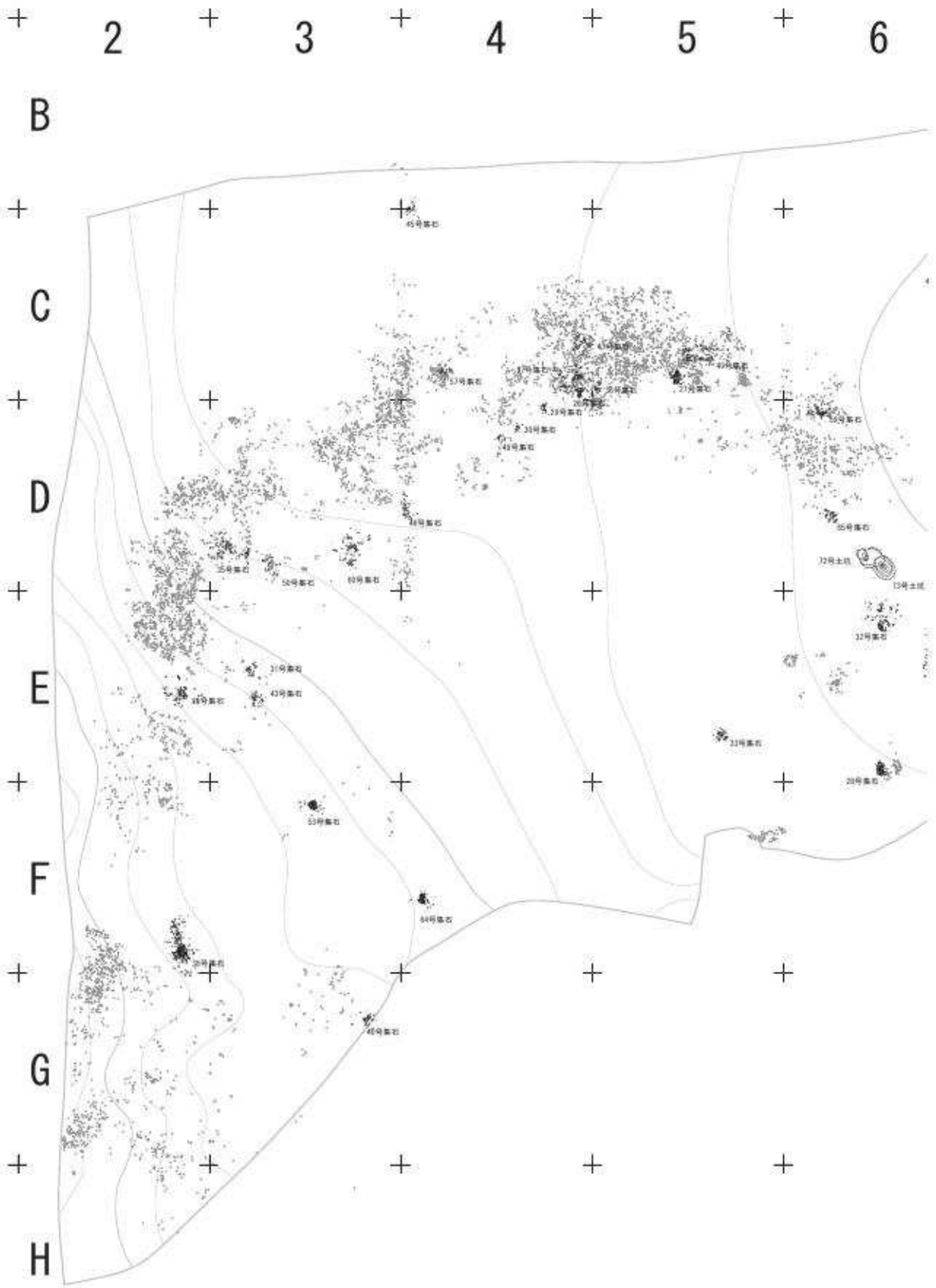
土坑の確認位置，埋設土器の口径と土坑の大きさから判断して，土器の土坑内への設置状況を推測すると，土器を土坑内に完全に埋設することはかなり困難であることが予測された。したがって，地表面から土器口縁が一部露出した状態が想定され，土器を埋設したと判断した。

2号土器埋設遺構（第273図）

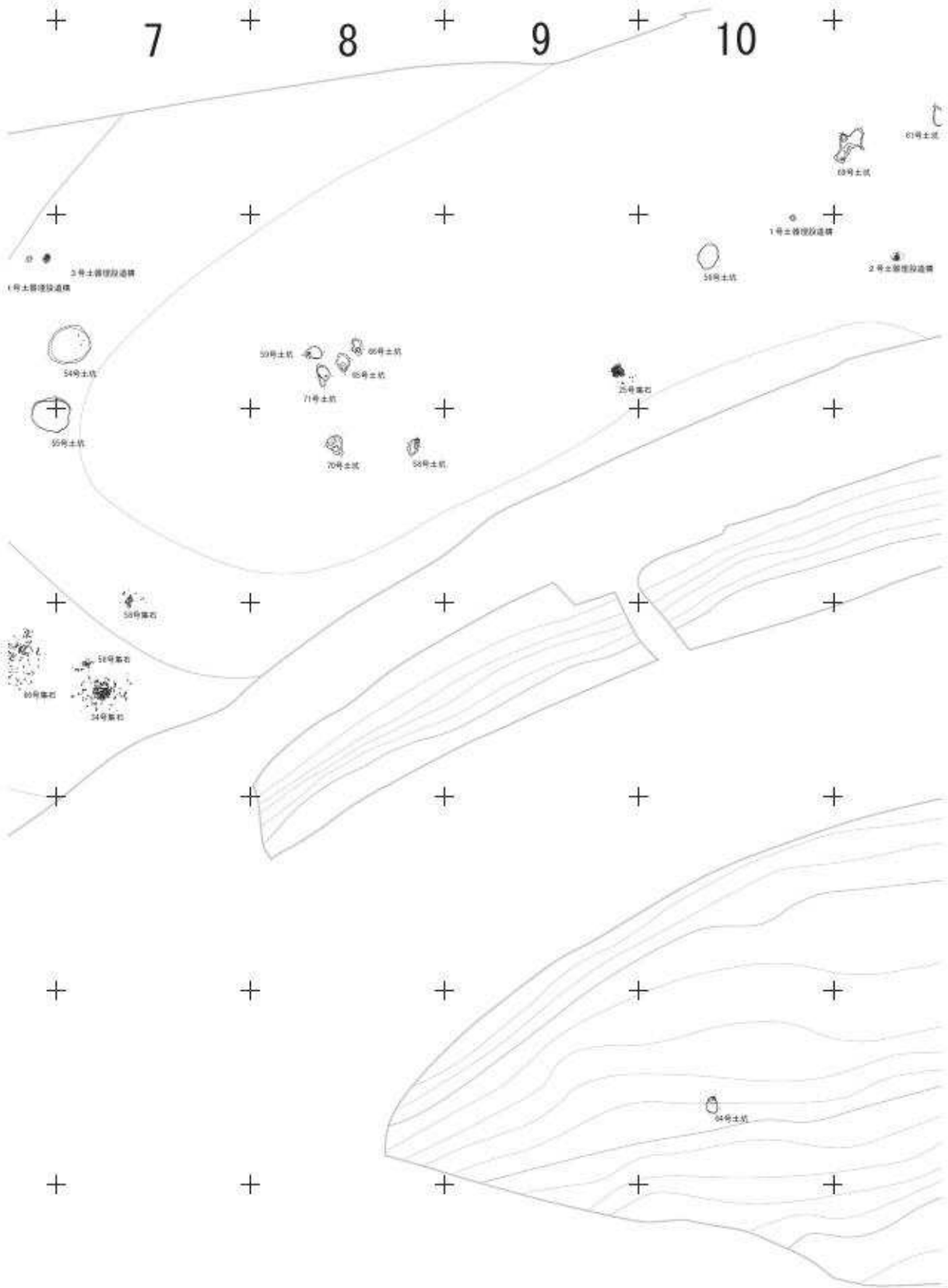
C-11区，Ⅶ層で検出した。完形に復元できると思われる土器（Ⅸ類鉢）を検出後，土坑

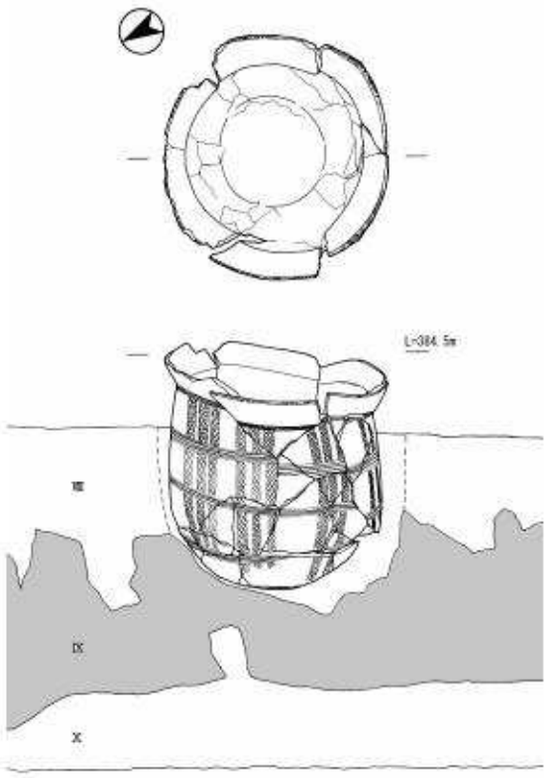


第271図　Ⅶ層　遺構位置及び散石検出状況図

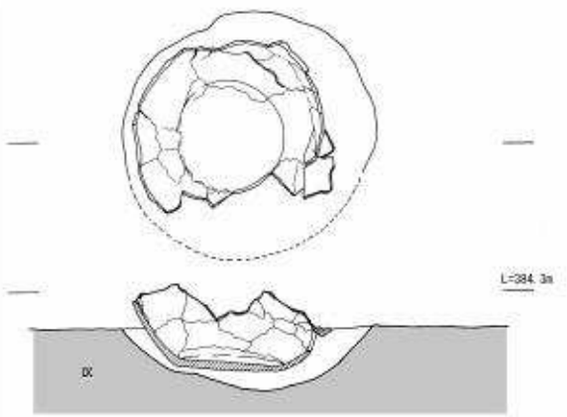


第272図　Ⅵ,Ⅶ層遺構配置及び散石検出状況

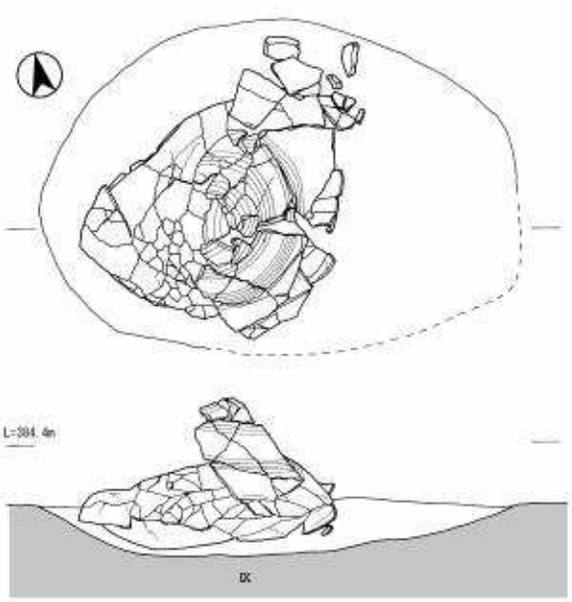

7
8
9
10
61号土坑
69号土坑
1号土器埋設遺構
59号土坑
2号土器埋設遺構
3号土器埋設遺構
1号土器埋設遺構
54号土坑
55号土坑
59号土坑
66号土坑
65号土坑
71号土坑
70号土坑
58号土坑
25号集石
56号集石
60号集石
58号集石
34号集石
64号土坑



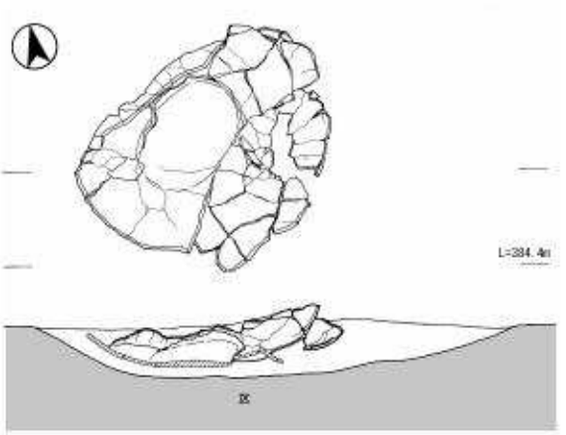
1号土器埋設遺構



1号底部付近断面



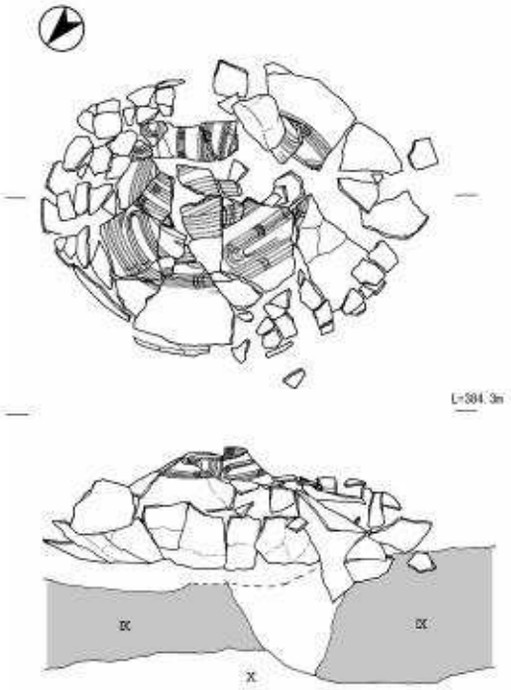
2号土器埋設遺構



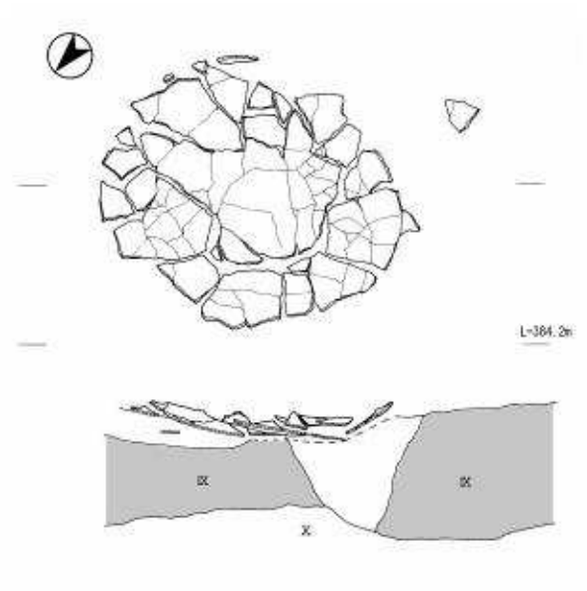
2号底部付近断面

0 50cm

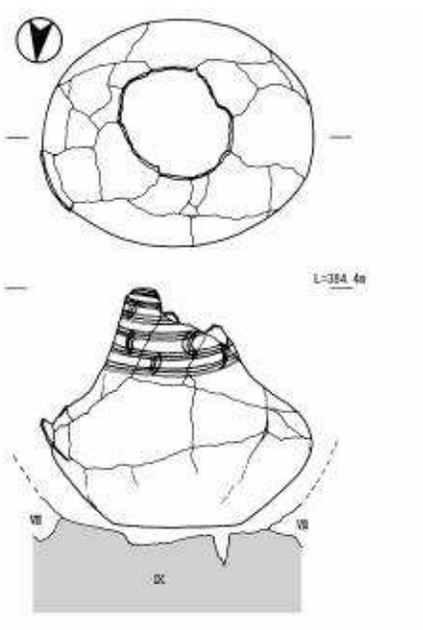
第273図　土器埋設遺構検出状況



3号土器埋設遺構



3号底部付近断面



4号土器埋設遺構

第274図　土器埋設遺構検出状況

の有無を確認するため土平面プラン検出を繰り返したが，埋土と周辺土との色調が類似するため確認には困難を極めた。そこで，IX層上面まで掘り下げ，平面プラン及び断面観察による土平ラインの確認を行った。

遺構中埋土は黒色土で，周辺土と極めて類似する。平面プランは中心する土器の器形を意識しているのか検出形を呈する。その規格は長軸約68cm，短軸約45cmである。断面は四状を呈する。土平は1号と比較すると大型で，土器をかかえ設置するときの余裕をもたせているものと推測される。

中心される土器の器高と1号土器埋設遺構の出土状況から考えて，2号についても平面から土器の縁部が一部露出し，土器が埋設された遺構と判断した。ちなみに，復元した軍形土器の口縁部の大部分は失われている。

3号土器埋設遺構（第274図）

C-6区，VII層で検出した。完形に復元できると思われる土器（IX類軍）を検出後，土平平面プラン検出，埋土と周辺土との色調区分にさらず，IX層上面まで掘り下げを行い，平面プラン及び断面観察による土平ラインの確認を行った。しかしIX層への掘り込みがほとんどみられず平面プラン，断面ともに土平ラインの確認にはさらなかった。

土器の出土状況，復元した土器の器高，ほか類似の遺構から考えて，3号も平面から土器の縁部が一部露出し，土器が埋設された遺構と判断した。

4号土器埋設遺構（第274図）

C-6区，VII層で検出した。ほぼ完形と思われる土器（IX類軍）を検出後，土平平面プランを確認できなかったため，IX層上面まで掘り下げ，平面プラン及び断面観察による土平ラインの確認を目指した。しかし，IX層での黒色的確認もつかめなかった。

Ⅶ層にわずかに残る窪めのラインと，ピット群のラインをたがかりに堆定復元を行った。

ＳＢとされるピット群の配置，形の類似遺構と照らし合わせて，4号もＳＢ３からピット群の一部が一部重複した状態で掘削されたと判断した。

集石

Ⅶ層では28基の集石を検出した。集石はA地区，B地区において検出し，A地区においては東よりに帯状に分布し，B地区においてはI，J-13，14区にまとまる傾向がうかがえた。

25号集石（第275ｂ）

C-9区で検出した。ｂ型からｃ型の礫を使用する。一部の礫は被熱によりボロボロしている。礫の密集具合と遺構断面から掘り込みを有する可能性が高い。

（集石Ⅰ類）

26号集石（第275ｂ）

C-5区で検出した。安山岩を使用し，ｂ型からｃ型の礫が多い。一部の礫は被熱によりボロボロし，周辺に散在的な礫も確認できた。検出面の記載漏れ，焼面計算の誤りのため，検出状況写真から層位を判断した。

（集石Ⅰ類）

27号集石（第275ｂ）

C-5区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，ｃ型の礫が多い。一部の礫は被熱によりボロボロ，黒変している。検出面の記載漏れ，焼面計算の誤りのため，検出状況写真から層位を判断した。

（集石Ⅰ類）

28号集石（第275ｂ）

E-6区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，ｂ型からｃ型の礫が多い。わずかに被熱によりボロボロした礫がみられる。東側に二層境界からみ礫の一部は失われている。

（集石Ⅰ類）

29号集石（第275ｂ）

D-4区で検出した。砂岩を使用し，ｃ型の礫が多い。礫数が少なく礫の一部は被熱によりボロボロ，一部熱破砕している。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

（集石Ⅱ類）

30号集石（第275ｂ）

D-4区で検出した。ｃ型の安山岩を使用する。礫数が少なくコンパクトである。

（集石Ⅱ類）

31号集石（第276ｂ）

E-3区で検出した。安山岩を使用し，ｂ型からｃ型の礫が多い。ｃ型の礫は集石ｂ部に多く，ｂ型の礫は周辺に分散する傾向が見える。礫は被熱によりボロボロし，ｃ型の礫は熱破砕している。

（集石Ⅲ類）

32号集石（第276ｂ）

E-6区で検出した。安山岩，砂岩を使用しｂ型からｃ型の礫が多い。ボロボロした礫はほとんどみられない。平面の集石ｂ部は断面がややレンズ状をし，掘り込みを持つ可能性が高い。

（集石Ⅳ類）

33号集石（第277ｂ）

E-5区で検出した。安山岩を使用し，砂岩が若干混じる。ｃ型の礫が多く，被熱によりボロボロし，一部は熱破砕している。集石ｂ部と散らばりの境界は明瞭ではない。

（集石Ⅱ類）

34号集石（第277ｂ）

E-7区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，ｂ型からｃ型の礫が多い。礫は被熱によりボロボロし，一部は熱破砕している。集石ｂ部は断面がややレンズ状をし，掘り込みを有した可能性が高い。検出面の記載漏れのため，検出状況写真から層位を判断した。

（集石Ⅳ類）

35号集石（第278ｂ）

D-3区で検出した。安山岩を使用し，ｂ型からｃ型の礫が多い。比較的大きな礫がｂ～ｃにまとまり，被熱によりボロボロしている。周辺の礫はややｃ型化する傾向がある。

（集石Ⅲ類）

36号集石（第279ｂ）

C-5区で検出した。ｂ型からｃ型の礫を使用する。平面に礫のまとまりがうかがえる。検出面の記載漏れのため，検出状況写真から層位を判断した。

（集石Ⅱ類）

37号集石（第279ｂ）

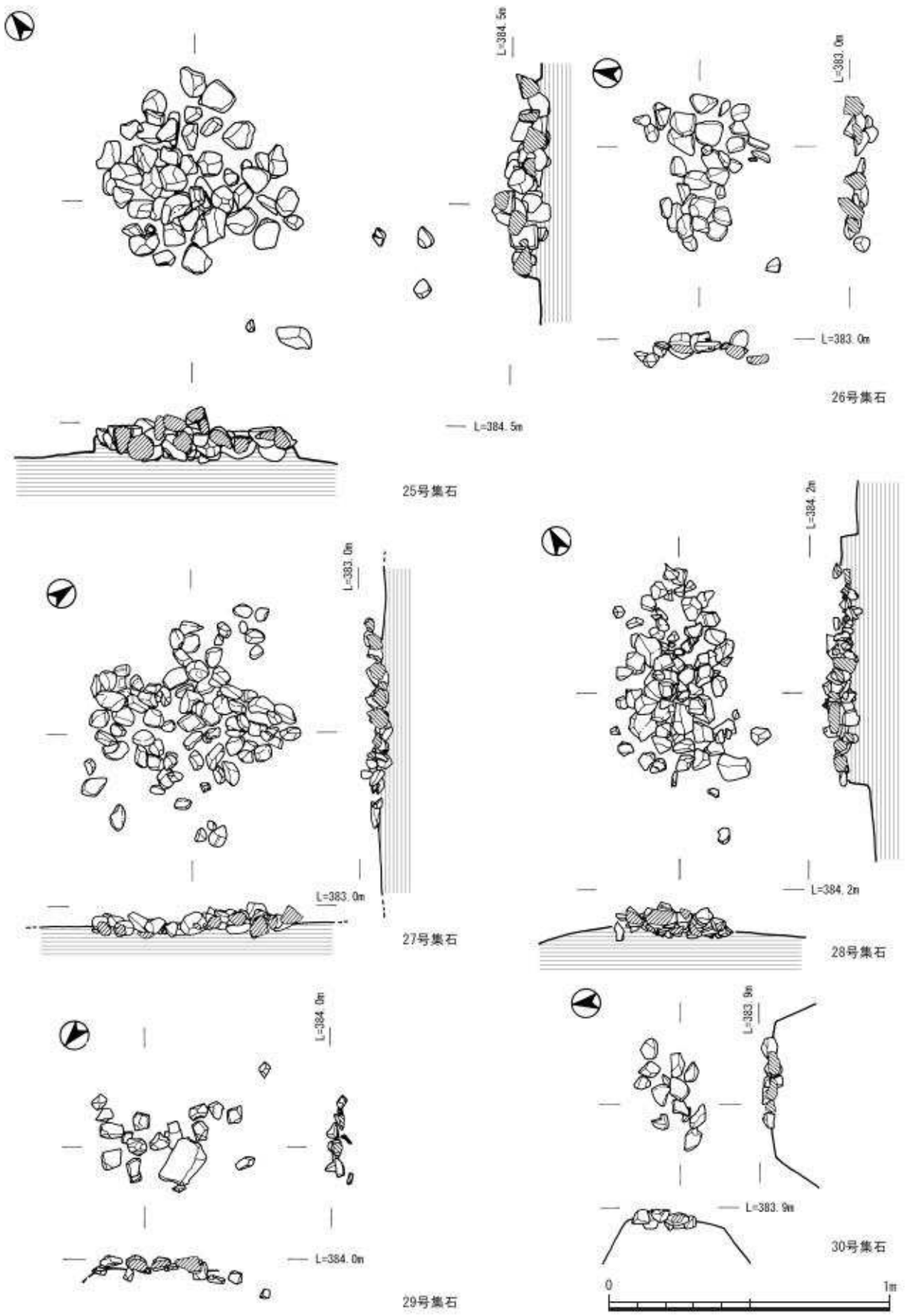
C-4区で検出した。砂岩，安山岩を使用し，ｂ型からｃ型の礫が多い。東側に礫の集ｂ傾向もみられる。200cm×200cmの範囲に集中し，周辺部と集ｂ内に被熱によりボロボロし，破砕したｃ型礫がみられる。検出面の記載漏れのため，検出状況写真から層位を判断した。

（集石Ⅴ類）

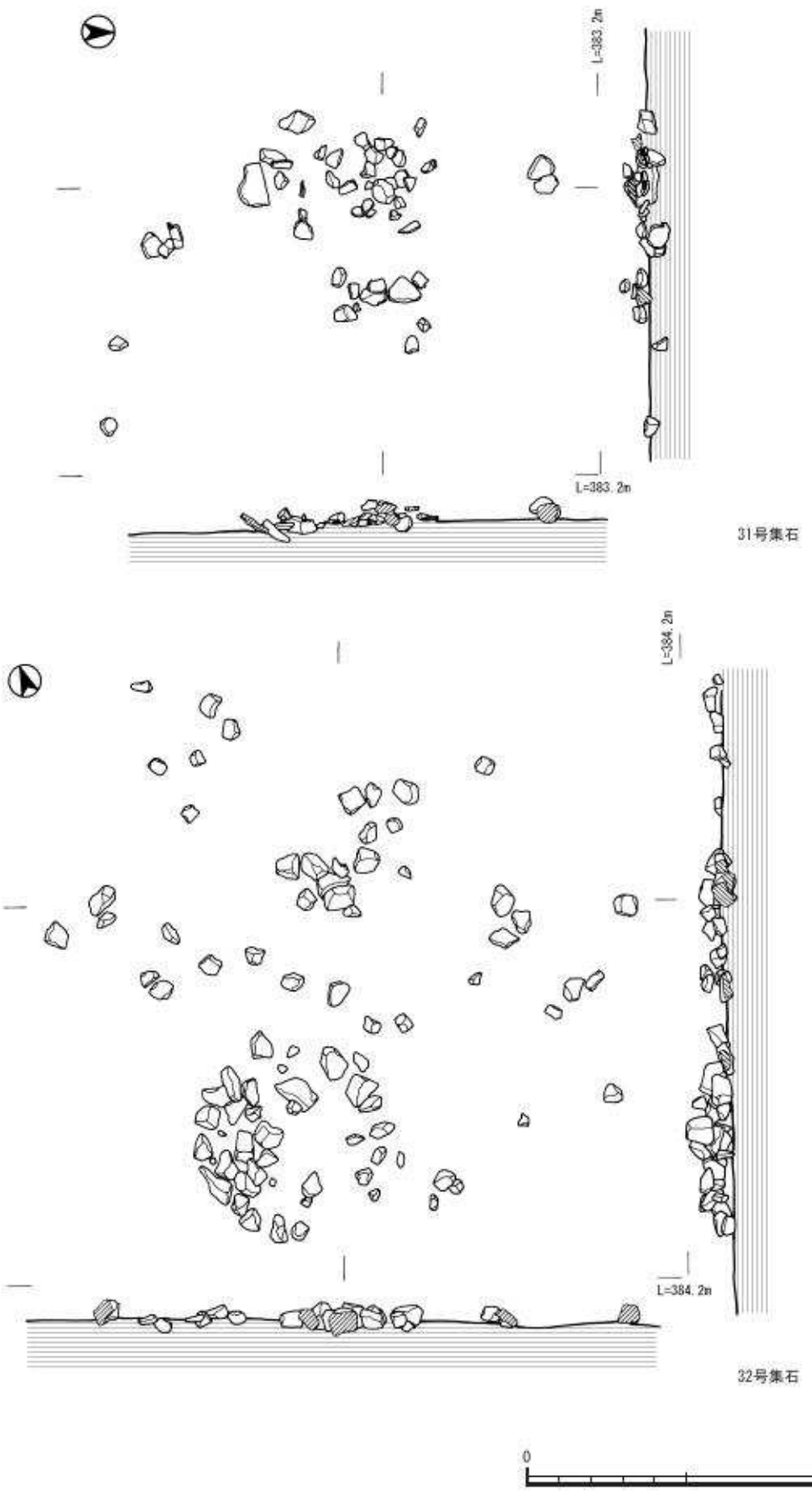
38号集石（第280ｂ）

F-2区で検出した。ｃ型の礫を使用する。

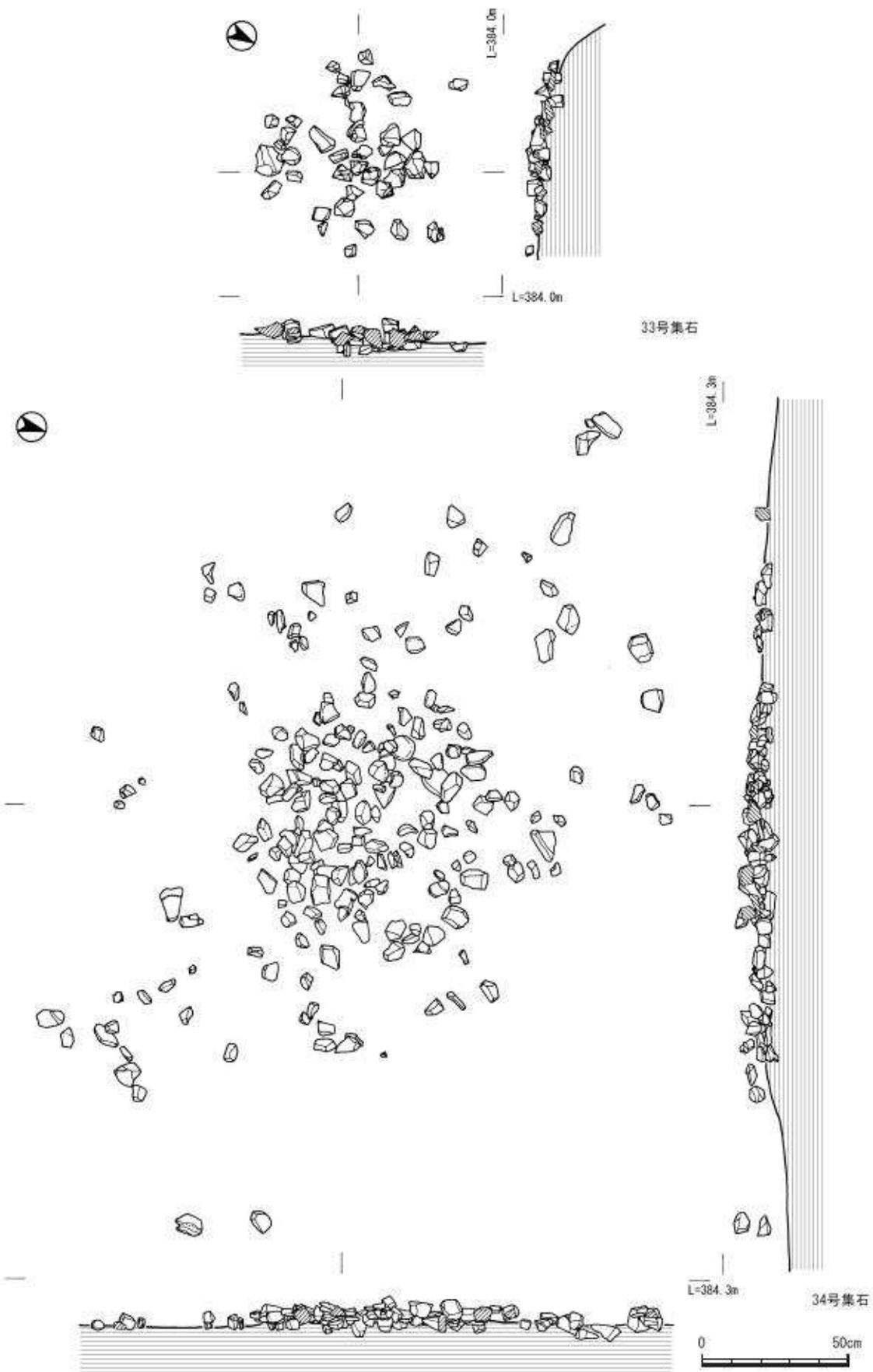
100cm×250cmの楕円状に広がり，平面に60cm×70cmの集ｂ


L=384.5m
L=384.5m
25号集石
L=383.0m
L=383.0m
26号集石
L=383.0m
L=383.0m
27号集石
L=384.2m
L=384.2m
28号集石
L=384.0m
L=384.0m
29号集石
L=383.9m
L=383.9m
30号集石
0
1m

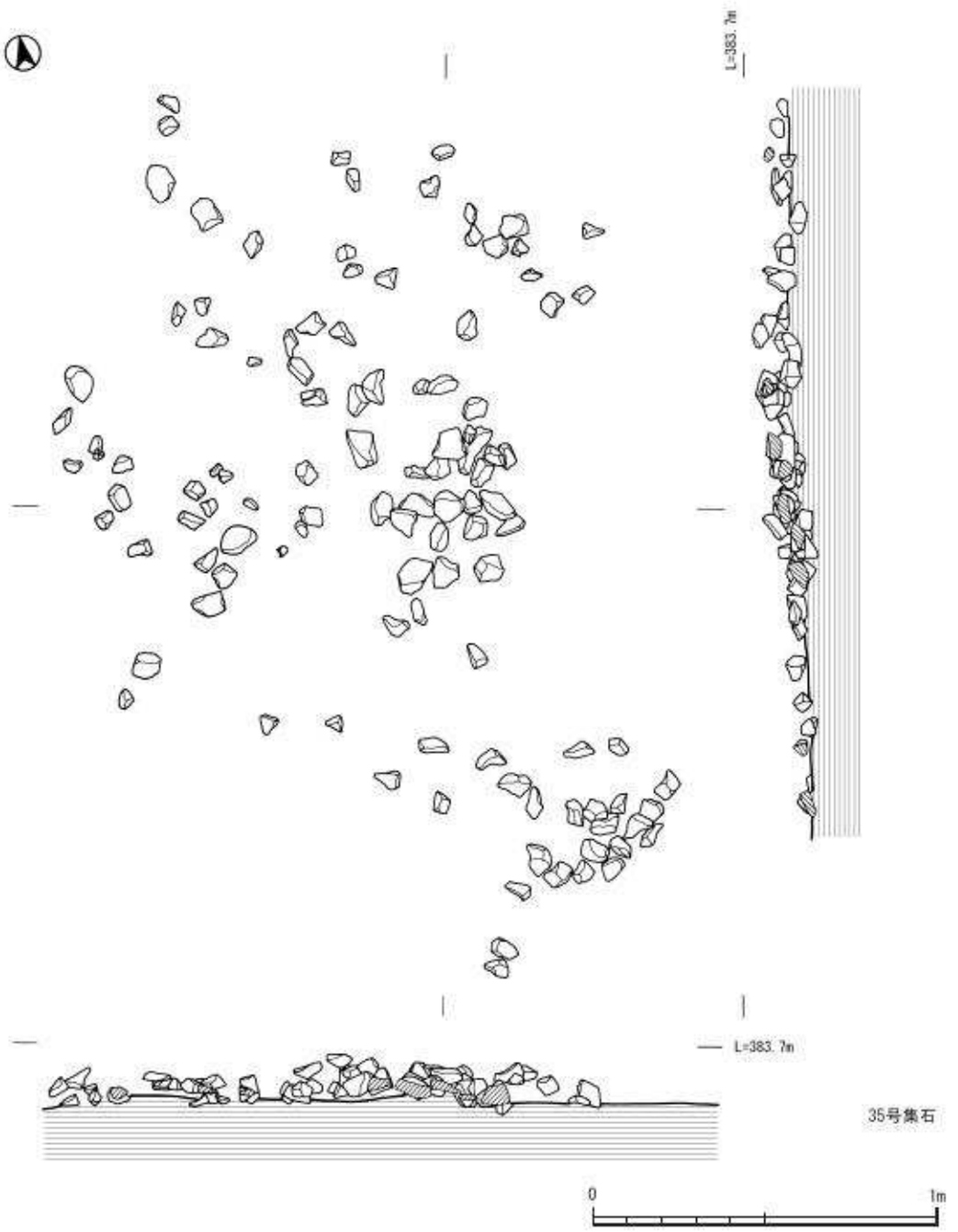
第275図　Ⅶ層集石（1）



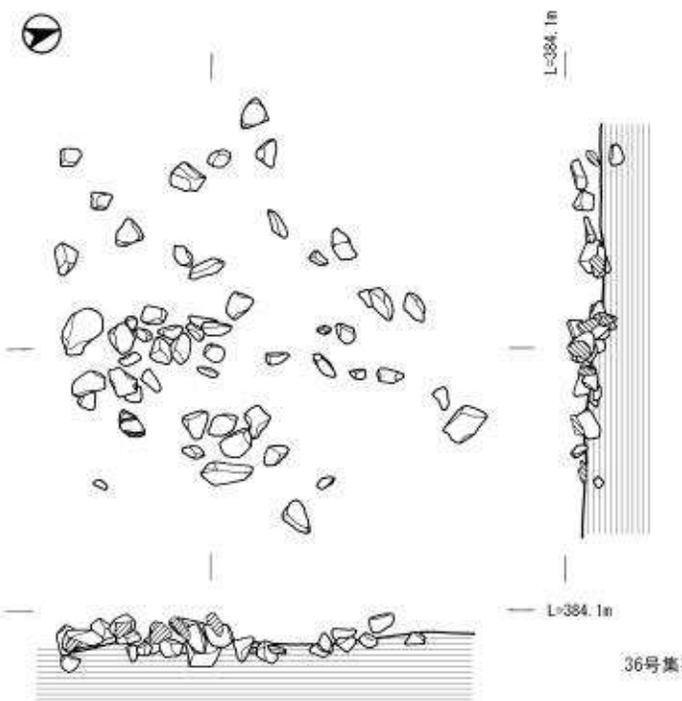
第276図　Ⅶ層集石（2）

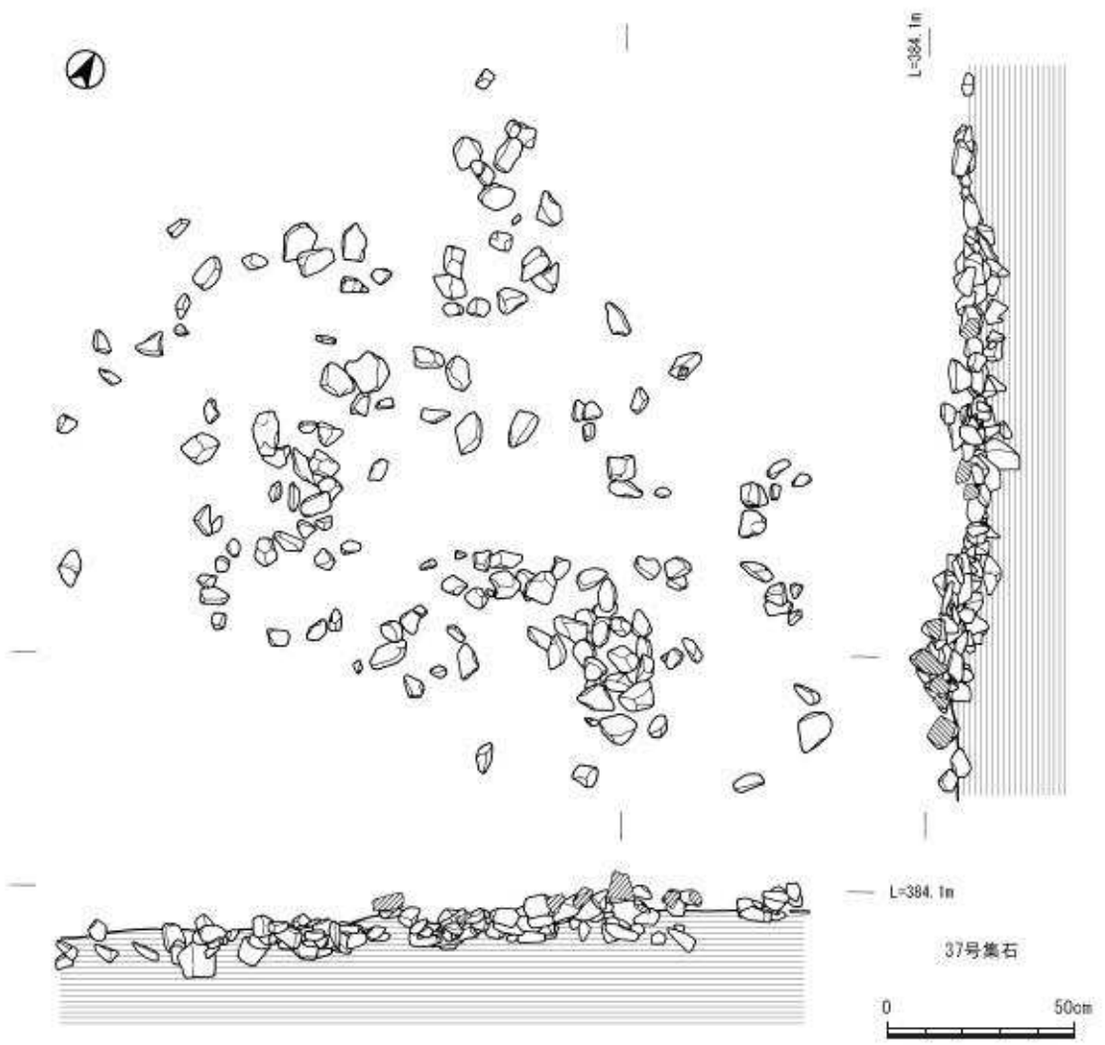


第277図　Ⅶ層集石（3）

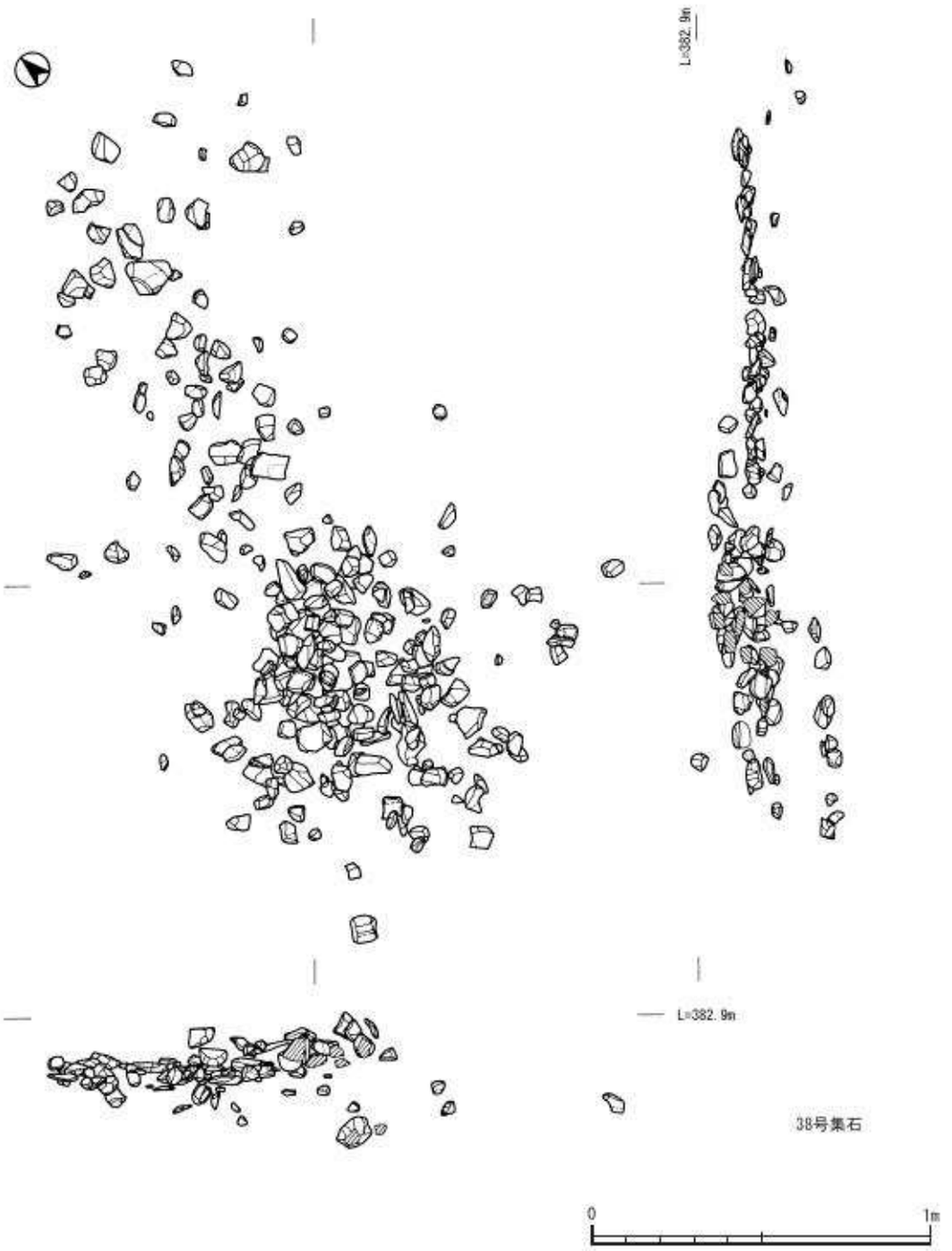


第278図　Ⅶ層集石（4）





第279図　Ⅶ層集石（5）



第280図　Ⅶ層集石（6）

か所が見られ，断面観察から掘り込みを伴う可能性が高い。一方，集Ｂ２カ所とは道の反対には，散在する礫のエリアが見られる。

集Ｂ部の礫の一部に被熱による赤化がみられる。
（集石Ⅳ類）

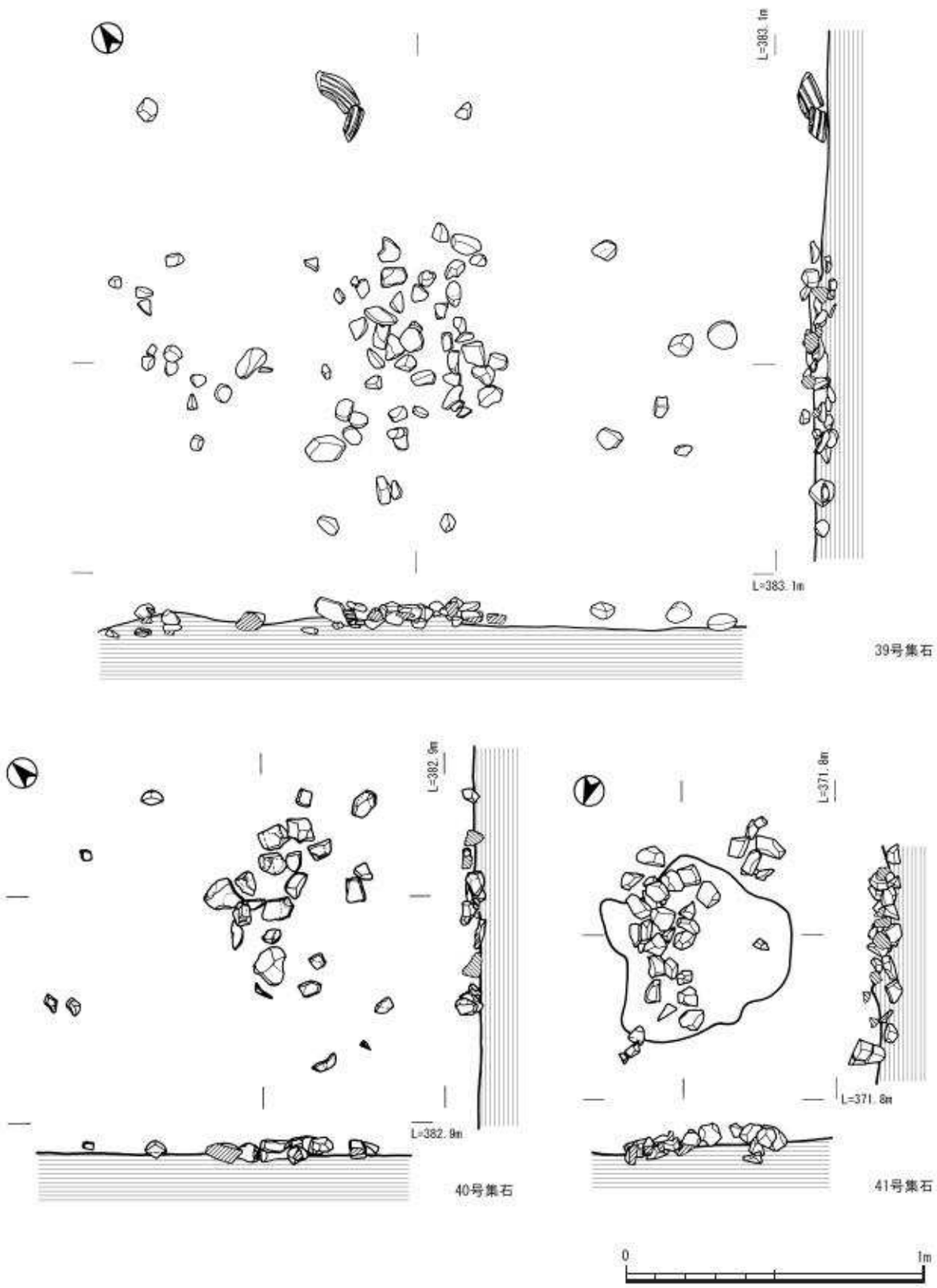
39号集石（第281ページ）

E-2区で検出した。安山岩を使用し，Ｂ型からＣ型の礫が多い。礫は被熱により赤化している。

約100cm×200cmの範囲に広がし，２カ所にまとまる状況も見られる。
（集石Ⅴ類）

40号集石（第281ページ）

G-3区で検出した。安山岩を使用し，Ｂ型からＣ型の礫が多い。60cm×60cm程の集Ｂ赤化範囲が見られ，Ｂ区付近の礫は被熱により赤化している。
（集石Ⅱ類）


L=383.1m
L=383.1m
39号集石
L=382.9m
L=382.9m
40号集石
L=371.8m
L=371.8m
41号集石
0
1m

第281図　Ⅶ層集石（7）

41号集石（第281図）

H-11区で検出した。安山岩を使用し，若干砂岩が混じる。小型礫が多く，一部は被熱のため赤化している。中心部には径50cmほどの炭化物粒の広がりが，礫と重なる状況で確認された。
（集石Ⅱ類）

42号集石（第282図）

I-14区で検出した。中型から小型の角礫を使用している。一部の礫は被熱により赤化している。

50cm×80cmの範囲を成し，中央部に礫の存在しない空き地が見られる。
（集石Ⅱ類）

43号集石（第282図）

E-3区で検出した。安山岩を使用し，中型から小型の礫が多い。

50cm×80cmのエリアを成し，中心付近には被熱により赤化した礫がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。
（集石Ⅱ類）

44号集石（第282図）

B-12区で検出した。安山岩を使用し，中型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化している。

50cm×50cmとコンパクトなエリアを成し，中央部が焼で土下槽のある残存状況がみられる。また，掘り込みを有した可能性もある。
（集石Ⅰ類）

45号集石（第282図）

C-4区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，小型の礫が多い。礫の一部は被熱により赤化，黒変がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。砂岩製の磨石（第302図）が共伴する。
（集石Ⅱ類）

46号集石（第282図）

D-4区で検出した。安山岩を使用し，中型から小型の礫が多い。礫の一部には被熱による黒変がみられ，炭化物粒もわずかに分布する。

50cm×160cmの帯状の範囲を成す。
（集石Ⅲ類）

47号集石（第283図）

C-4区で検出した。砂岩，安山岩を使用し，中型から小型の礫が多い。周辺部に被熱により赤化し，熱破砕した安山岩礫が分布する。120cm×130cmのエリアを成す。

検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。
（集石Ⅱ類）

48号集石（第283図）

D-4区で検出した。安山岩を使用し，小型の礫が多い。50cm×50cmの円形を成し，中央部は礫が焼と成る。
（集石Ⅱ類）

49号集石（第283図）

C-5区で検出した。砂岩，安山岩を使用し，中型から小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化し，安山岩は熱破砕しているものが多い。150cm×250cmの広範囲を構成し，下規則に分布する。

検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。
（集石Ⅲ類）

50号集石（第284図）

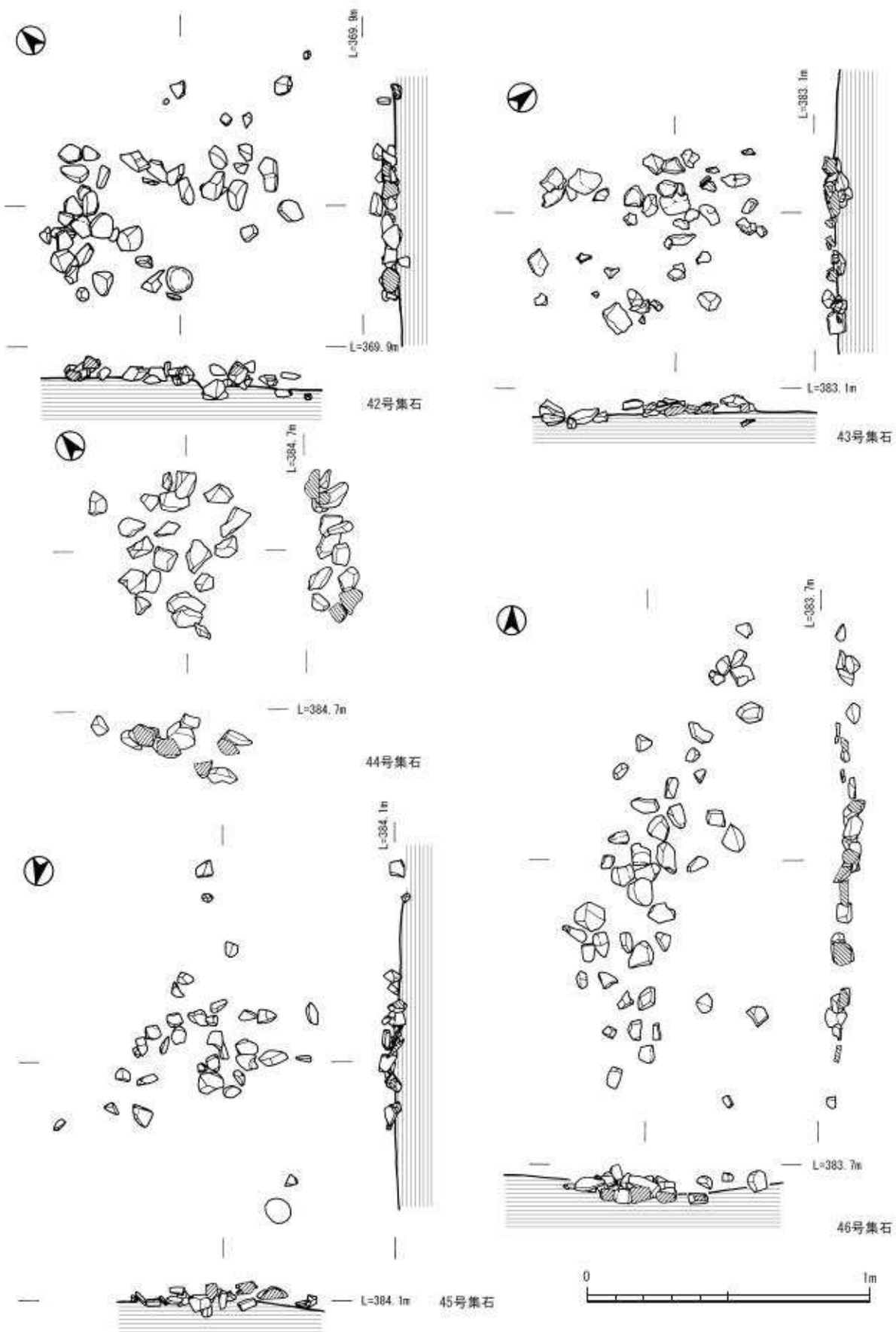
D-3区で検出した。安山岩，砂岩を使用し大型から中型の礫が多い。
（集石Ⅲ類）

51号集石（第284図）

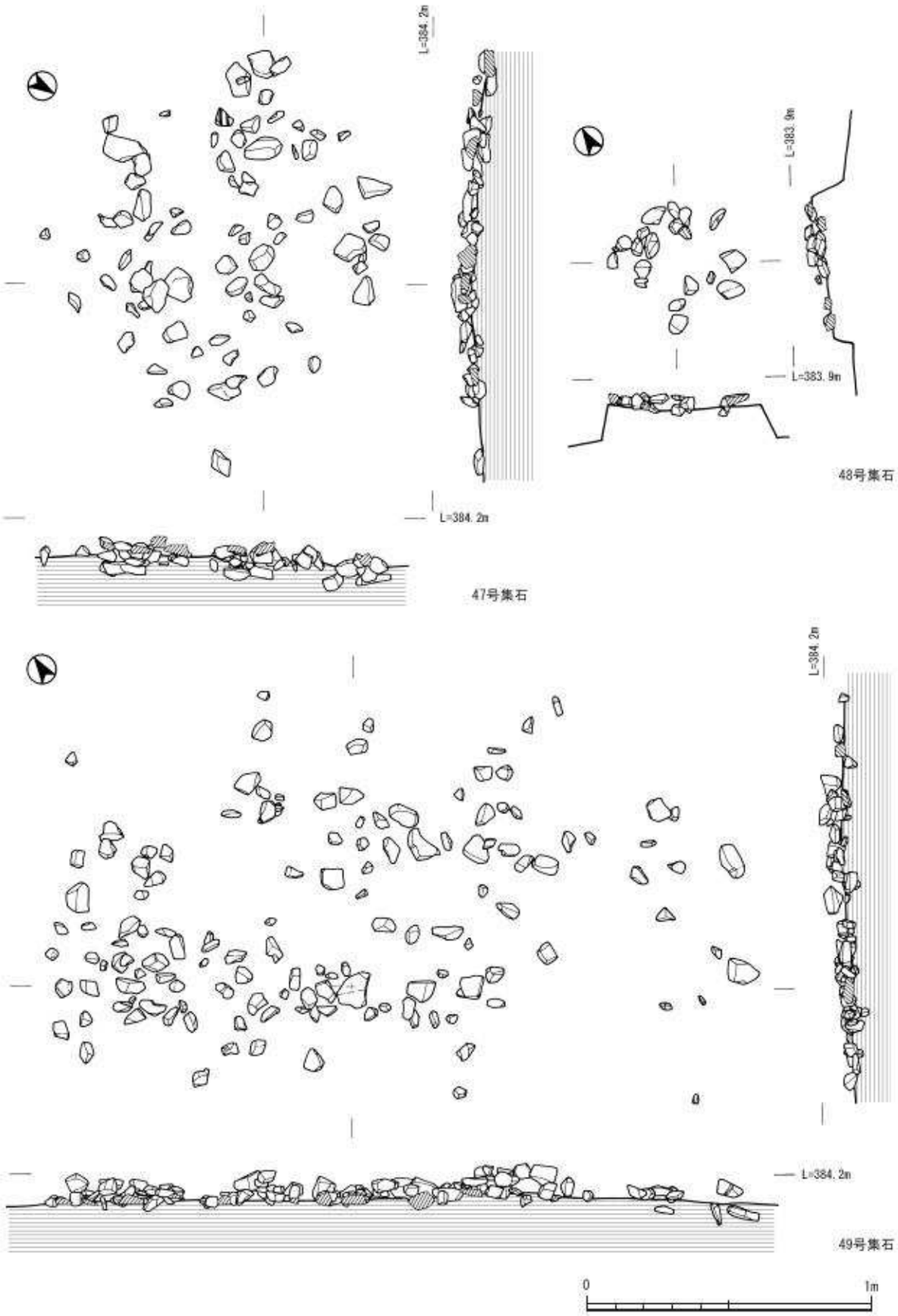
J-13区で検出した。安山岩を使用し，わずかに砂岩が混じる。中型から小型の角礫が多く，被熱により赤化している。
（集石Ⅲ類）

52号集石（第285図）

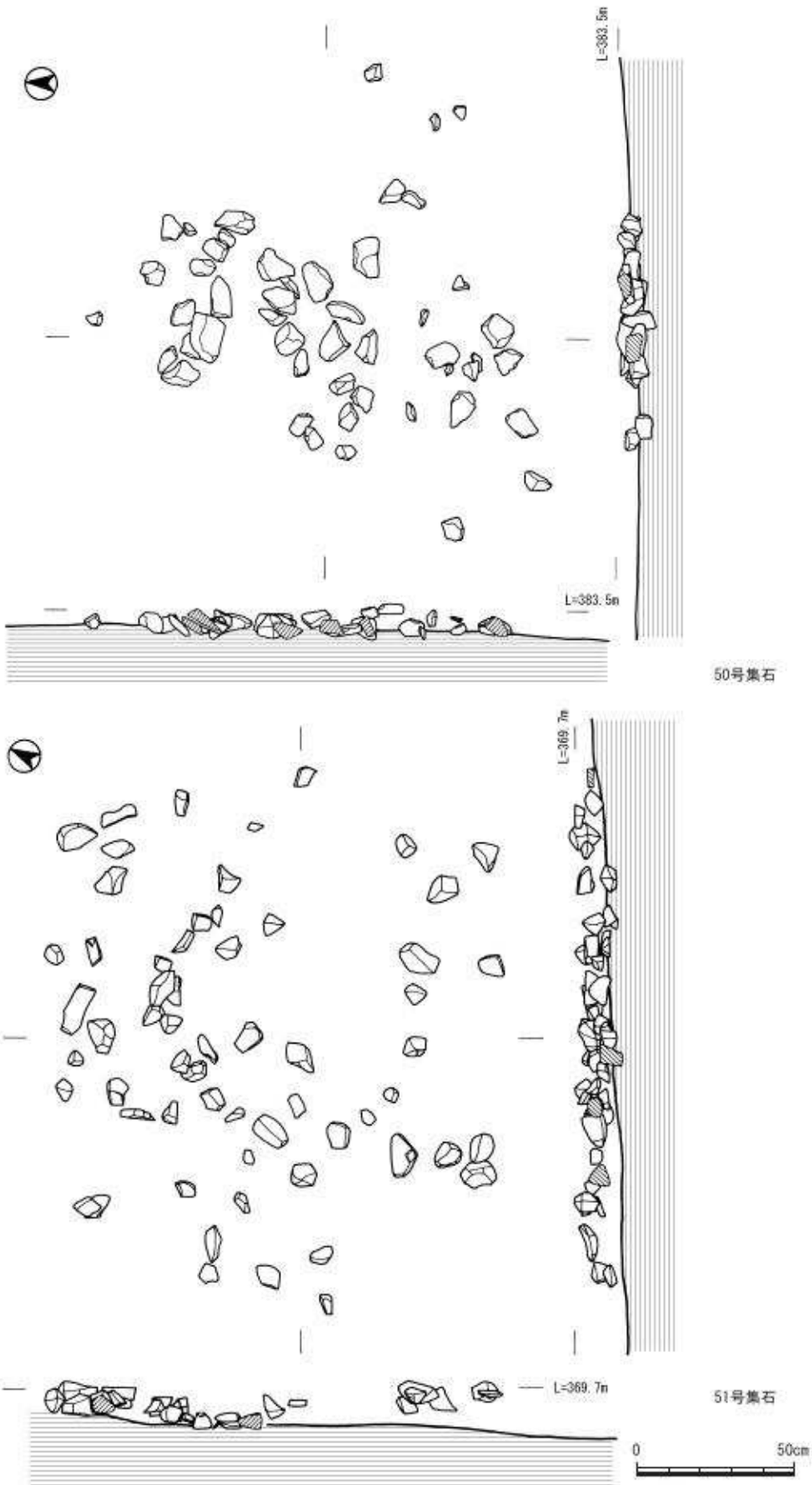
I-14区で検出した。小型の角礫を使用する。半数ほどの礫が被熱のため赤化し，一部熱破砕している。
（集石Ⅲ類）


L=369.9m
L=369.9m
42号集石
L=383.1m
L=383.1m
43号集石
L=384.7m
L=384.7m
44号集石
L=384.1m
L=384.1m
45号集石
L=383.7m
L=383.7m
46号集石
0
1m

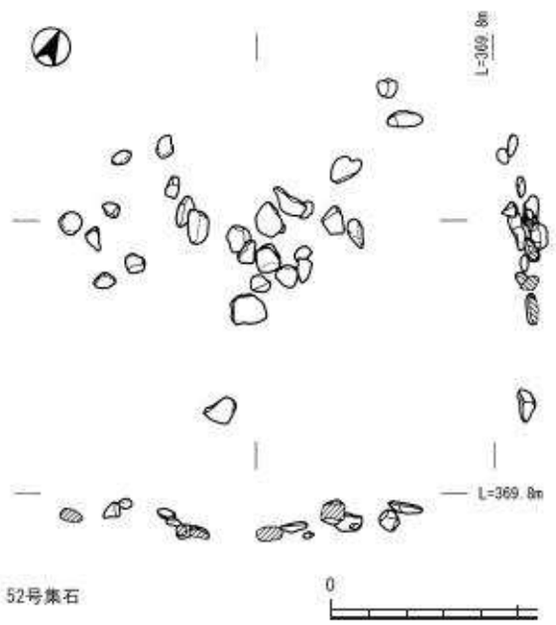
第282図　Ⅶ層集石（8）


L=384.2m
L=384.2m
47号集石
L=383.9m
L=383.9m
48号集石
L=384.2m
L=384.2m
49号集石
0
1m

第283図　Ⅶ層集石（9）



第284図　Ⅶ層集石（10）



第285図　Ⅶ層集石（11）

[illegible]

Ⅶ層では19基の[illegible]を検出した。[illegible]は，[illegible]層の集[illegible]とは分布域を異にしA[illegible]区域に分布する傾向がうかがえる。

54号[illegible]（第286[illegible]）

C-7区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形で長軸222cm，短軸191cm，深さは検出面から57cmである。底面は[illegible]で，掘り込み壁は[illegible]に[illegible]がる。

[illegible]は4枚に区分でき，詳細は第286[illegible]に示した。それぞれの[illegible]は遺物を含み，特に，[illegible]4の[illegible]では，[illegible]（[illegible]形）と[illegible]（[illegible]形）に2か所の[illegible]を検出している。

遺構[illegible]からは[illegible]製品3点（16～18），[illegible]器片27点（19～27），[illegible]器2点（28，29），[illegible]8点（30～37），[illegible]のある[illegible]1点（38）が[illegible]している。その[illegible]，ギョクズイ，[illegible]，チャート，[illegible]の[illegible]，チップが多数あり，礫も68点含まれていた。

[illegible]からの[illegible]遺物には偏りが見られ，[illegible]1と[illegible]3，[illegible]4に集[illegible]している。

[illegible]1には，[illegible]器片，礫が多数含まれ，ほぼ全域で均一に[illegible]している。

[illegible]3，4には，[illegible]器，[illegible]製品が[illegible]含され，特に，[illegible]製品は[illegible]3と4の境界の[illegible]4から[illegible]している。また，遺構の[illegible]に[illegible]製品が集[illegible]し，やや分布範囲は広いが[illegible]器も[illegible]に集[illegible]する傾向がみえる。

55号[illegible]（第287[illegible]）

D-6区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形で長軸188cm，短軸172cm，深さは検出面から35cmである。底面は[illegible]で，掘り込み壁の[illegible]がりはほぼ[illegible]である。規模，形態的に54号[illegible]と非常に類似する。

3枚の[illegible]を確認しているが，遺物は発見されていない。

56号[illegible]（第288[illegible]）

C-10区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形で長軸136cm，短軸107cm，深さは検出面から24cmである。底面は[illegible]で，掘り込み壁の[illegible]がりはほぼ[illegible]である。

規模が異なるが54号[illegible]と形態が非常に類似する。

遺物の[illegible]は，確認されていない。

57号[illegible]（第288[illegible]）

B-13区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形状で長軸110cm，短軸65cm，深さは検出面から12cmである。底面は[illegible]で，掘り込み壁の[illegible]がりは緩やかに傾斜する。

（[illegible]Ⅰ類）

58号[illegible]（第289[illegible]）

D-8区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形状で長軸88cm，短軸53cm，深さは検出面から32cmである。底面はやや[illegible]に傾斜する。底面にみられる落ち込みは[illegible]的なものでないと考え，ここではⅠ類と判断した

（[illegible]Ⅰ類）

59号[illegible]（第289[illegible]）

C-8区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形状で長軸95cm，短軸47cm，深さは検出面から27cmである。底面は[illegible]で，一部落ち込みがみられるが[illegible]的なものではないと考え，ここではⅠ類と判断した。

（[illegible]Ⅰ類）

60号[illegible]（第289[illegible]）

B-13区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形で長軸113cm，短軸62cm，深さは検出面から19cmである。底面は[illegible]で，壁はほぼ[illegible]に[illegible]がる。

（[illegible]Ⅰ類）

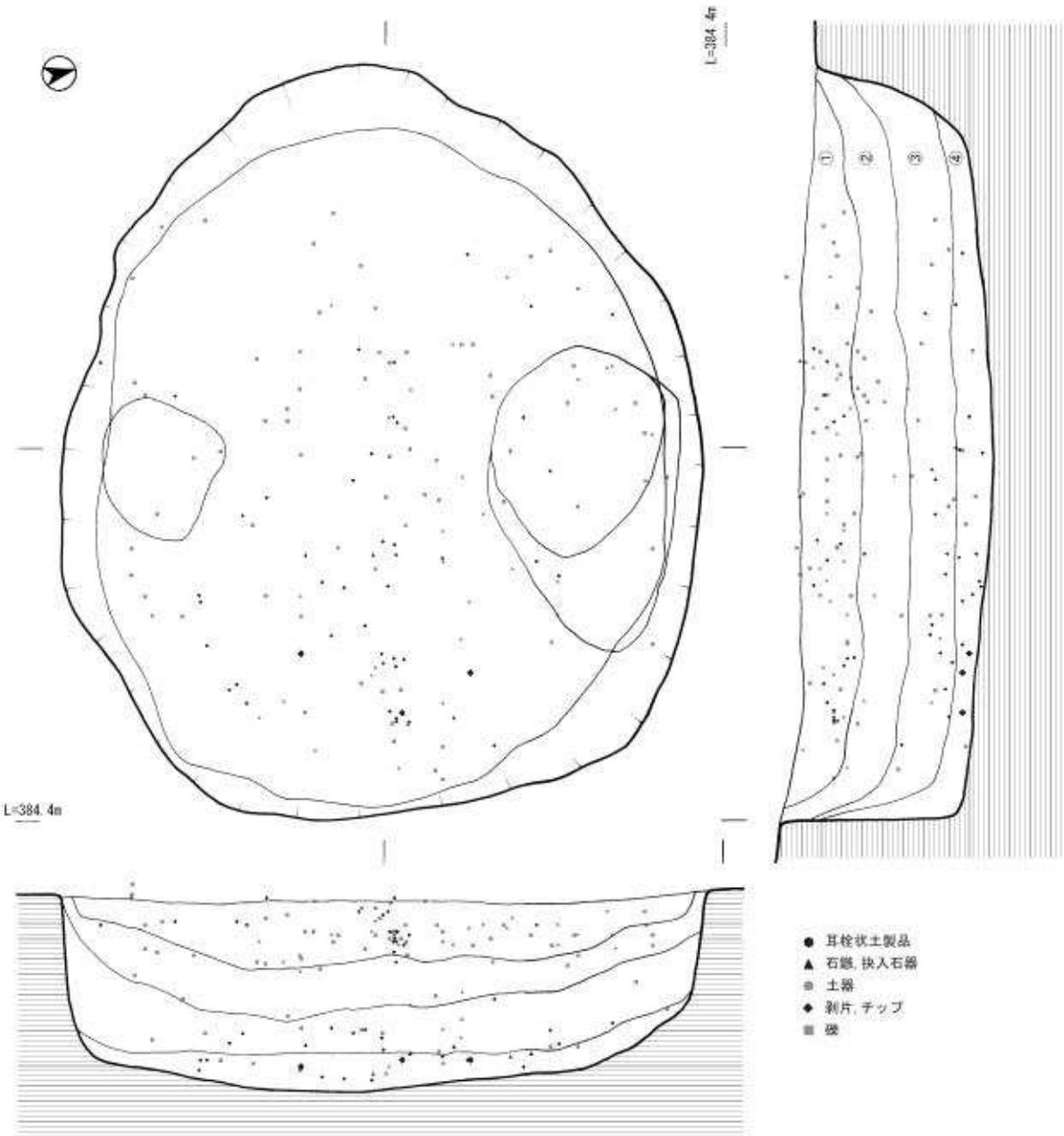
61号[illegible]（第290[illegible]）

B-11区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形で長軸104cm，短軸68cm，深さは検出面から30cmである。底面は[illegible]で，壁は[illegible]に[illegible]がる。

（[illegible]Ⅰ類）

62号[illegible]（第290[illegible]）

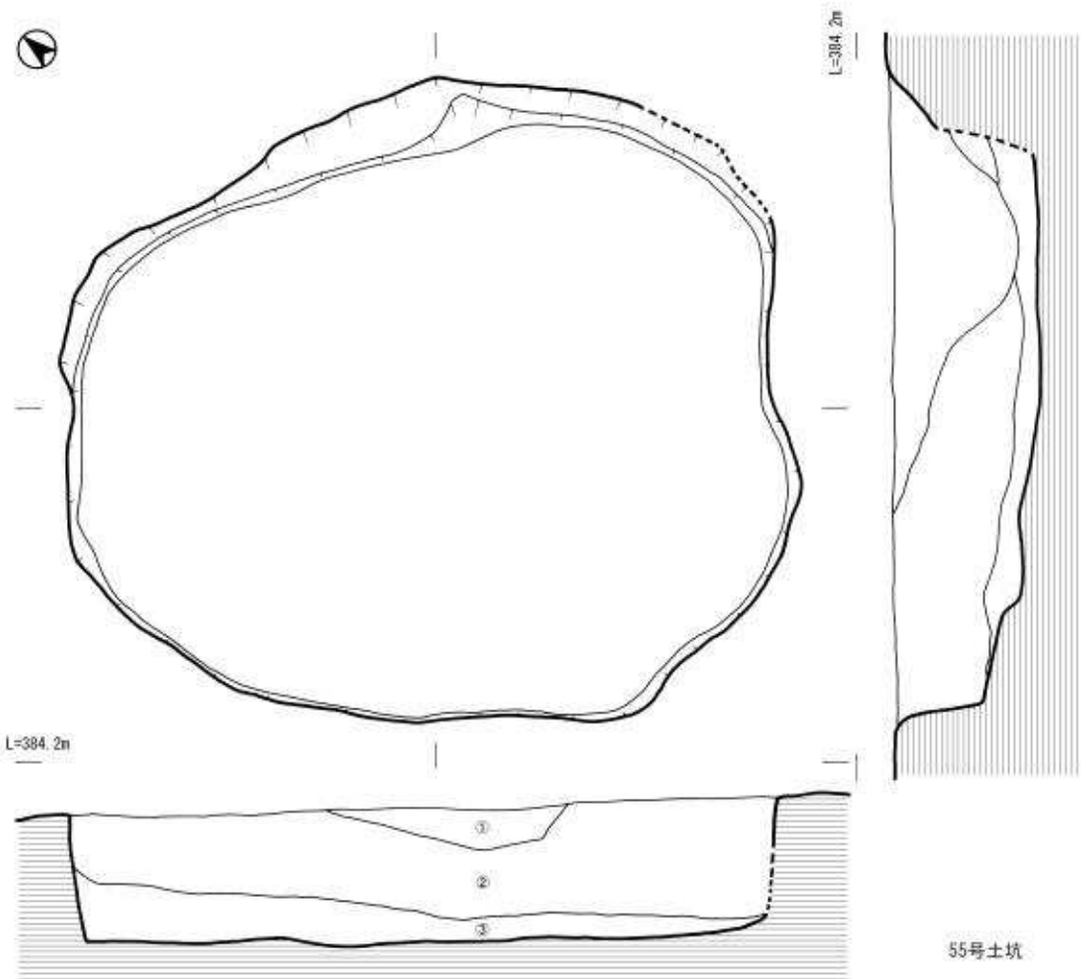
B-11区，Ⅸ層[illegible]で検出した。[illegible]プランは[illegible]形で長軸126cm，短軸62cm，深さは検出面から25cmである。



①	暗茶褐色土。サツマ小パミスが混じる。
②	暗茶褐色土。1より黒っぽい。大きめのサツマパミスが混じる。
③	暗茶褐色土。2より黒っぽい。サツマパミスがほとんど混じらない。
④	暗茶褐色土。黒っぽく締まっている。ロームが混じる。

0 50cm

第286図　Ⅶ層土坑（1）



①	暗茶褐色土 10mm ほどの黄色パミス，20 ～ 30mm のサツマと思われるブロックが混じる。
②	黒褐色土，10 ～ 60mm のＸＩ層土ブロックが混じる。50mm ほどのサツマブロックもわずかに混じる。
③	黒褐色土，2よりも若干明るい。ＸＩ層土が混じったと思われる。1～3mm ほどの黄色パミスがわずかに混じる。

0　50cm

第287図　Ⅶ層土坑（2）

底面はほぼ平坦で，掘り込み壁の立ち上がりはやや傾斜している。
（土手Ⅰ類）

63号土手（第290図）

B-14区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸114cm，短軸70cm，深さは検出面から22cmである。底面はほぼ平坦で，掘り込み壁の立ち上がりはかなり傾斜している。
（土手Ⅰ類）

64号土手（第291図）

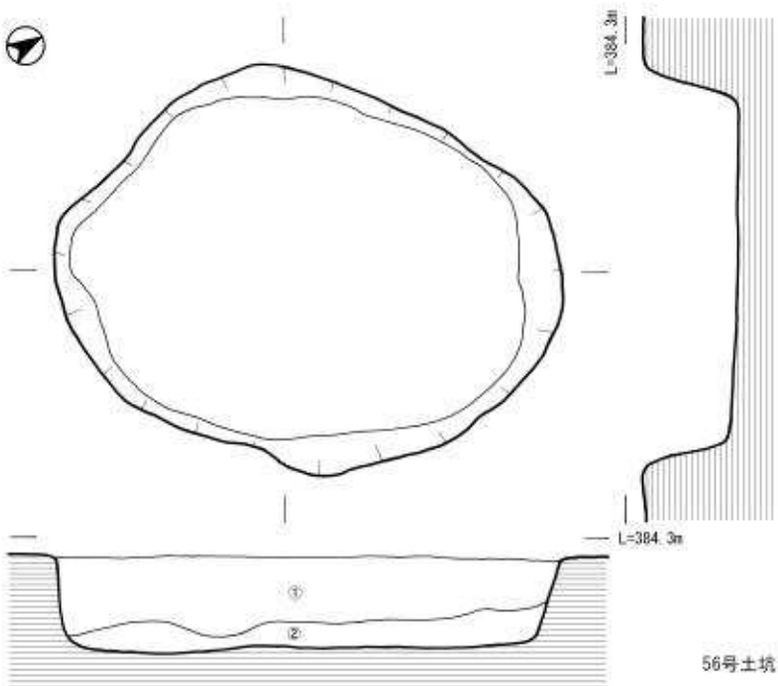
G-10区，ＸＩ層で検出した。平面プランは楕円形状で長軸83cm，短軸63cm，深さは検出面から25cmである。底面はやや起伏をもち北東部に傾斜する。掘り込み壁の立ち上がりは緩やかで，長軸北東端に深さ62cmで先細りの小穴がみられる。
（土手Ⅱ類）

65号土手（第291図）

C-8区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸99cm，短軸71cm，深さは検出面から36cmである。底面は平坦で，長軸中軸端に深さ38cmの小穴がみられる。
（土手Ⅱ類）

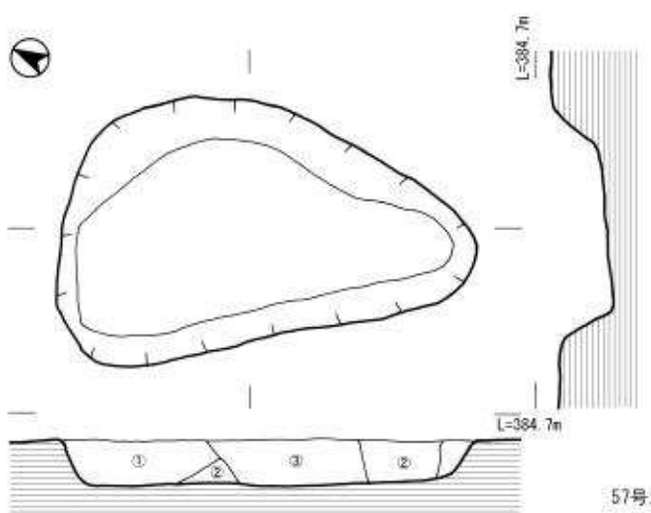
66号土手（第292図）

C-8区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸85cm，短軸52cm，深さは検出面から37cmである。底面は平坦で，長軸中端に深さ29cmの小穴がみられる。
（土手Ⅱ類）



56号土坑

①	暗茶褐色土。3～4mmの黄白色パミスが全体的に混じる。
②	黒褐色土。

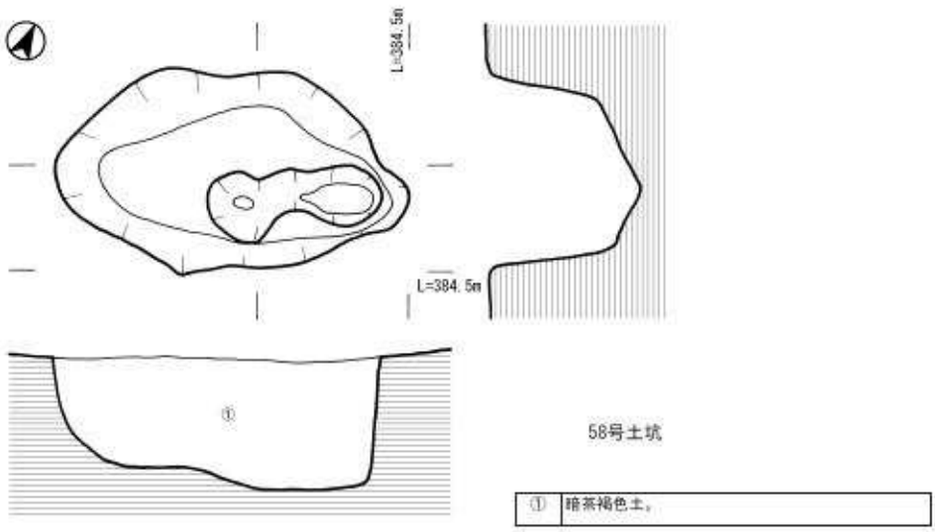


57号土坑

①	暗茶褐色土。2～3mmの黄白色パミスが少量混じる。
②	黒褐色。2～3mmの黄白色パミスが少量混じる。
③	明茶褐色土。2～3mmの黄白色パミスが少量混じる。

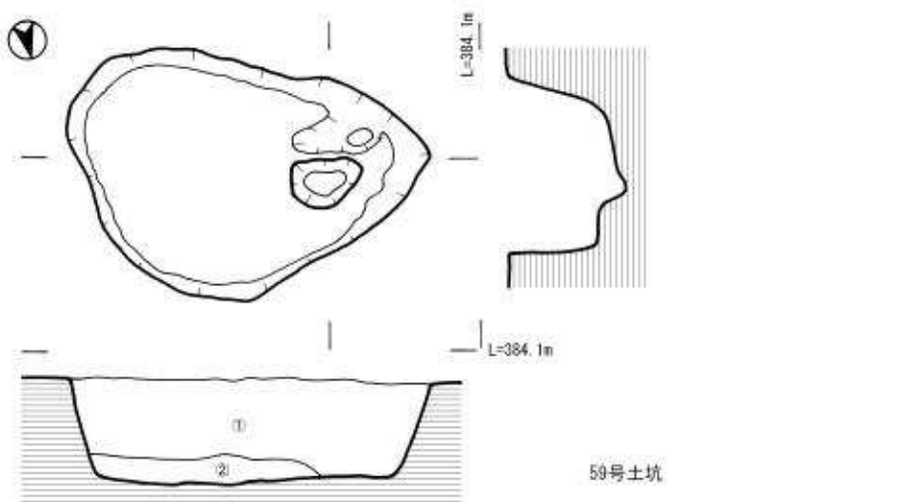
0 50cm

第288図　Ⅶ層土坑（3）



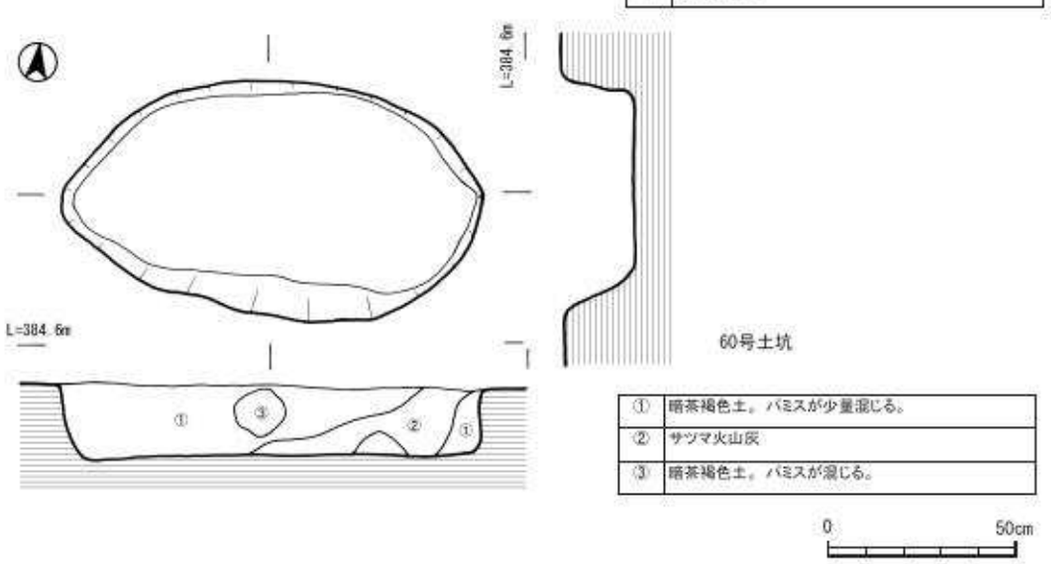
58号土坑

①	暗茶褐色土。



59号土坑

①	暗茶褐色土。黄橙色パミスが少量混じる。
②	明茶褐色土。

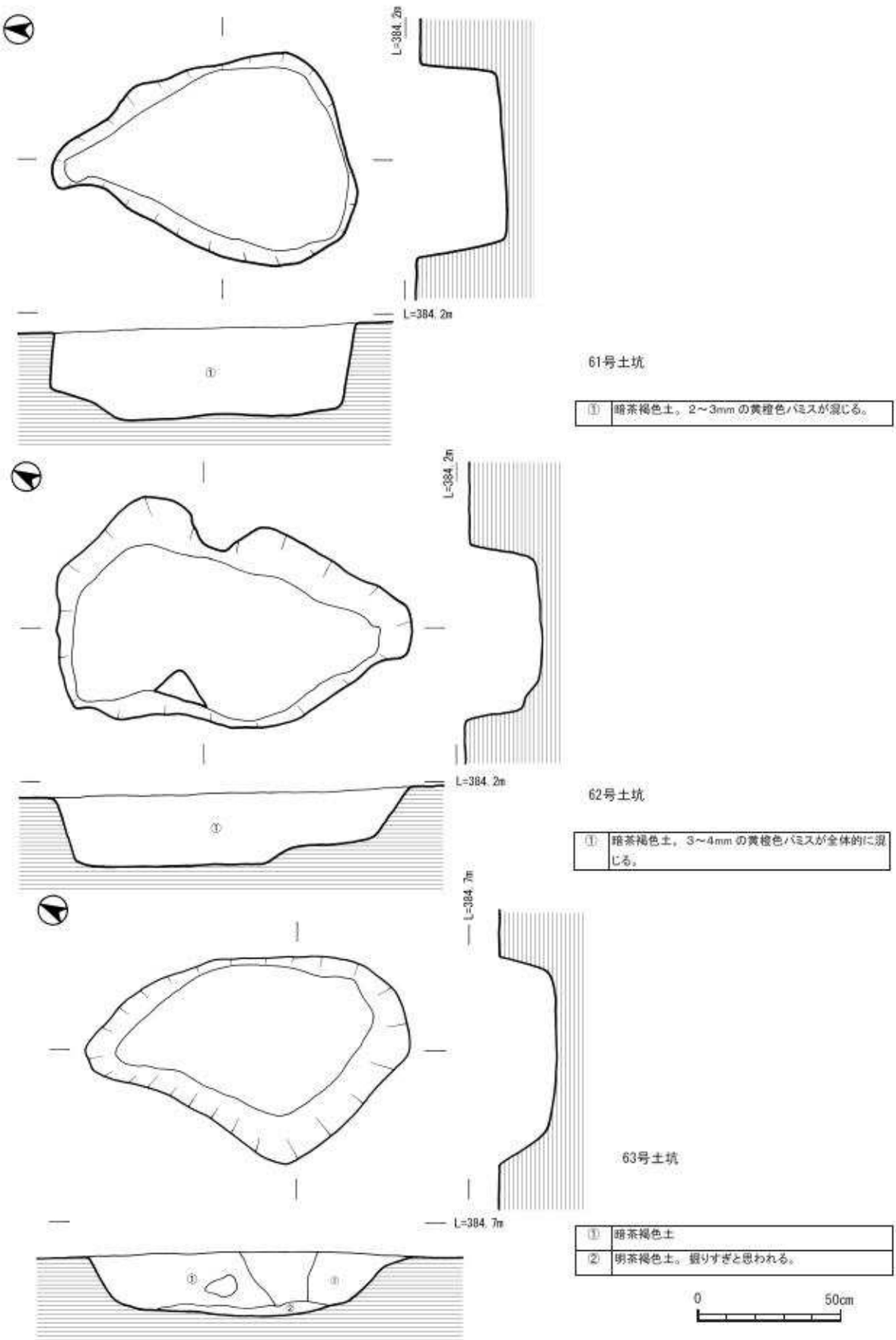


60号土坑

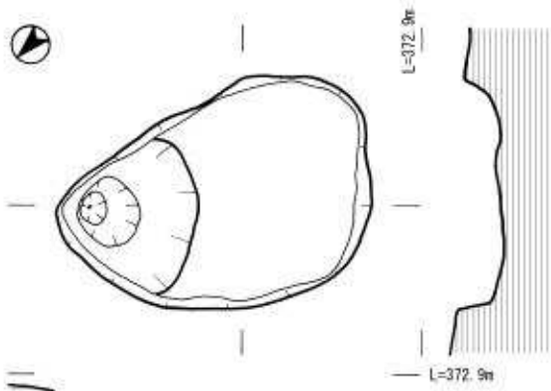
①	暗茶褐色土。パミスが少量混じる。
②	サツマ火山灰
③	暗茶褐色土。パミスが混じる。

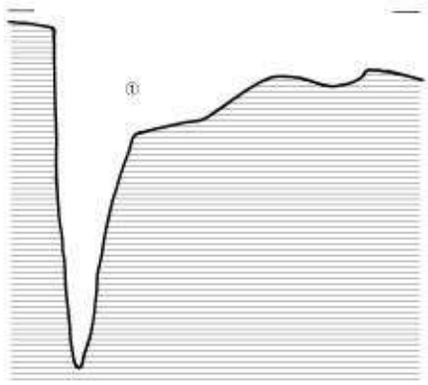
0 50cm

第289図　Ⅶ層土坑（4）


L=384.2m
L=384.2m
①
61号土坑
① 暗茶褐色土。2～3mmの黄橙色パミスが混じる。
L=384.2m
L=384.2m
①
62号土坑
① 暗茶褐色土。3～4mmの黄橙色パミスが全体的に混じる。
L=384.7m
L=384.7m
①
②
①
63号土坑
① 暗茶褐色土
② 明茶褐色土。掘りすぎと思われる。
0
50cm

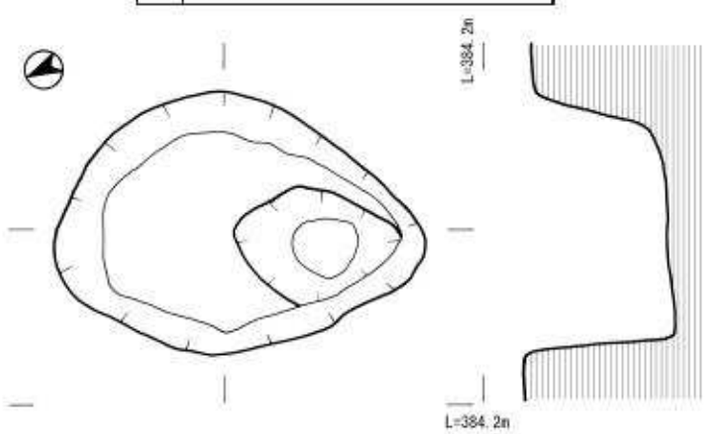
第290図　Ⅶ層土坑（5）

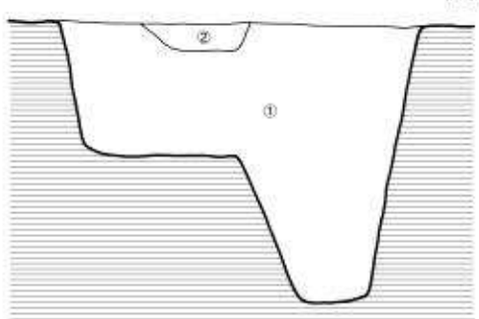




64号土坑

①	茶褐色土。パミスが混じる。



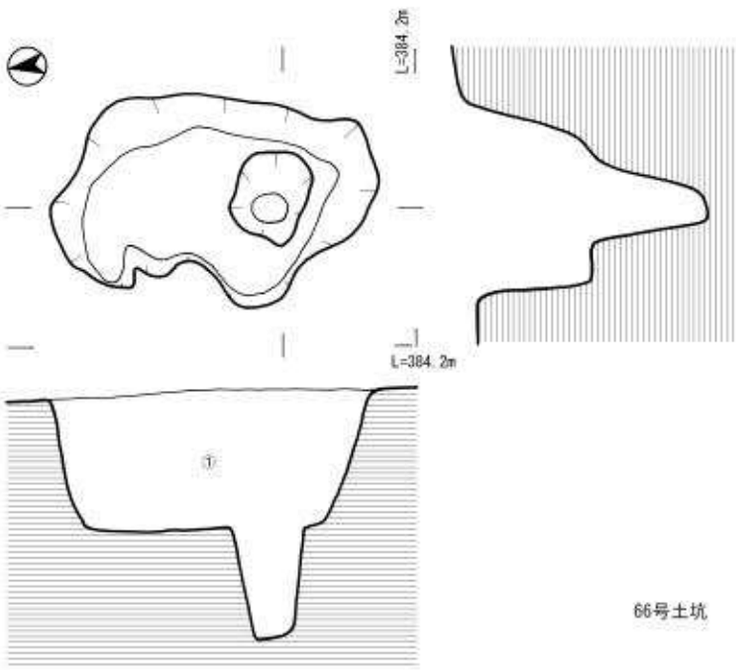


65号土坑

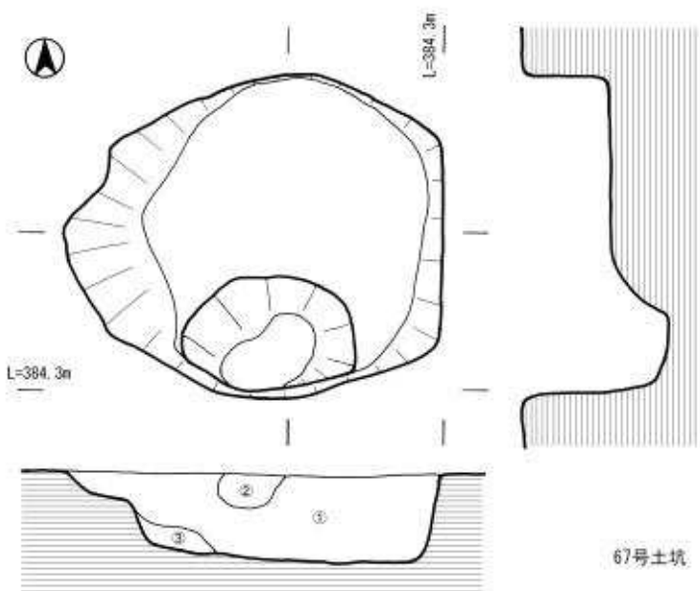
①	暗茶褐色土。黄橙色パミスが全体的に点在する。
②	明茶褐色土。

0 50cm

第291図　Ⅶ層土坑（6）

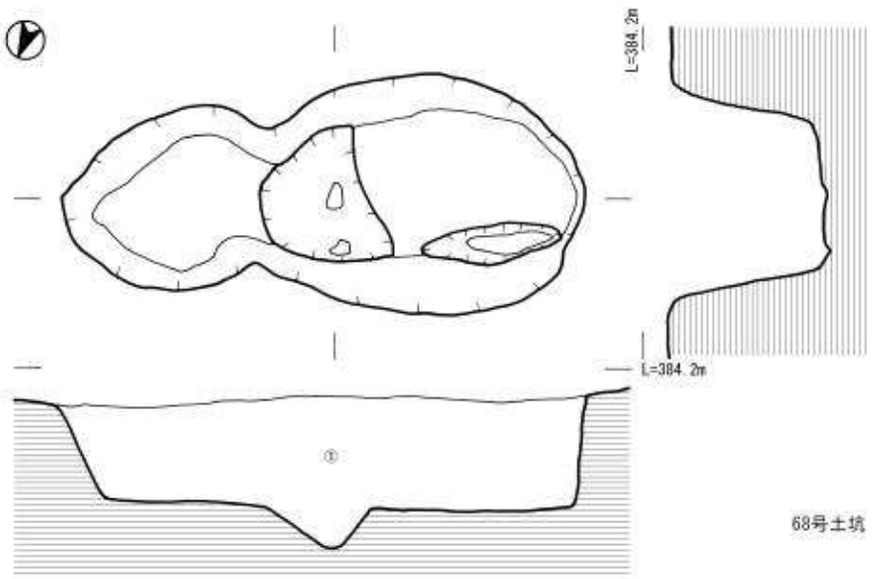


①	暗茶褐色土。黄橙色パミスが全体的に点在する。



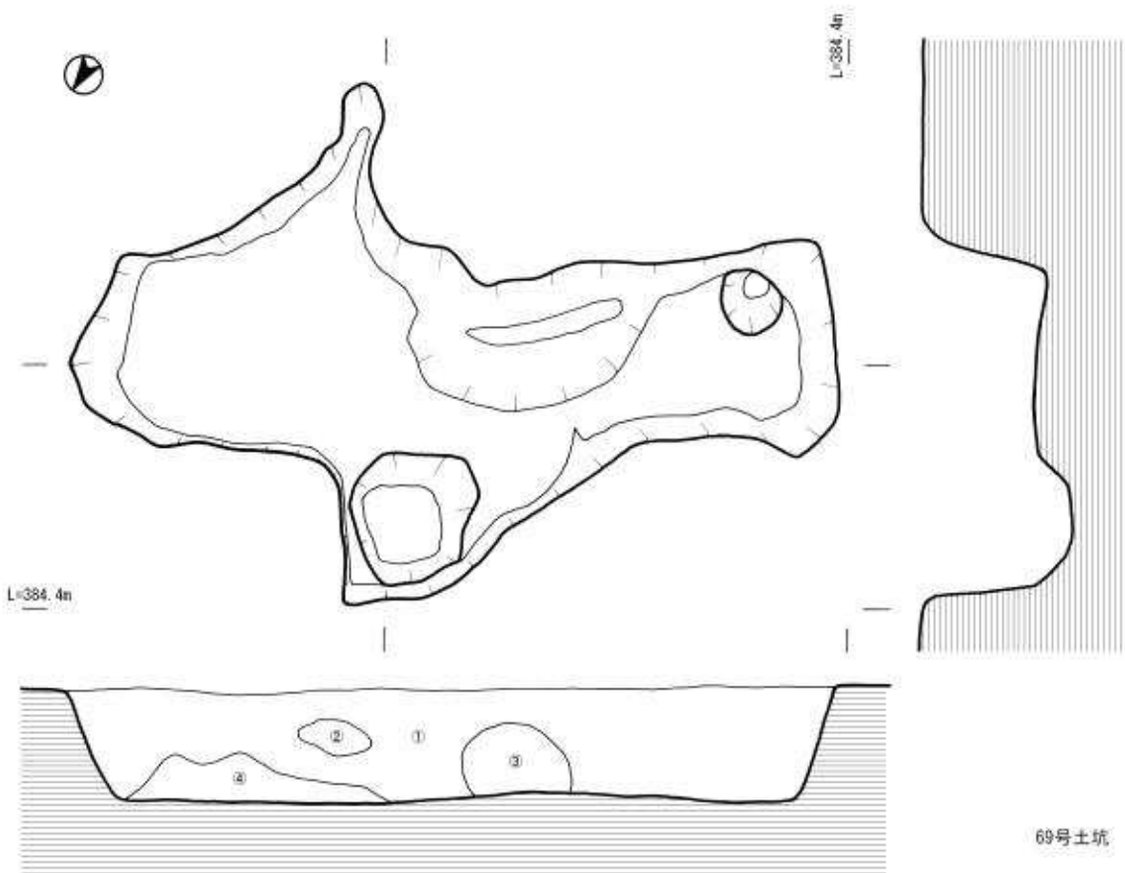
①	暗茶褐色土。2～3mm の黄白色パミスが混じる。
②	暗茶褐色土。20mm ほどの黄白色パミスが混じる。
③	暗茶褐色土。30 ～ 40mm の黄橙色パミスが混じる。

第292図　Ⅶ層土坑（7）



68号土坑

①	暗茶褐色土。3～4mmの黄橙色パミス、1mmほどの白色パミスが少量混じる。

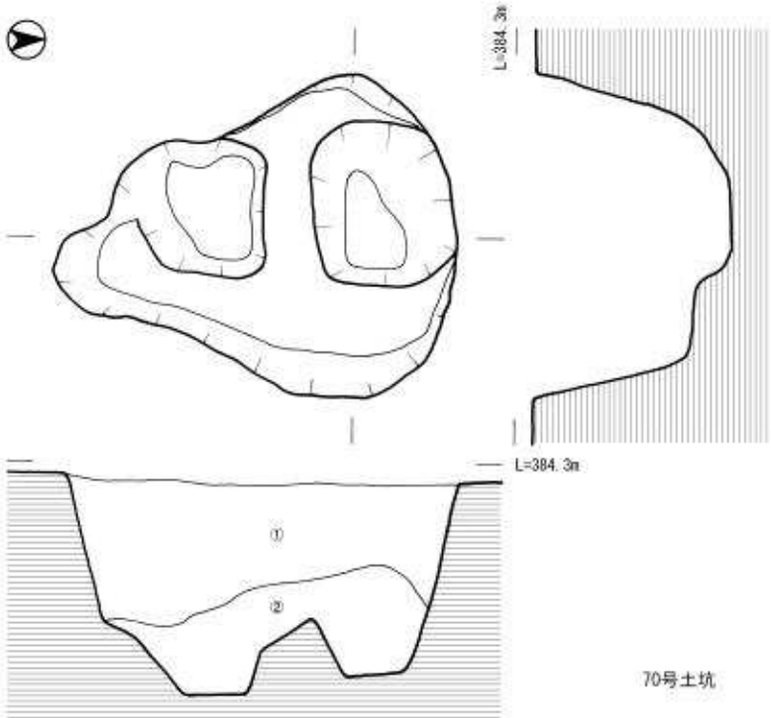


69号土坑

①	暗茶褐色土。10～30mmほどの黄橙色パミスが混じる。
②	暗茶褐色土。薄黄色パミスが混じる。
③	暗茶褐色土。20～80mmのパミスが多く混じる。
④	明茶褐色土。

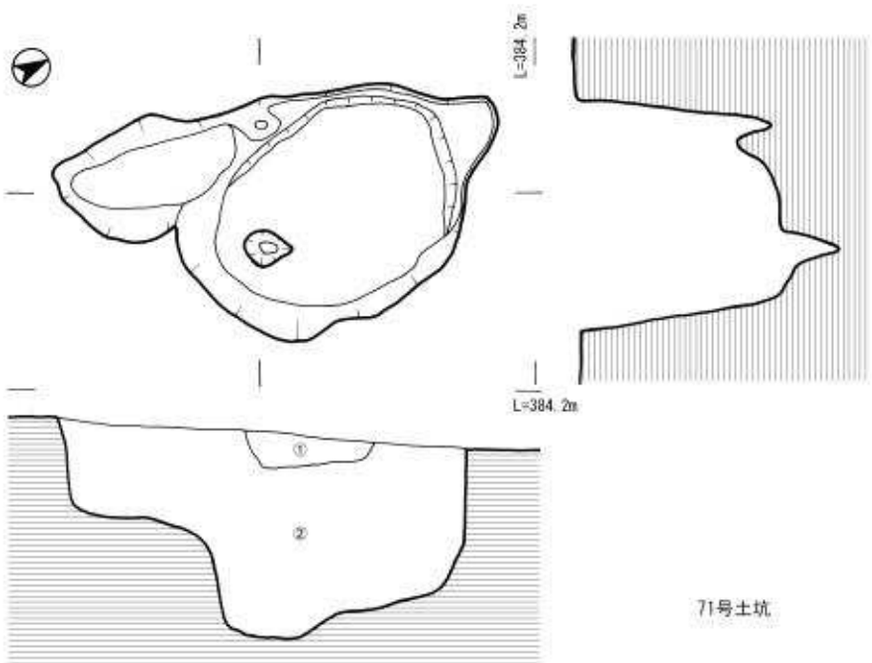
0　50cm

第293図　Ⅶ層土坑（8）



70号土坑

①	暗茶褐色土。5～10mmの黄橙色パミスが散在する。
②	茶褐色土。50～70mmの大きなパミスが少量混じる。

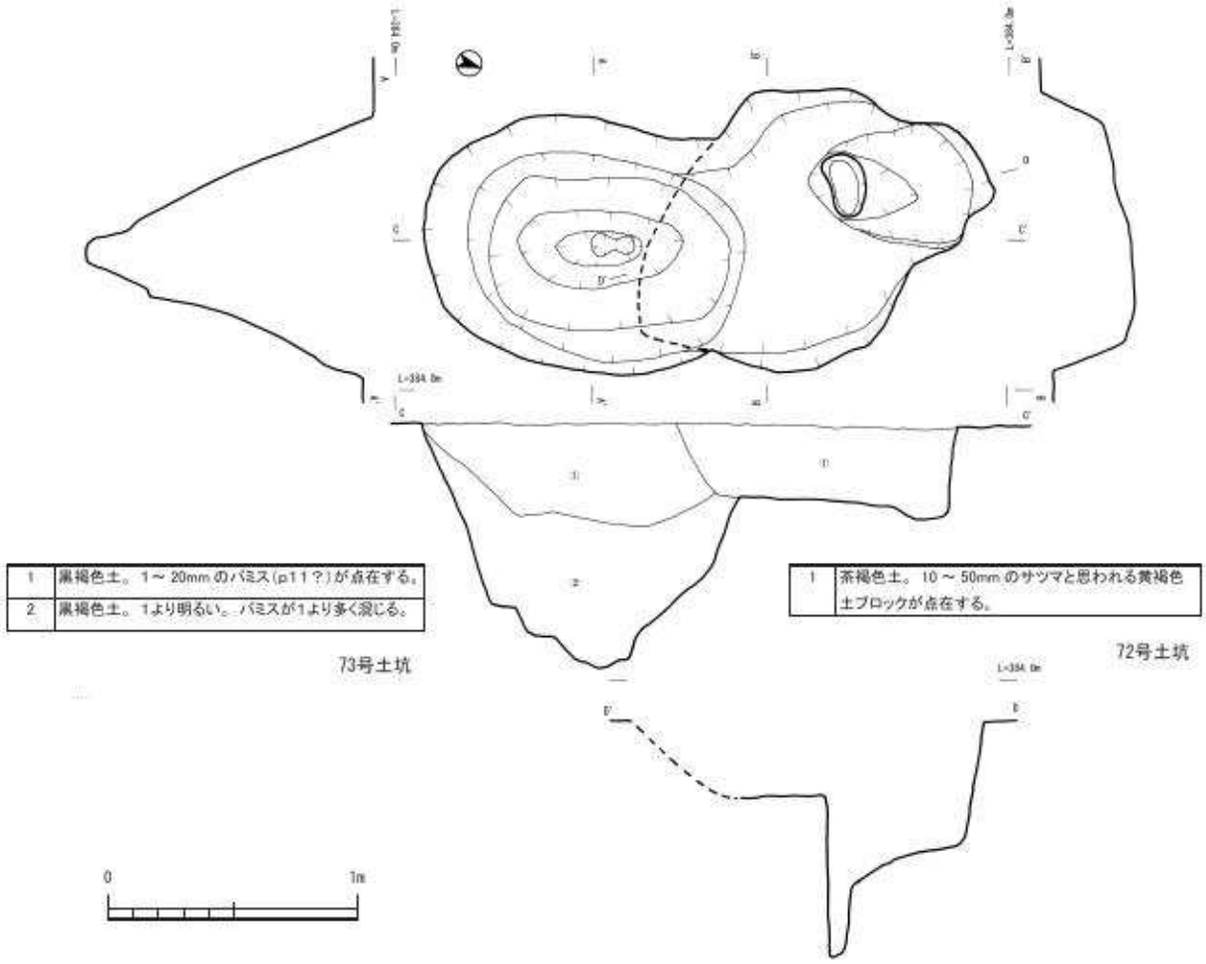


71号土坑

①	茶褐色土。1～2mmの黄橙色パミスが混じる。
②	暗茶褐色土。黄橙色パミスが点在する。

0　50cm

第294図　Ⅶ層土坑（9）



第295図　Ⅶ層土坑（10）

67号土坑（第292図）

A-11区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは隅丸方形で長軸102cm，短軸87cm，深さは検出面から22cmである。底面はほぼ平坦で，中央に深さ15cmの小穴がみられる。
（土坑Ⅱ類）

68号土坑（第293図）

B-11区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは隅丸方形で長軸側に1か所くびれがみられる。長軸141cm，短軸56cm，深さは検出面から30cmである。底面はほぼ平坦で，中央と東西端に小穴がみられる。深さは中央が10cm，東西端は下甲である。
（土坑Ⅱ類）

69号土坑（第293図）

B-11区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸206cm，短軸102cm，深さは検出面から30cmである。底面はほぼ平坦で，3か所に小穴がみられる。深さは北端が10cmで，残りについては下甲である。
（土坑Ⅲ類）

70号土坑（第294図）

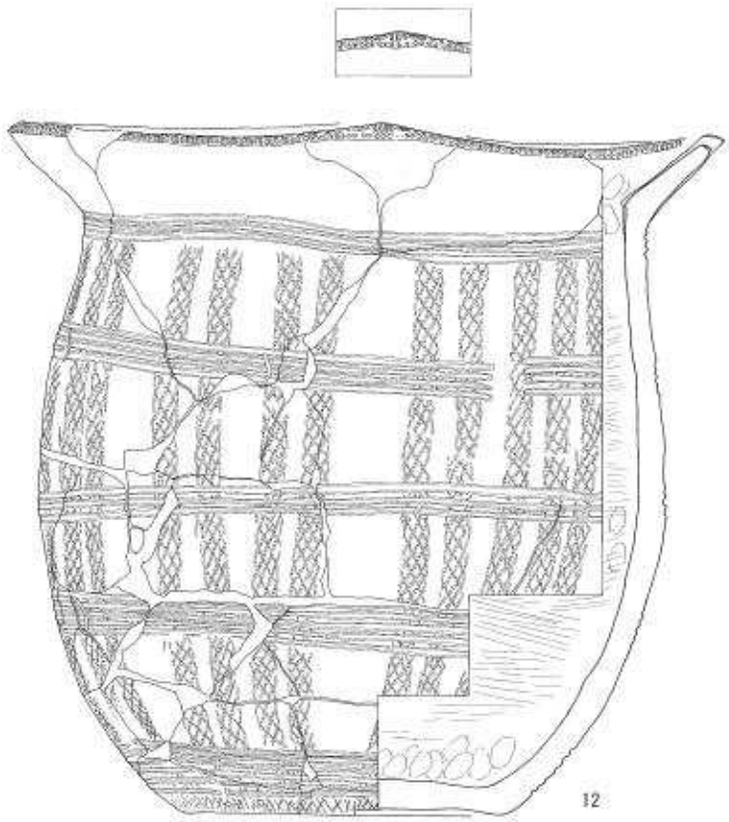
D-8区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸104cm，短軸87cm，深さは検出面から36cmである。底面はやや南側に傾斜する。北端と南東端に小穴がみられ，深さは14cm，20cmである。
（土坑Ⅲ類）

71号土坑（第294図）

C-8区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸108cm，短軸62cm，深さは検出面から55cmである。底面はやや南側に傾斜する。中央と東端の2か所に小穴がみられる。小穴の深さは14cm，10cmである。
（土坑Ⅳ類）

72号土坑（第295図）

D-6区，Ⅸ層上面で検出した。平面プランは隅丸方形で長軸144cm，短軸111cm，深さは検出面から35cmである。底面はほぼ平坦で，北東側に深さ66cmの小穴がみられる。小穴はややオーバーハングに最深部がみられる。73号土坑と切り合う。埋土中から土器片が1点出土した。
（土坑Ⅱ類）



1号土器埋設遺構内

0　10cm

第296図　Ⅶ層　遺構内出土遺物（1）

遺構内出土遺物

Ⅶ層では1～4号土器埋設遺構，54号，72号土坑，45号集石の周辺及び埋土中から遺物の出土がみられる。

1号埋設遺構出土遺物（第296図）

器高30.7cm，口径30.3cm，底径13.9cmのⅨ類深鉢形土器である。

焼成は良好で，外面はナデ調整を行った後，学校を学す。外面は若干黒鍵交痕を残すものの丁寧なナデ調整が学される。器形は底部が若干上げ底を呈し，胴部はややが湾しながら立ち上がり胴部中位で最大径に達し口縁胴部に向かって若干狭くなる。

口縁部は外側に開き，胴部外面の稜線は明瞭に残る。口縁部は器高に比較して短い。口縁部は4か所の突起をもつ波状口縁をなす。

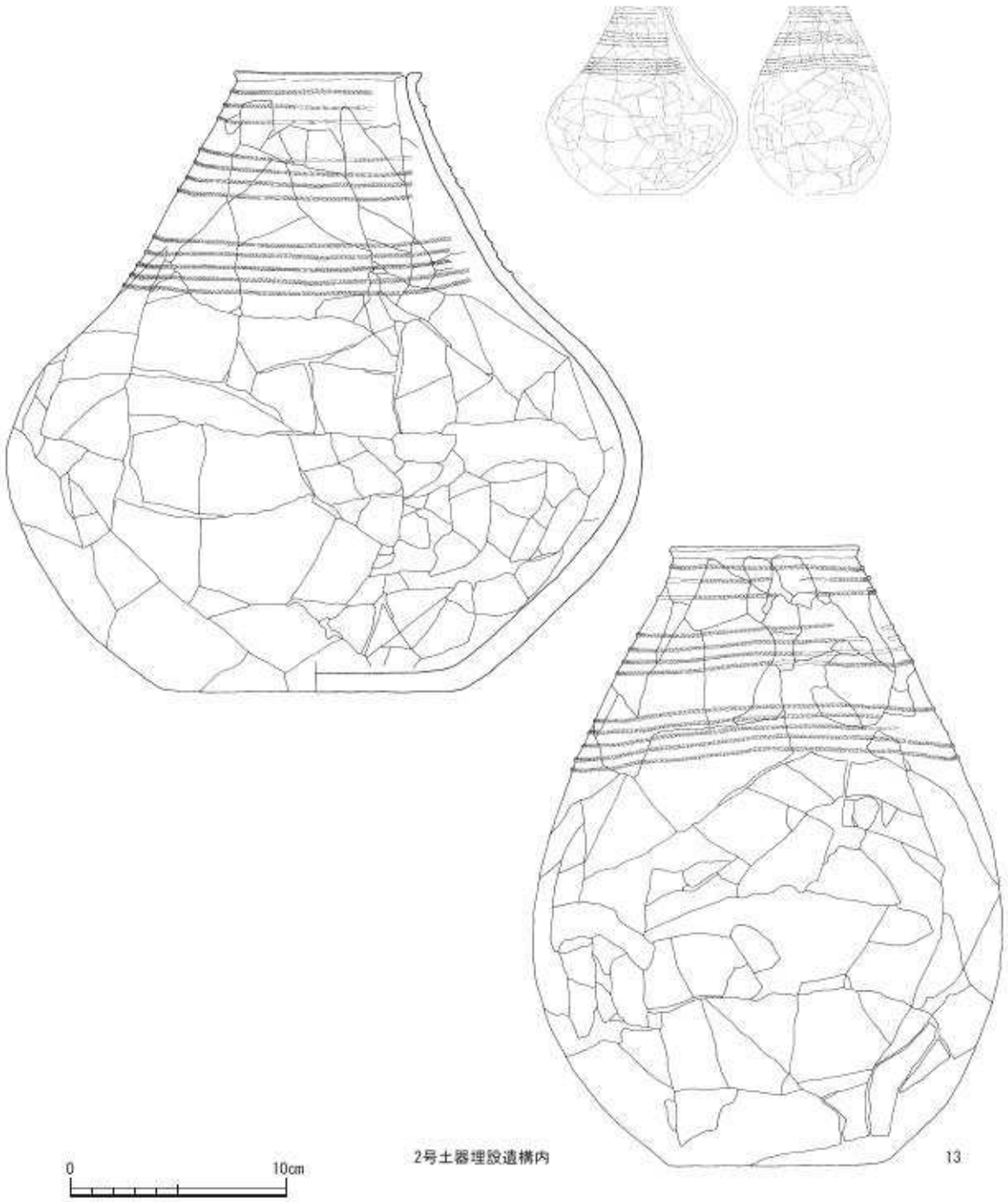
文様は口唇部外面側に縦位，外面側に斜位の刻み目を学し，波状口縁突起部には中央に縦位3条，その両側に横位2条，さらにその外側に縦位2条の沈線が学される。口縁部は無文で，口縁胴部下位から横位の平行沈線文と縦位の縦目状撚糸文が学される。

平行沈線文は胴部，胴部最大径部，底部，その中間部の5か所に学される。上から3条，4条，3条，5条，6条である。

縦目状撚糸文は，2条1組と3条1組の学校手法があり，2条で構成されるものと，3条で構成されるものの2種で構成される。学校順位は縦目状撚糸文学校の後，平行沈線文を学校する。

付着物は口縁部外面と胴部上半にスス，底部外面付近に炭化物の付着が認められ，有機物を煮沸した可能性を示している。また，胴部外面下半の赤化現象と表面の微細な亀裂や剥落，底部外面の赤化が著しいことから煮沸具として機能している。

埋設後の被熱の可能性は考えられず，煮沸具としての機能を終え，埋設することで新たな機能と役割を担ったのであろう。



第297図　Ⅶ層　遺構内出土遺物（2）

2号土器埋設遺構内出土遺物（第297図）

器高32.1cm，口径9.6cm，底径は11.3～15.2cmで，Ⅸ類土器である。焼成は良好で，外面はナデ調整を行った後単位を単す。器壁が3mm程度と極めて薄い部分もあり，丁寧にヘラケズリを行ったと思われる。

底部は焼印形を呈し，周部ユミは底面形を保ちながら膨らみつつ立ち上がり，周部はなもに大きく張り出す焼印形となる。周部上ミからは直線的に外傾し，軸の頸部を形成しながら三日形の中縁部へと続く。

頸部には，刻みを単す微隆起線が単される。微隆起線は3か所に集約して単され，上から3条，4条，5条となる。最上位の3条の微隆起線には，右ユがりのヘラ刻みが単される。中位の4条の微隆起線は上から左ユがり，右ユがり，左ユがり，右ユがりと交互のヘラ刻みが単されれる。下位の5条の微隆起線にも交互に右ユがり，左ユがり，右ユがり，左ユがり，右ユがりのヘラ刻みが単される。

付着物は周部最大部付近にススの付着が見られ，外面

には炭化物等の付着はみられない。このことから有機物以外の物質，水などの液体を煮沸した可能性も考えられる。また胴部外面下半に器壁の剥落が認められ，被熱の痕跡を明瞭に伝えている。

この垂形土器も1号埋設土器同様，埋設することで新たな機能と役割が与えられたのであろう。

3号埋設遺構埋設土器遺物（第298，299図）

C-6区，Ⅶ層で検出した。器高は現存長で35.4cm，口径は欠損のため下明，底径は11.9cm～15cmのⅨ類土器である。焼成は良好で，外面は丁寧なナデ調整の後，粒子が挙される。内面は横位の細かな黒褐気痕の後，丁寧にナデて調整している。

底部は焼出形で，胴部下半は底面形そのままにふくらみをもちながら上がり，胴部がちょうに張り出す焼出形となる。胴部最大径は胴部上位にあり2号，4号と比較して大きく角の張る形態である。ややずんな角部を形成した後，ほぼ直線的に内傾し口縁部へと向かう。胴部の張り具合をイメージとして表すと2号，4号がなで角で3号はいかり角といった感じである。

粒子は口縁部から頸部にかけて挙される。まず，5～6条1組の横位の平行沈線文を頸部の上部と下部に巡らす。次に，その平行沈線間を繋ぎながら，同じように5～6条1組の平行斜線文を充填し，粒子を挙している。その後，平行沈線文に2～3本の半月形状の短沈線文を重ねている。なお，失われた口縁部付近にも粒子されていた可能性が残される。

付着物は垂3倍体内最も顕著で，胴部最大部直下付近にススの付着がみられる。濃淡で表示した部分にススが残され，濃く表示した部分は特に激しく残されている。一方，内面には炭化物は残されず，2号と同様水などの液体を煮沸した可能性を示している。

胴部下半から底部にかけ，器面の赤化と剥落，微細な亀裂が見られ，強く被熱している。

第4号埋設遺構埋設土器遺物（第300図）

C-6区，Ⅶ層で検出した。器高は現存長で32.8cm，口径は欠損のため下明，底径は13.9cm～15.6cmのⅨ類土器である。焼成は良好で，外面は丁寧なナデ調整の後，粒子が挙される。内面は丁寧なナデ調整が挙される。

底部は焼出形で，胴部下半は底面形そのままにふくらみをもちながら上がり，胴部がちょうに張り出す焼出形となる。頸部は内傾しながら，焼出形の胴部最大部から口縁部へと直線的に立ち上がる。

胴部下半から底部接地面にかけ器壁は厚くなり，垂形土器3倍体内最も厚く1.5cm程である。

文様は口縁部から頸部にかけて挙される。3条1組横位の平行沈線文を6段挙し，平行沈線文は3段が1組になり，斜線文で繋がれている。

付着物は胴部外面中位から下位にかけてススの付着が認められ，内面には炭化物の付着はみられない。2号同様有機物以外の物質，水などの液体を煮沸した可能性が考えられる。また胴部下半に器壁の剥落や微細な亀裂が見られ，激しく煮沸を受けた痕跡を残している。

54号土坑埋設土器遺物（第301図）

16～18は封栓状土製品である。3倍体とも環状を呈し表裏面の径が若干異なる。16は張り出した外面端部に，斜位の刻みを挙す。表裏面，刻みの一部に赤色顔料が残る。外径は57mm～64mmで，内径約28mm，高さ約37mmを測る。17は外傾66mm～70mm，内径約45mm，高さ45mmを測る。文様等は挙されない。18は大半を欠損する。推定外径72mm，内径36mm，高さ34mmを測る。17同様文様等は挙されない。

19，20はⅧ類土器である。19は口唇部に刻みが，外面に連続した刺突文と短沈線文が挙される。20は口唇部を欠損するが，19同様の挙文を持つ。

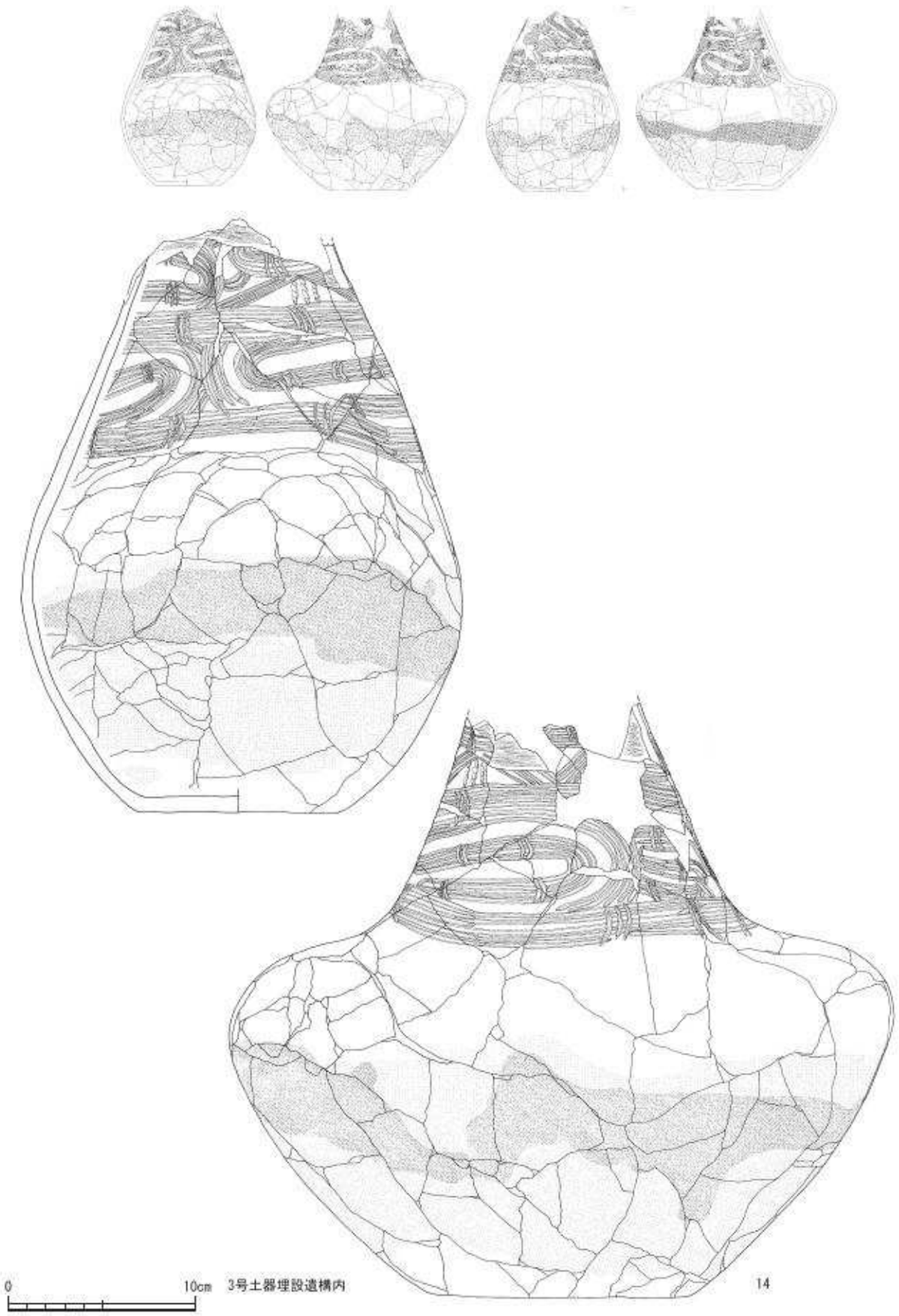
21～27はⅨ類土器で，21～26は深鉢形土器，27は垂形土器である。21は口縁部で外面に細かい刻みを行う微隆起線と沈線文を挙す。22は胴から口縁にかけての肩部で胴部に撚糸文が挙文され，口縁はきつく外反する。23は無文の口縁部で，口唇部が一部肥厚し波状口縁を呈す。24，25は撚糸文の挙文される胴部である。26は無文のややが湾する胴部である。27は垂の口縁部あるいは直下の内傾する頸部と思われる。外面に縦位の撚糸文が挙される。

28，29は定型化する状下石器である。28は黒色のチャート製で，両側縁及び下端部の3カ所に丁寧な調整による状りを挙す。29は緑色のチャート製で両側縁に簡単な状りを挙す。

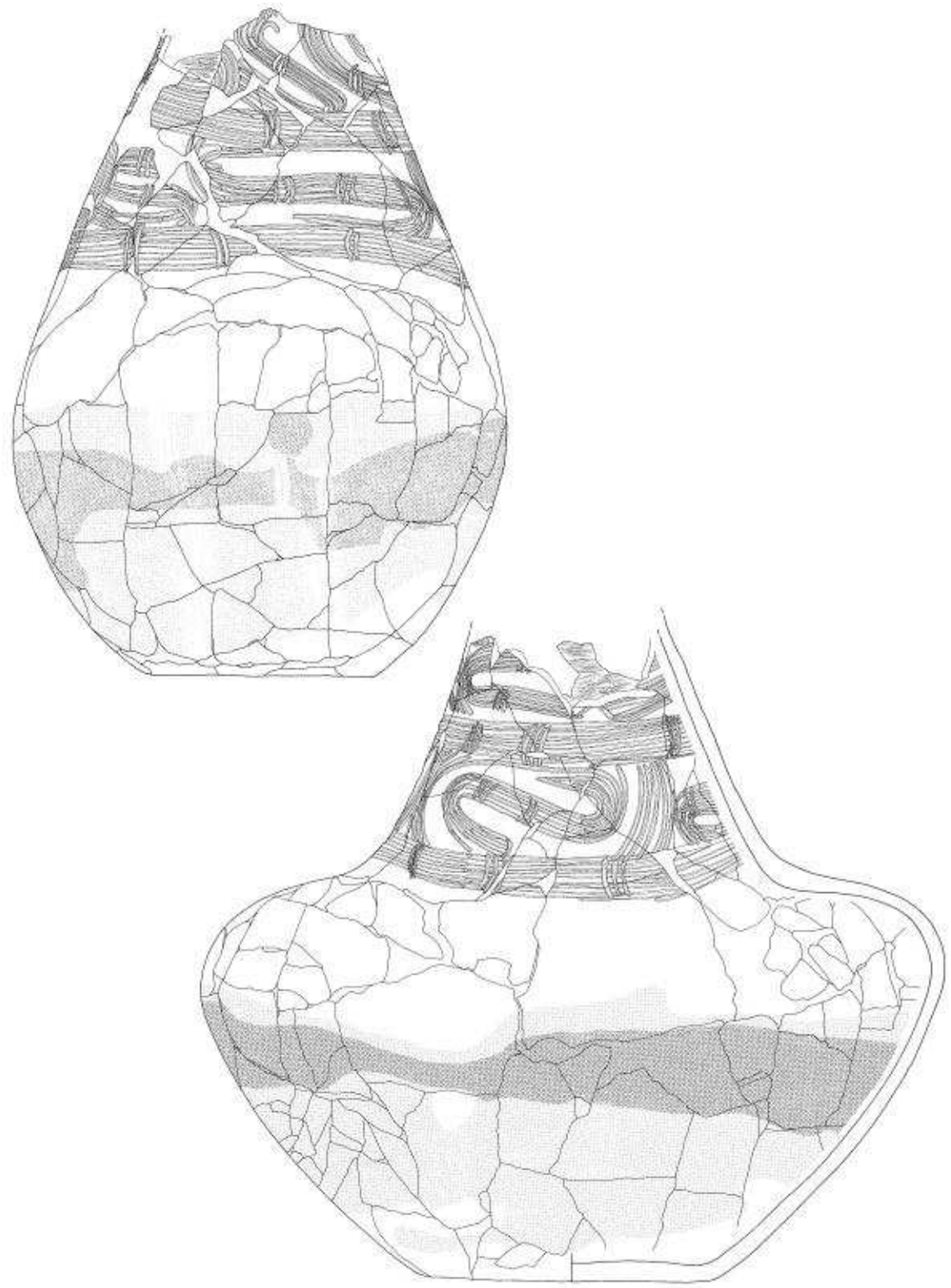
30～37は剥製石鏃である。

30は灰色の安山岩製で先端部と通刺が欠損する。31は黒色の黒岩製で茎部が欠損する。調整は比較的粗く，厚さで裏面に素材剥片の剥離面を多く残す。32は灰色の安山岩製で，先端部，茎部を欠損するが，薄さで両面から丁寧に調整されている。33は灰色の安山岩製で両通刺を欠損する。両面からの与剥離調整を挙し丁寧に仕上げている。34は灰色の安山岩製で通刺の一方と先端部を欠損する。35はギョクズイ製で先端部，茎部を欠損する。側縁部はややが湾している。36は明灰色の安山岩製で，先端部，通刺の一部が欠損している。側縁は両面からの丁寧なる与剥離調整で，茎部は深く状りを挙す。37は灰色の安山岩製で，通刺の一方を欠損する。側縁部は直線状で縦長の形態である。

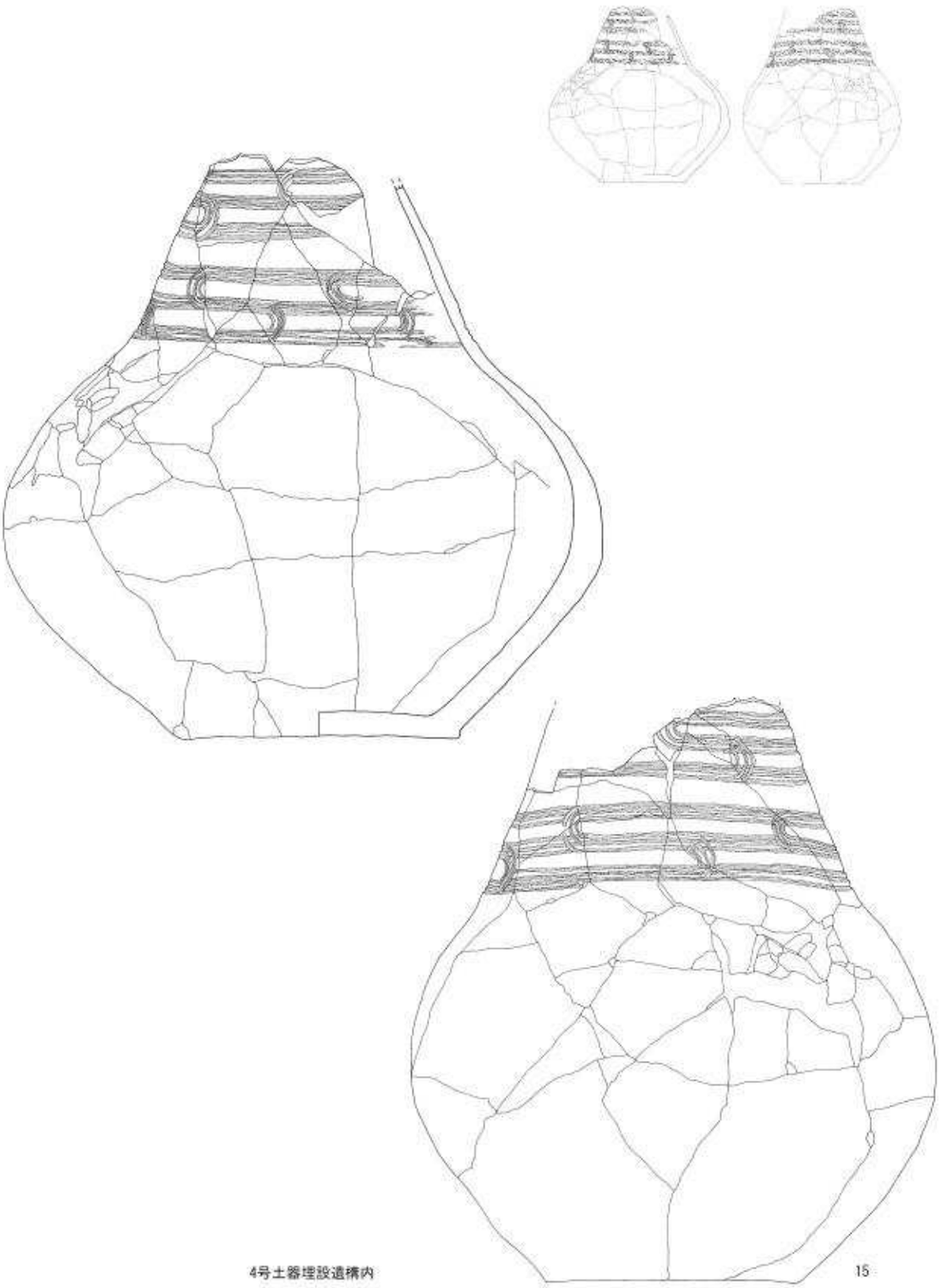
38は二次加工痕のある剥片である。灰色の安山岩製で，側縁部両面に微細な剥離痕が認められる。



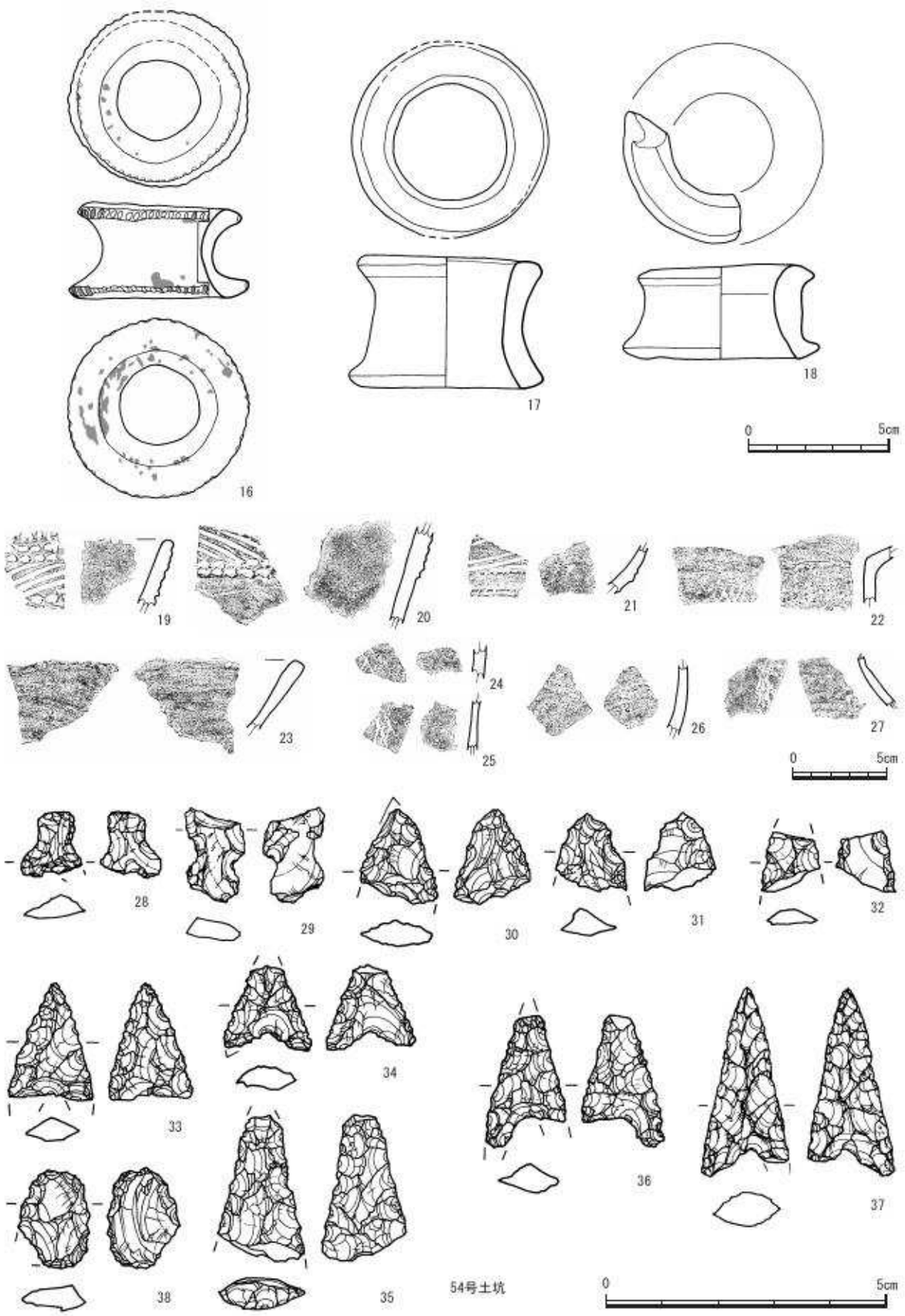
第298図　Ⅶ層　遺構内出土遺物（3）



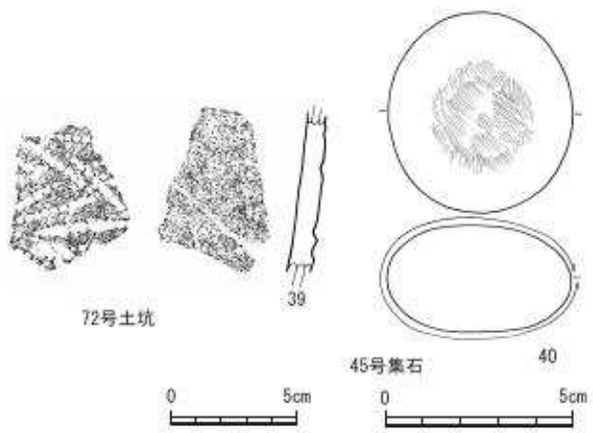
第299図　Ⅶ層　遺構内出土遺物（4）



第300図　Ⅶ層　遺構内出土遺物（5）



第301図　Ⅶ層　遺構内出土遺物（6）



72号土坑出土遺物（第302図）

39はVI類土器胴部で、外面に貝殻刺突文を施す。

45号集石出土遺物（第302図）

40は45号集石に使用した磨石である。平形を呈し、全体的によく研磨されている。

第302図　Ⅶ層　遺構内出土遺物（7）

第72表　Ⅶ層遺構内出土土器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外面色調	内面色調	胎土	備考
301	19	28号44	C-7	54号土坑	深鉢	口縁部	刺突，沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明灰褐色	石英，長石，角閃石	口唇部刻み
	20	28号34	C-7	54号土坑	深鉢	口縁付近？	沈線，刺突	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英，長石，角閃石	
	21	28号48	C-7	54号土坑	深鉢	屈曲部付近	貝殻条痕	ナデ	良好	茶褐色	暗灰褐色	石英，長石，角閃石	微隆帯貼付刻み目
	22	28号45	C-7	54号土坑	深鉢	屈曲部	擦糸	ナデ	良好	暗灰褐色	暗灰褐色	石英，角閃石	
	23	28号33	C-7	54号土坑	深鉢	口縁部	ナデ	ナデ	良好	明茶褐色	茶褐色	石英，角閃石	
	24	28号27	C-7	54号土坑	深鉢	胴部	擦糸	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，角閃石	
	25	28号50	C-7	54号土坑	深鉢	胴部	擦糸	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英，長石，角閃石	
	26	28号23	C-7	54号土坑	深鉢	胴部？	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	明灰褐色	石英，角閃石	
	27	28号94	C-7	54号土坑	壺？	頸部付近？	擦糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英，角閃石	
302	39	一括	D-6	72号土坑	深鉢	胴部	刺突	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英，長石，角閃石	

第73表　Ⅶ層遺構内出土土製品観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	外径(mm)	内径(mm)	高さ(mm)	重量(g)	胎土	色調	焼成	備考
301	16	28号121	C-7	54号土坑	耳栓状土製品	57～64	28～29	35～37	59	石英，長石，角閃石	茶褐色	良好	赤色顔料付着
	17	28号131	C-7	54号土坑	耳栓状土製品	66～70	41～45	45	84	長石，角閃石	白みがかった明灰茶褐色	良好	
	18	28号143	C-7	54号土坑	耳栓状土製品	72φ	36φ	34	27	石英，長石，角閃石	明茶褐色	良好	

第74表　Ⅶ層遺構内出土石器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	石材	備考
301	28	28号129	C-7	54号土坑	扶入石器	12.0	10.5	3.3	0.38	CH	
	29	28号130	C-7	54号土坑	扶入石器	12.0	11.2	2.5	0.63	CH	
	30	28号126	C-7	54号土坑	石鏃	17.1	14	4.5	0.94	AN	
	31	28号115	C-7	54号土坑	石鏃	14.2	12.9	5.8	0.75	SH	
	32	28号123	C-7	54号土坑	石鏃	10.7	10.5	2.5	0.28	AN	
	33	28号139	C-7	54号土坑	石鏃	21.2	15.3	4.1	1.05	AN	
	34	28号133	C-7	54号土坑	石鏃	15.4	15.8	3.9	0.7	AN	
	35	28号124	C-7	54号土坑	石鏃	26	15.5	5.3	1.78	CC	
	36	28号144	C-7	54号土坑	石鏃	23.4	14.5	5.4	1.22	AN	
	37	28号55	C-7	54号土坑	石鏃	33.5	15.5	5.5	2.09	AN	
	38	28号148	C-7	28号土坑	二次加工痕のある剥片	17.7	13.2	4.7	1.01	AN	
302	40	一括	C-4	45号集石	磨石	106.5	98	56.5	858.0	SS	

3　Ⅵ層の遺構

集石

Ⅵ層では14基の集石を検出した。集石はⅦ層面様，A地区東より南側に開く半円状に分布する傾向が顕著である。またB地区においてはI, J-13, 14区に集中する傾向が伺える。

53号集石（第304図）

F-3区で検出した。安山岩を使用し，わずかに頁岩，砂岩が混じる。中型から小型の礫が多い。

40cm×50cmの円形に良くまとまり，中心部の礫は被熱により赤化している。黒色土の入り込む浅い掘り込みを確認している。

（集石Ⅰ類）

54号集石（第304図）

I-14区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，中型から小型の礫が多い。

65cm×70cmの円形を成し，大型礫が中心部に置かれ礫は被熱により黒変している。礫集中部の中央が窪み，掘り込みを備えた可能性が高い。

（集石Ⅰ類）

55号集石（第304図）

J-14区で検出した。安山岩を使用し，わずかに砂岩が混じる。中心部下部の礫は被熱により赤化している。実測観察所見に掘り込みがあるとの記載があり，断面においてもややレンズ状の礫堆積を示す。

（集石Ⅰ類）

56号集石（第304図）

E-7区で検出した。安山岩を使用し，小型の礫が多い。被熱の様子はほとんどうかがえない。検出面の記載漏れのため隣接遺構レベルとの対応で層位を判断した。

（集石Ⅱ類）

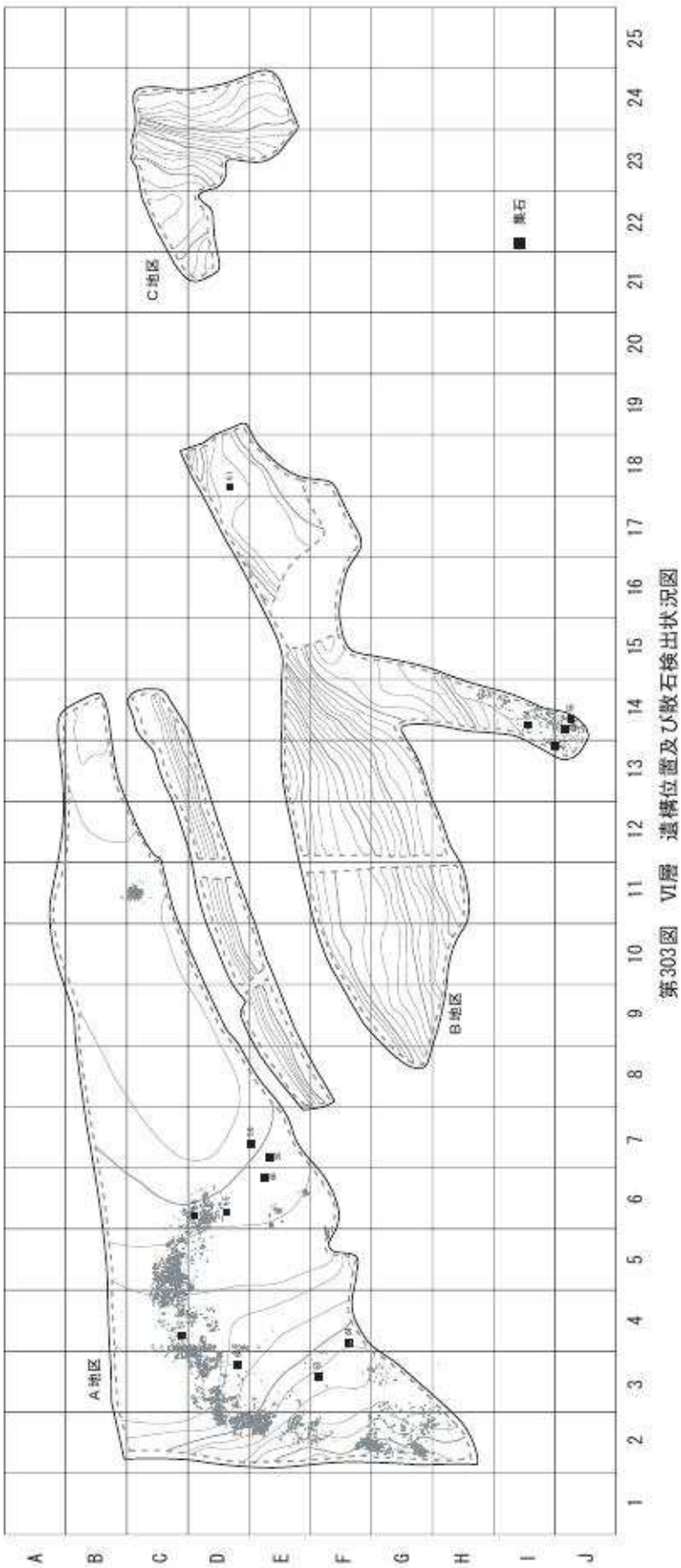
57号集石（第304図）

C-4区で検出した。安山岩，砂岩を使用，小型の礫が多い。一部の礫に被熱による赤化がみられる。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。

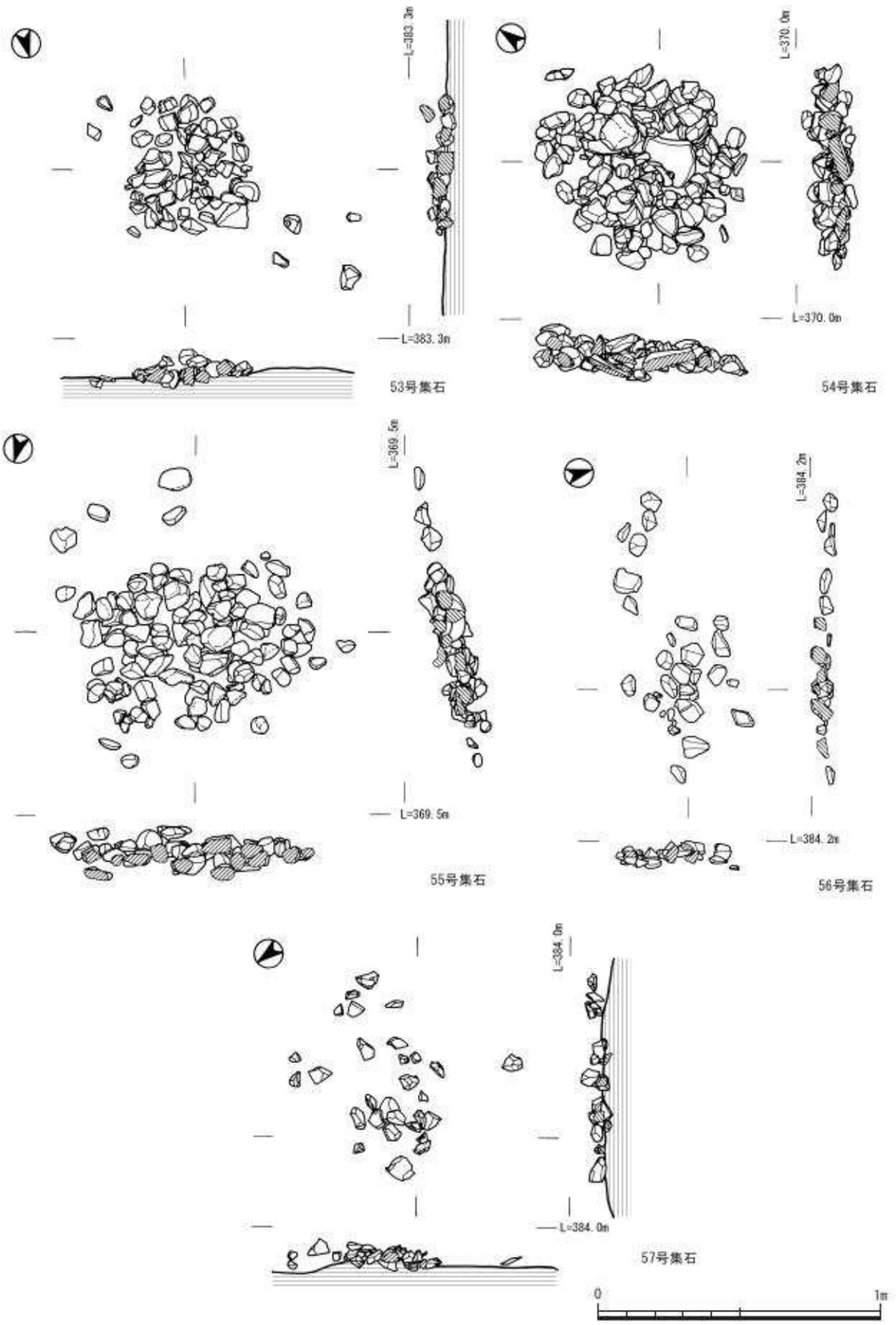
（集石Ⅱ類）

58号集石（第305図）

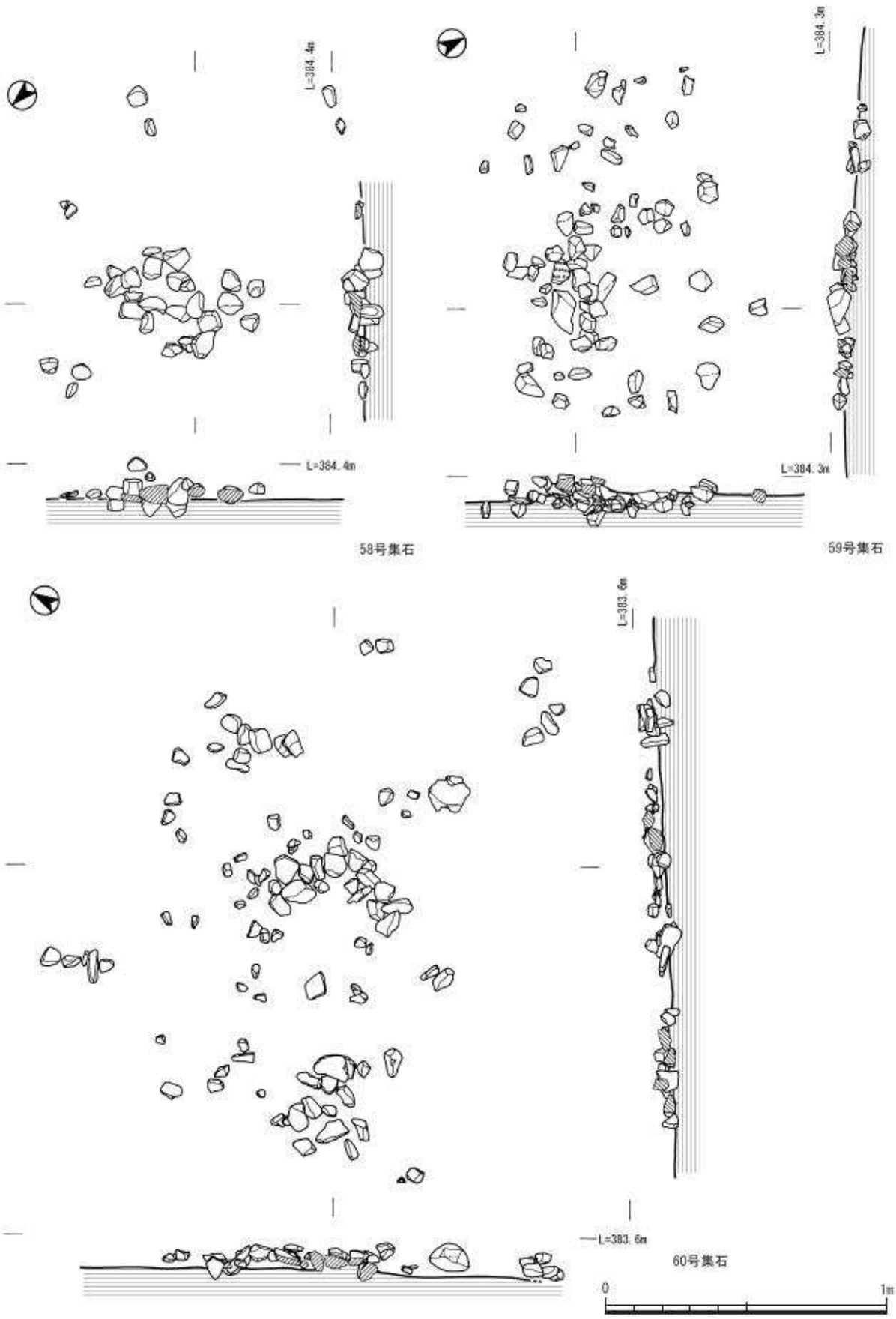
E-7区で検出した。安山岩を使用し，小型



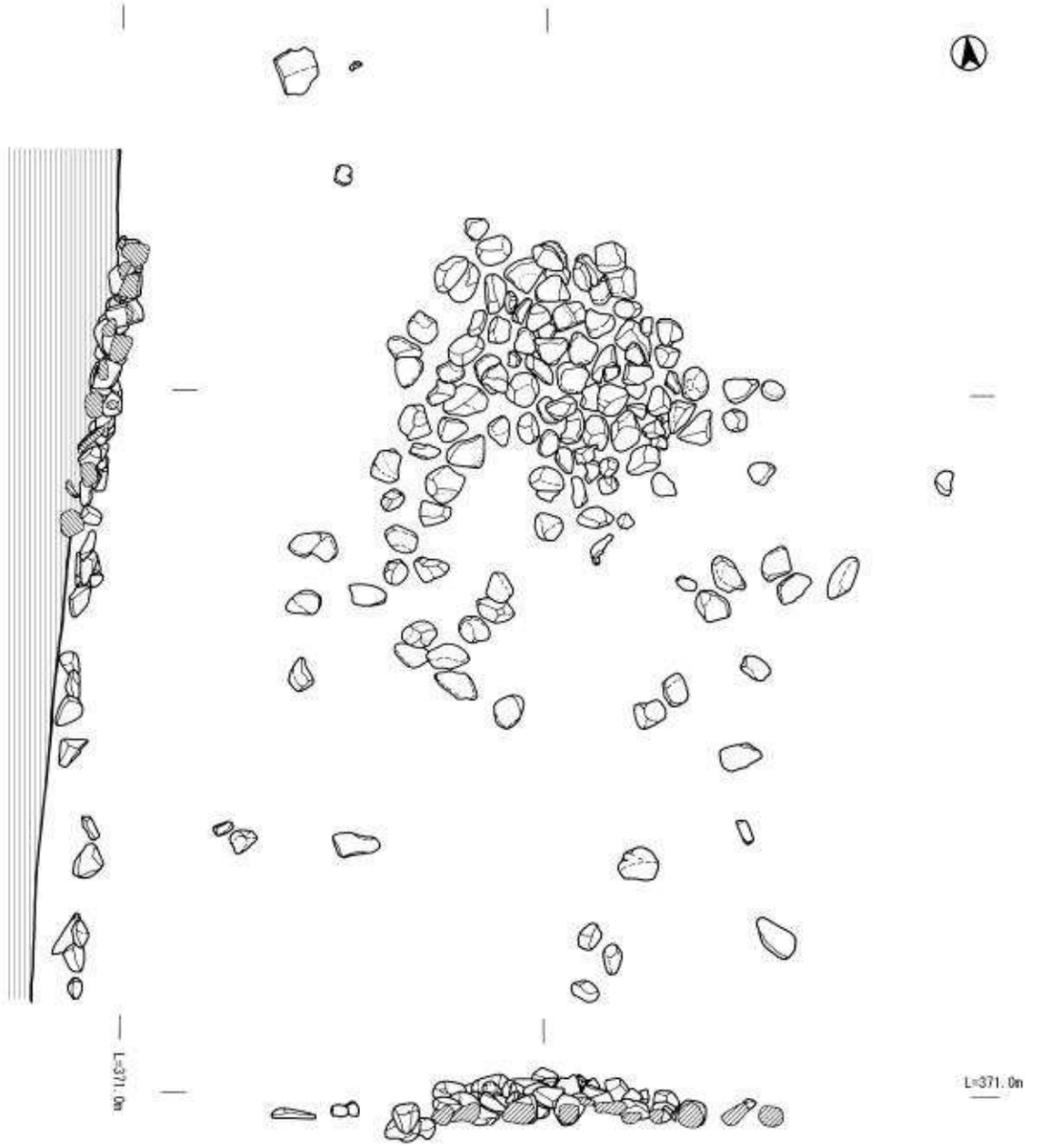
第303図　Ⅵ層　遺構位置及び散石検出状況図


L=383.3m
L=383.3m
53号集石
L=370.0m
L=370.0m
54号集石
L=369.5m
L=369.5m
55号集石
L=384.2m
L=384.2m
56号集石
L=384.0m
L=384.0m
57号集石
0
1m

第304図　Ⅵ層集石（1）


L=384.4m
L=384.4m
58号集石
L=384.3m
L=384.3m
59号集石
L=383.6m
L=383.6m
60号集石
0
1m

第305図　Ⅵ層集石（2）



第306図　Ⅵ層集石（3）

の礫が多い。礫の一部には被熱によるホイルがみられる。検出面の記載漏れのため等高線遺構レベルとの対比で層位を判断した。
（集石Ⅱ類）

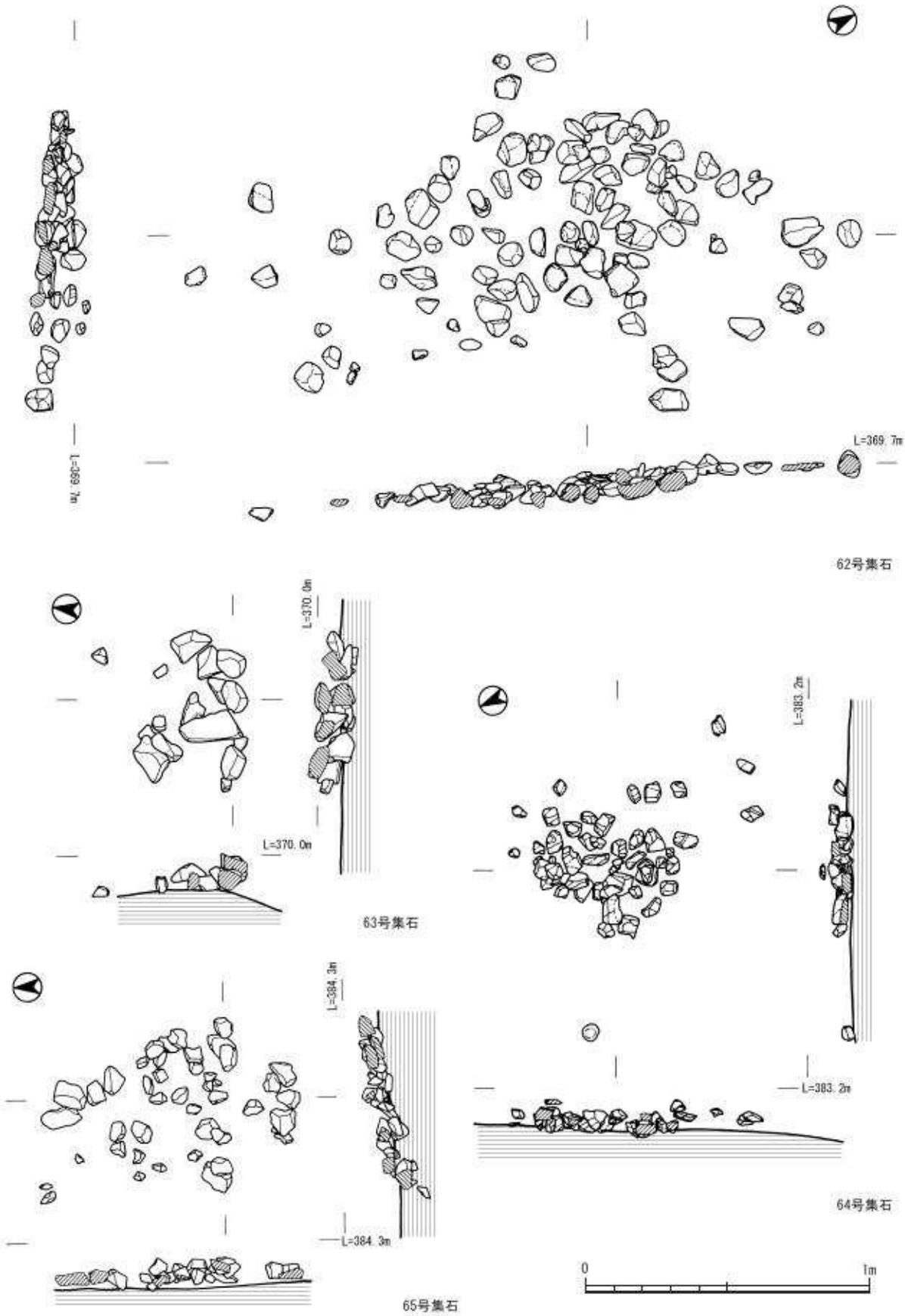
59号集石（第305図）

D-6区で検出した。砂岩を使用し、第二種類岩系の礫が混じる。礫のほとんどは被熱によりホイル、黒変し、一部は熱破砕している。検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。
（集石Ⅱ類）

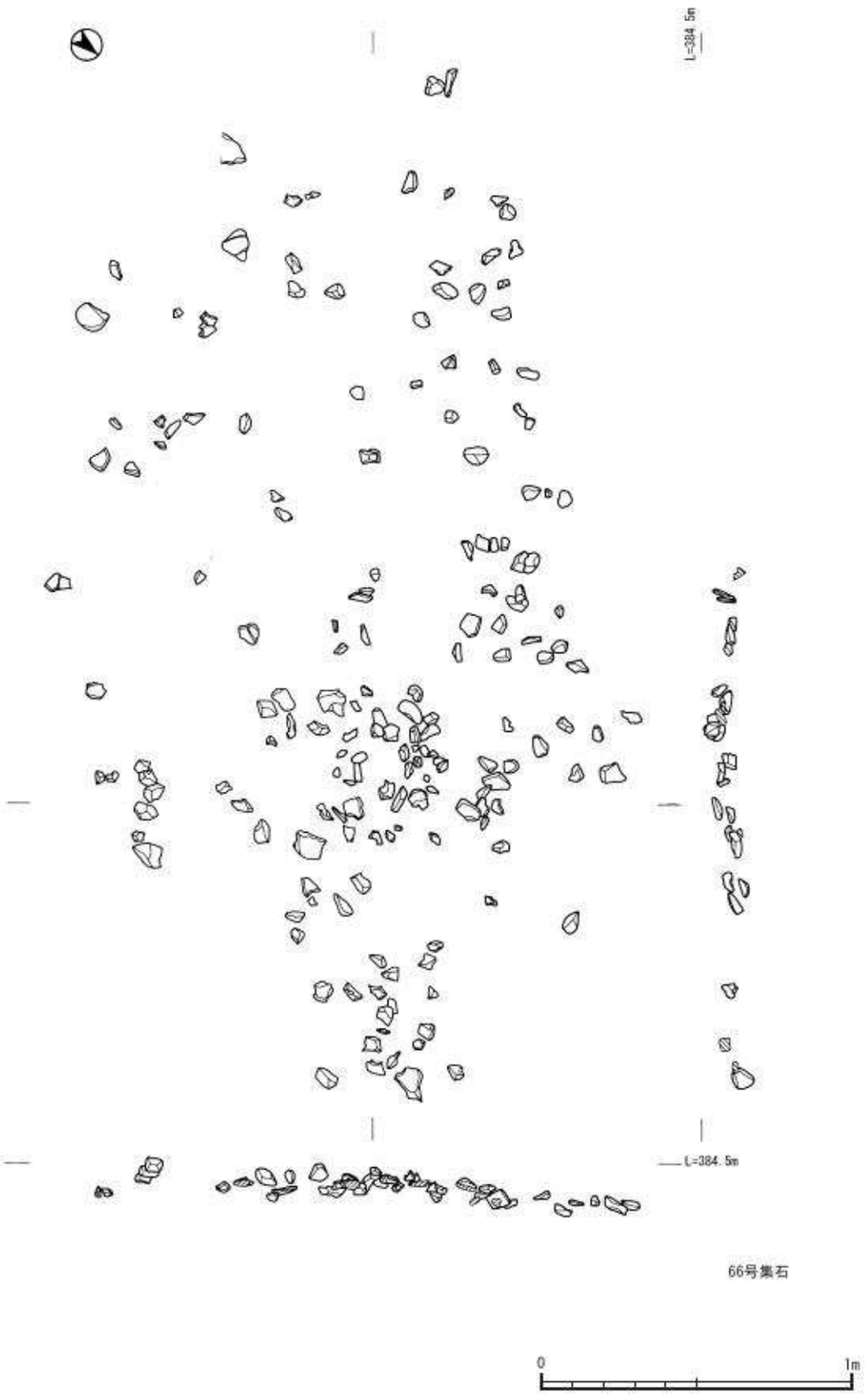
60号集石（第305図）

D-3区で検出した。安山岩、砂岩を使用し中型から小型の礫が多い。礫はほとんど被熱を受けホイルしている。特に中心付近の礫はホイルが著しい。

160cm×170cmと広く散布するが、中央部に集石（50cm）の痕跡が見られ、集石を起点に拡散した状況が読みとれ


L=369.7m
L=369.7m
62号集石
L=370.0m
L=370.0m
63号集石
L=383.2m
L=383.2m
64号集石
L=384.3m
L=384.3m
65号集石
0
1m

第307図　Ⅵ層集石（4）



第308図　Ⅵ層集石（5）

る。検出面の記載漏れのため，検出状況写真から層位を判断した。
(集石Ⅴ類)

61号集石（第306図）

D-18区で検出した。安山岩を使用し，若干砂岩が混じる。中型の礫が多く，一部の礫は被熱により赤化している。砂岩は赤化が著しく，熱破砕しているものが多い。170cm×200cmの広範囲に展開するが，北側に集石（70cm×70cm）が残る。したがって，南側に散在する礫は，乖散と解される。集中部中心に若干の赤化時粒がみられる。検出面の記載漏れのため，検出状況写真から層位を判断した。
(集石Ⅴ類)

62号集石（第307図）

J-14区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，中型の礫が多い。

150cm×200cmと広がるが，中心よりやや北側に礫の集中が見える。礫集中部の礫は被熱により赤化し，熱破砕しているものが多い。
(集石Ⅴ類)

63号集石（第307図）

J-13区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，やや大型の礫が多い。中心の大形の礫には被熱による黒変がみられる。
(集石Ⅱ類)

64号集石（第307図）

F-4区で検出した。安山岩の角礫を使用し，小型の礫が多い。集中部中心付近の礫に被熱による赤化がみられる。

50cm×50cmに集中し，遺構断面は中心がやや窪み，据り込みを備えた可能性が高い。
(集石Ⅰ類)

65号集石（第307図）

D-6区で検出した。安山岩を使用し，若干堆積岩系の礫が混じる。中型から小型の礫が多く，ほとんどの礫は被熱により赤化し，熱破砕している。

検出面の記載漏れのため検出状況写真から層位を判断した。
(集石Ⅱ類)

66号集石（第308図）

E-6区で検出した。安山岩，砂岩を使用し，小型の礫が多い。一部の礫は被熱により赤化している。

160cm×330cmと広範囲に分布する。
(集石Ⅲ類)

4　V層の遺構

集石

V層では3基の集石を検出した。集石は，まとまりを見せず分布する。A地区においては中央部近に1基，B地区においては緩傾斜面に2基検出した。

67号集石（第310図）

G-13区で検出した。安山岩を使用し，小型の礫が多い。礫は被熱により赤化し，一部は熱破砕している。

長径78cm，短径70cm，礫上面から11cmのほぼ円形の掘り込みが確認された。礫は掘り込み中に集中して，中央部が窪んでいる。
（集石Ⅰ類）

68号集石（第310図）

G-15区で検出した。安山岩を使用し，わずかに砂岩が混じる。大型と小型の礫が多く，一部は被熱により黒変している。炭化物粒もわずかにみられる。
（集石Ⅱ類）

69号集石（第310図）

C-7区で検出した。小型の円礫を使用し，一部の礫は被熱により赤化している。
（集石Ⅱ類）

土坑

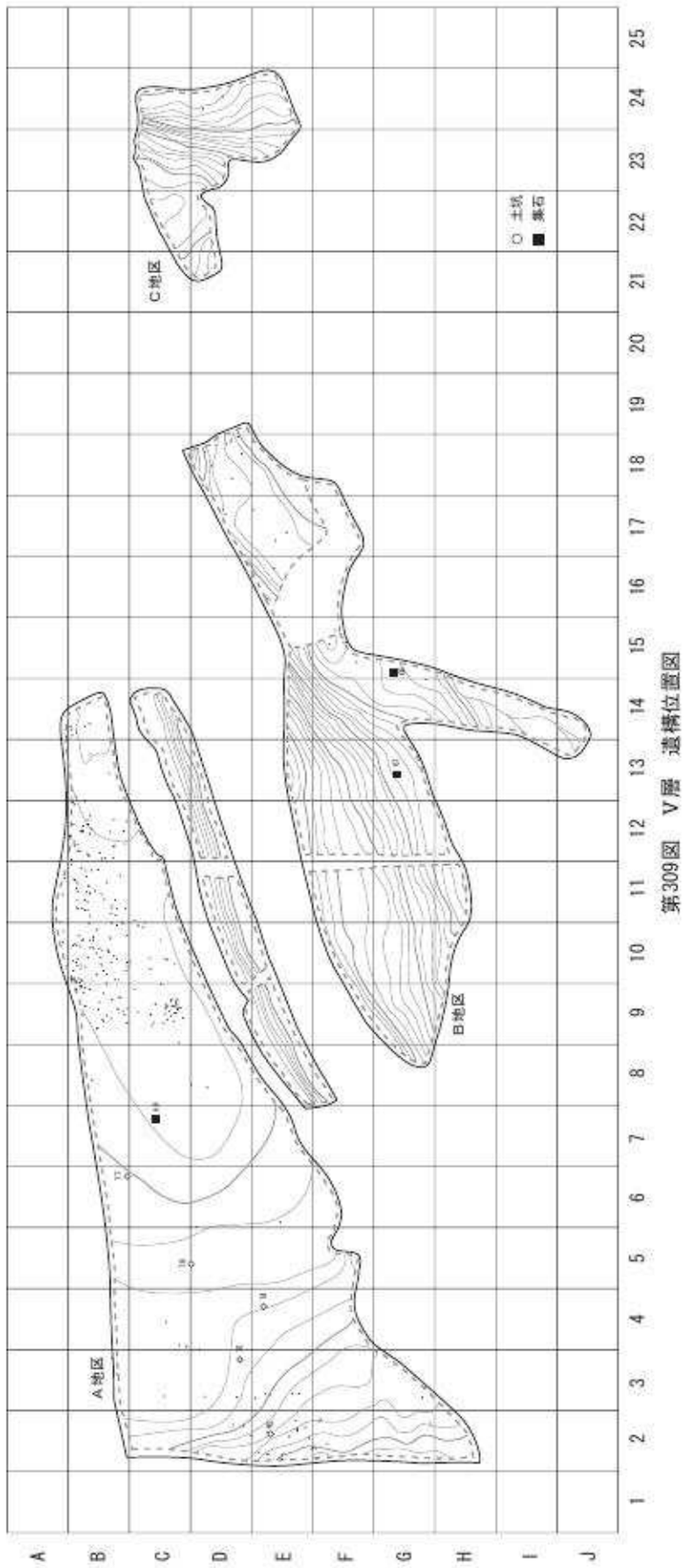
V層では5基の土坑を検出した。土坑は，A地区西端において，ほぼ直線上に分布する。

74号土坑（第311図）

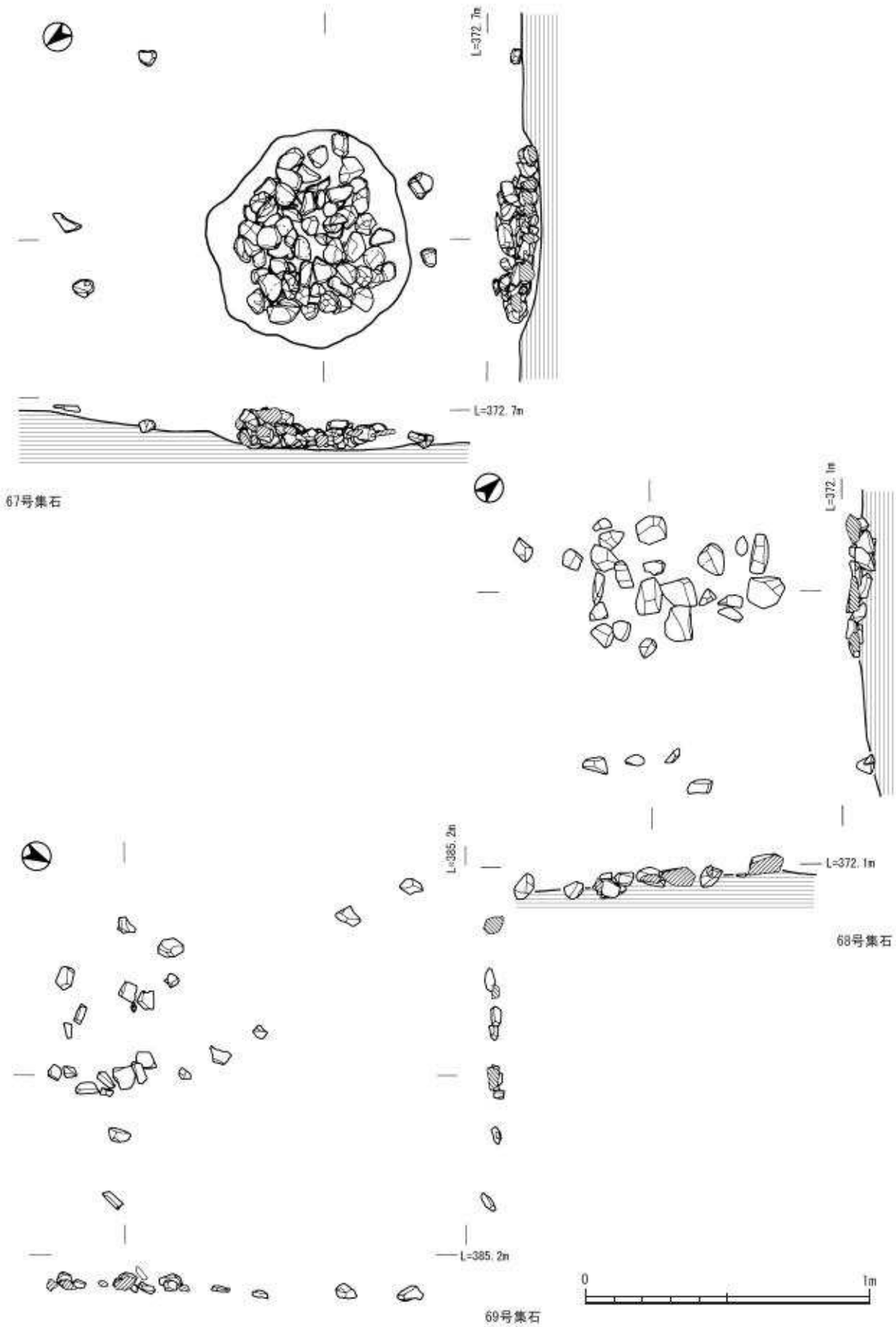
E-4区，Ⅶ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸83cm，短軸68cm，深さは検出面から65cmである。底面はほぼ平坦で，わずかな窪みがみられる。掘り込み壁の立ち上がりはやや傾斜している。
（土坑Ⅰ類）

75号土坑（第311図）

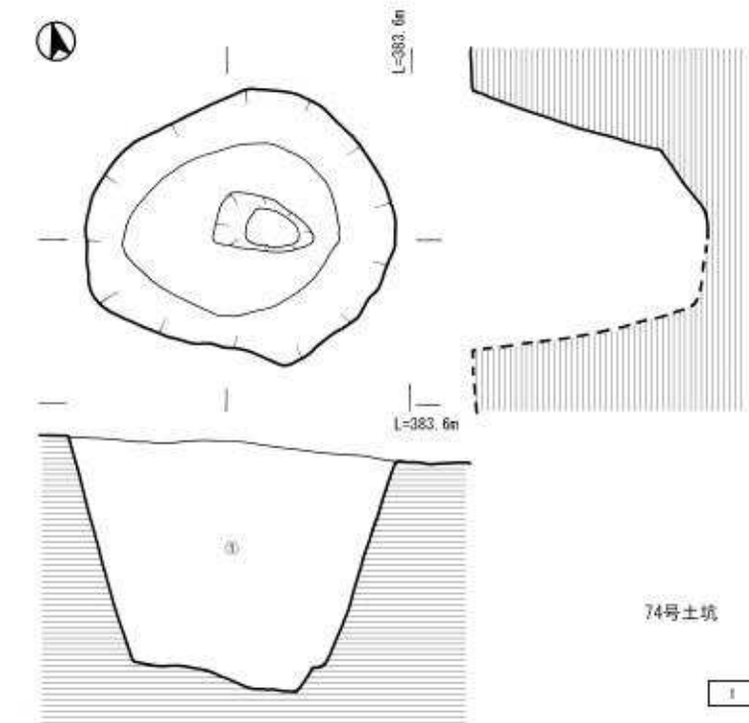
E-2区，Ⅶ層上面で検出した。平面プランは楕円形で長軸143cm，短軸92cm，深さは検出面から57cmである。底面は平坦で，掘り込み壁の立ち上がりは急である。埋土中から土器片4点が出土した。
（土坑Ⅰ類）



第309図　V層　遺構位置図

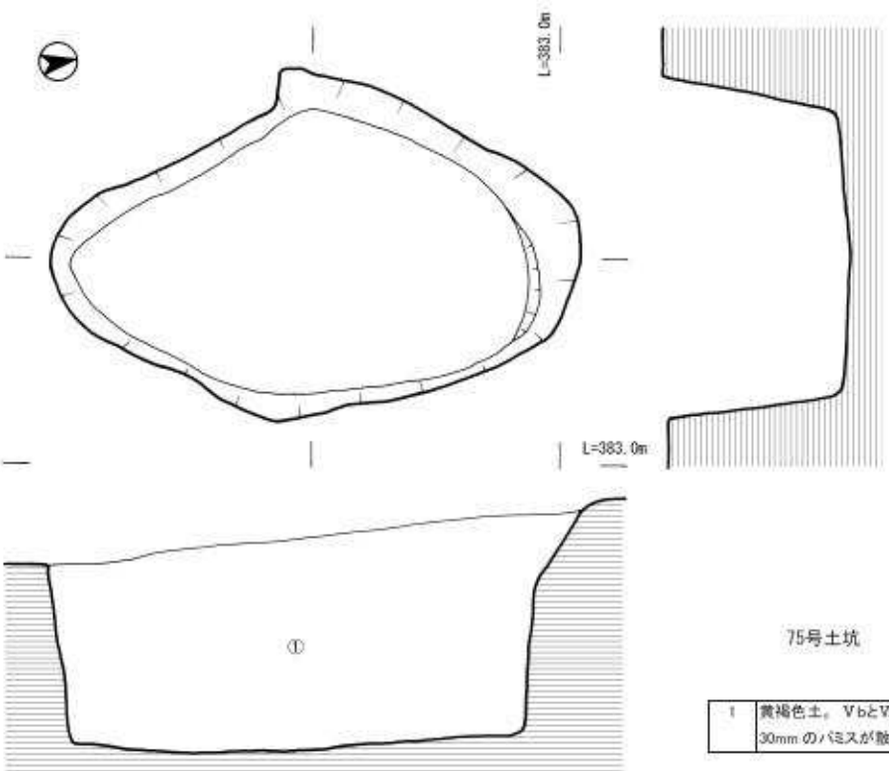

L=372.7m
L=372.7m
67号集石
L=372.1m
L=372.1m
68号集石
L=385.2m
L=385.2m
69号集石
0
1m

第310図　V層集石



74号土坑

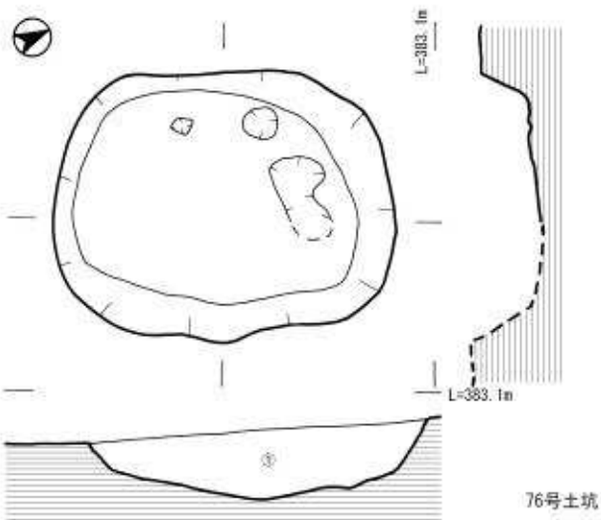
1	黄褐色土。 VbとVI層土の混土と思われる。



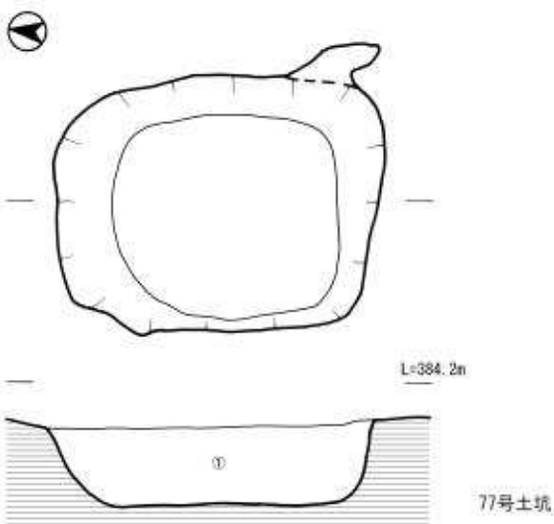
75号土坑

1	黄褐色土。 VbとVI層土の混土と思われる。 5～30mm のパミスが散在する。 パサパサしている。

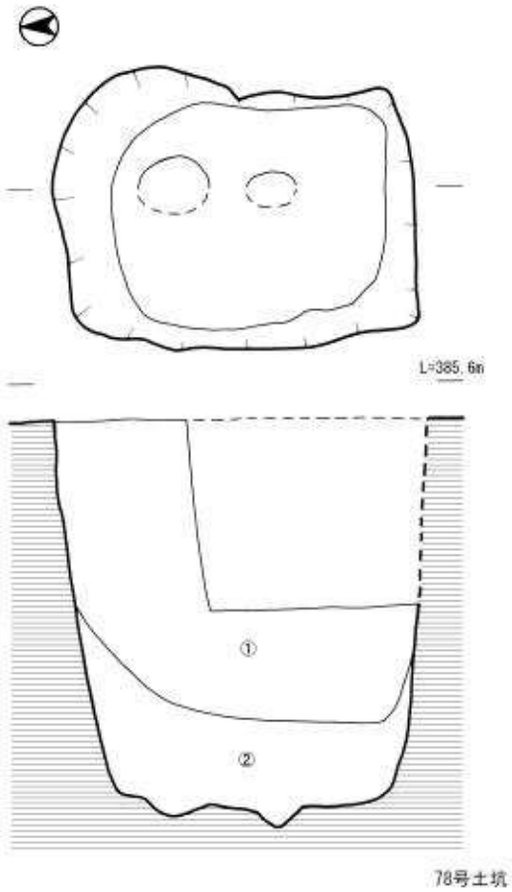
第311図　V層土坑（1）



1	黄褐色土。VbとⅥ層土の混土と思われる。



1	暗橙色土（アカホヤ2次堆積）。



1	細粒軽石混じり明黄褐色土。VbとⅥ層土の混土と思われる。
2	細粒軽石混じり暗黄褐色土。1よりやや暗く粒子も粗い。ⅥとⅧ層土の混土と思われる。

第312図　Ⅴ層土坑（2）

76号土坑（第312図）

D-3区，Ⅷ層上面で検出した。平面プラン楕円形で長軸92cm，短軸73cm，深さは検出面から18cmである。底面はややU状を呈し，黒り込み壁のたち上がりも緩やかである。

（土坑Ⅰ類）

77号土坑（第312図）

B-6区，Ⅷ層上面で検出した。平面プランは方形状で長軸86cm，短軸69cm，深さは検出面から20cmである。底面はほぼ平坦で，黒り込み壁のたち上がりはほぼ垂直である。

（土坑Ⅰ類）

78号土坑（第312図）

C-5区，Ⅴb層上面で検出した。平面プランは方形状で長軸97cm，短軸67cm，深さは検出面から103cmである。底面はほぼ平坦でわずかな窪みが2か所みられる。黒り込み壁ほぼ垂直にたち上がる。

（土坑Ⅰ類）

第313図　Ⅴ層　遺構内出土遺物

遺構内出土遺物

75号土坑出土遺物（第313図）

41～44はX類土器である。

41は口縁部で，口唇部に刻み口唇直下外面に一条の貝殻刺突，その下に斜位の貝殻条痕を施す。42～44は胴部である。外面に貝殻条痕を施す。44は時に細い条痕が施される。

第75表　Ⅴ層遺構内出土土器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外面色調	内面色調	胎土	備考
313	41	一括2	E-2	75号土坑	深鉢	口縁部	刺突，沈線	ナデ	良好	茶褐色	茶褐色	石英，金雲母，白色粒	口唇部刻み
	42	一括3	E-2	75号土坑	不明	不明	沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，角閃石，金雲母	
	43	一括4	E-2	75号土坑	不明	不明	貝殻条痕，沈線	ナデ	良好	茶褐色	暗茶褐色	石英，長石，角閃石	
	44	一括1	E-2	75号土坑	深鉢	胴部	貝殻条痕	ナデ	良好	明茶褐色	灰褐色	石英，長石，角閃石，細礫	

5　Ⅳ層の遺構

土坑

Ⅳ層では4基の土坑を検出した。土坑は，A地区東側に3基，B地区に1基，散在する状況で分布する。

79号土坑（第315図）

B-3区，Ⅴb層上面で検出した。削平のため平面プランの確定はできないがおそらく楕円形であったろうと思われる。長軸100cm，短軸下明，深さは検出面から65cmである。壁面はやや東側に傾斜し，底面に深さ15cmの小穴がみられる。埋土中から土器片が4点出土した。
（土坑Ⅳ類）

80号土坑（第315図）

H-2区，Ⅵa層上面で検出した。平面プランは不定形で長軸96cm，短軸92cm，深さは検出面から76cmである。壁面はほぼ垂直で，やや北よりに径の小さい深さ27cmのピットを確認し，通常木と判断した。
（土坑Ⅳ類）

81号土坑（第315図）

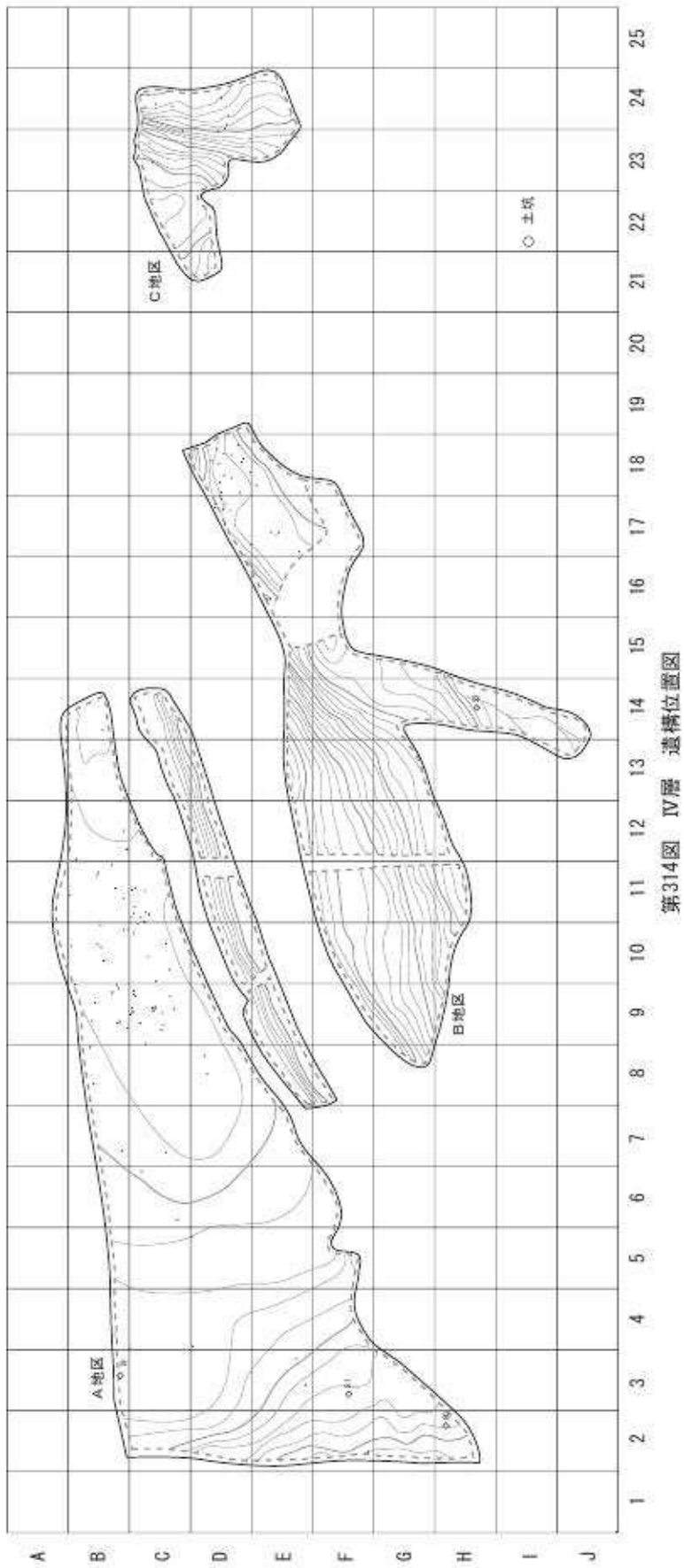
F-3区，Ⅴa層上面で検出した。一部削平を受けているため平面プランは確定できないが，おそらく楕円形であろうと思われる。長軸97cm，短軸86cm，深さは検出面から103cmである。

壁面は垂直で，底面にやや径の大きい深さ48cmの小穴がみられる。
（土坑Ⅳ類）

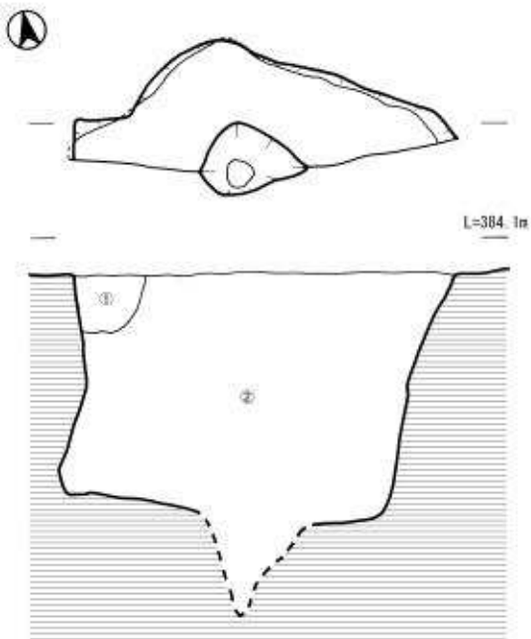
82号土坑（第315図）

H-14区，Ⅵa層上面で検出した。平面プランは楕円形状で一部突出部がみられる。長軸140cm，短軸62cm，深さ34cmである。

壁面にはやや起伏があり，小穴が5か所にみられる。深さは4cmから11cmと浅く，やや鈍めの底である。
（土坑Ⅳ類）

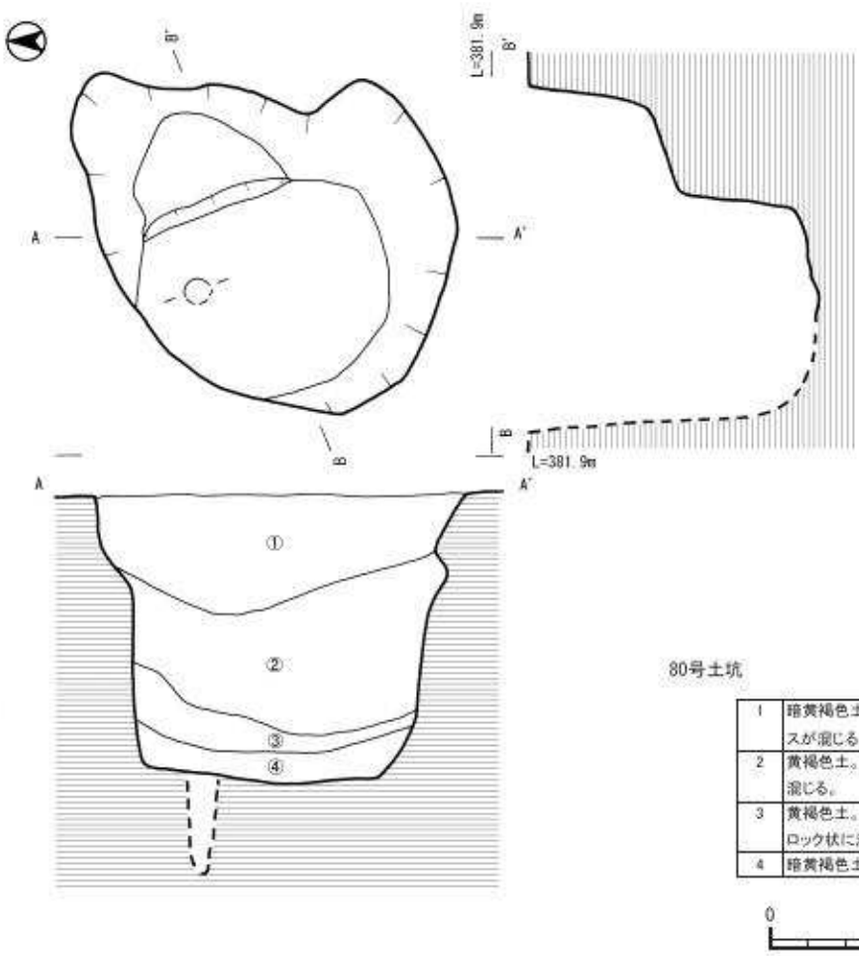


第314図　Ⅳ層　遺構位置図



79号土坑

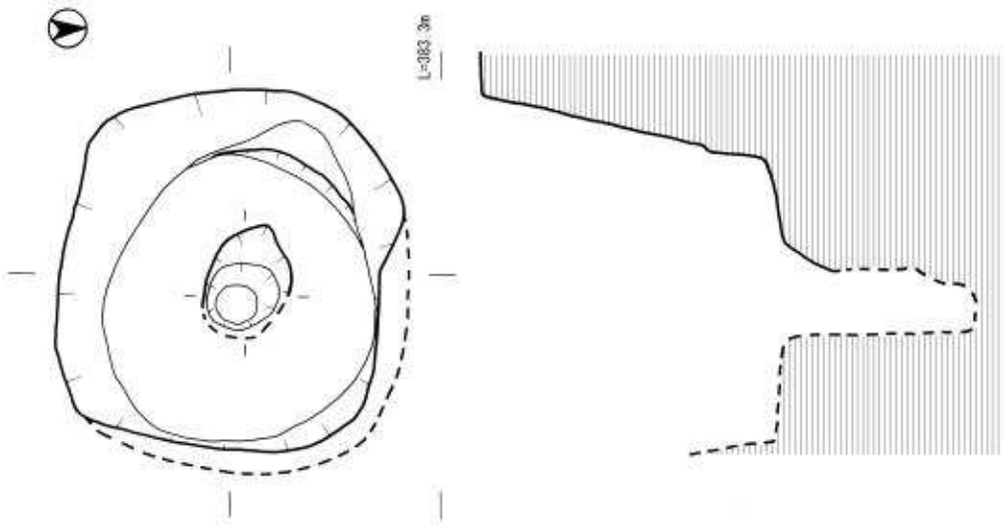
1	明橙色火山灰（アカホヤ）。御池パミスを若干含みやや粘質がある。ブロック状に落ち込んだものと思われる。
2	細粒軽石混じり黄褐色硬質土。やや粘性がある。御池パミスが混じる。

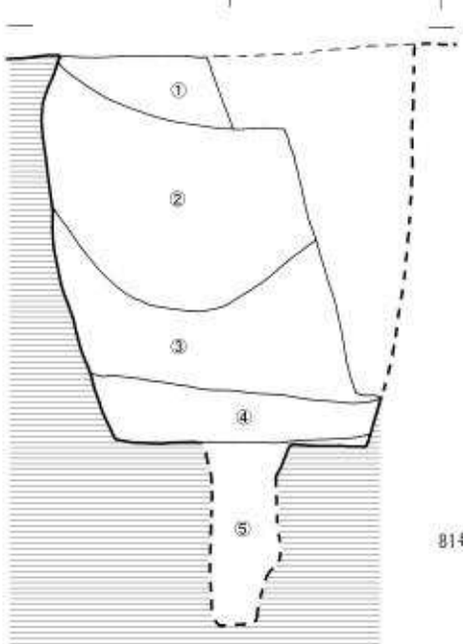


80号土坑

1	暗黄褐色土。Ⅳ～Ⅴ層土の混土。5mmほどのパミスが混じる。
2	黄褐色土。Ⅳ層土より明い。5～20mmのパミスが混じる。
3	黄褐色土。2より若干明るい。アカホヤ火山灰がブロック状に混ざる。
4	暗黄褐色土。1より若干明るい。

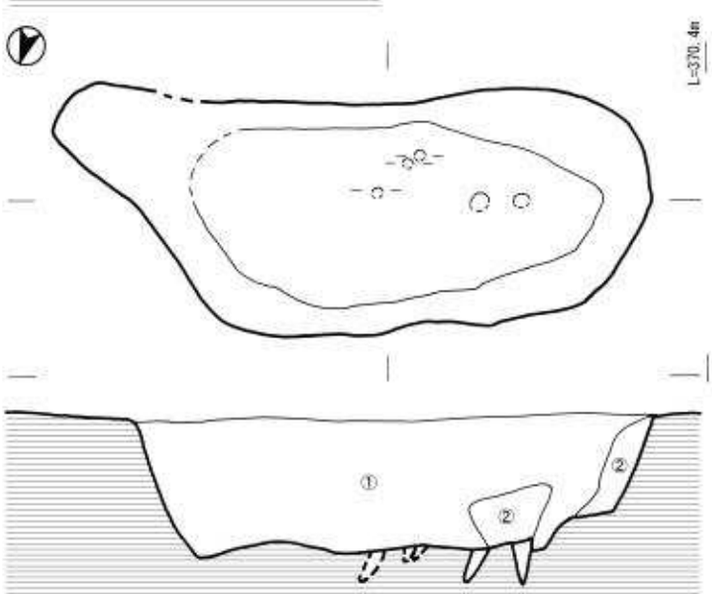
第315図　Ⅳ層土坑（1）





81号土坑

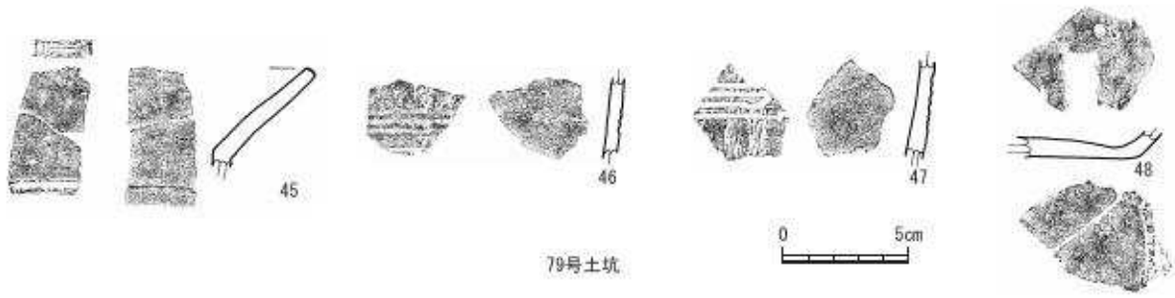
1	黄褐色土。
2	Ⅳ～Ⅵ層土の混土。10～20mmのパミスが混じる。
3	Ⅳ～Ⅴ層土の混土。5mmほどのパミスが若干混じる。
4	Ⅶ層土のに類似している。5mmほどのパミスが若干まじりややパサつく。
5	4より暗い。



82号土坑

1	黄褐色土。御池火山灰が混じる。
2	黄褐色土。ⅣとⅥ層土の混土。

第316図　Ⅳ層土坑（2）



第317図　Ⅳ層　遺構内出土遺物

遺構内出土遺物

79号土坑出土遺物（第317図）

45～48はⅨ類土器である。

45は口縁部から胴部にかかるもので，口縁部に2本1対の沈線が縦位，横位に施される。外面胴部には横位の沈線が認められ，内面の胴部接線は明瞭に残される。46，47は胴部で，外面に縦位の撚糸文と横位の沈線文を施す。48は底部で外面に横位の沈線が施される。撚糸の痕跡もわずかにみられる。

第76表 Ⅳ層遺構内出土土器観察表

挿図No	図No	取上番号	出土地点	出土遺構	器種	部位	外面調整	内面調整	焼成	外面色調	内面色調	胎土	備考
317	45	一括3	C-3	79号土坑	深鉢	口縁～屈曲部	沈線	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英，角閃石	
	46	一括1	C-3	79号土坑	深鉢	胴部	沈線，撚糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英，長石，角閃石	
	47	一括4	C-3	79号土坑	深鉢	胴部	沈線，撚糸	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	石英，長石，角閃石	
	48	一括2	C-3	79号土坑	深鉢	底部	沈線	ナデ	良好	明茶褐色	明茶褐色	石英，長石，角閃石	

第3節　縄文時代の土器

発掘調査で出土し，縄文時代に該当する土器の総点数は3356点である。

この3356点のうち，出土遺物の部位や文様が識別困難な小片を除き，接合を経て型式として確認ができたものは833点である。これらの833点について，型式分類及び観察を行い本報告書に記載した。

取り扱った833点については，Ⅰ類～ⅩⅤ類の各類型として分類している。

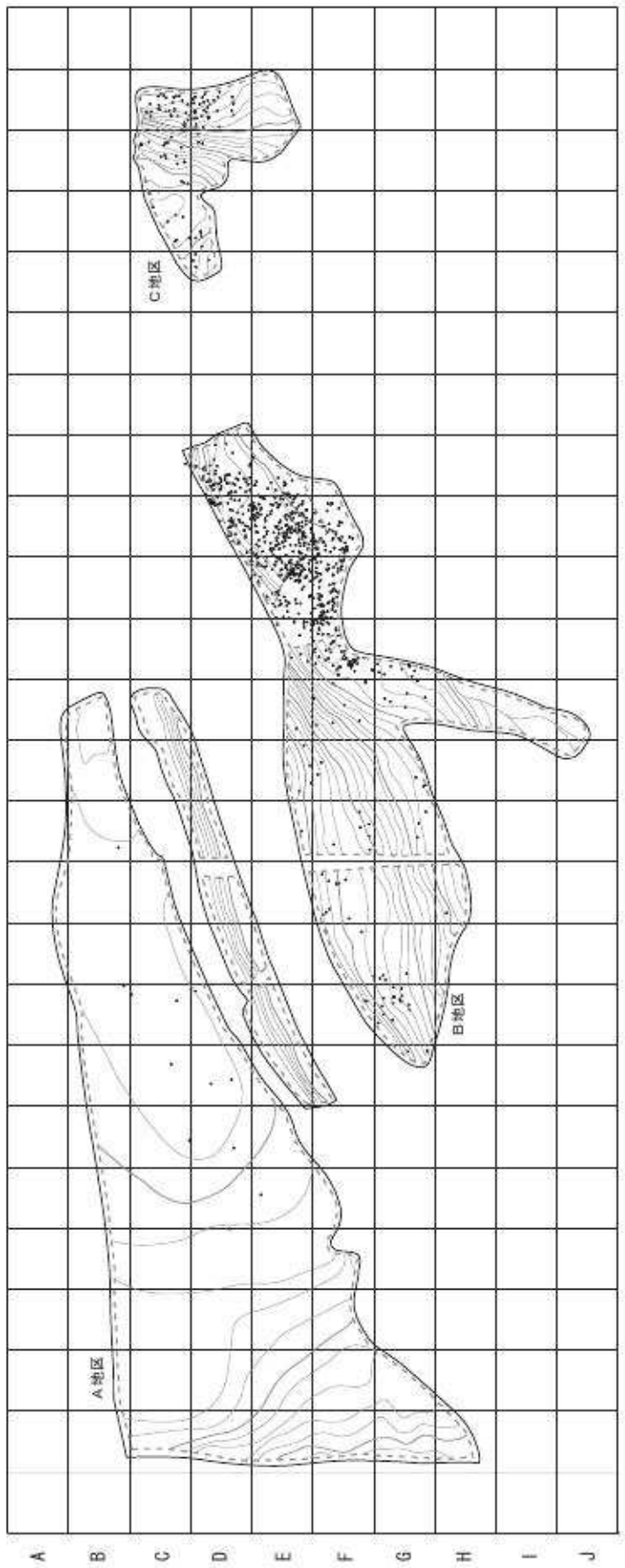
出土層位は，Ⅷ層～Ⅳ層出土及び表土一括の土器として分類されており，南大洲縄文時代早期～晩期の時期に該当し，この間の層すでⅠ類土器からⅩⅤ類土器が出土している。

Ⅷ層～Ⅵ層は縄文時代早期に相当し，Ⅰ類からⅩ類土器が出土している。

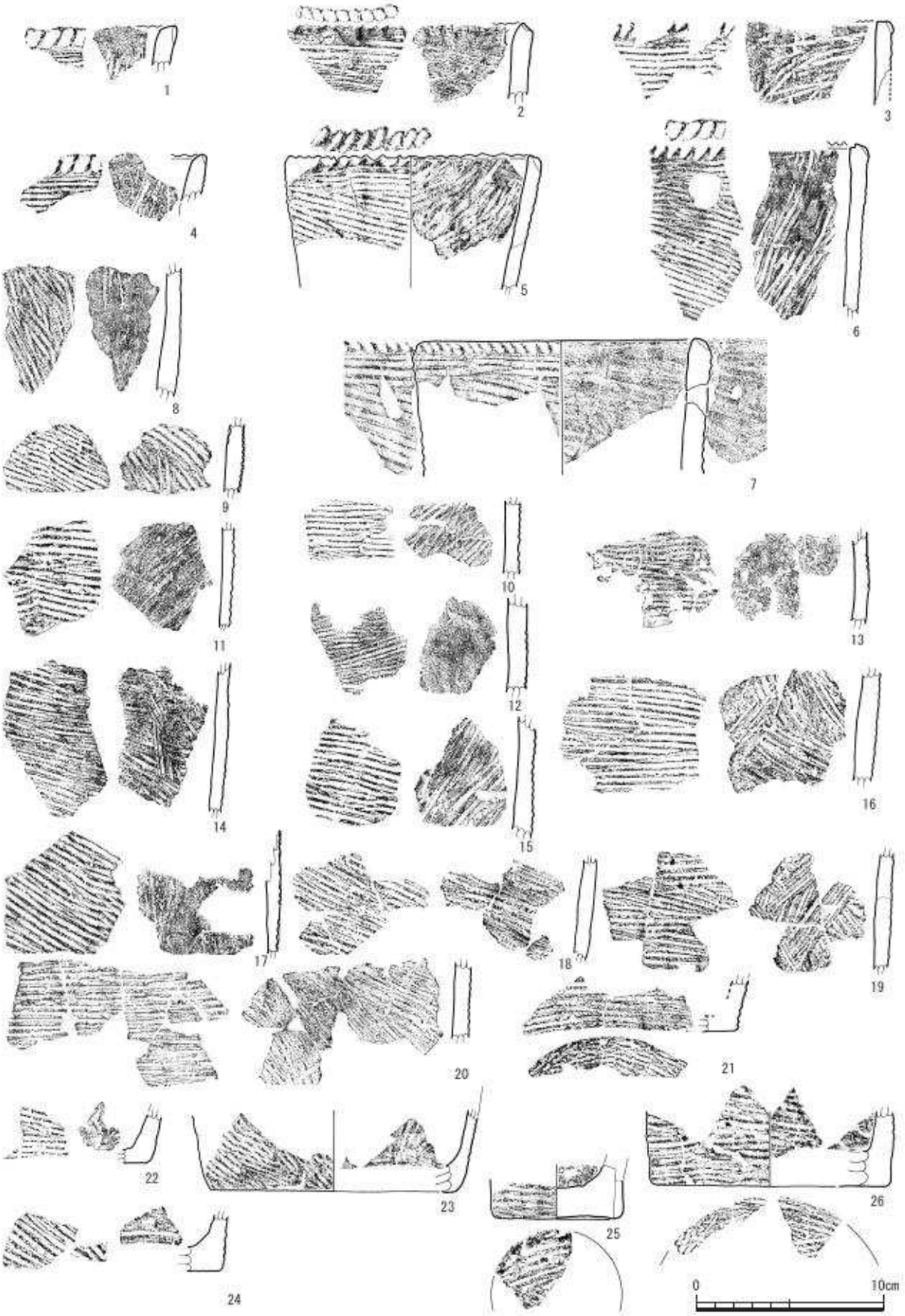
Ⅴ層は縄文時代前期，中期に相当し，ⅩⅠ類土器からⅩⅢ類土器が出土している。

Ⅳ層は縄文時代後期，晩期に相当し，ⅩⅣ類，ⅩⅤ類土器が出土している。

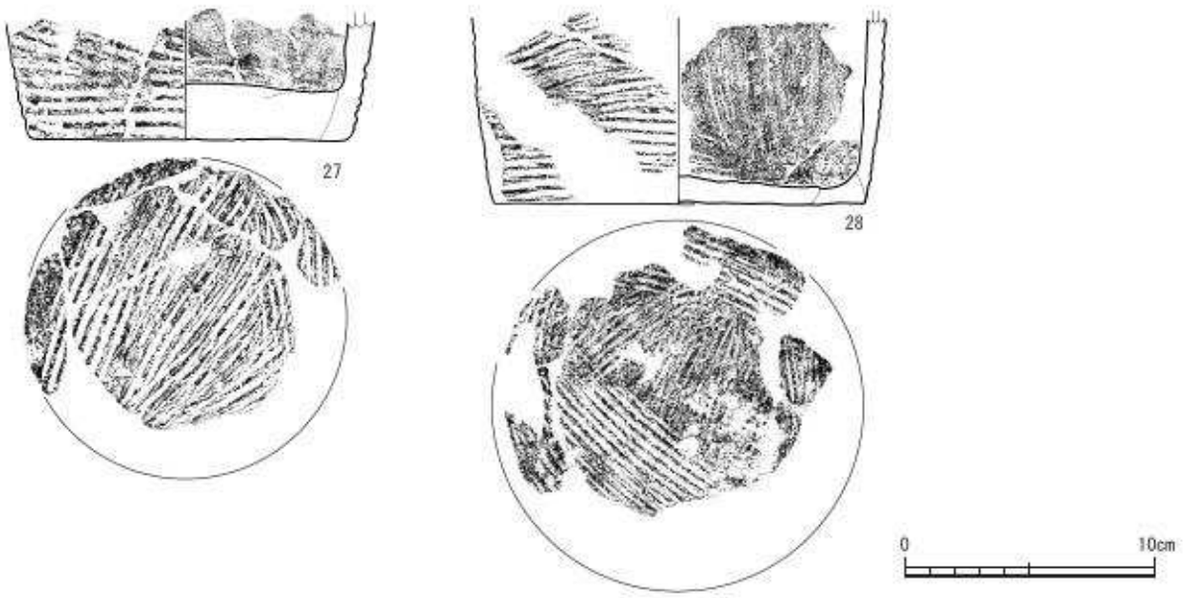
なお，各類型とそれぞれの概要については以下の通りである。



第318図　Ⅰ類～Ⅲ類土器出土状況図



第319図　Ⅰ類土器実測図（1）



第320図　Ⅰ類土器実測図（２）

1　Ⅰ類土器　前期式土器（第318,319図）

当底の底部から直線的に立ち上がり，若干外反する口縁部を持つ円筒形貝殻条痕文土器で，前期式土器に分類される一群である。

口唇端部に刻み目を有し，口唇部の直下より底部にかけての全域は，横位ないし斜位の貝殻条痕文を施している。外面は，条痕整形(3,5,6)，条痕整形後ナデ(1,2,4等)や工具ナデ(7)で仕上げ，胴部から底面にかけては貝殻条痕仕上げ(9,16,20,23等)が普遍化している。また，底部接地面も貝殻条痕で整形される。

口唇部の刻みは，貝殻腹縁(3,5,7)と棒状工具(1,2,4)を使用している。

口縁部から胴部の器壁は７～10mm，底部は15mm～20mmで，底部が厚く作られることが一般的である。なお，底部接地面は二円形をなすが，これは貝殻円筒形土器に共通する特徴でもある。

７は口縁部付近の補修孔で，外面から縦長に穿孔され，穿たれた穴の形状は外面では楕円形を呈している。

胴部と底部の接着に関し，21および25～28の観察からは，筒状の胴部と底部を別々に製作し，円盤状の底部を筒状の胴部に入れ込み(底部を胴部で包み込む)，接着する行為がみられる。特に，27,28の底部円盤を断面で観察すると，外底面が長く，地に接する接地面が短く作られ，逆台形状を呈している。このことから，底部を胴部で包み込む製作が行われたことが読みとれる。

第77表　Ⅰ類土器観察表（１）

挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調（内）	色調（外）	調整（内）	調整（外）	胎土	備考
319	1	8063（F-16/Ⅷ層）	Hue5YR2/1（黒褐色）	Hue5YR5/4（にぶい赤褐色）	ナデ	貝条痕	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	2	7830（D-17/Ⅷ層）	Hue5YR5/4（にぶい赤褐色）	Hue5YR4/6（赤褐色）	ナデ	貝条痕	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	3	8573（E-18/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	貝条痕	貝条痕	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	4	8017（E-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR2/2（黒褐色）	Hue7.5YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	5	7840（D-18/Ⅷ層） 7851（D-18/Ⅷ層） 7987（D-18/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	貝条痕	貝条痕	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	6	8080（D-18/Ⅷ層） 8085（D-18/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	貝条痕	貝条痕	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	7	7643（E-17/Ⅷ層） 7653（E-17/Ⅷ層） 7655（E-17/Ⅷ層） 7666（E-17/Ⅷ層） 7800（E-17/Ⅷ層） 8004（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR4/1（褐灰色）	Hue7.5YR5/6（明褐色）	ナデ 貝条痕	貝条痕	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り 補修孔2
	8	7832（D-17/Ⅷ層）	Hue2.5YR3/2（暗赤褐色）	Hue5YR4/3（にぶい赤褐色）	ナデ	貝条痕	長，角，石	胴部
	9	7707（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	貝条痕	貝条痕	長，角，石	胴部
	10	8018（E-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	貝条痕	貝条痕	長，角，石	胴部

2 II類 曽畑式土器(第320図～第326図)

平底の底部から直線的に立ち上がり，口縁端部が外反する口縁部(29, 30, 73, 80, 105等)と，直立する口縁部(85, 87)を持つものがあり，前者が卓越する。

器形は円筒形と砲弾形をなす貝殻条痕文系の土器で，胴部文様は貝殻腹縁の押引文を主とし，曽畑式土器に分類される。

円筒形土器の中には口縁部直下の貝殻刺突線文の下に，楔形の突帯文を持つもの(29, 30, 31, 32, 33, 34)もあるが，砲弾形土器ではみられない。

丁寧に整形した薄い口唇部に規則的なヘラ刻みを施し，口縁部端には横位の貝殻刺突線文を1条(1, 2, 3, 48, 72, 105等)，2条(38, 40, 60, 104等)，3条(77, 82, 85, 87)，5条(81, 83, 86)巡らす。

貝殻刺突線文の下位には縦位の楔形の貼付文(29, 30, 31, 32, 33, 34)を行ったものと，密接な縦位の貝殻刺突文を施すもの(35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42)，(43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50)の様に貝殻施文具のロッキング手法によって楔形文様を表現しているものもある。

円筒形土器では，胴部から底部の間では横位の貝殻押引文を基調とするが，個体によりバリエーションがみられる。貝殻刺突線文の下位に縦位の貝殻腹縁刺突文を密に1列(70)ないし2列(40, 72等)施すものや，やや粗に1列(77)，2列(71, 75)あるいは斜めに(79)施すもの等がみられる。また，(101, 103, 104, 105)の様に，半裁竹管文を配するものもある。

砲弾形土器(52, 53, 54)では，貝殻腹縁のロッキング手法で楔形突帯文を表現する。

底部端には129～155のいずれも縦位の刻み目を有している。また，底部は上げ底形をなし，接地面は丁寧に磨かれており総じて，薄く作られている。

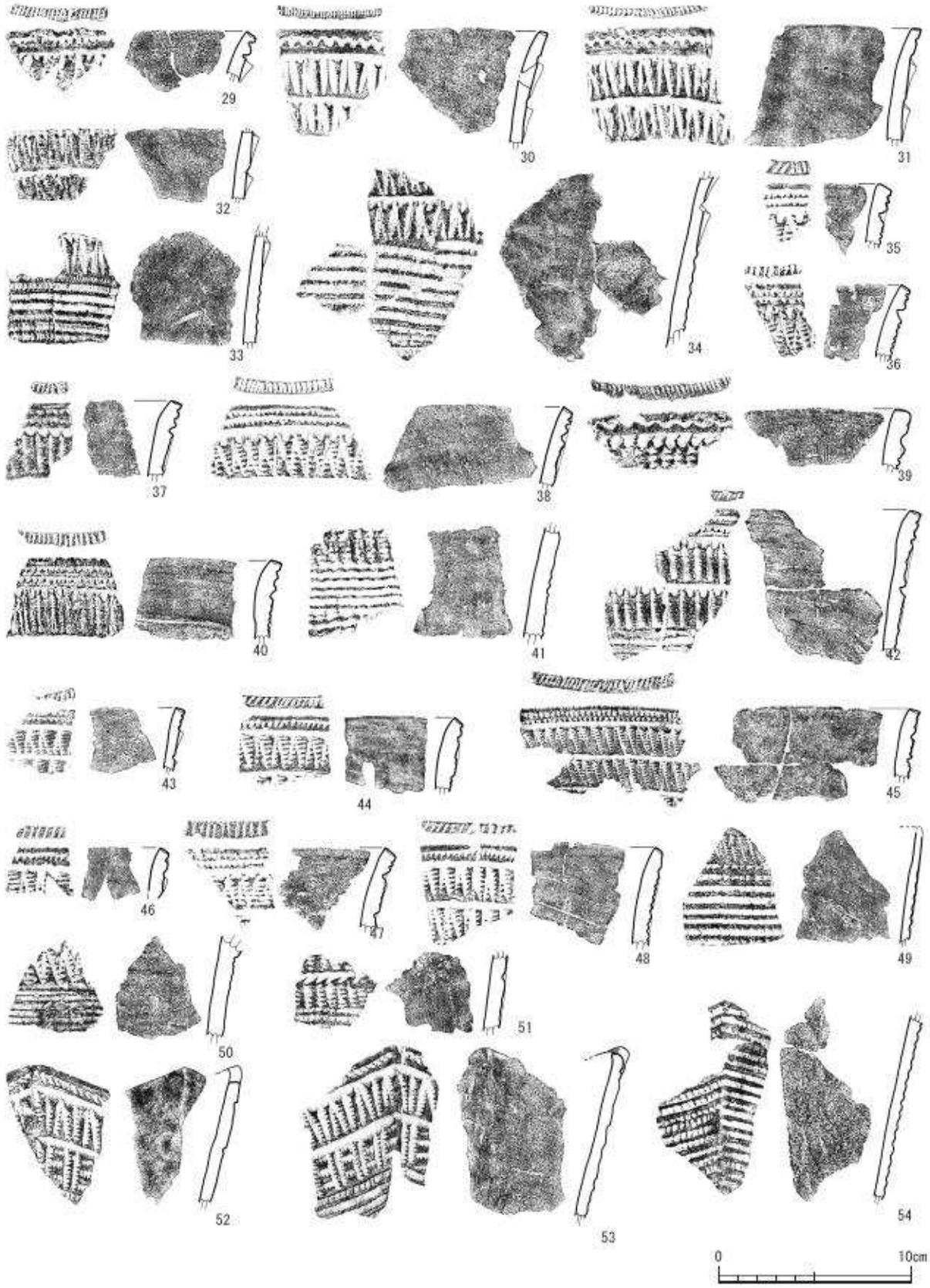
30の楔形突帯文部に補修孔が見られ，外面から縦長に穿孔され，穿たれた穴の形状は外面では楕円形を呈している。

胴部の押引文の施文具とした貝殻腹縁は，1cm前後と2cm前後の規格が存在する。

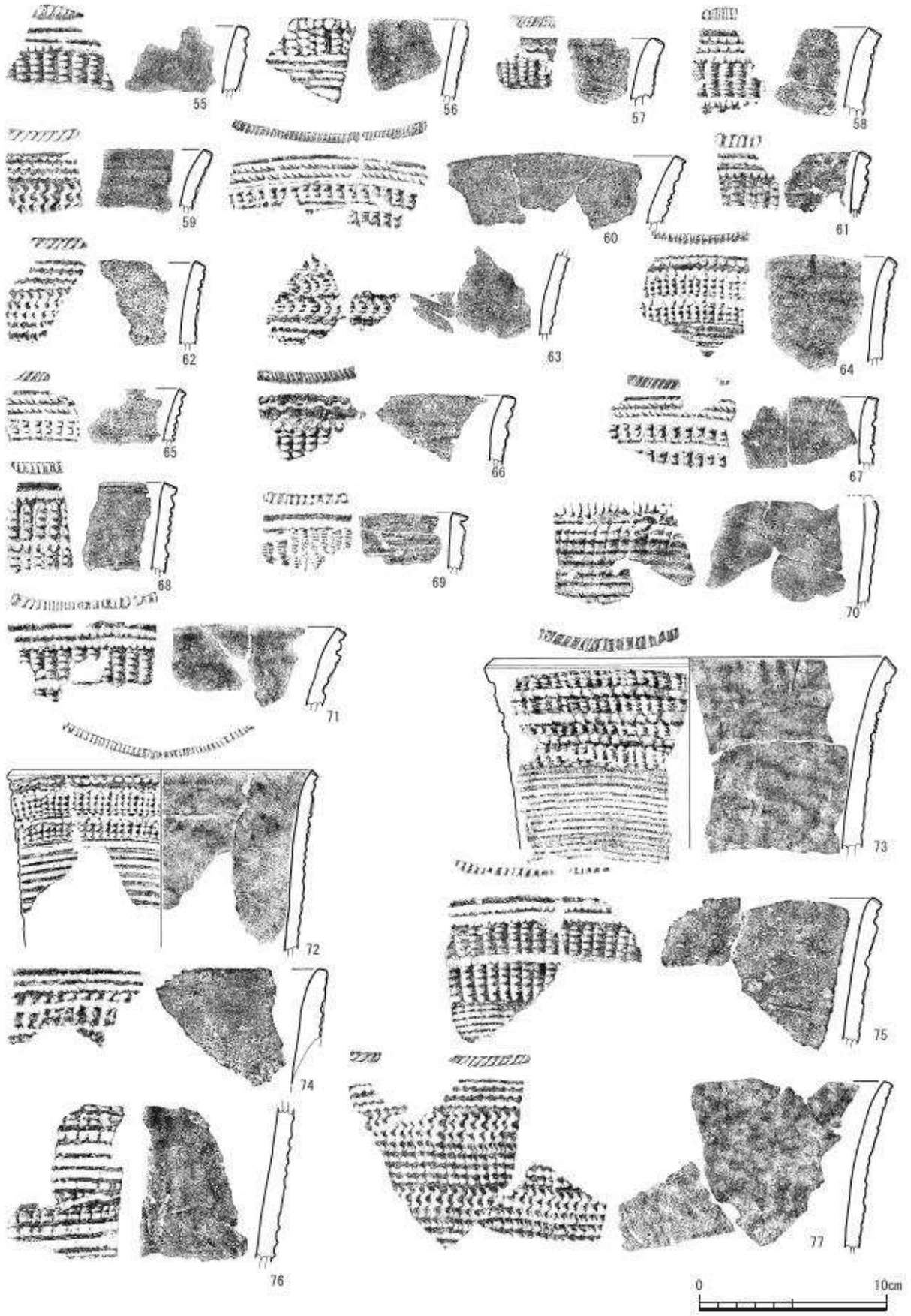
内面整形は，底部から胴部中央付近まではヘラの縦ケズリが残されるが，上位は丁寧にナデて仕上げている。

第78表 I類土器観察表(2)

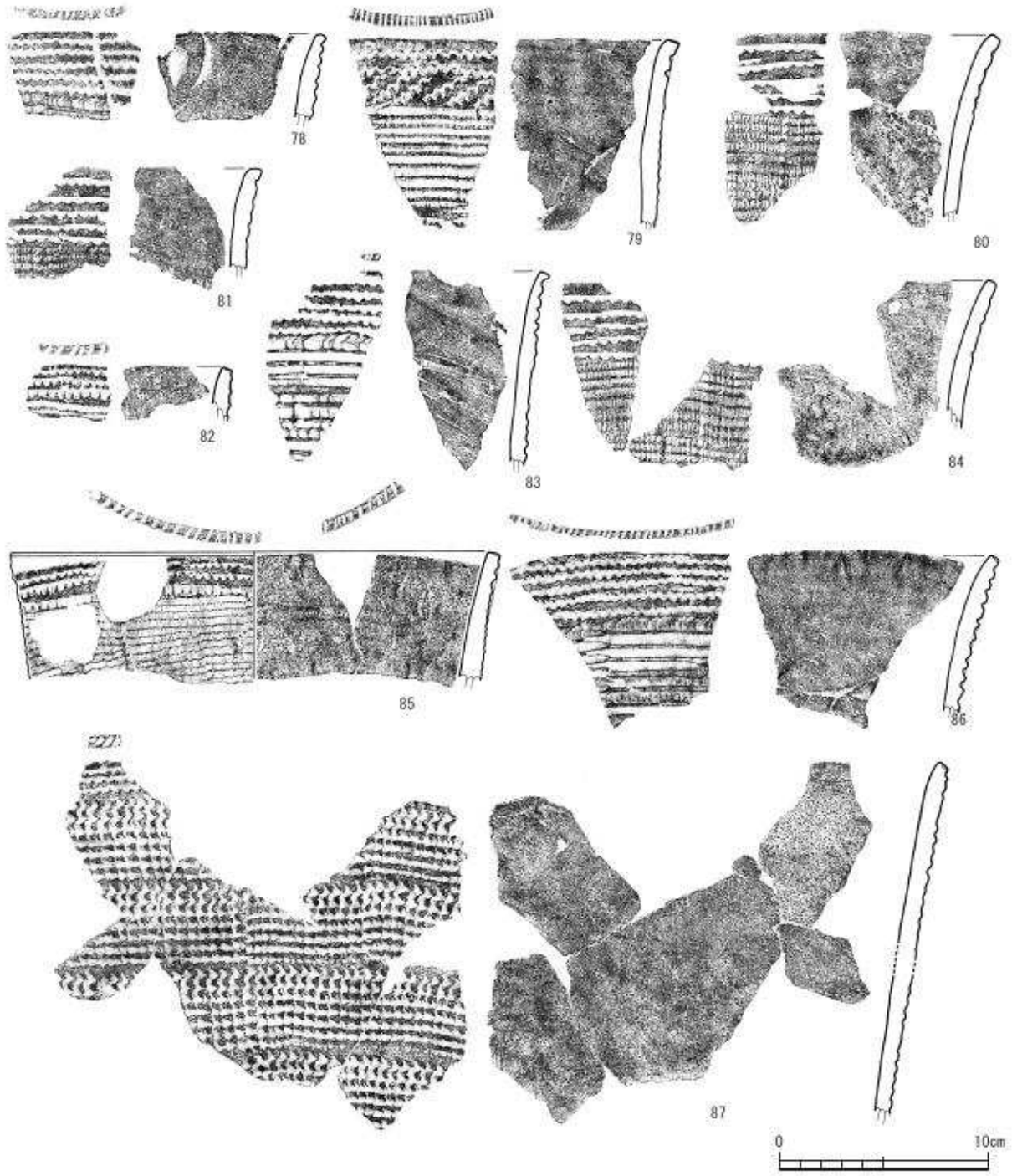
挿図No	図No	取上番号(出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整(内)	調整(外)	胎土	備考
319	11	7822(E-17/Ⅷ層)	Hue10YR7/4(にぶい黄橙色)	Hue10YR8/3(浅黄橙色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	胴部
	12	7680(E-17/Ⅷ層)	Hue5YR4/2(灰褐色)	Hue10YR3/1(黒褐色)	ナデ	貝条痕	長,角,石	胴部
	13	11968(F-16/Ⅷ層)	Hue10YR4/1(褐灰色)	Hue10YR5/2(灰黄褐色)	ナデ	貝条痕	長,角,石	胴部,(外)あばた状剥落
	14	8069(D-17/Ⅷ層)	Hue10YR3/2(黒褐色)	Hue7.5YR4/2(灰褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	胴部
	15	8083(D-18/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/4(にぶい橙色)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	胴部
	16	7662(E-17/Ⅷ層) 7827(D-17/Ⅷ層) 7828(D-17/Ⅷ層)	Hue5YR4/6(赤褐色)	Hue7.5YR4/2(灰褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	胴部
	17	8058(E-17/Ⅷ層)	Hue5YR5/4(にぶい赤褐色)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	胴部,(内)剥落
	18	8098(D-18/Ⅷ層)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	Hue5YR4/4(にぶい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	胴部
	19	7789(D-18/Ⅷ層) 8073(D-18/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	Hue5YR4/6(赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	胴部
	20	7676(E-17/Ⅷ層) 7752(D-17/Ⅷ層) 8093(D-18/Ⅷ層) 8094(D-18/Ⅷ層)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	Hue5YR3/4(暗赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	胴部
	21	8005(E-17/Ⅷ層)	Hue2.5YR5/4(にぶい赤褐色)	Hue2.5YR4/4(にぶい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	底部,(内)剥落
	22	8088(D-18/Ⅷ層)	Hue10YR6/4(にぶい黄橙色)	Hue7.5YR6/6(橙色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	底部
	23	7975(E-17/Ⅷ層) 8055(E-17/Ⅷ層)	Hue10YR4/3(にぶい黄褐色)	Hue7.5YR6/4(にぶい橙色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	底部
	24	8059(E-17/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/3(にぶい褐色)	Hue7.5YR6/4(にぶい橙色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	底部
	25	7801(E-17/Ⅷ層)	Hue2.5YR5/4(にぶい赤褐色)	Hue2.5YR5/4(にぶい赤褐色)	貝条痕	貝条痕	長,角,石	底部,(外)剥落
	26	8007(E-17/Ⅷ層) 8008(E-17/Ⅷ層) 8037(E-17/Ⅷ層)	Hue2.5YR5/4(にぶい赤褐色)	Hue2.5YR4/4(にぶい赤褐色)	ナデ 貝条痕	貝条痕	長,角,石	底部,(内)底部剥落
320	27	8001(D-17/Ⅷ層)	Hue7.5YR4/2(灰褐色)	Hue5YR6/4(にぶい橙色)	ナデ	貝条痕	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	28	7729(E-16/Ⅷ層) 7821(E-17/Ⅷ層) 7936(E-17/Ⅷ層) 7976(E-17/Ⅷ層)	Hue10YR7/4(にぶい黄橙色)	Hue10YR6/4(にぶい黄橙色)	ナデ	貝条痕	長,角,石	底部



第321図　Ⅱ類土器実測図（1）



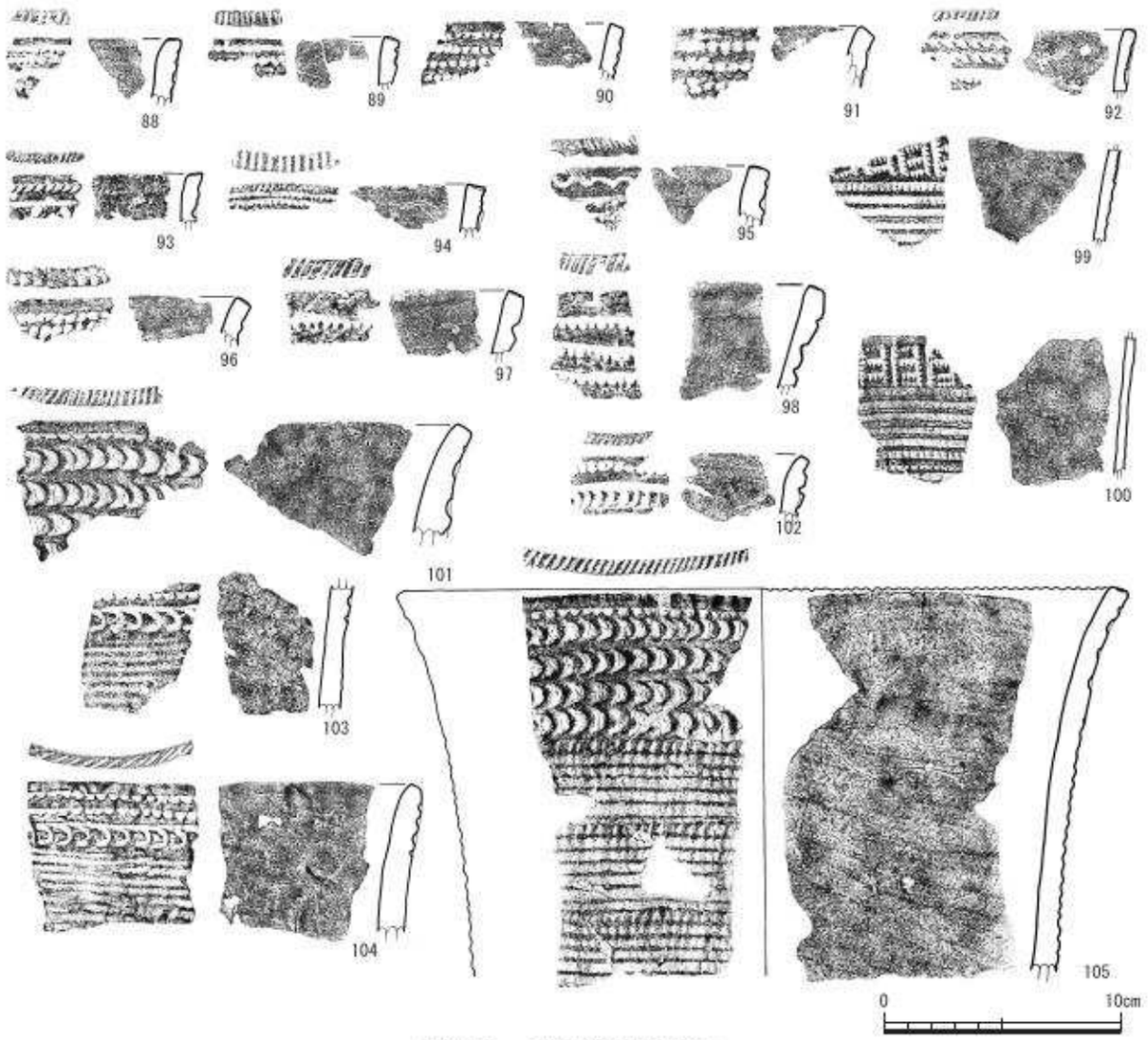
第322図　Ⅱ類土器実測図（2）



第323図　Ⅱ類土器実測図（３）

第79表　Ⅱ類土器観察表（１）

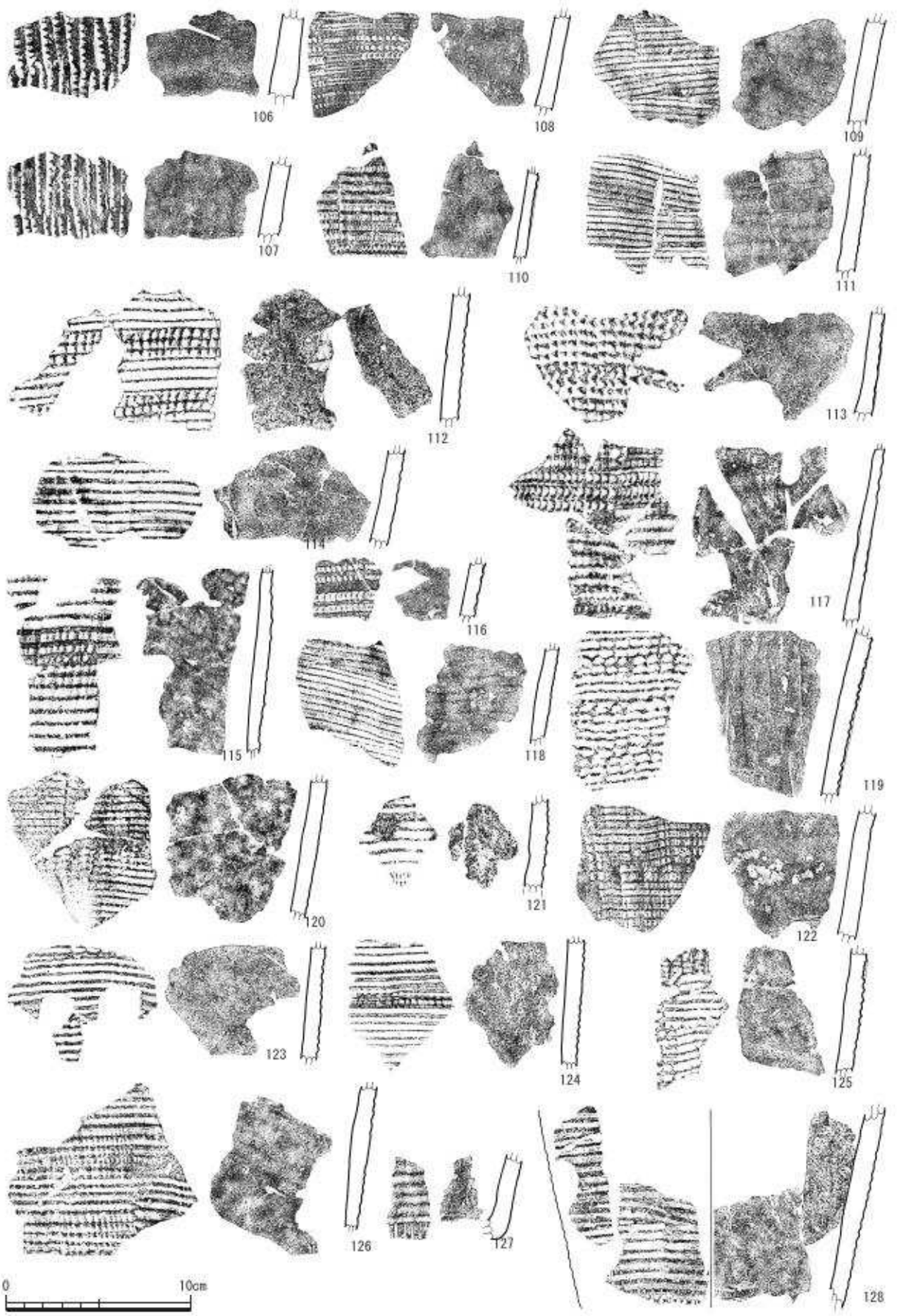
挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調(内)	色調(外)	調整(内)	調整(外)	胎土	備考
321	29	8123(D-24/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,貼付クサビ
	30	7297(C-22/Ⅷ層)	Hue10YR3/1（黒褐色）	Hue10YR3/3（暗褐色）	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,貼付クサビ,補修孔
	31	7359(D-23/Ⅷ層)	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	Hue10YR7/3（にぶい黄橙色）	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,貼付クサビ 32と同一か？
	32	7408(D-24/Ⅷ層)	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部付近,貼付クサビ 31と同一か？



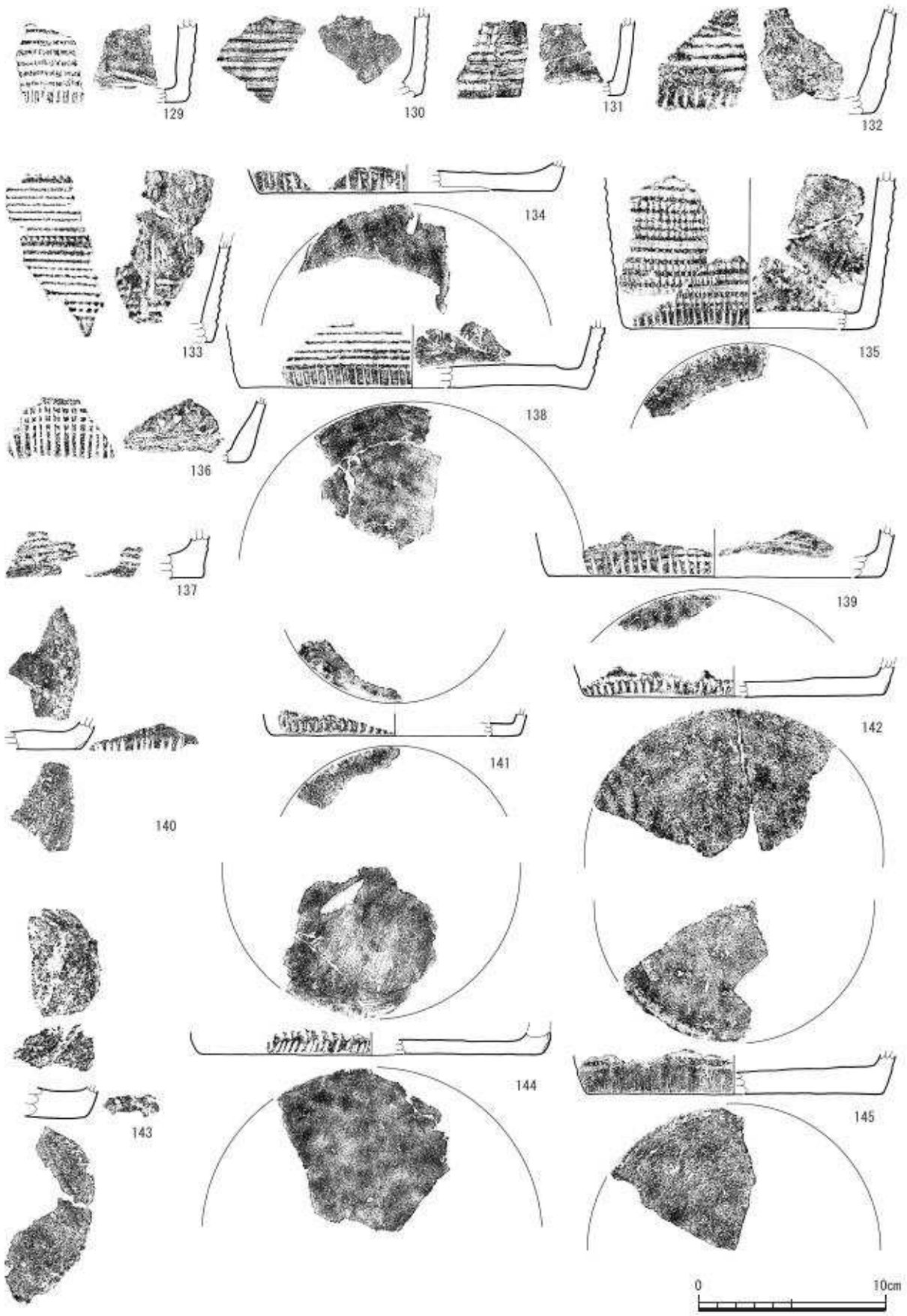
第324図　Ⅱ類土器実測図（４）

第80表　Ⅱ類土器観察表（２）

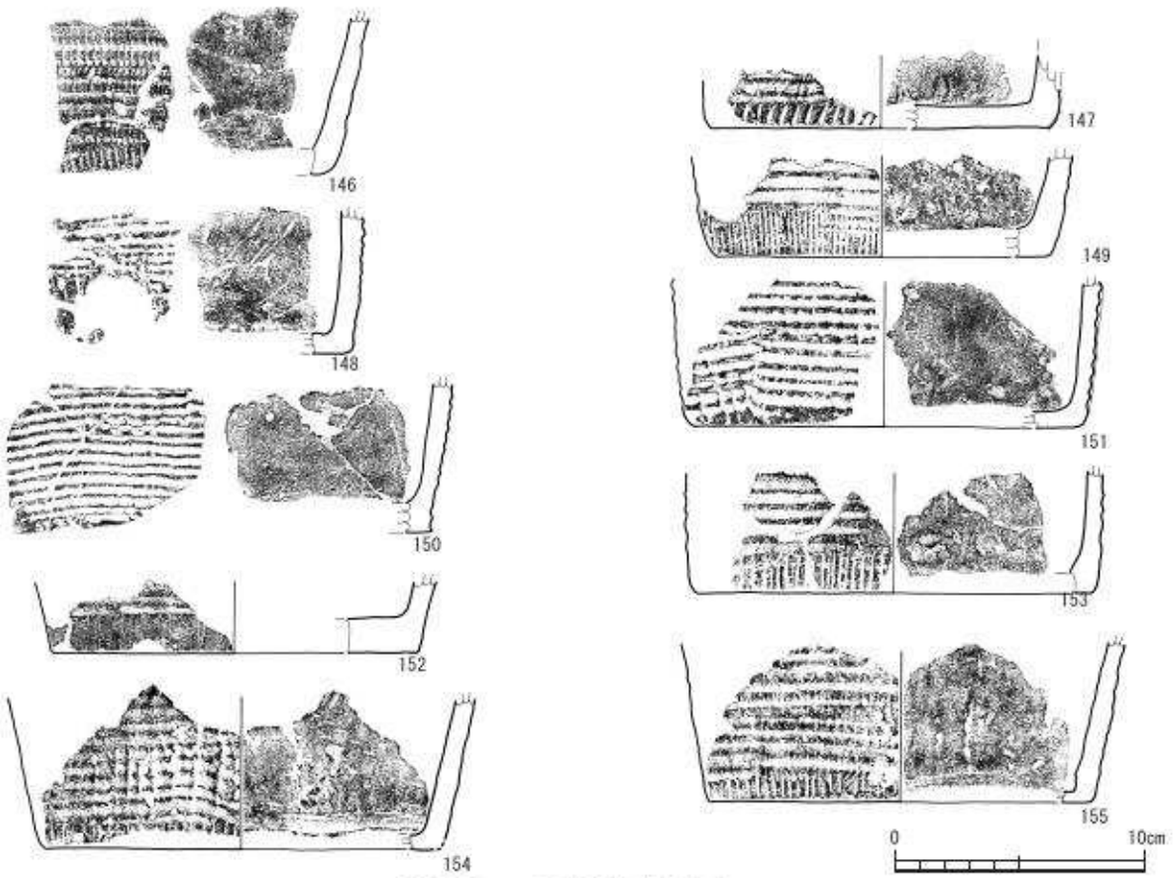
挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調(内)	色調(外)	調整(内)	調整(外)	胎土	備考
321	33	8907(C-23/Ⅶ層)	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部付近,貼付クサビ
	34	7380(D-24/Ⅶ層) 8101(D-21/Ⅶ層) 8132(D-24/Ⅶ層)	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部付近,貼付クサビ
	35	7409(D-24/Ⅶ層)	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	貝刺突(縦横) 貝押引(横)	長,角,石	口縁部,ロッキング刺突
	36	8929(C-24/Ⅶ層)	Hue7.5YR7/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	貝刺突(縦横)	長,角	口縁部,ロッキング刺突
	37	7270(D-22/Ⅶ層)	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	貝刺突(横),貝押引(横)	長,角,石	口縁部,縦位刺突
	38	7322(C-24/Ⅶ層)	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,ロッキング刺突
	39	8417(F-15/Ⅶ層)	Hue10YR2/1（黒色）	Hue10YR6/6（明黄褐色）	ナデ	貝刺突(横),貝押引(横)	長,角,石	口縁部付近,縦位刺突
	40	7365(D-24/Ⅶ層)	Hue5YR5/6（明赤褐色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部,縦位刺突
	41	4764(D-5/Ⅶ層)	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部付近,(内)炭化物付着 縦位刺突
	42	7357(C-23/Ⅶ層)	Hue5YR4/4（にぶい赤褐色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	貝刺突(横),貝押引(横)	長,角,石	口縁部,縦位刺突
	43	7389(D-24/Ⅶ層)	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝刺突(横),貝押引(横)	長,角,石	口縁部,ロッキング刺突



第325図　Ⅱ類土器実測図（５）



第326図　Ⅱ類土器実測図（６）



第327図　Ⅱ類土器実測図（7）

第81表　Ⅱ類土器観察表（3）

挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調（内）	色調（外）	調整（内）	調整（外）	胎土	備考
321	44	11023（F-17/Ⅷ層）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長，角，石	口縁部付近，ロッキング刺突
	45	1977（B-9/Ⅵ層） 1980（C-9/Ⅵ層）	Hue7．5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7．5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長，角，石	口縁部，ロッキング刺突
	46	12015（E-16/Ⅷ層）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue7．5YR7/6（橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長，角，石	口縁部，ロッキング刺突 補修孔
	47	7882（E-18/Ⅷ層）	Hue10YR2/1（黒色）	Hue10YR4/3（にぶい黄褐色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長，角，石	口縁部，ロッキング刺突
	48	11114（E-16/Ⅷ層）	Hue10YR2/1（黒色）	Hue7．5YR6/6（橙色）	ナデ	貝刺突（縦横）	長，角，石	口縁部，ロッキング刺突
	49	1989（D-9/Ⅵ層）	Hue10YR5/4（にぶい黄褐色）	Hue7．5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	口縁部付近，ロッキング刺突
	50	7354（C-23/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue7．5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	貝押引（横）、貝刺突（縦）	長，角，石	口縁部付近，ロッキング刺突
	51	8128（D-24/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（横）	長，角，石	口縁部付近，縦位刺突
	52	7404（C-24/Ⅷ層）	Hue2．5Y3/1（黒褐色）	Hue10YR3/3（暗褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦）	長，石，雲	口縁部，角筒，ロッキング刺突
	53	7335（D-24/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue7．5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦）	長，角，石，雲	口縁部，角筒，ロッキング刺突
	54	7323（C-24/Ⅷ層） 7391（D-24/Ⅷ層）	Hue7．5YR6/6（橙色）	Hue10YR2/1（黒色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石，雲	口縁部付近，角筒
322	55	7714（E-16/Ⅷ層）	Hue10YR5/4（にぶい黄褐色）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長，角，石	口縁部，縦位刺突
	56	8276（G-12/Ⅷ層）	Hue7．5YR7/6（橙色）	Hue7．5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（縦）	長，角，石	口縁部付近，縦位刺突
	57	11644（F-15/Ⅷ層）	Hue7．5YR5/4（にぶい褐色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長，角，石	口縁部，縦位刺突，雲母
	58	7347（C-23/Ⅷ層）	Hue10YR3/1（黒褐色）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長，角，石	口縁部，縦位刺突，砂粒多い
	59	19109（F-9/Ⅷ層）	Hue10YR4/1（褐灰色）	Hue10YR4/1（褐灰色）	ナデ	ナデ，貝刺突（横） 貝押引（横）	長，角	口縁部，（内）（外）炭化物付着 縦位刺突

第82表　Ⅱ類土器観察表（4）

挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調（内）	色調（外）	調整（内）	調整（外）	胎土	備考
322	60	7384（D-24/Ⅷ層） 8110（G-23/Ⅷ層） 8117（D-24/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突、金雲母
	61	7956（F-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR7/6（橙色）	Hue5YR6/6（橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長、角	口縁部、縦位刺突
	62	16510（G-10/Ⅷ層）	Hue10YR7/3（にぶい黄橙色）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	ナデ	ナデ、貝刺突（横） 貝押引（横）	長、角	口縁部、縦位刺突、59と同一か？
	63	8165（F-15/Ⅵ層） 8348（F-15/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	ナデ、貝刺突（横） 貝押引（横）	長、角、石	口縁部付近、縦位刺突、小型
	64	11956（F-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝刺突（横）、貝条痕（横）	長、角、石	口縁部、（外）炭化物付着 縦位刺突
	65	7328（C-24/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突、砂粒多い
	66	8346（F-15/Ⅷ層）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突
	67	7381（D-24/Ⅷ層）	Hue5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突
	68	8391（F-15/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突
	69	11664（E-16/Ⅷ層）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突、小型
	70	11205（F-16/Ⅷ層） 12053（F-15/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ、貝押引（横） 貝刺突（横）	長、角、石	口縁部付近、縦位刺突
	71	8374（F-15/Ⅷ層） 8567（D-18/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突
	72	7696（E-17/Ⅷ層） 7698（E-17/Ⅷ層） 11957（F-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝条痕（横）	長、角、石	口縁部、ロッキング刺突
	73	7174（G-13/Ⅵ層） 8194（F-14/Ⅷ層） 8217（F-13/Ⅵ層） 8233（E-12/Ⅷ層） 8244（F-12/Ⅷ層） 8254（F-12/Ⅷ層） 8257（F-12/Ⅷ層） 8361（F-15/Ⅷ層） 8421（E-13/Ⅷ層） 16433（F-11/Ⅷ層） 16434（F-11/Ⅷ層） 16454（F-11/Ⅷ層） 16467（F-10/Ⅷ層） 16563（F-11/Ⅷ層）	Hue10YR5/6（黄褐色）	Hue10YR5/6（黄褐色）	ナデ	ナデ、貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、横位刺突 貝押引（横）
	74	8042（F-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR7/6（橙色）	Hue5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ、貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突
	75	7620（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝刺突（横）、貝押引（横） 貝条痕（横）	長、角、石	口縁部、縦位刺突
	76	16418（F-17/Ⅹ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	ナデ、貝押引（横）	長、角、石	胴部、落ち込み
	77	16507（G-9/Ⅷ層） 16679（G-10/Ⅷ層）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	Hue10YR8/4（浅黄橙色）	ナデ	ナデ、貝刺突（横） 貝押引（縦）	長、角、石	口縁部、（内）炭化物付着、 横位刺突
323	78	7320（C-23/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ、貝刺突（横） 貝押引（横）	長、角	口縁部、横位刺突
	79	7712（E-16/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	ナデ	ナデ、貝刺突（横斜） 貝押引（横）	長、角、石	口縁部、（内）炭化物付着、 斜位刺突
	80	11209（F-15/Ⅷ層） 12068（F-15/Ⅷ層）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	ナデ	貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、横位刺突81、84と同一か？
	81	11028（F-17/Ⅷ層）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	ナデ	貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、横位刺突、80、84と同一か？
	82	16681（G-10/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ、貝刺突（横）	長、角、石	口縁部、横位刺突
	83	7282（C-22/Ⅷ層）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	ナデ	ナデ、貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、横位刺突
	84	11186（F-16/Ⅷ層） 7674（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、横位刺突、80、81同一か？
	85	16451（F-11/Ⅷ層） 16503（G-9/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長、角、石、雲	口縁部、横位刺突、雲母
	86	7273（C-22/Ⅷ層）	Hue10YR3/2（黒褐色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	ナデ、貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、横位刺突
	87	1650（B-12/Ⅵ層） 16441（F-11/Ⅷ層） 16504（G-9/Ⅷ層） 16678（G-10/Ⅷ層）	Hue10YR7/3（にぶい黄橙色）	Hue2.5Y3/1（黒褐色）	ナデ	ナデ、貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長、角、石	口縁部、横位刺突
324	88	8911（C-24/Ⅷ層）	Hue5YR4/6（赤褐色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	ナデ、貝刺突（横）	長、角	口縁部、口唇部刻み有り
	89	12069（F-16/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ、貝刺突（横）	角、石	口縁部、口唇部刻み有り

第83表　Ⅱ類土器観察表（5）

挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調（内）	色調（外）	調整（内）	調整（外）	胎土	備考
324	90	11646（F-15/Ⅷ層）	Hue10YR5/4（にぶい黄褐色）	Hue7.5YR5/6（明褐色）	ナデ	ナデ，貝刺突（横）	長，角，石	口縁部
	91	5716（E-6/Ⅷ層）	Hue5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	92	8119（D-24/Ⅷ層）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ，貝刺突（横） 貝押引（横）	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	93	8876（E-17/Ⅷ層）	Hue5YR6/6（橙色）	Hue5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	94	11207（F-15/Ⅷ層）	Hue2.5Y3/2（黒褐色）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	ナデ	ナデ，貝刺突（横）	長，角	口縁部，口唇部刻み有り
	95	8352（F-15/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝刺突（横）	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	96		Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	ナデ，貝刺突（横）	長，角	口縁部，口唇部刻み有り
	97	7663（E-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR5/6（明褐色）	ナデ	ナデ，貝刺突（横）	長，角	口縁部，口唇部刻み有り
	98	8191（E-14/Ⅷ層）	Hue10YR3/1（黒褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ，貝刺突（横）	長，角	口縁部，口唇部刻み有り
	99	7317（C-23/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（縦横）	長，角，石	口縁部付近
	100	8111（C-23/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue5YR4/3（にぶい赤褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角	口縁部付近
	101	12038（E-16/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り 105と同一か？
	102	8370（F-15/Ⅷ層）	Hue2.5Y3/1（黒褐色）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長，角，石	口縁部，炭化物付着
	103	7678（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長，角，石	口縁部付近，104と同一か？
	104	7795（D-18/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り 103と同一か？
	105	7684（E-17/Ⅷ層） 8385（E-15/Ⅷ層） 11659（E-16/Ⅷ層） 11660（E-16/Ⅷ層） 11661（E-16/Ⅷ層） 11994（F-16/Ⅷ層） 12041（E-15/Ⅷ層） 12072（E-16/Ⅷ層）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（横） 貝刺突（縦横）	長，角，石	口縁部，（内）金雲母， 口唇部刻み有り，101と同一か？
325	106	8277（G-12/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（縦）	長，角，石	胴部，縦位刺突
	107	11115（E-16/Ⅷ層）	Hue5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（縦）	長，角，石	胴部，縦位刺突
	108	12315（E-16/Ⅷ層）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	Hue5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	底部付近，胎土細かい
	109	8115（D-24/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角	胴部，砂粒大
	110	7309（C-23/Ⅷ層）	Hue10YR7/6（明黄褐色）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	胴部，（内）炭化物付着
	111	8114（D-24/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR7/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角	胴部，砂粒大
	112	11075（F-16/Ⅷ層） 11076（F-16/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue10YR2/1（黒色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	胴部，雲母
	113	16515（G-9/Ⅷ層） 16655（G-9/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue2.5Y4/1（黄灰色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	口縁部，（内）炭化物付着
	114	7262（D-21/Ⅷ層）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR8/4（浅黄橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角	胴部，胎土密
	115	8386（F-14/Ⅷ層） 11970（F-16/Ⅷ層）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	Hue2.5Y6/4（にぶい黄色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	胴部
	116	11407（E-16/Ⅷ層）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	Hue5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，石	胴部，胎土密
	117	8339（F-15/Ⅷ層） 8417（F-15/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	胴部，砂粒多い
	118	7409（D-24/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	胴部，砂粒多い
	119	16490（F-9/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	胴部，砂粒多い
	120	8031（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR5/4（にぶい黄褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石，雲	胴部，砂粒多い，樹痕横転
	121	7664（E-17/Ⅷ層）	Hue2.5Y6/3（にぶい黄色）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角	底部付近，刻み有り
	122	8389（F-14/Ⅷ層）	Hue7.5YR7/6（橙色）	Hue7.5YR7/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	胴部，砂粒多い
	123	12023（E-16/Ⅷ層）	Hue7.5YR6/6（橙色）	Hue7.5YR6/6（橙色）	ナデ	ナデ，貝押引（横）	長，角，石	胴部，（内）炭化物付着

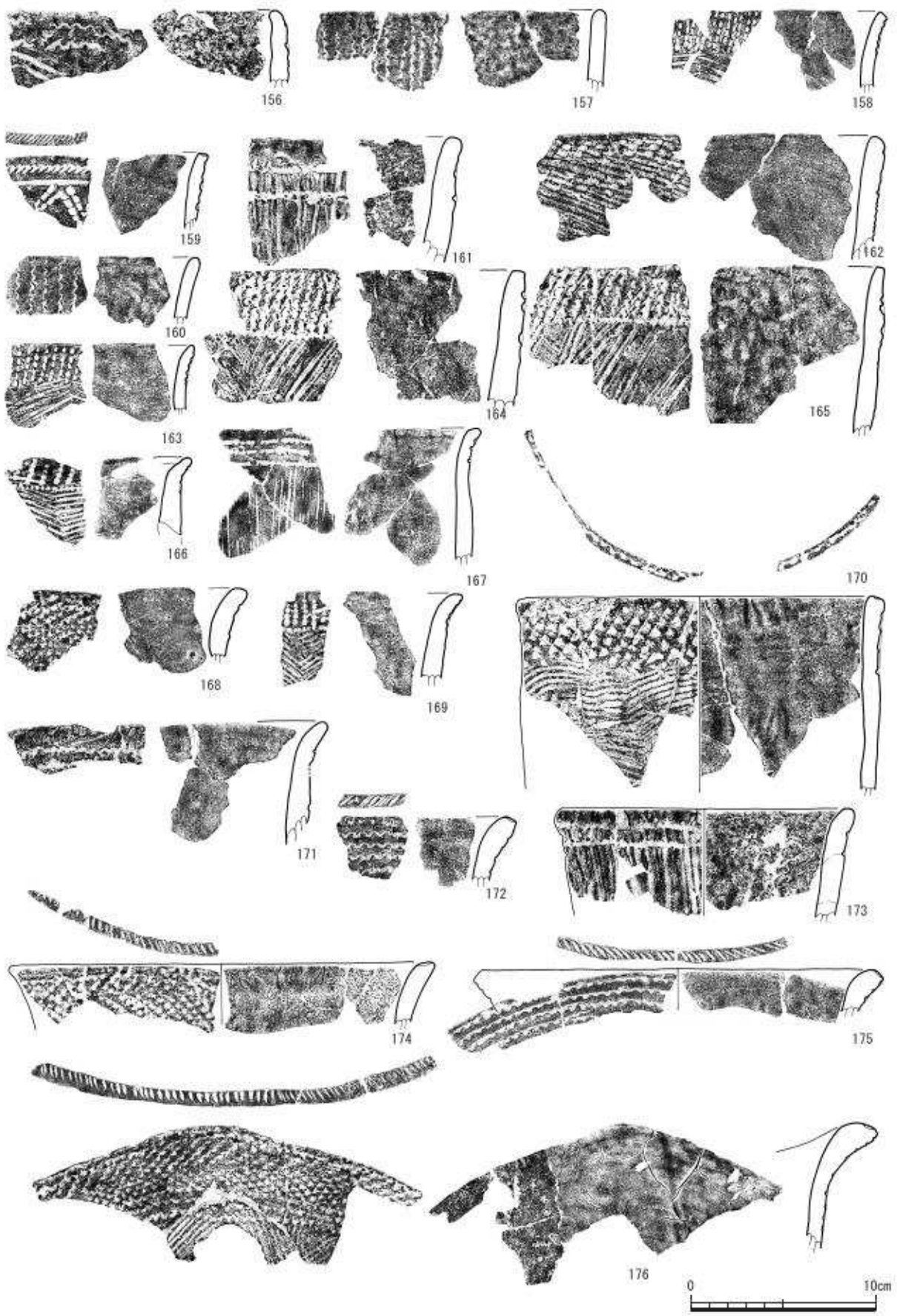
3　Ⅲ類　石蒸式土器(第327図～第333図)

平底の底部をもち，円筒形に立ち上がる器形で口縁部は直立するもの(157, 161, 162, 165, 170)と，外反するもの(166, 167, 176, 177, 178)があり，外反する口縁部が主。器形は口縁部が直立するものは円筒形を呈し，外反すると胴部の中位から上位でやや膨らむ特徴をみせる。また，外反する口縁部を成すものの中には，平縁と4隅が突起する波状口縁の2種類に分かれる。

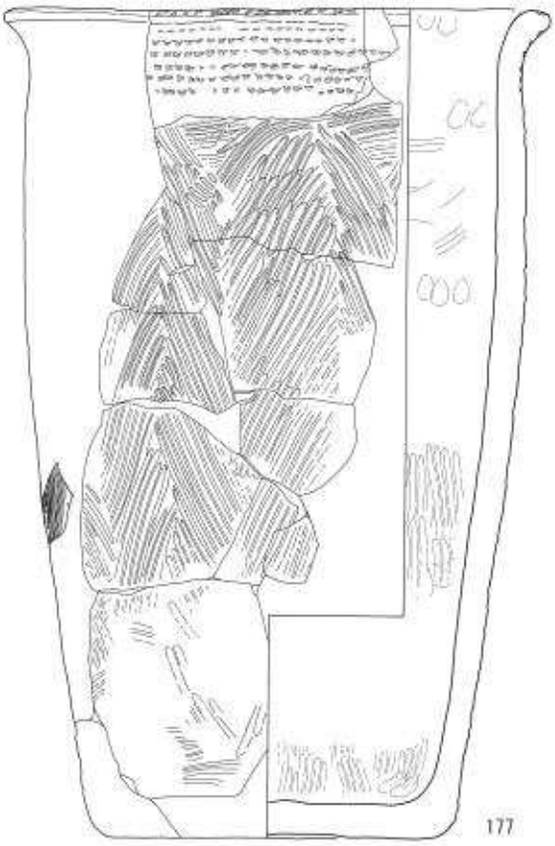
これらは貝殻文様土器で，いわゆる石蒸式土器に分

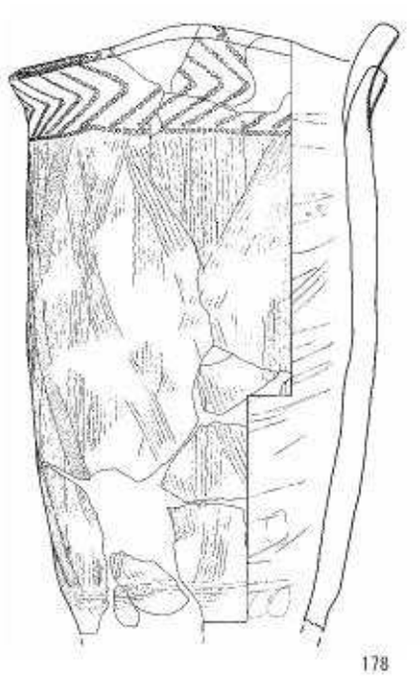
第84表　Ⅱ類土器観察表（６）

挿図No	図No	取上番号(出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整(内)	調整(外)	胎土	備考
325	124	7378(D-24/Ⅷ層)	Hue10YR5/6(黄褐色)	ue10YR5/3(にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,(外)雲母
	125	16436(F-11/Ⅷ層)	Hue10YR6/4(にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4(にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(縦横)	長,角,石	口縁部～胴部,横位刺突
	126	11122(F-17/Ⅷ層)	Hue10YR5/6(黄褐色)	Hue10YR5/3(にぶい黄褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	胴部,(外)赤化
	127	8381(F-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	Hue7.5YR7/6(橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,刻み有り
	128	8359(F-15/Ⅷ層) 8371(F-15/Ⅷ層) 11078(F-16/Ⅷ層) 11396(E-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	Hue7.5YR5/3(にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横) 貝刺突(縦横)	長,角,石	胴部,砂粒多い
326	129	11670(F-16/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,刻み有り,器壁薄
	130	8919(C-24/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/6(明褐色)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	ナデ	ナデ	長,角,石	底部,砂粒多い
	131	7268(D-22/Ⅷ層)	Hue2.5YR5/6(明赤褐色)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	ナデ	ナデ	長,角	底部,器壁薄
	132	7263(D-21/Ⅷ層)	Hue10YR7/4(にぶい黄橙色)	Hue10YR8/6(黄橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,刻み有り
	133	7315(C-23/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	Hue10YR3/2(黒褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	底部,刻み有り
	134	16417(F-17/Ⅹ層)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	Hue7.5YR6/6(橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦)	長,角,石	底部,刻み有り,落ち込み
	135	8045(E-17/Ⅷ層) 16420(F-17/Ⅹ層)	Hue2.5Y4/1(黄灰色)	Hue2.5Y6/3(にぶい黄色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,刻み有り,砂粒大,落ち込み
	136	11098(E-16/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/4(にぶい橙色)	Hue7.5YR6/4(にぶい橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦)	長,角	底部,刻み有り
	137	8120(D-24/Ⅷ層)	Hue7.5YR7/6(橙色)	Hue10YR7/4(にぶい黄橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	底部,砂粒多い
	138	7413(C-23/Ⅷ層) 一括(C-24/Ⅷ層)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,底部(外)炭化物付着 口唇部刻み有り器壁薄い
	139	8414(F-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	Hue10YR6/4(にぶい黄橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,刻み有り
	140	11000(F-17/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6(橙色)	Hue7.5YR7/4(にぶい橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦)	長,角,石	底部,刻み有り
	141	7272(D-22/Ⅷ層)	Hue5YR6/6(橙色)	Hue5YR6/6(橙色)	ナデ	ナデ	長,角,石	底部,刻み有り,器壁薄
	142	16521(G-9/Ⅷ層)	Hue10YR7/4(にぶい黄橙色)	Hue10YR6/4(にぶい黄橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦)	長,角,石	底部,縦刻み有り
	143	7295(C-23/Ⅷ層)	Hue10YR5/3(にぶい黄褐色)	Hue10YR5/2(灰黄褐色)	ナデ	ナデ	長,角,雲	底部,砂粒多い
	144	8396(F-14/Ⅷ層)	Hue10YR5/3(にぶい黄褐色)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦横)	長,角,石	底部,底部(外)炭化物付着
	145	7375(D-24/Ⅷ層) 7419(C-22/Ⅷ層)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	Hue5YR4/6(赤褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦)	長,角,石	底部,縦刻み有り
327	146	8410(G-15/Ⅷ層)	Hue10YR5/4(にぶい黄褐色)	Hue10YR4/1(褐灰色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,刻み有り
	147	8560(D-18/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/4(にぶい橙色)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦横)	長,角,石	底部,刻み有り
	148	2376(D-8/Ⅷ層)	Hue5YR5/6(明赤褐色)	Hue7.5YR6/6(橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,刻み有り,赤化
	149	7724(E-16/Ⅷ層)	Hue10YR5/3(にぶい黄褐色)	Hue10YR6/3(にぶい黄橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦横)	長,角,石	底部,刻み有り
	150	7587(E-16/Ⅷ層) 7716(E-16/Ⅷ層)	Hue5YR6/6(橙色)	Hue7.5YR6/6(橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部
	151	8424(E-13/Ⅷ層)	Hue7.5YR5/4(にぶい褐色)	Hue7.5YR6/4(にぶい橙色)	ナデ	ナデ	長,角,石	底部,砂粒多い
	152	7410(D-24/Ⅷ層) 8930(C-24/Ⅷ層)	Hue2.5YR5/8(明赤褐色)	Hue2.5YR4/6(赤褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	底部,赤化
	153	7269(D-22/Ⅷ層)	Hue10YR7/4(にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4(にぶい黄橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(縦横)	長,角,石	底部,刻み有り
	154	12003(F-15/Ⅷ層)	Hue7.5YR6/6(橙色)	Hue10YR6/4(にぶい黄橙色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角	底部,刻み有り
	155	8330(G-15/Ⅷ層)	Hue10YR6/4(にぶい黄橙色)	Hue10YR3/1(黒褐色)	ナデ	ナデ,貝押引(横)	長,角,石	底部,刻み有り



第328図　Ⅲ類土器実測図（1）





第329図　Ⅲ類土器実測図（2）

類される。

口唇部の形状は平坦（158, 164, 165），やや尖り気味（163, 166），あるいはまく（160, 174, 177等）整形し，まく整形するものが卓越する。いずれも上面に刻みを施す。

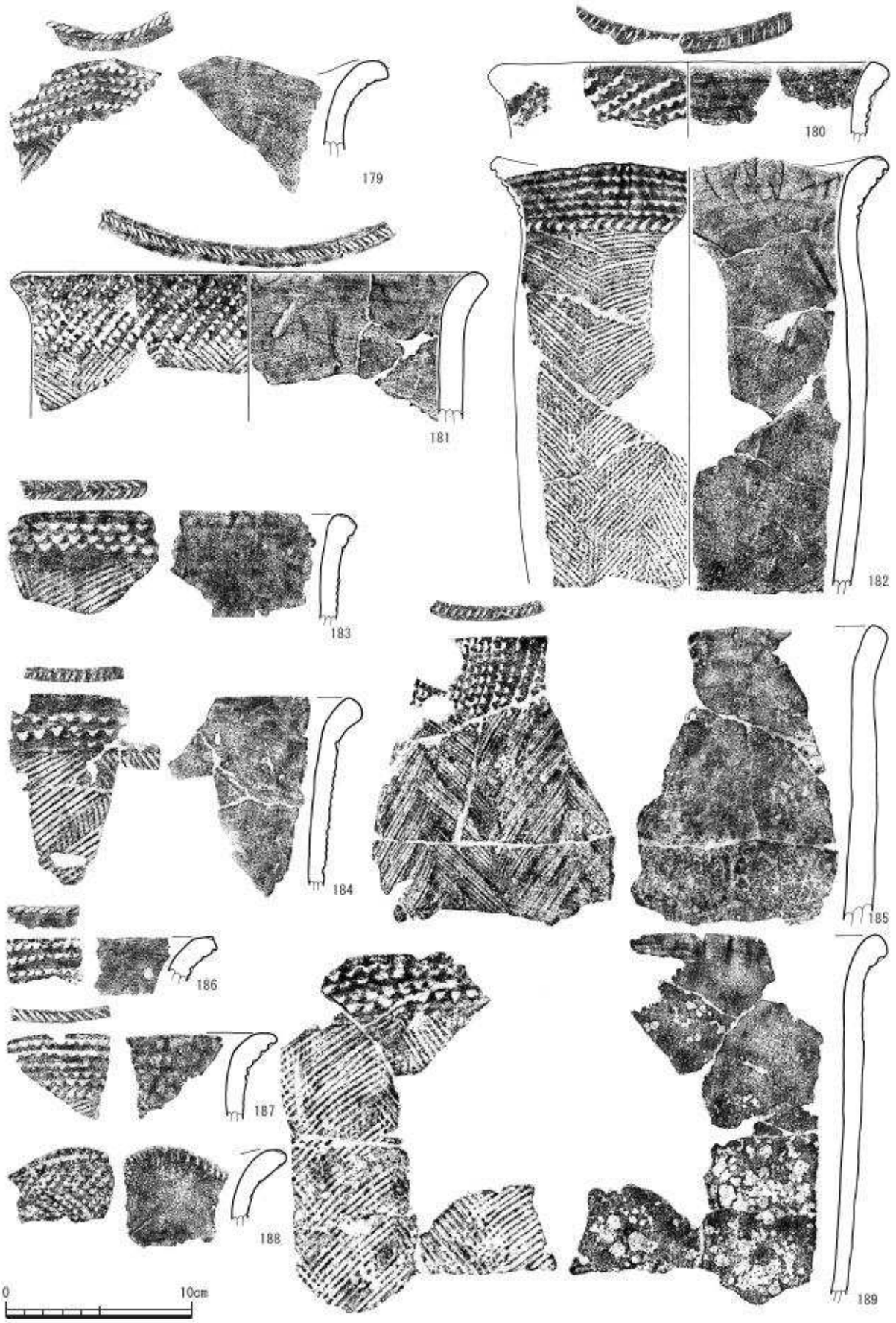
口縁部直下の限られた部分に，貝殻腹縁刺突を横位（172, 175, 176, 193等，貝殻刺突線で）または縦位（157, 158, 160等），あるいは斜位（170, 176, 178, 181等），に施し巡らす。胴部には貝殻条痕でによる縞形状条痕が全面に施でされ，末面は丁寧にナデた仕上げが一般的である。器壁は厚め（10～14mm）となる。

胴部施では縞形状が一般的であるが，（211, 243）は縦方向，（210, 219）では横位をみせる。

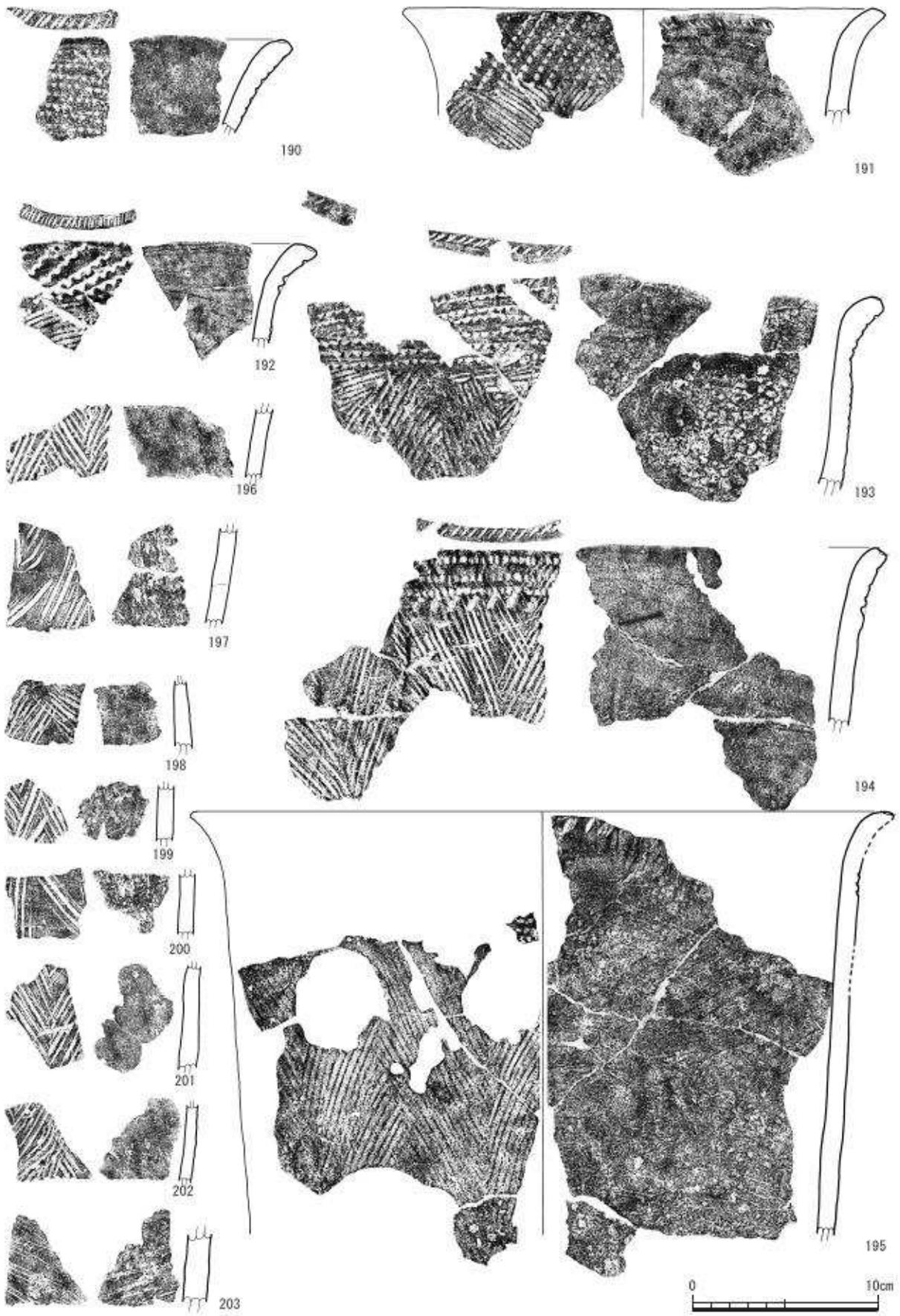
底部の両端は，鋭角に整形することなく，少々まみを成す緩やかな形状を示す。

第85表　Ⅲ類土器観察表（1）

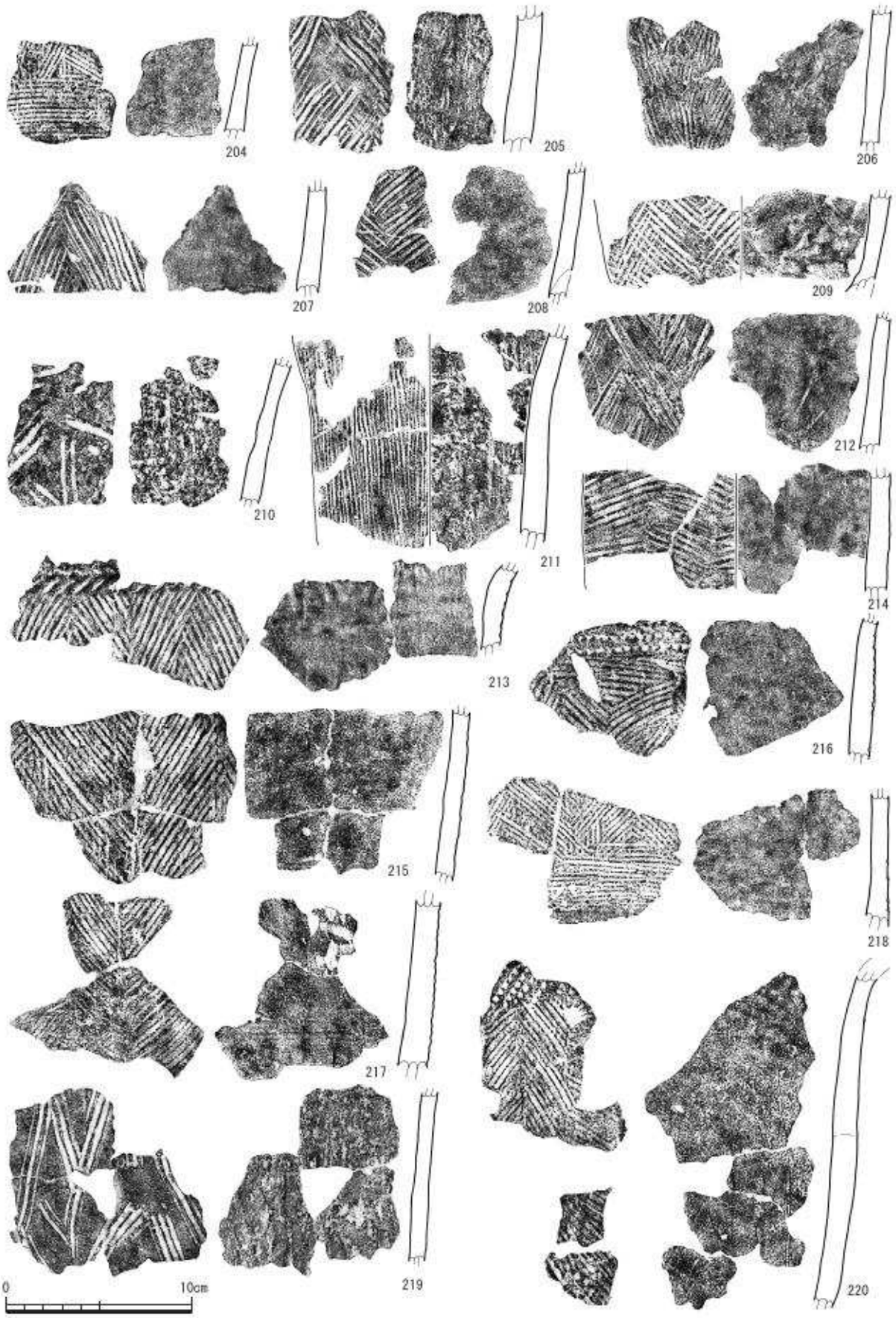
挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調（内）	色調（外）	調整（内）	調整（外）	胎土	備考
328	156	8561（D-18/Ⅷ層）	Hue2.5Y6/2（灰黄色）	Hue2.5Y3/1（黒褐色）	ナデ	貝刺突（横）	長，石	口縁部，口唇部刻み有り
	157	7763（D-17/Ⅷ層） 7888（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	ナデ，貝刺突（縦）	長，石	口縁部，口唇部平坦
	158	7648（D-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR4/2（灰褐色）	Hue7.5YR4/2（灰褐色）	ナデ	貝条痕（横），貝刺突（縦）	長，角	口縁部，口唇部平坦
	159	7812（E-16/Ⅷ層）	Hue7.5YR5/3（にぶい褐色）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	ナデ	貝刺突（斜）	長，角，石	口縁部，口唇部刻み有り
	160	7682（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	ナデ	貝刺突（縦）	長，角，石	口縁部
	161	7691（E-17/Ⅷ層）	Hue7.5YR1.7/1（黒色）	Hue7.5YR4/3（褐色）	ナデ	貝条痕（縦）	長，角，石	口縁部，貝殻刺突
	162	7986（D-18/Ⅷ層）	Hue7.5YR3/1（黒褐色）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	貝条痕（横）	長，角，石	口縁部，口縁部直立
	163	7651（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	Hue10YR4/3（にぶい黄褐色）	ナデ	貝条痕（横），貝刺突（縦）	長，角	口縁部
	164	8918（C-24/Ⅷ層）	Hue10YR4/1（褐灰色）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝刺突（縦斜），貝条痕（斜）	長，角，石	口縁部，口唇部平坦
	165	7329（C-24/Ⅷ層） 8915（C-24/Ⅷ層）	Hue7.5YR3/1（黒褐色）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	貝刺突（縦斜），貝条痕（斜）	長，角，石	口縁部，口唇部平坦
	166	11055（E-16/Ⅵ層）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	ナデ	貝条痕（斜），貝刺突（縦）	長，石	口縁部



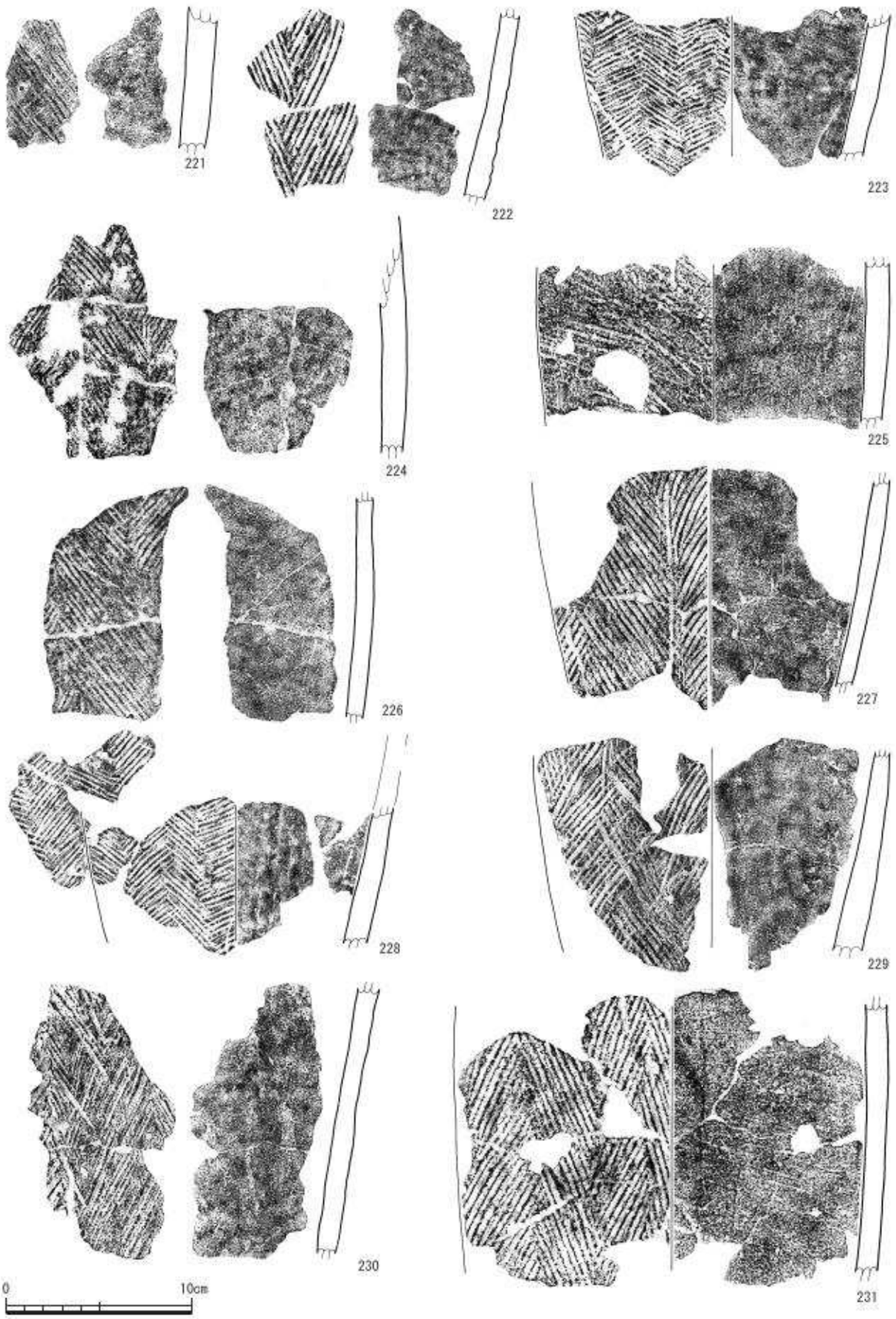
第330図　Ⅲ類土器実測図（３）



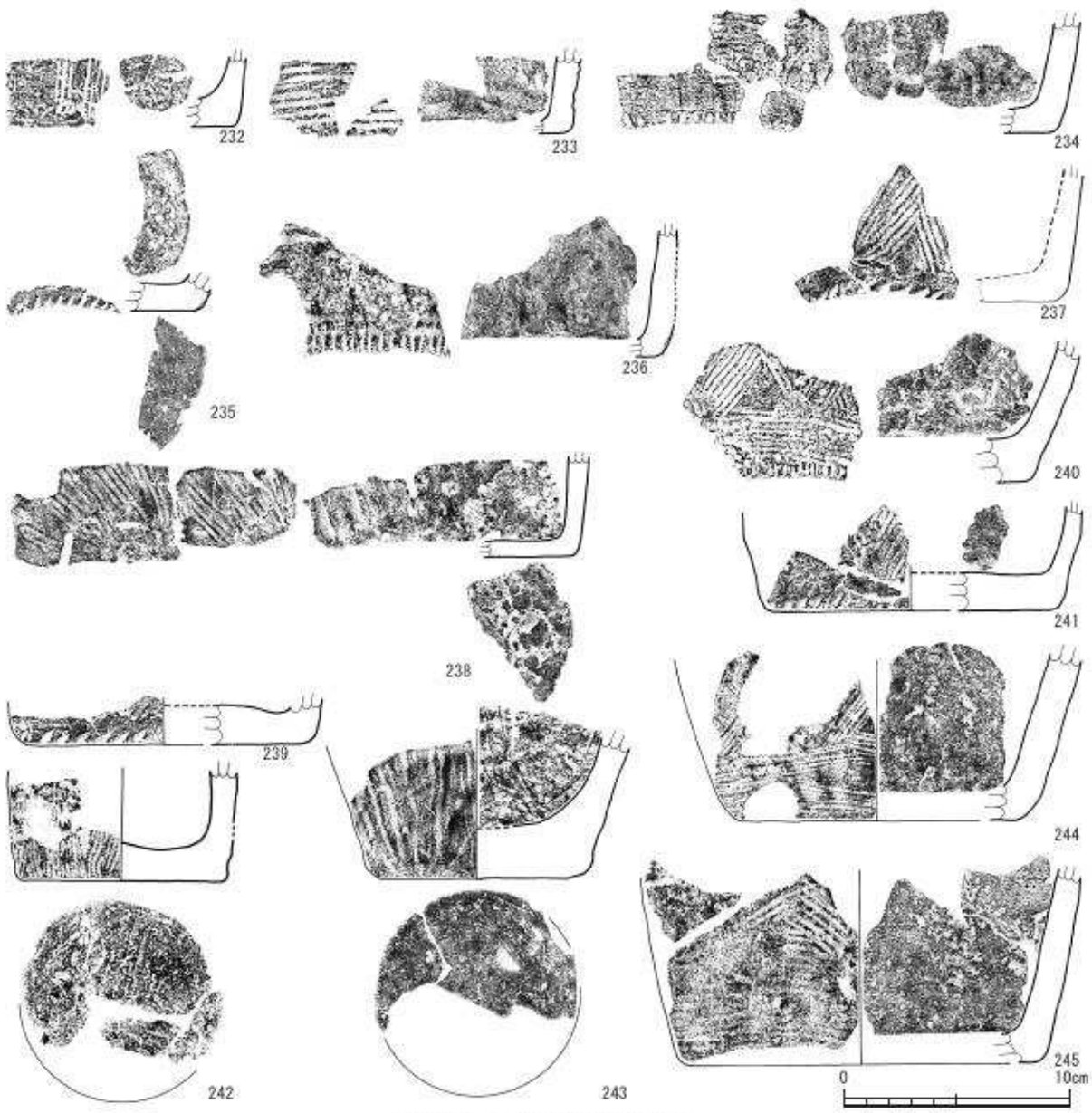
第331図　Ⅲ類土器実測図（4）



第332図　Ⅲ類土器実測図（５）



第333図　Ⅲ類土器実測図（6）



第334図　Ⅲ類土器実測図（７）

第86表　Ⅲ類土器観察表（２）

挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調(内)	色調(外)	調整(内)	調整(外)	胎土	備考
328	167	7791(D-18/Ⅶ層) 8041(E-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR5/3 (にぶい褐色)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	ナデ	貝条痕(縦)、貝刺突(横)	長、角、石	口縁部
	168	11032(E-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長、角、石	口縁部、口唇部刻み有り
	169	7592(E-16/Ⅶ層)	Hue10YR3/1 (黒褐色)	Hue10YR4/1 (褐灰色)	ナデ	貝刺突(縦)、貝条痕(斜)	長、角、石	口縁部
	170	7565(E-17/Ⅶ層) 7683(E-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝条痕(斜)、貝刺突(斜)	長、角、石	口縁部、口唇部貝殻刺突
	171	7945(E-17/Ⅶ層)	Hue5YR3/1 (黒褐色)	Hue5YR3/2 (暗赤褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長、角、石、砂	口縁部
	172	7814(E-16/Ⅶ層)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横)	長、角、石	口縁部、口唇部刻み有り
	173	7924(E-17/Ⅶ層) 7925(E-17/Ⅶ層)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	Hue5YR4/3 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝条痕(縦)、貝刺突(横)	長、角、石	口縁部、口唇部貝殻刺突
	174	7938(E-17/Ⅶ層) 11963(F-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(斜)	長、角、石	口縁部、口唇部刻み有り

第87表 Ⅲ類土器観察表(3)

挿図No	図No	取上番号(出土区/層位)	色調(内)	色調(外)	調整(内)	調整(外)	胎土	備考
328	175	8571(D-18/Ⅶ層) 11658(F-16/Ⅶ層) 11091(F-16/Ⅶ層)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	Hue5YR5/4 (にぶい赤褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	176	7526(D-17/Ⅶ層) 11032(E-17/Ⅶ層) 11108(E-16/Ⅶ層)	Hue7.5YR4/1 (褐灰色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
329	177	7616(E-17/Ⅶ層) 7631(E-17/Ⅶ層) 7905(E-17/Ⅶ層) 7934(E-17/Ⅶ層) 7935(E-17/Ⅶ層) 7937(E-17/Ⅶ層) 7953(F-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部～底部, (内)あばた状剥落 (外)下半部あばた状剥落赤化 口唇部刻み有り,綾杉条痕
	178	7675(E-17/Ⅶ層 7679(E-17/Ⅶ層) 7703(E-17/Ⅶ層 7704(E-17/Ⅶ層) 7916(E-17/Ⅶ層 7960(F-17/Ⅶ層) 7973(E-17/Ⅶ層 7999(E-18/Ⅶ層) 8135(E-18/Ⅶ層 10997(F-17/Ⅶ層)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	Hue10YR7/4 (にぶい黄橙色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部～胴部下半部 (内)炭化物付着あばた状剥落 (外)剥落下半部赤化, 横位貝殻刺突 口唇部刻み有り,綾杉条痕
330	179	7941(E-17/Ⅶ層)	Hue5YR2/1 (黒褐色)	Hue5YR3/3 (暗赤褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	180	8043(F-17/Ⅶ層 11964(F-16/Ⅶ層)	Hue5YR4/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部, 口唇部刻み有り
	181	7747(D-17/Ⅶ層 8028(E-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	ナデ,貝条痕(斜), 貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	182	7715(E-16/Ⅶ層) 8076(D-18/Ⅶ層) 11435(E-16/Ⅶ層) 12025(E-16/Ⅶ層)	Hue5YR4/4 (にぶい赤褐色)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部～胴部,口唇部刻み有り
	183	11126(F-17/Ⅵ層)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	184	11653(F-16/Ⅶ層 11977(F-16/Ⅶ層) 11986(F-16/Ⅶ層 11996(F-16/Ⅶ層)	Hue7.5YR7/6 (橙色)	Hue7.5YR7/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝条痕(斜),貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	185	8342(F-15/Ⅶ層)	Hue7.5YR5/6 (明褐色)	Hue7.5YR6/8 (橙色)	ナデ	貝刺突(縦斜) 貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部～胴部,口唇部刻み有り
	186	7886(E-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR3/3 (暗褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(横)	長,角,石	口縁部
	187	7913(E-17/Ⅶ層)	Hue5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横)	長,石	口縁部,口唇部刻み有り
	188	11166(F-16/Ⅶ層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue7.5YR5/3 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部
	189	8336(F-15/Ⅶ層) 8355(F-15/Ⅶ層) 8356(F-15/Ⅶ層) 8357(F-15/Ⅶ層) 8366(F-15/Ⅶ層)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部～胴部, (内外)下半部あばた状剥落 口唇部刻み有り
331	190	11202(F-16/Ⅶ層)	Hue10YR5/4 (にぶい黄褐色)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	ナデ	貝刺突(横)	長,石	口縁部,口唇部刻み有り
	191	7615(E-17/Ⅶ層) 7917(E-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝条痕(斜),貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	192	11117(E-16/Ⅶ層)	Hue7.5YR4/2 (灰褐色)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	ナデ	貝刺突(斜)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	193	7598(E-17/Ⅶ層) 7906(E-17/Ⅶ層) 10995(F-17/Ⅶ層)	Hue7.5YR3/1 (黒褐色)	Hue5YR5/6 (明赤褐色)	ナデ	貝刺突(横),貝条痕(斜)	長,角	口縁部,(内)あばた状剥落, 口唇部刻み有り
	194	12056(E-15/Ⅶ層 12061(F-15/Ⅶ層) 12322(F-15/Ⅶ層)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	Hue7.5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝条痕(斜),貝刺突(横)	長,角,石	口縁部,口唇部刻み有り
	195	7772(D-17/Ⅶ層) 11094(E-16/Ⅶ層) 11222(F-16/Ⅶ層) 11647(F-15/Ⅶ層) 11648(F-15/Ⅶ層) 12007(F-15/Ⅶ層) 12052(E-15/Ⅶ層) 12060(F-15/Ⅶ層) 12067(F-15/Ⅶ層) 12321(F-16/13層)	Hue7.5YR5/4 (にぶい褐色)	Hue5YR6/6 (橙色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	口縁部～胴部,(外)剥落多い
	196	7887(E-18/Ⅶ層)	Hue7.5YR6/4 (にぶい橙色)	Hue7.5YR2/1 (黒色)	ナデ	貝条痕(斜)	長,角,石	胴部

第88表 Ⅲ類土器観察表（4）

挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調（内）	色調（外）	調整（内）	調整（外）	胎土	備考
331	197	7874（D-18/Ⅶ層） 7873（E-18/Ⅶ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7.5YR4/1（褐灰色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	198	7564（E-17/Ⅶ層）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	Hue10YR2/1（黒色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	199	8024（E-17/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue10YR4/1（褐灰色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	200	8563（D-18/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/2（灰褐色）	Hue7.5YR5/2（灰褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	201	7646（D-17/Ⅶ層）	Hue7.5YR4/2（灰褐色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	202	7681（E-17/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/2（灰褐色）	Hue7.5YR2/1（黒色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部，（内）炭化物付着
	203	7049（G-9/Ⅵ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部
332	204	7572（E-16/Ⅶ層）	Hue10YR5/3（にぶい黄褐色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕（横斜）	長，角，石	底部付近，218と同一か？
	205	7889（F-17/Ⅶ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR3/2（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	206	11119（E-16/Ⅵ層）	Hue10YR4/1（褐灰色）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	207	12049（E-15/Ⅶ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	208	7652（E-17/Ⅶ層） 7668（E-17/Ⅶ層）	Hue5YR5/4（にぶい赤褐色）	Hue7.5YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	209	7997（E-18/Ⅶ層）	Hue5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR2/1（黒色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部
	210	7799（E-18/Ⅶ層）	Hue2.5Y6/2（灰黄色）	Hue2.5Y5/1（黄灰色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部
	211	7574（E-16/Ⅶ層） 7722（E-16/Ⅶ層） 7723（E-16/Ⅶ層） 7794（D-18/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	貝条痕（縦）	長，角，石	胴部，縦位条痕
	212	8917（C-24/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue10YR3/2（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部
	213	7590（E-16/Ⅶ層） 8329（G-15/Ⅶ層）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	ナデ	貝条痕（斜），貝刺突（斜）	長，角，石	口縁部付近～胴部，指ナデ調整痕
	214	7561（D-17/Ⅶ層） 7793（D-18/Ⅶ層）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部
	215	7695（E-17/Ⅶ層） 7808（E-16/Ⅶ層） 7809（E-16/Ⅶ層）	Hue5YR4/4（にぶい赤褐色）	Hue5YR2/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	216	7893（E-18/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue5YR6/6（橙色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	217	7588（E-16/Ⅶ層） 7635（E-17/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/4（にぶい褐色）	Hue10YR4/1（褐灰色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，砂	胴部
	218	7437（E-17/Ⅶ層） 7690（E-17/Ⅶ層）	Hue5YR5/3（にぶい赤褐色）	Hue7.5YR2/1（黒色）	ナデ	貝条痕（横斜）	長，角，石	胴部，204と同一か？
	219	7780（D-17/Ⅶ層） 7838（D-17/Ⅶ層） 7873（E-18/Ⅶ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部
	220	7595（E-16/Ⅶ層） 7831（D-17/Ⅶ層） 7848（D-18/Ⅶ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	ナデ	貝条痕（斜），貝刺突（斜）	長，角，石	口縁部付近～胴部
333	221	7892（E-17/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/3（にぶい褐色）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝条痕（横）	長，角，石	胴部
	222	7807（E-16/Ⅶ層） 12022（E-16/Ⅶ層）	Hue10YR3/1（黒褐色）	Hue10YR2/1（黒色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部，（内）丁寧なナデ
	223	7711（E-17/Ⅶ層） 7900（E-17/Ⅶ層） 11394（E-16/Ⅶ層）	Hue7.5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR3/2（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部
	224	7711（E-17/Ⅶ層） 7793（D-18/Ⅶ層）	Hue7.5YR5/3（にぶい褐色）	Hue10YR5/2（灰黄褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部，（外）剥落
	225	7725（E-16/8層）	Hue5YR3/1（黒褐色）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部，（外）摩滅，砂粒細
	226	7759（D-17/Ⅶ層）	Hue10YR3/3（暗褐色）	Hue10YR5/4（にぶい黄褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	227	7856（D-18/Ⅶ層） 7881（E-18/Ⅶ層） 8559（D-18/Ⅶ層） 12310（E-15/13層） 12318（E-16/13層）	Hue7.5YR4/2（灰褐色）	Hue10YR3/2（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部，（内）丁寧なナデ， 縦位区画有り

第89表 Ⅲ類土器観察表（5）

挿図No	図No	取上番号（出土区/層位）	色調（内）	色調（外）	調整（内）	調整（外）	胎土	備考
333	228	7991（D-18/Ⅷ層） 8032（F-17/Ⅷ層） 8084（D-18/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR4/1（褐灰色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部，砂粒細
	229	7632（E-17/Ⅷ層） 7891（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR6/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	胴部
	230	7332（C-24/Ⅷ層） 8916（C-24/Ⅷ層）	Hue5YR6/6（橙色）	Hue7．5YR4/1（褐灰色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部
	231	7573（E-16/Ⅷ層） 7600（E-16/Ⅷ層） 7751（D-17/Ⅷ層） 11005（F-17/Ⅷ層） 11039（E-16/Ⅷ層） 11439（E-16/Ⅷ層） 12030（E-16/Ⅷ層）	Hue7．5YR5/4（にぶい褐色）	Hue10YR4/1（褐灰色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	胴部，（内）丁寧なナデ
334	232	7694（E-17/Ⅷ層）	Hue5YR4/4（にぶい赤褐色）	Hue5YR3/2（暗赤褐色）	ナデ	貝条痕（縦）	長，角，石，砂	底部
	233	一括（E-18/Ⅵ層）	Hue10YR5/2（灰黄褐色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕（横）	長，角，石	底部，横位条痕
	234	7932（E-17/Ⅷ層）	Hue7．5YR6/4（にぶい橙色）	Hue7．5YR6/2（灰褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石	底部，底部刻み有り
	235	11072（F-16/Ⅷ層）	Hue5YR6/6（橙色）	Hue7．5YR6/6（橙色）	ナデ	貝条痕（縦）	長，角，石	底部，底部刻み有り
	236	7279（C-22/Ⅷ層）	Hue10YR7/4（にぶい黄橙色）	Hue10YR4/2（灰黄褐色）	ナデ	貝条痕（縦）	長，角，石	底部，底部刻み有り
	237	7849（D-18/Ⅷ層） 7995（D-18/Ⅷ層）	Hue2．5YR6/6（橙色）	Hue2．5YR6/6（橙色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	底部，底部刻み有り
	238	2557（D-8/Ⅷ層） 11644（F-15/Ⅷ層）	Hue2．5YR5/4（にぶい赤褐色）	Hue5YR5/4（にぶい赤褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，石	底部
	239	7844（D-18/Ⅷ層）	Hue5YR5/4（にぶい赤褐色）	Hue5YR4/3（にぶい赤褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	底部，底部刻み有り
	240	7918（E-17/Ⅷ層）	Hue7．5YR6/4（にぶい橙色）	Hue10YR2/1（黒色）	ナデ	貝条痕（横斜）	長，角，石	底部，底部刻み有り，横位条痕
	241	8075（D-18/Ⅷ層） 8089（D-18/Ⅷ層）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	Hue5YR5/6（明赤褐色）	ナデ	貝条痕（斜）	長，角，石，砂	底部，底部刻み有り
	242	7904（E-17/Ⅷ層） 7914（E-17/Ⅷ層） 7915（E-17/Ⅷ層） 8038（E-17/Ⅷ層）	Hue10YR4/1（褐灰色）	Hue10YR3/1（黒褐色）	ナデ	貝条痕（横斜）	長，角，石，砂	底部，底部（外）白色付着物
	243	7739（E-17/Ⅷ層） 7939（E-17/Ⅷ層） 8033（E-18/Ⅷ層）	Hue5YR5/4（にぶい赤褐色）	Hue10YR3/3（暗褐色）	ナデ	貝条痕（縦）	長，角，石	底部，縦位条痕
	244	7778（D-17/Ⅷ層）	Hue7．5YR5/4（にぶい褐色）	Hue7．5YR6/6（橙色）	ナデ	貝条痕（横斜）	長，角	底部，横位条痕
	245	7740（E-17/Ⅷ層） 8555（D-17/Ⅷ層） 8556（D-17/Ⅷ層）	Hue10YR8/4（浅黄橙色）	Hue10YR6/3（にぶい黄橙色）	ナデ	貝条痕（縦）	長，角，石，砂	底部，横位条痕

4　Ⅳ類　円筒形土器　（第336図）

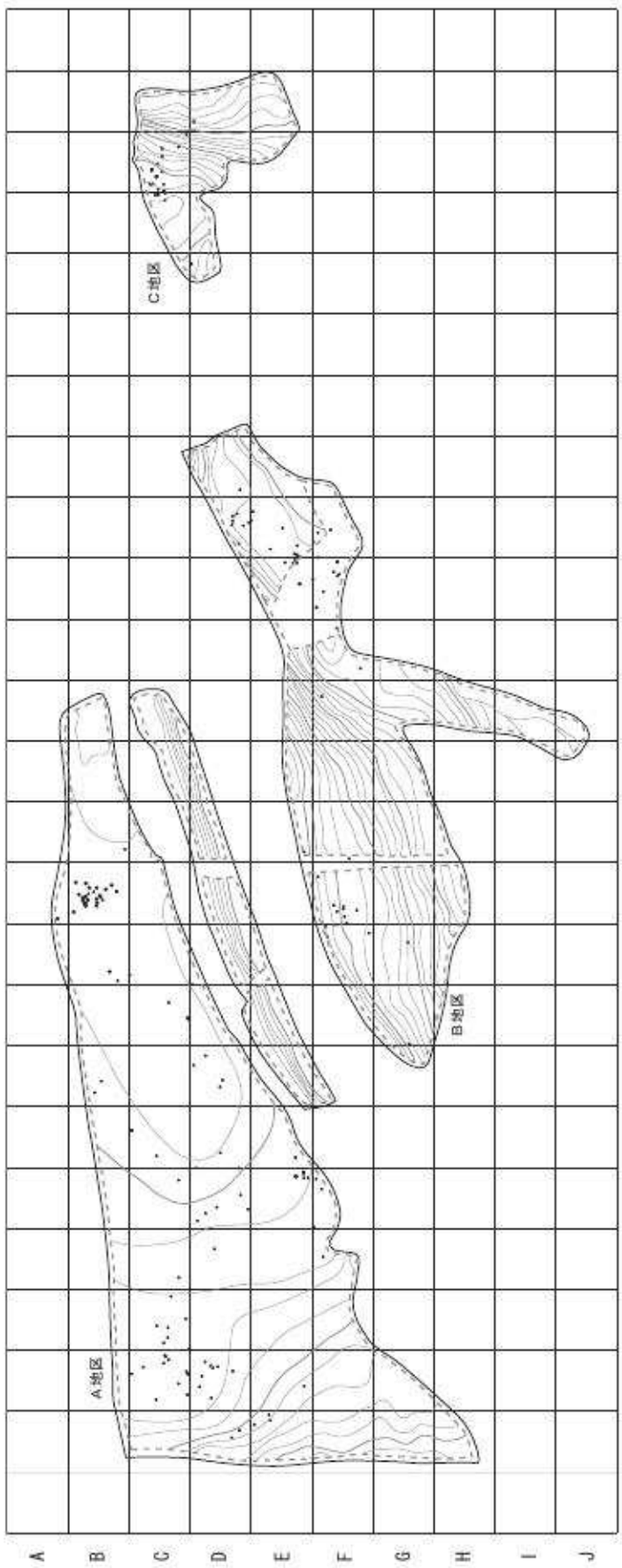
平底の底部で，周部中央部付近で緩やかに膨らみそのまま直立する器形の貝殻条痕文土器で，いわゆる貝殻状痕円筒形土器に分類される。

器壁が厚くなり，平底部は厚く刻みをなし，刻みを施すことは無い。文様は外面の平縁部から周部上半部分に限定し，貝殻押引文を巡らす。白土資料は２分でき，(257,258)の小型土器とその他の大振りな土器とがある。両方とも，小型はヘラ状工具で丸念にナデ口上げを行い，小型土器では元沢を保っている。

小型土器では肋の細かい貝殻を用い，大振りな土器では肋の大きいものを用いている。260は貝殻刺突線文を巡らしたその下位に押引文を，264では押引文を上下２列並行する施文がみられる。

261の底部は，緩やかに変化しながら膨らむ形状を呈している。確認はできていないが，形状や器壁，用土等の特徴からⅣ類と判断した。

258で11cm，263で17cm，264で21cm程の平径が復元できる。



第335図　Ⅳ類～Ⅷ類土器出土状況図